

**第4次泉佐野市障害者計画中間見直し・  
第7期泉佐野市障害福祉計画策定  
のためのニーズ調査結果報告書**

**令和5年 11月**

**泉佐野市**

# 目 次

<b>I 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	2
<b>II 調査結果の総括</b> .....	<b>3</b>
●18歳以上調査.....	3
●18歳未満調査.....	7
<b>III 調査結果〔18歳以上対象〕</b> .....	<b>11</b>
1. あなたのことについて.....	11
2. 生活支援について.....	33
3. 保健・医療について.....	44
4. 就労について.....	49
5. 社会参加について.....	56
6. 災害時のことについて.....	70
7. 差別の解消と権利擁護について.....	74
8. その他.....	85
9. 泉佐野市の障害者施策について.....	87
10. ご意見やご要望など.....	89
<b>IV 調査結果〔18歳未満対象〕</b> .....	<b>94</b>
1. あなたやお子さんのことについて.....	94
2. お子さんの発達上の障害について.....	102
3. お子さんの日中の過ごし方について.....	113
4. 保護者同士のネットワークについて.....	118
5. お子さんの療育・保育等について.....	123
6. お子さんの教育・育成について.....	126
7. 相談窓口について.....	131
8. 情報の入手や提供のあり方について.....	135
9. 災害時のことについて.....	140
10. 差別の解消と権利擁護について.....	144
11. 保健・医療のことについて.....	146
12. 福祉サービスについて.....	150
13. 泉佐野市の障害児施策について.....	156
14. ご意見やご要望など.....	158

# I 調査概要

## 1. 調査目的

本調査は、「第7期泉佐野市障害福祉計画」及び「第3期泉佐野市障害児福祉計画」を策定するにあたり、障害のある人（子ども）の実情やニーズを把握し、計画策定の基礎資料として障害者施策及び障害福祉の推進を図ることを目的に実施しました。

## 2. 調査設計

- ①調査地域 : 泉佐野市全域
- ②調査対象者 : 令和5年8月1日時点で泉佐野市に居住している障害のある65歳未満の方  
(65歳未満を対象とし、介護ニーズと分けて障害ニーズを調査しました)
- ③調査期間 : 令和5年9月4日(月)から9月25日(月)まで
- ④調査方法 : 郵送配布、郵送回収

## 3. 回収結果

対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
18歳以上全体	2,000	806	40.3%
身体障害のある人	800	393	49.1%
知的障害のある人	400	184	46.0%
精神障害のある人	800	306	38.3%
18歳未満全体	302	179	59.2%

※18歳以上の有効回収数には複数の障害者手帳を所持し、複数の障害のある人に数えられている人を含むため、障害種別の回収数の合計と18歳以上全体とは一致しません。

## 4. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 本報告書は、それぞれの所持手帳別にクロス集計をかけることで身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者を別々に集計しています。よって、重複手帳所持者がそれぞれに数えられ、集計されています。
- 分析における「身体」「知的」「精神」障害者とは18歳以上調査における問5、18歳未満調査における問10において回答のあった「お持ちの障害者手帳」によって分類しています。身体障害者手帳をお持ちの方を「身体」、療育手帳をお持ちの方を「知的」、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方を「精神」と表記しています。
- 分析における「利用」「未利用」とは18歳以上調査における問18、18歳未満調査における問43において回答のあったサービスの利用状況によって分類しています。18歳以上調査で、何らかの障害福祉サービスを選択された方、18歳未満調査で現在福祉サービスを「利用している」と回答された方を「利用」、「何も利用していない」「利用していない」と回答された方を「未利用」と表記しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

## II 調査結果の総括

### ●18 歳以上調査

#### 1. 回答者自身のことについて

○回答者の年齢は、全体では「50 歳代」が 32.3%で最も多く、次いで「40 歳代」が 20.5%となっています。身体障害者手帳所持者では 50 歳以上が多く、療育手帳所持者では 20 歳代から 40 歳代、精神障害者保健福祉手帳所持者では 40 歳代から 50 歳代が多くなっています。

○発達障害の診断については 19.0%、自立支援医療（精神通院）の認定については 40.2%、難病（特定疾患）の認定については 9.3%、高次脳機能障害の診断については 4.6%が「受けている」と回答しています。

○介助している人については、「介助は受けていない」が 38.7%と最も多く、次いで「父母」が 24.4%となっています。介助している人の年齢については「50 歳代」が 26.0%、性別については「女性」が 64.3%と多くなっています。

○今後 3 年以内に一緒に暮らしたい人については、全体では「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」が 33.1%と最も多く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」が 23.7%となっています。身体障害者手帳所持者では、「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」が 44.3%、療育手帳所持者では、「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」が 41.3%、精神障害者保健福祉手帳所持者では、「一人で暮らしたい」が 33.0%と、それぞれ他の障害より多くなっています。今後 3 年以内に暮らしたい場所については、いずれも「一般の住宅」が最も多くなっています。

#### 2. 生活支援について

○悩みや困りごとを主に相談する人（場所）は、全体では「家族・親せき」が 66.0%と最も多くなっています。所持手帳別にみると、いずれも「家族・親せき」が最も多く、次いで身体障害者手帳所持者では「友人・知人」、療育手帳所持者では「サービスを受けているところ（ヘルパー事業所、入所・通所施設など）」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「医療機関（病院・診療機関など）」が多くなっています。

○相談する場所に期待することについては、全体では「いつでもすぐに相談にのってもらえること」が 38.6%と最も多く、次いで「具体的にアドバイスしてくれること」が 29.4%となっています。

○障害者総合支援法の障害支援区分認定を受けているかについては、全体では「受けていない」が 56.6%、区分 1 から区分 6 のいずれかの認定を受けている人は合計で 21.0%となっています。所持手帳別にみると、いずれかの認定を受けている割合は、身体障害者手帳所持者 18.0%、療育手帳所持者 49.4%、精神障害者保健福祉手帳所持者 15.7%となっています。

○サービスを「何も利用していない」は 48.0%となっています。理由については「必要性を感じないから」が 50.1%と最も多く、次いで「サービスのことを知らない、または利用方法がわからないから」が 29.7%となっています。特に精神障害者保健福祉手帳所持者については、「サービスの

ことを知らない、または利用方法がわからないから」が 36.7%となっており、サービスについて十分な知識がないために利用に結びついていない人が一定数いることがうかがえます。

○現在の生活で困っていることや不安に思っていることについては、全体では「将来の生活に関すること」が 54.3%で最も多く、次いで「家計・経済に関すること」が 38.3%となっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では、他の障害と比べて困っていることや不安に思っていることの各項目の回答割合が高くなっています。

○今後利用したいサービスについて、所持手帳別にみると、身体障害者手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者では「自立した日常生活における総合的な相談の場」、療育手帳所持者では「外出時の付き添いや介助」と「グループホーム（仲間との共同生活）」が多くなっています。

### 3. 保健・医療について

○現在の通院状況（リハビリ含む）については、「1 か月に 1 回程度」が 33.5%で最も多くなっています。

○医療を受ける上で困っていることについては、「特にない」を除くと「医療費の負担が大きい」が 20.8%で最も多く、次いで「通院（病院までの移動）が困難である」が 17.5%となっています。

○何らかの医療的ケアを必要としている人は 11.9%となっています。そのうちほぼ常時ケアが必要な人が 31.3%となっています。医療的ケアの種類については、どの項目にも少しずつ回答があり、多様なケアが求められていることがわかります。

○障害のある人の保健・医療に関して必要なことについては、「障害のある人が安心して地域で医療を受けられる体制の整備」が 64.6%で最も多く、次いで「保健・医療・福祉など関係機関の連携による医療的ケア体制の確保」が 39.3%となっています。

### 4. 就労について

○現在の収入については、全体では「年金（障害年金など）」が 55.2%で最も多く、次いで「給料・賃金」が 35.5%となっています。療育手帳所持者については、「年金（障害年金など）」が 78.8%で最も多く、次いで「福祉施設の工賃」が 25.5%となっており、「給料・賃金」という回答は 23.4%と他より少なくなっています。

○現在の就労状況については、全体では「働いていない」が 43.5%で最も多く、「働いていない」を除くと身体障害者手帳所持者では「会社などで正社員・正職員として働いている」が 18.1%、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者では「福祉施設・作業所などで働いている（福祉的就労）」がそれぞれ 44.6%、17.3%で最も多くなっています。

○収入の月額については、全体では 10 万円未満の回答が 43.2%となっています。10 万円未満という回答については、療育手帳所持者で 70.2%、精神障害者保健福祉手帳所持者で 51.2%となっています。現在の仕事での困っていることや不満についても、全体では「給料・工賃が少ない」が 37.6%で最も多くなっています。

○現在の仕事で困っていることの相談先については、「家族・親せき」が39.1%で最も多く、次いで「職場の人（同僚、上司など）」が37.2%となっています。

○働く上で必要な条件については、全体では「障害の特性を踏まえた勤務条件であること」が39.1%と最も多く、次いで「障害に対する周囲の理解があること」が33.7%となっています。

## 5. 社会参加について

○ひとりで外出することができるかについては、全体では「ひとりで外出できる」が69.5%となっていますが、療育手帳所持者では「介助者がいれば外出できる」が55.4%と他より多くなっています。介助者は「家族・親せき」が75.4%と最も多く、次いで「ヘルパー」が53.2%となっています。

○身のまわりで改善が必要なものについては、「障害への理解」が44.2%で最も多くなっており、次いで「緊急事態が起こったときの対応」が30.4%となっています。

○最近の社会参加の状況について、『活動あり（最近1か月間に1回以上の回答があったもの）』は、「買い物（日常の買い物を含む）」が58.8%と最も多く、次いで、「家族・友人・知人との交流」が40.4%となっています。これ以外の項目については概ね1割以下となっており、社会参加の形態が限られた状況にある人が少なくないことがうかがえます。

○今後してみたい（続けたい）社会参加については、「買い物（日常の買い物を含む）」が60.9%と最も多く、次いで「家族・友人・知人との交流」が52.4%となっています。また、「旅行」（40.0%）や「趣味などの文化・芸術活動」（30.3%）は、実際の参加状況と比べて今後してみたい割合が約20ポイント以上高くなっており、潜在的なニーズが大きいことが示されています。

## 6. 災害時のことについて

○災害などの緊急事態が発生した場合、ひとりで避難できるかについては、全体では「ひとりで避難できると思う」が37.2%で最も多く、「ひとりでは避難できないと思う」が30.6%となっています。療育手帳所持者では、「ひとりで避難できると思う」は14.1%と少なく、「ひとりでは避難できないと思う」が62.5%となっています。

○「地域の絆づくり登録制度（避難行動要支援者登録制度）」については、「言葉も内容も知らない」が67.6%、「福祉避難所」の認知度については、「どういうものかも、場所も知らない」が74.6%となっており、引き続き制度の周知が求められます。

○災害などが起きたときに支援してほしいことについては、全体では「必要な治療や薬を確保してほしい」が43.4%で最も多く、次いで「災害情報を知らせてほしい」が33.5%となっています。療育手帳所持者では、「避難場所までの避難を支援してほしい」が37.0%で最も多くなっています。

## 7. 差別の解消と権利擁護について

○障害者差別解消法を知っているかについては、「言葉も内容も知らない」が63.8%で最も多く（前

回調査では 60.5%)、周知が進んでいないことがうかがえます。

○日常生活において障害のために差別や偏見を感じることはあるかについては、「よく感じる」または「ときどき感じる」の合計が、身体障害者手帳所持者で 44.3%、療育手帳所持者で 54.3%、精神障害者保健福祉手帳所持者で 58.2%となっています。知的障害や精神障害についての差別・偏見を感じる人が多くなっており、それらを感じたのがどのようなときかについては、療育手帳所持者では「街のなかでの視線」が 65.0%、精神障害者保健福祉手帳所持者では「人間関係」が 69.1%で最も多くなっています。

○虐待を受けたり、障害のある人が虐待されたことを見たり聞いたりしたことがあるかについて、「自分自身が虐待を受けたり、虐待のような扱いを受けたことがある」は、身体障害者手帳所持者で 7.4%、療育手帳所持者で 12.0%、精神障害者保健福祉手帳所持者で 19.9%となっています。

○悪徳商法などの消費者トラブルに巻き込まれたことについて、「巻き込まれた」または「巻き込まれそうになった」という回答は、全体では合計で 22.1%となっていますが、精神障害者保健福祉手帳所持者では 33.0%と多くなっています。

○日常生活自立支援事業や成年後見制度について、「言葉も内容も知っている」という回答は、日常生活自立支援事業で 18.5%、成年後見制度で 26.1%となっています。これらを今後利用したいと思うかについては、どちらも「わからない」が 4割台で最も多くなっています。

○障害のある人への市民の理解を深めるために必要なことについては、「学校における福祉教育の充実」が 26.2%で最も多く、子どもころからの理解促進が求められています。

## 8 その他について

○必要な情報の入手法についてみると、全体では「家族・親せき」が 51.0%で最も多く、次いで「インターネット（携帯電話・スマートフォンを含む）」が 43.3%、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が 28.7%となっています。療育手帳所持者では、「家族・親せき」に次いで「サービスを受けているところ（ヘルパー事業所、入所・通所施設など）」が 40.2%で多くなっています。

○ヘルプマークを知って（持って）いるかについては、「知らない」が 54.0%で最も多く、次いで「ヘルプマークを知っている」が 32.0%となっており、「ヘルプマークを持っている」は 10.2%となっています。

## 9. 泉佐野市の障害者施策について

○現在の泉佐野市の障害者施策については、どの施策に関しても、満足と感じている回答よりも不満に感じている回答のほうが高くなっており、前回調査とも大きな差はみられません。「不満」または「やや不満」という回答が最も多いのは「就労支援体制の充実（一般就労への移行や工賃アップにつながる取り組みなど）」で、「満足」または「やや満足」が最も多いのは「相談支援体制の充実（何でも相談できる窓口の設置など）」となっています。

## ●18 歳未満調査

### 1. 回答者や子どもについて

○調査対象の子ども以外に兄弟姉妹、祖父母などの中で介護・介助が必要な人については、「兄弟姉妹に介助・支援が必要なお子さんがいる」が15.6%、「祖父母に介護・介助が必要である」が6.7%となっており、ダブルケアの状態にある世帯が一定数いることがわかります。

○子どもの介助・支援について、手助けしてくれる人については、「介助・支援を分担してくれる人がいる」が43.0%で最も多く、次いで「介助・支援を少し分担してくれる人がいる」が29.6%となっています。一方で、「介助・支援を手助けしてくれる人はいない」が9.5%となっており、支援者が孤立している状態にある世帯があることも示されています。

### 2. 子どもの発達上の障害について

○初めて子どもの発達が気になった年齢については、「0歳～1歳6か月」が50.3%で最も多く、次いで「1歳7か月～3歳」が36.9%となっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では「4歳～6歳」が38.5%と多くなっています。

○子どもが所持している障害者手帳については、「療育手帳」が72.1%で最も多く、次いで「身体障害者手帳」が17.3%となっています。手帳を持っていない理由については、「その他」を除くと、「障害が軽度のため、取得できない」が23.1%となっています。

○発達障害の診断については53.6%、難病（小児慢性特定疾病）の認定については11.7%、重症心身障害の認定については6.1%、高次脳機能障害の診断については0.6%が「受けている」と回答しています。

### 3. 子どもの日中の過ごし方について

○子どもの休日、放課後等の主な過ごし方については、全体では「自宅でテレビなどを観て過ごす」が73.2%で最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用している」が44.7%となっています。

○放課後や休日の過ごし方について、施設等の利用状況をみると、「障害福祉サービス事業所」については、「日常」または「時々」利用しているという回答が4割を超えています。一方で「習いごと」については、「利用したくてもできない」が3割を超えています。

### 4. 保護者同士のネットワークについて

○子どもの心身の発達への課題を含めて相談できる人については、「相談相手がいる」が75.4%、「相談相手がいない」は19.0%となっています。

○相談相手がいる人については、「障害のあるお子さんがいる相談相手も、障害のあるお子さんがいない相談相手もいる」が43.7%で最も多く、次いで「相談相手にも障害のあるお子さんがいる」が32.6%となっています。相談相手と知り合った場所については、「療育機関（木馬園など）」が

37.9%で最も多くなっています。相談相手と子どもを預けたり、預かったりができるかについては、「無理だと思う」が46.6%、「預かったことがある、預けたことがある」または「可能だと思う」は合計で20.4%となっています。

○相談相手がない人の相談についての考えでは、「市役所や施設などの窓口で相談すれば、それで十分」が45.9%で最も多く、次いで「親同士のつながりが重要であると思うが、どのようにしてつながりを作ればよいかわからない」が39.3%となっており、保護者の孤立を防ぐための支援の必要性がうかがえます。

## 5. 子どもの療育・保育等について

○現在、どのような療育を受けているか、または過去に受けたことがあるかについては、「児童発達支援」が67.0%で最も多く、次いで「保育所（園）・幼稚園・認定こども園の療育」が16.2%となっています。

○療育機関・園での生活や支援での問題点については、「特にない」が27.4%と最も多く、次いで、「延長保育など、時間外に対応してくれない」が22.9%、「通園が大変」が21.8%となっています。

○療育に関して求める支援については、「適切な行動や対人コミュニケーション能力など社会的なスキルを教えてくれる機関」が46.4%で最も多く、次いで「着替え・食事など身の回りのことに関わる日常のスキルを身につけるサポート」が35.8%、「発達障害専門の医療機関」が33.5%となっています。

## 6. お子さんの教育・育成について

○子どもにとって望ましい就学環境については、「地域の学校の支援学級において、できるだけ専門的な教育やサポートが得られる環境」が31.3%で最も多く、次いで「地域の学校において、できるだけ他の児童・生徒と同様の教育やサポートが得られる環境」が15.1%となっており、地域の学校への就学を希望する回答が多くなっています。

○子どもが進学時に希望した学校に通っているかについては、「はい」が57.5%、「いいえ」が3.4%となっており、学校生活での問題点については「学習サポート体制が不十分」が12.3%と最も多くなっています。

○障害のある児童・生徒の教育・育成に関して必要なことについては、「児童・生徒の個々のニーズに応じた学習指導の充実」が38.5%で最も多く、次いで「障害のある児童・生徒の保護者に対する精神的な支援」が19.6%となっています。

## 7. 相談窓口について

○困ったときに相談できる現在の相談体制については、「普通」が43.6%と最も多く、「満足」と「やや満足」の合計が31.2%、「不満」と「やや不満」の合計が20.7%となっています。不満の理由としては、「その他」が43.2%と最も多く、次いで「相談したい日・時間に利用できない」が40.5%

となっています。

○現在現在相談している内容については、「発達の状況」が45.3%で最も多く、次いで「コミュニケーション」が31.8%、「就学・就労」が29.1%となっています。

○相談機関に期待することについては、「必要な機関と迅速に連携してくれること」が41.3%で最も多く、次いで「具体的にアドバイスしてくれること」が38.5%、「子どもの年齢などにかかわらず、相談を受け付けてもらえること」が35.2%となっています。

## 8. 情報の入手や提供のあり方について

○サービスに関する情報を入手している場所についてみると、全体では「友人・知人」が37.4%で最も多く、次いで、「インターネット（携帯電話・スマートフォンを含む）」が32.4%、「市立児童発達支援センター（にじいろの木）」が27.9%となっています。

○子どもの発育についてどのような情報の提供を望んでいるかについては、「福祉や医療、教育などの制度についての情報」が49.7%で最も多く、次いで「言語の発達についての情報」が30.2%、「家族支援に関する情報」が25.7%となっています。

○サポートブック「はぐノート」については、「持っている」が65.4%、「持っていない」が34.6%となっています。持っている人のうち、「はぐノートに記入し、すでに活用している」が25.6%、「はぐノートに記入はしているが、活用していない」が52.1%で最も多くなっています。記入の仕方などを気軽に相談できる「はぐノートの会」への参加については、「参加したいと思う」が35.2%、「参加したいとは思わない」が57.5%となっています。

## 9. 災害時のことについて

○災害などの緊急事態が発生した場合、子どもはひとりで避難できるかについては、「ひとりでは避難できないと思う」が82.7%で最も多く、「ひとりで避難できると思う」は11.7%、「わからない」が5.6%となっています。

○「地域の絆づくり登録制度（避難行動要支援者登録制度）」について知っているかどうかについては、「いいえ」が78.2%、「福祉避難所」については、「どういうものかも、場所も知らない」が71.5%となっており、利用可能な制度の周知に課題があることがうかがえる結果となっています。

○災害が起きた時に子どもに支援してほしいことについては、「避難場所までの避難を支援してほしい」が53.1%で最も多く、次いで「避難時に声かけをしてほしい」が44.1%となっています。

## 10. 差別の解消と権利擁護について

○障害者差別解消法については、「言葉も内容も知らない」が50.3%で最も多くなっています。前回調査（51.2%）と比べても、周知があまり進んでいないことが示されています。

○身近で、障害のある人が家族や施設の職員などから虐待を受けたことを見たり聞いたりしたことが

あるかについては、「自分の子どもが虐待を受けたり、虐待のような扱いを受けたことがある」が4.5%、「障害のある方が虐待を受けているところや虐待のような場面を見たことがある」が6.7%、「障害のある方が虐待を受けていることを聞いたことがある」が10.6%となっています。

## 11. 保健・医療のことについて

○子どもの現在の通院状況（リハビリを含む）については、「年に数回」が42.5%で最も多く、次いで「通院していない」が26.3%となっています。

○医療を受ける上で困っていることについては、「特にない」が34.6%で最も多く、次いで「専門的な治療をする病院が近くにない」が27.4%、「通院（病院までの移動）が困難である」が23.5%となっています。

○医療的ケア（服薬や通院を除く）の必要については、6.7%が何らかのケアが必要だと回答しており、「経管栄養（胃ろう、中心静脈栄養など）」が3.9%、「その他」が3.4%となっています。医療的ケアが必要な頻度については、何らかのケアが必要とした12人のうち11人が「ほぼ常時」と回答しています。

## 12. 福祉サービスについて

○福祉サービスについては、「利用している」が67.6%、「利用していない」が31.3%となっています。福祉サービスを利用している人が現在利用している福祉サービスについては、「放課後等デイサービス」が62.8%で最も多く、次いで「相談支援」が58.7%となっています。

○今後利用したい福祉サービスについては、全体では「放課後等デイサービス」が50.8%で最も多く、次いで「相談支援」が38.0%となっています。

## 13. 泉佐野市の障害児施策について

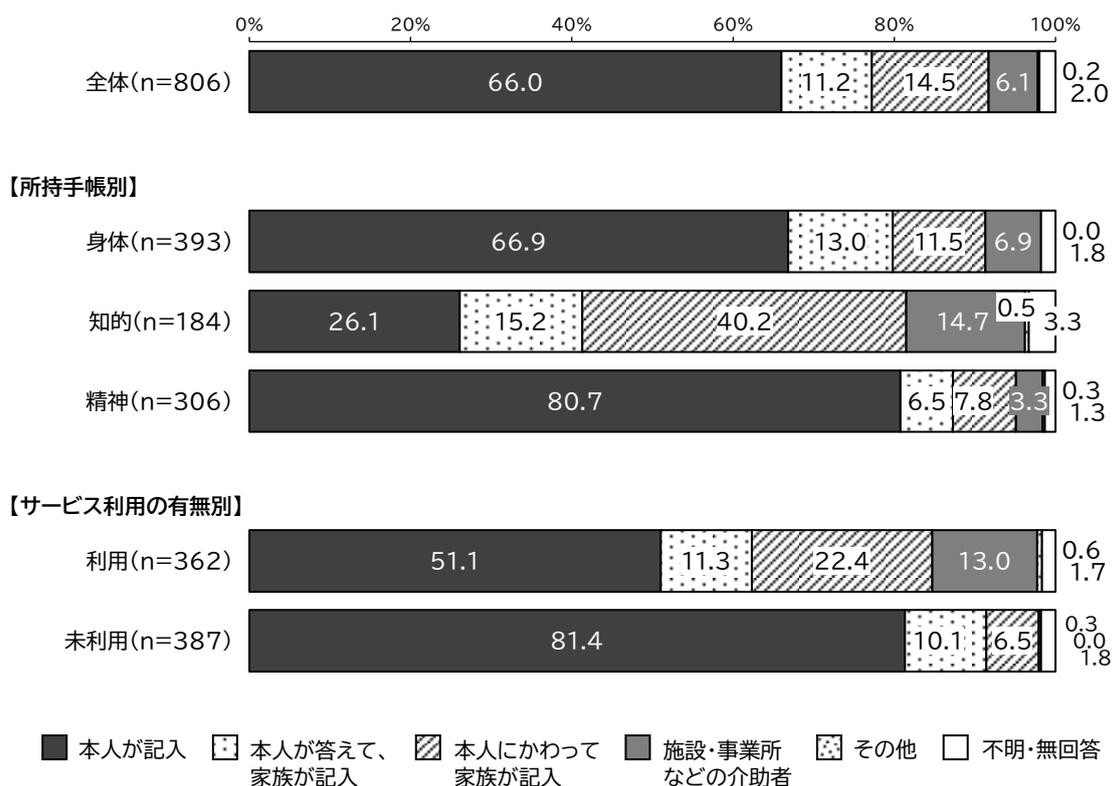
○現在の泉佐野市の障害児施策の満足度については、「安心して出産や育児ができる母子保健・医療サービス」を除くすべての項目で、不満という回答（「不満」と「やや不満」の合計）が満足という回答（「満足」と「やや満足」の合計）を上回っています。重要度については、「重要」は「障害の特性に応じた保育所・幼稚園・認定こども園での保育内容、小・中学校での教育内容」で74.3%と最も多く、次いで「防災・防犯対策の充実（災害時の適切な情報提供・避難誘導・避難所などの体制整備）」が64.2%となっています。

### Ⅲ 調査結果〔18歳以上対象〕

#### 1. あなたのことについて

##### 問1 記入者(1つに○)

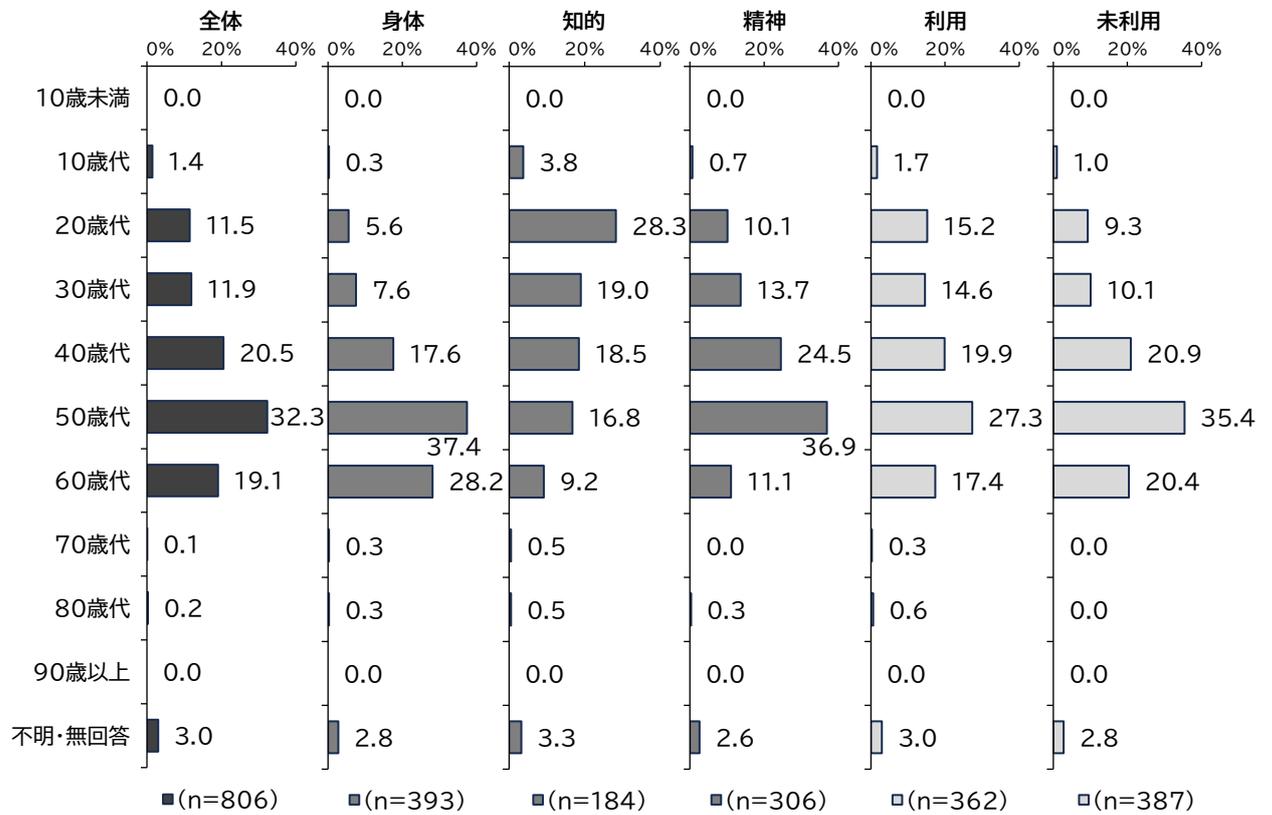
記入者についてみると、全体では「本人が記入」が66.0%と最も多く、次いで「本人にかわって家族が記入」が14.5%となっています。「本人が記入」と「本人が答えて、家族が記入」の合計で本人が回答している割合は77.2%となっています。



## 問2 年齢(数字を記入)

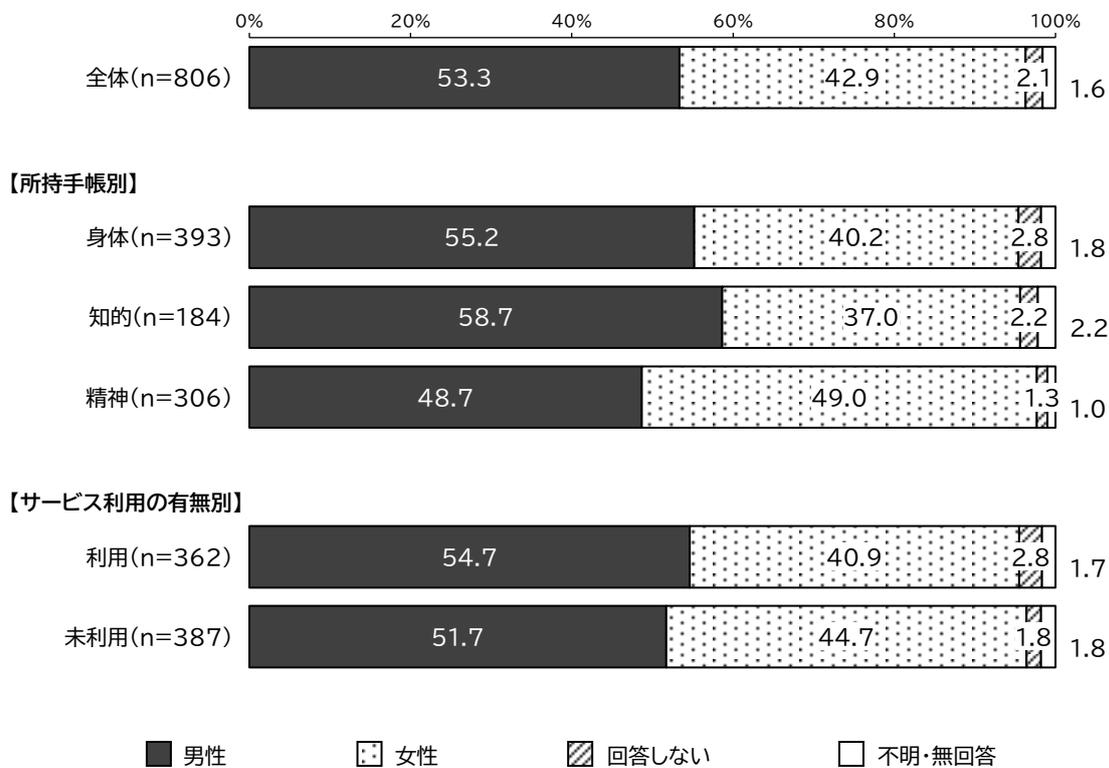
回答者の年齢は、全体では「50歳代」が32.3%と最も多く、次いで「40歳代」が20.5%となっています。

所持手帳別にみると、身体、精神では「50歳代」、知的では「20歳代」が最も多くなっています。



問3 性別(1つに○)

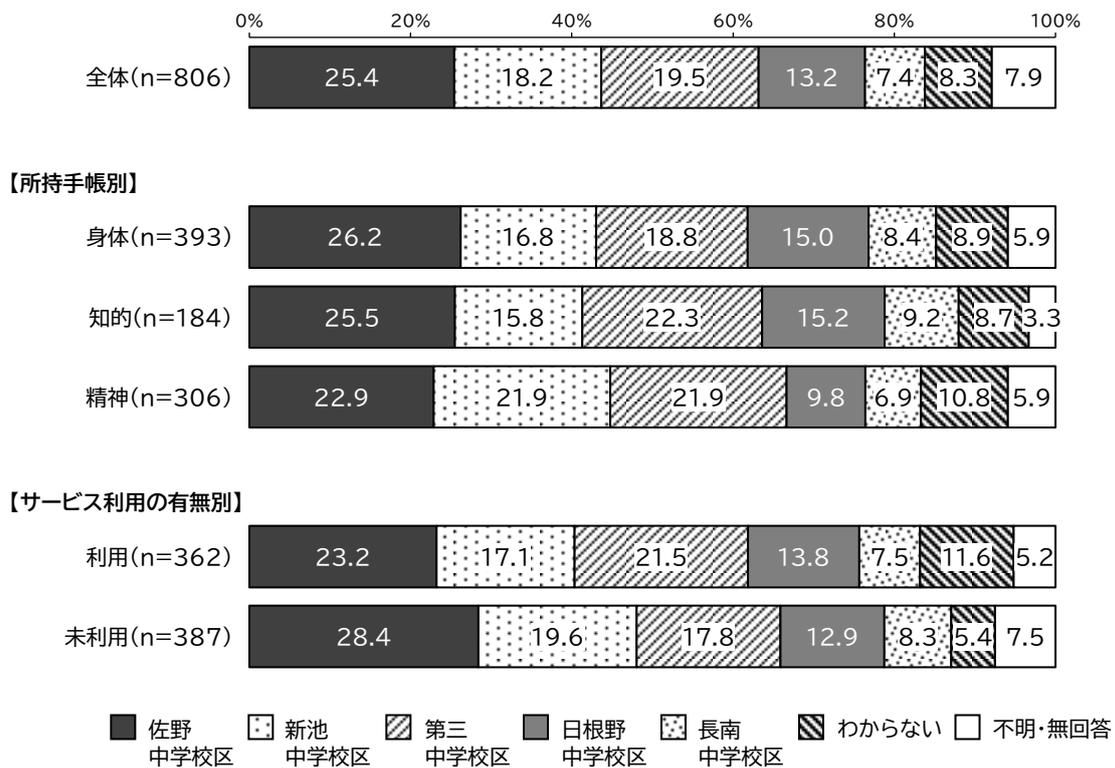
性別についてみると、全体では「男性」が53.3%、「女性」が42.9%となっています。  
所持手帳別にみると、身体、知的では「男性」が多く、精神では男女がほぼ同数となっています。



問4 あなたは泉佐野市内のどの中学校区にお住まいですか。校区がわからない場合は町名をお書きください。(1つに〇)

居住する中学校区についてみると、全体では「佐野中学校区」が 25.4%と最も多く、次いで「第三中学校区」が 19.5%となっています。

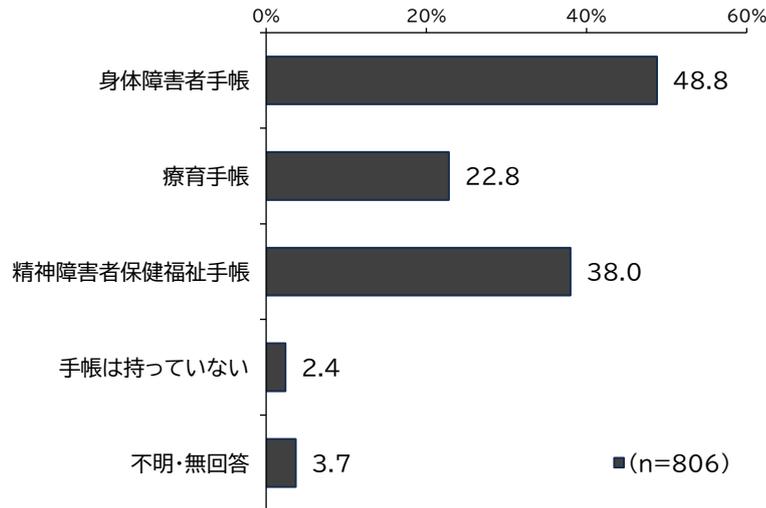
所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「佐野中学校区」が最も多くなっています。



問5 お持ちの障害者手帳は、次のどれですか。左欄の該当する手帳に○をつけ、右欄の内容の該当する項目に○をつけてください。

障害者手帳の種類についてみると、全体では「身体障害者手帳」が48.8%と最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が38.0%となっています。

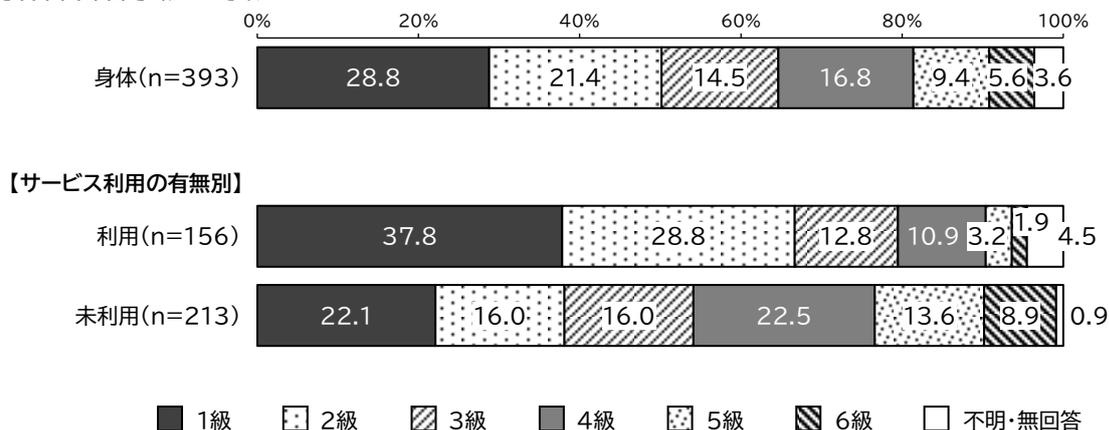
■手帳等の種類



身体障害者手帳の等級についてみると、全体では「1級」が28.8%と最も多く、次いで「2級」が21.4%となっています。

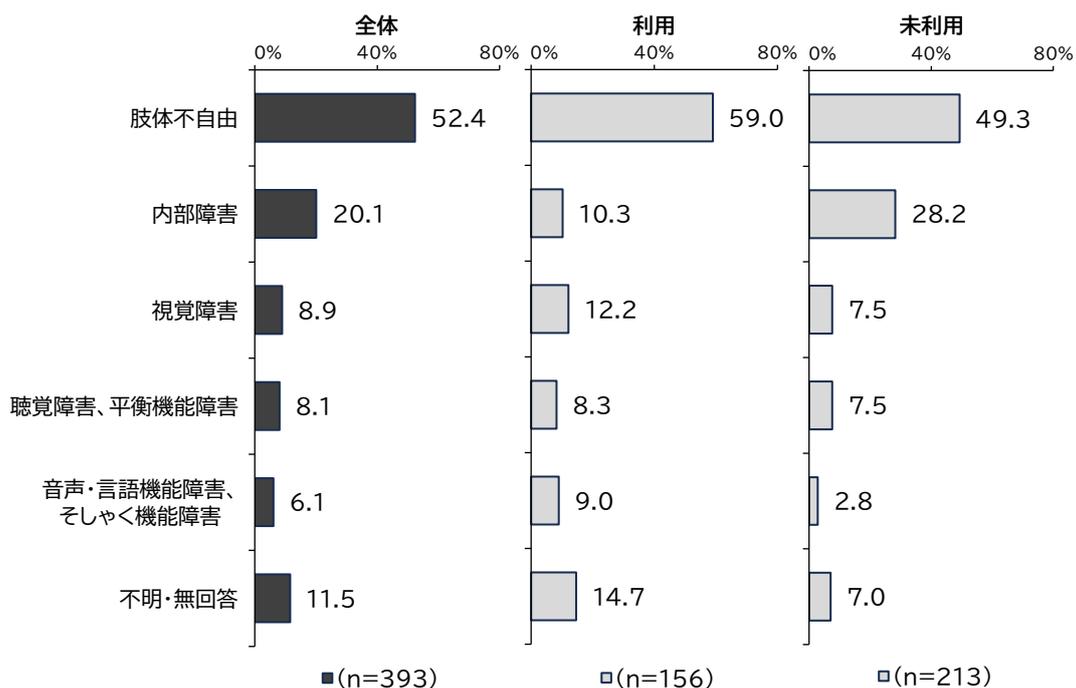
サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「1級」が37.8%と最も多く、次いで「2級」が28.8%、サービス未利用者では「4級」が22.5%と最も多く、次いで「1級」が22.1%となっています。

### ■身体障害者手帳の等級



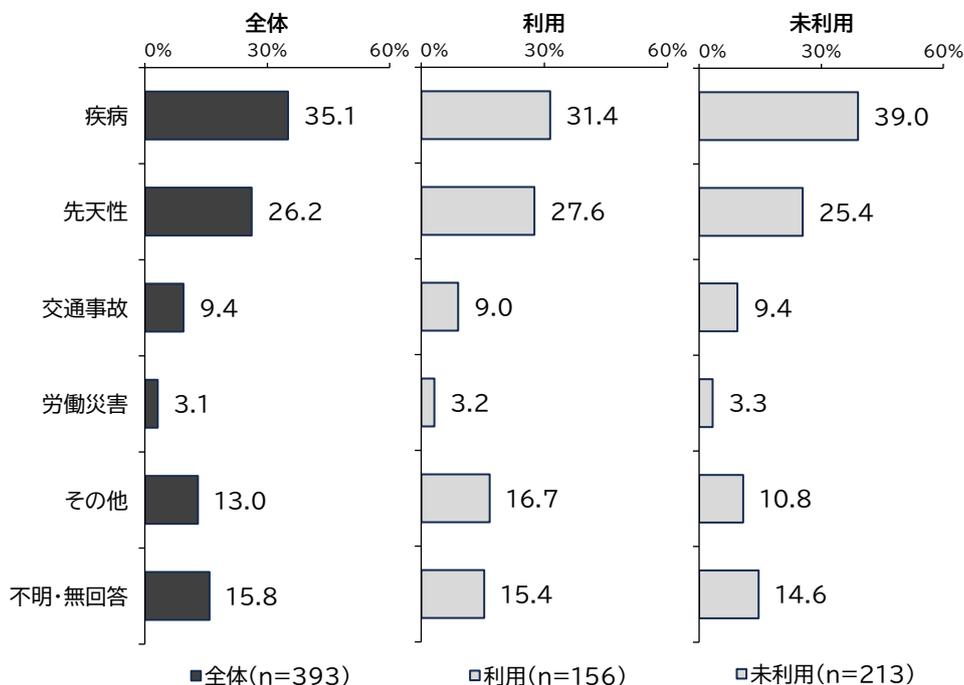
身体障害の種類についてみると、全体では「肢体不自由」が52.4%と最も多く、次いで「内部障害」が20.1%となっています。

### ■身体障害の種類



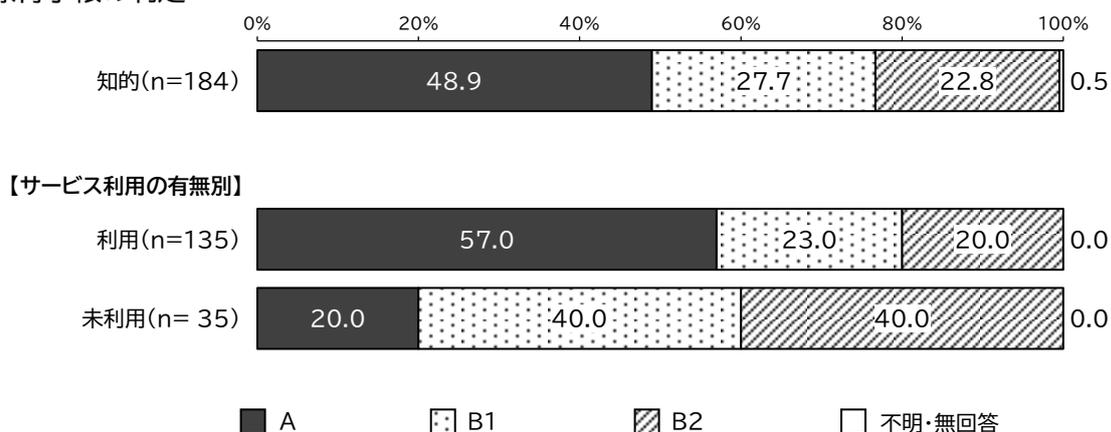
身体障害の原因についてみると、全体では「疾病」が35.1%と最も多く、次いで「先天性」が26.2%、「その他」が13.0%となっています。

■身体障害の原因



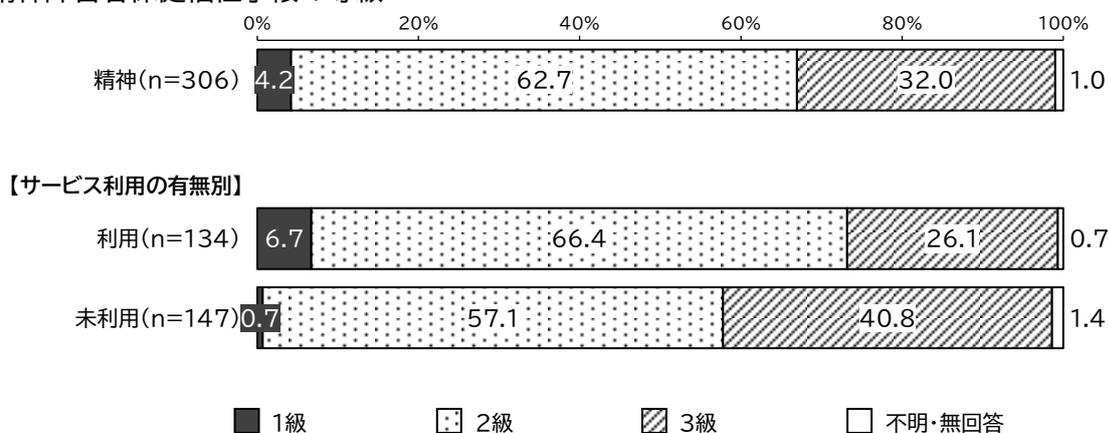
療育手帳の判定についてみると、全体では「A」が48.9%と最も多く、次いで「B1」が27.7%となっています。

■療育手帳の判定



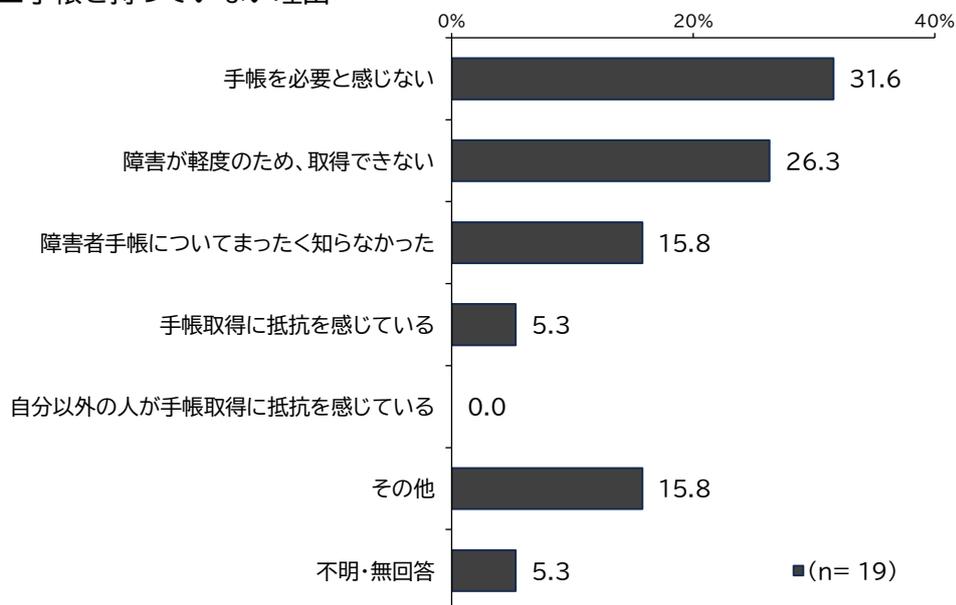
精神障害者保健福祉手帳の等級についてみると、全体では「2級」が62.7%と最も多く、次いで「3級」が32.0%となっています。

■精神障害者保健福祉手帳の等級



手帳を持っていない理由についてみると、「手帳を必要と感じない」が31.6%と最も多く、次いで「障害が軽度のため、取得できない」が26.3%となっています。

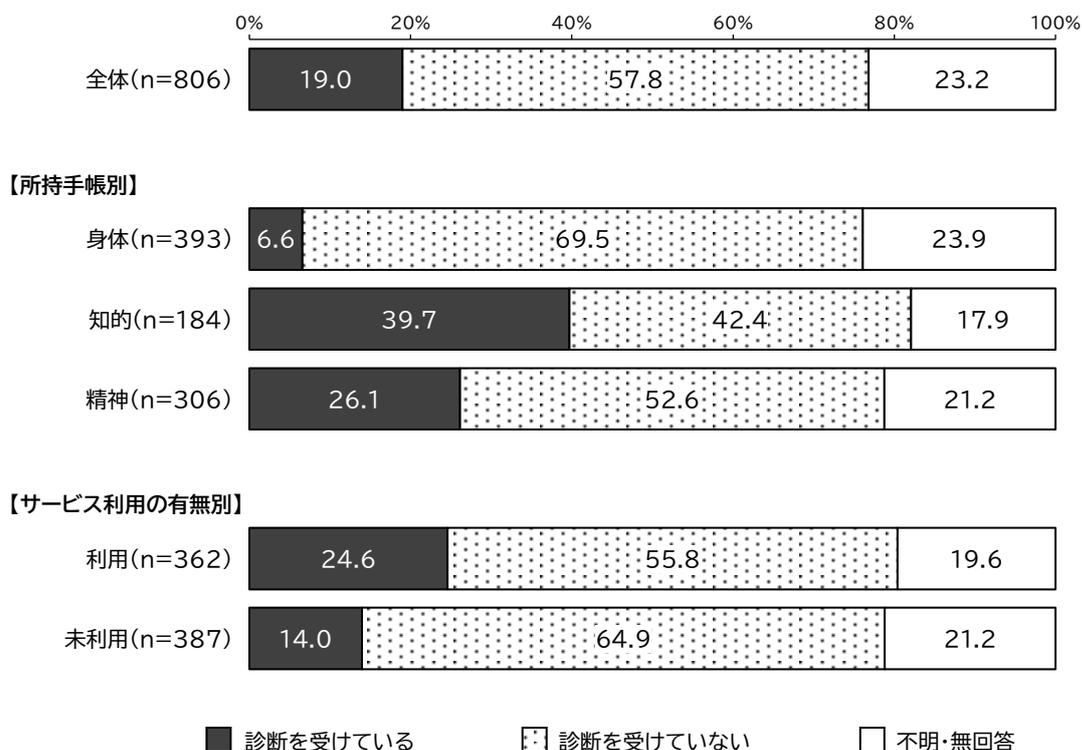
■手帳を持っていない理由



**問6 発達障害の診断を受けていますか。診断を受けている場合は、右欄で診断名もお答えください。**

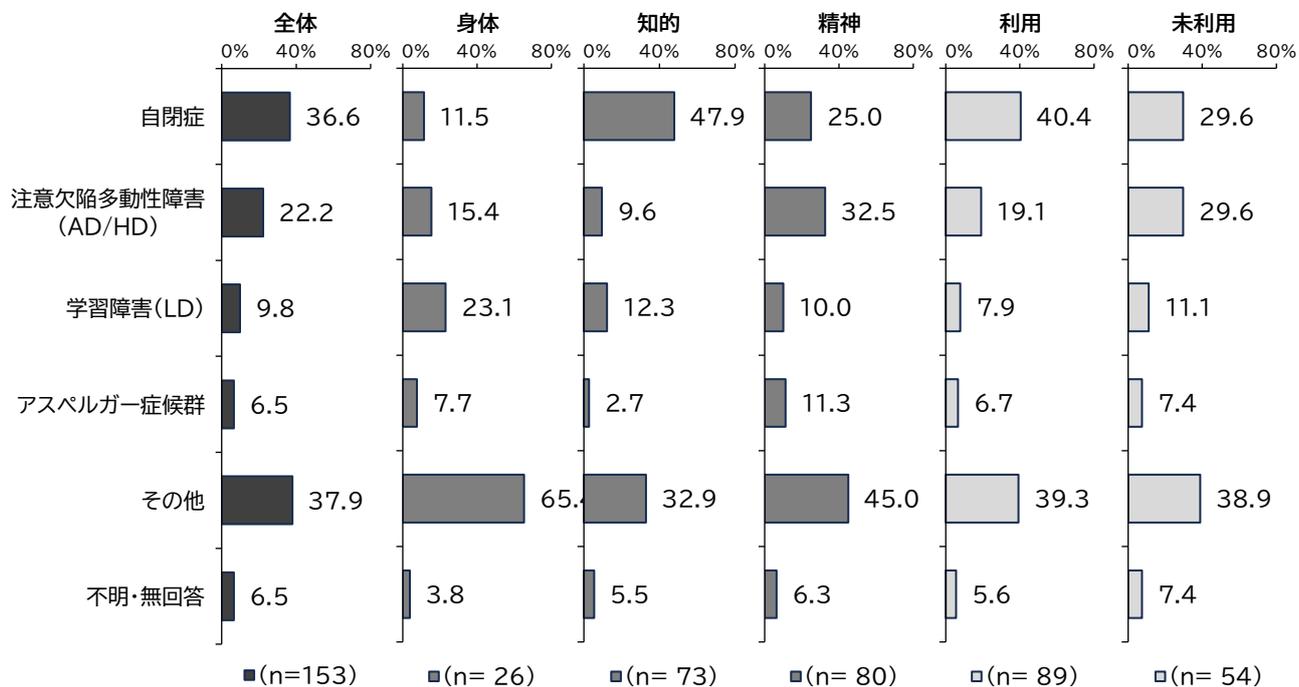
発達障害の診断を受けているかについてみると、全体では「診断を受けている」が19.0%、「診断を受けていない」が57.8%となっています。

所持手帳別にみると、知的、精神で「診断を受けている」がそれぞれ39.7%、26.1%と多くなっています。



診断を受けている人の診断名についてみると、全体では「その他」が37.9%と最も多く、次いで「自閉症」が36.6%となっています。

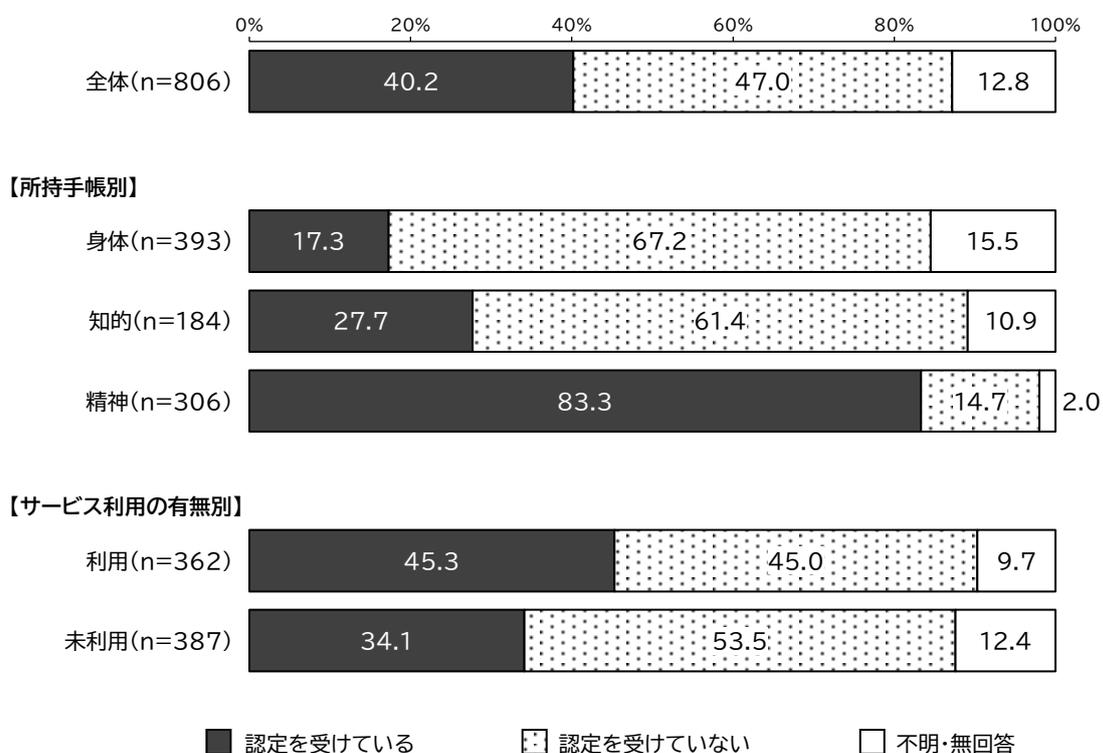
■診断名



問7 自立支援医療(精神通院)の認定を受けていますか。(1つに○)

自立支援医療(精神通院)の認定を受けているかについてみると、全体では「認定を受けている」が40.2%、「認定を受けていない」が47.0%となっています。

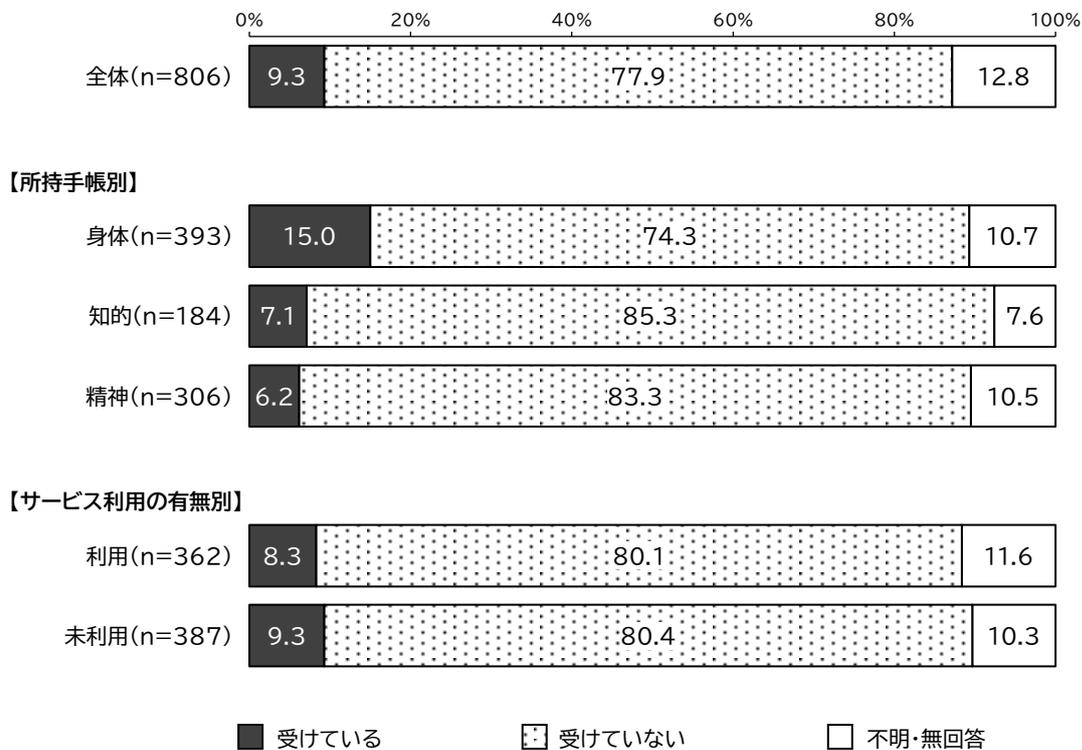
所持手帳別にみると、精神では「認定を受けている」が83.3%と多くなっています。



### 問8 あなたは、難病(特定疾患)の認定を受けていますか。(1つに○)

難病(特定疾患)の認定を受けているかについてみると、全体では「受けている」が9.3%、「受けていない」が77.9%となっています。

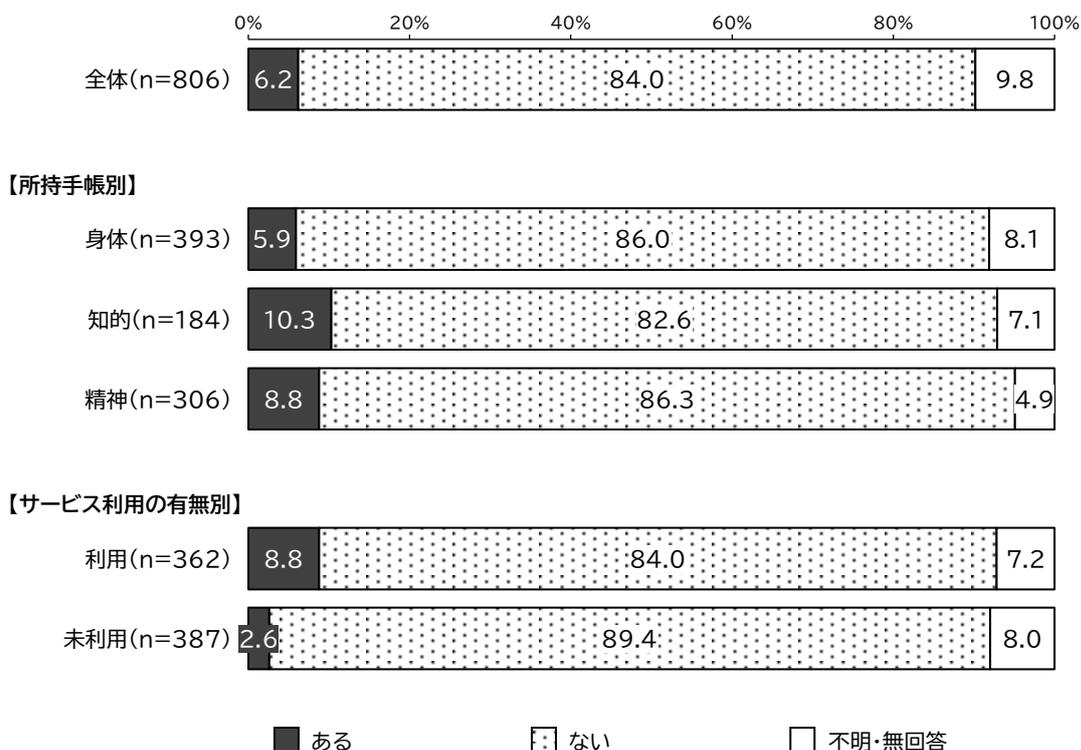
所持手帳別にみると、身体では「受けている」が15.0%と多くなっています。



問9 あなたは、強度行動障害があると言われたことはありますか。(1つに○)

強度行動障害があると言われたことがあるかについてみると、全体では「ある」が6.2%、「ない」が84.0%となっています。

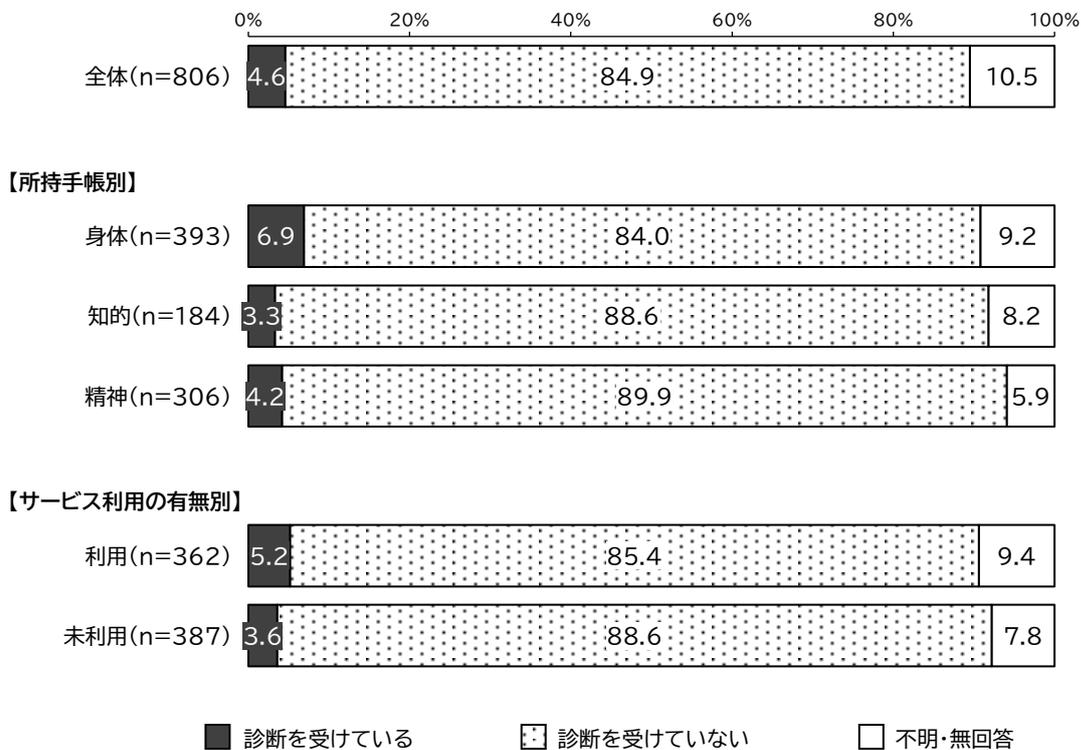
所持手帳別にみると、知的、精神では「受けている」がそれぞれ10.3%、8.8%と比較的多くなっています。



**問 10 あなたは、高次脳機能障害として診断を受けていますか。(1つに○)**

高次脳機能障害の診断を受けているかについてみると、全体では「診断を受けている」が4.6%、「診断を受けていない」が84.9%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「診断を受けている」が6.9%とやや多くなっています。



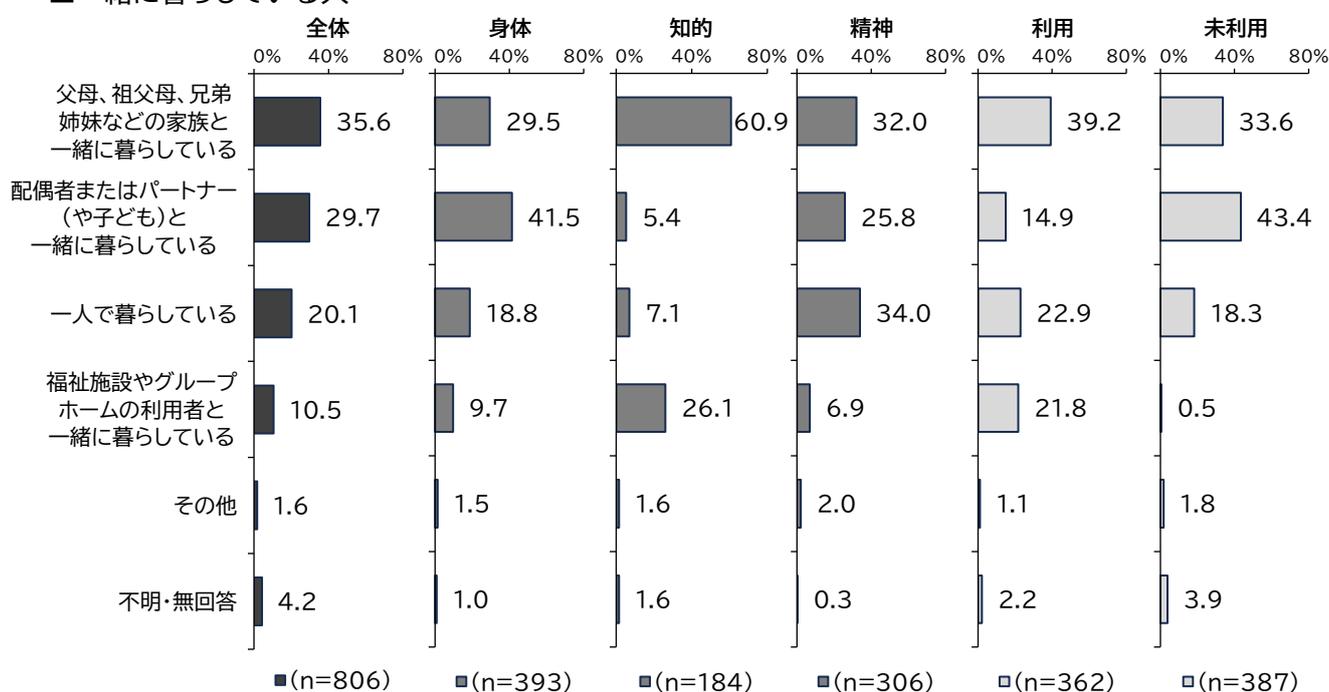
問 11 あなたは現在どのように暮らしていますか。

現在、一緒に暮らしている人についてみると、全体では「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている」が35.6%と最も多く、次いで「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしている」が29.7%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしている」が41.5%、知的では「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている」が60.9%、精神では「一人で暮らしている」が34.0%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている」が39.2%、サービス未利用者では「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしている」が43.4%と最も多くなっています。

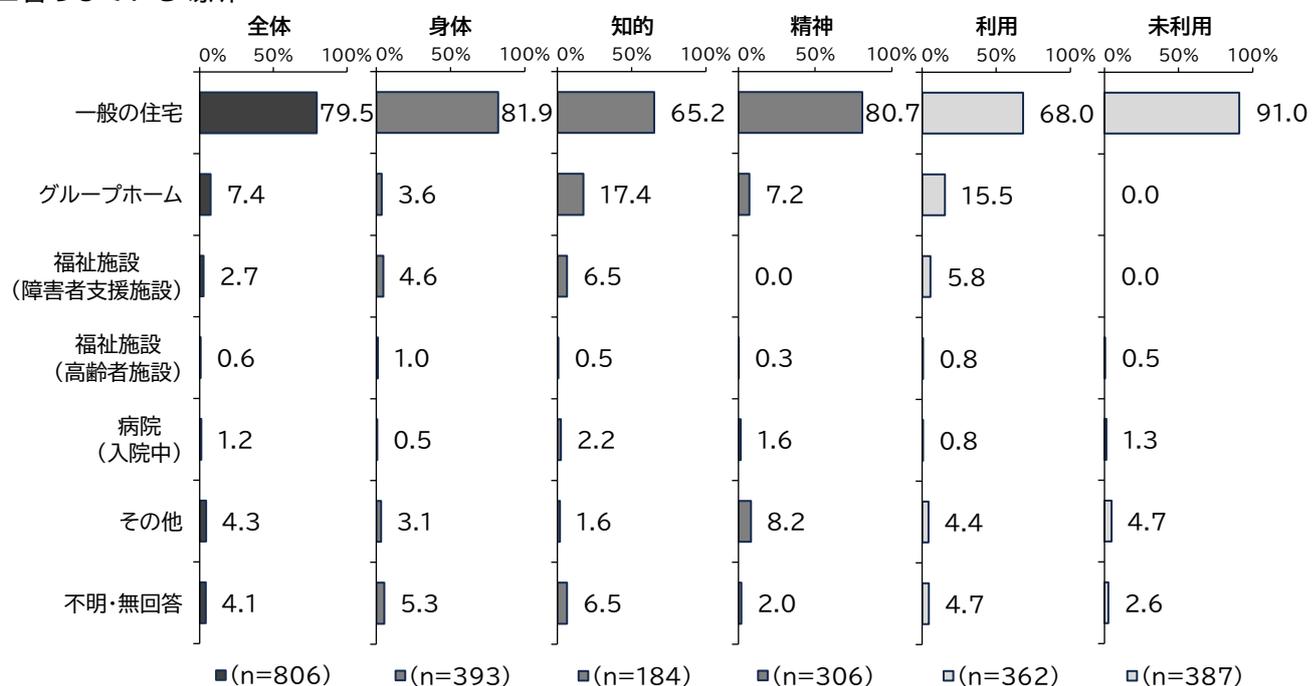
■一緒に暮らしている人



現在、一暮らししている場所についてみると、全体では「一般の住宅」が79.5%と最も多く、次いで「グループホーム」が7.4%となっています。

所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「一般の住宅」が最も多くなっています。

■暮らししている場所

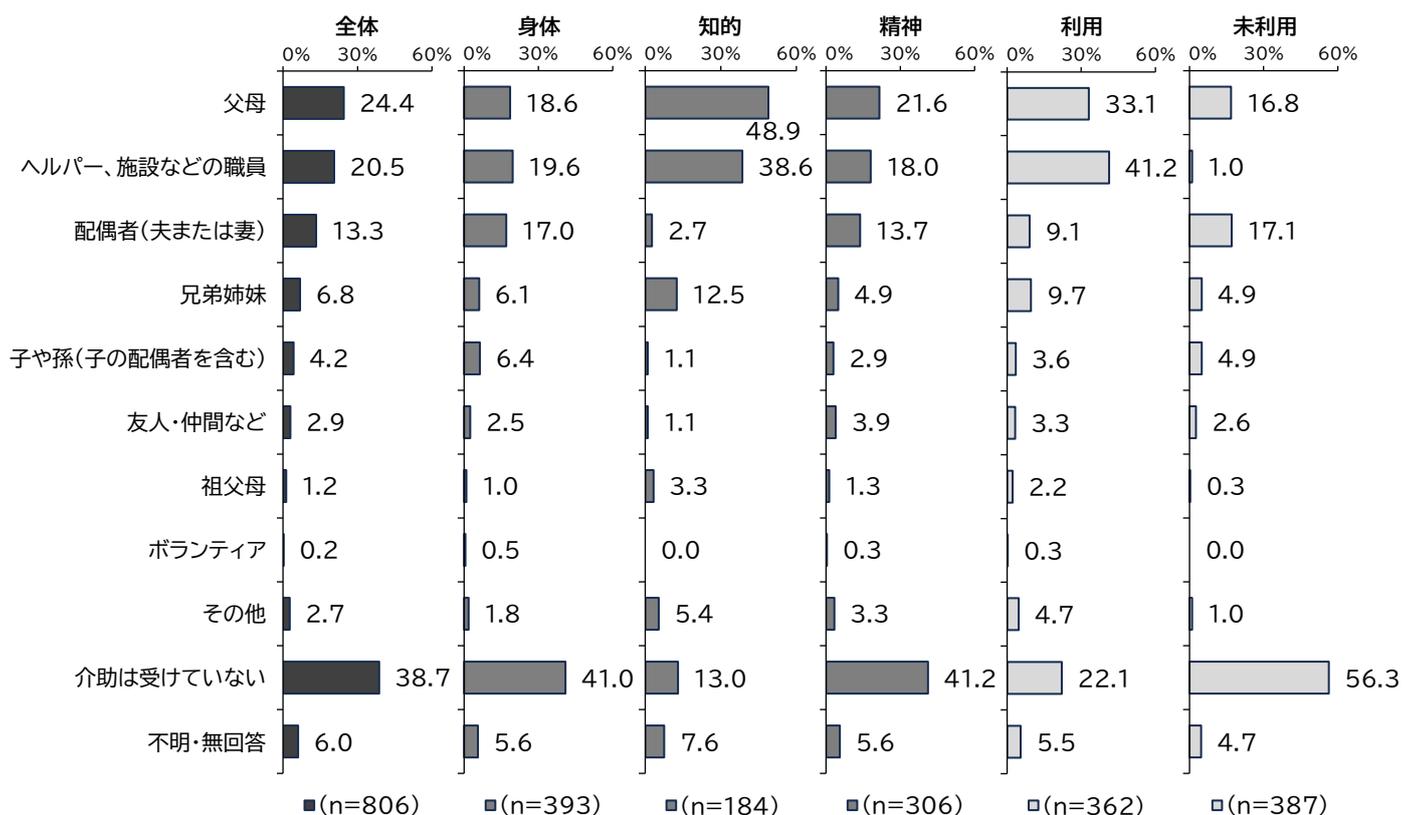


問12 ふだん、あなたを介助しているのは、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

ふだん、介助している人についてみると、全体では「介助は受けていない」が38.7%と最も多く、次いで「父母」が24.4%となっています。

所持手帳別にみると、身体、精神では「介助は受けていない」がそれぞれ41.0%、41.2%、知的では「父母」が48.9%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「ヘルパー、施設などの職員」が41.2%、サービス未利用者では「介助は受けていない」が56.3%と最も多くなっています。

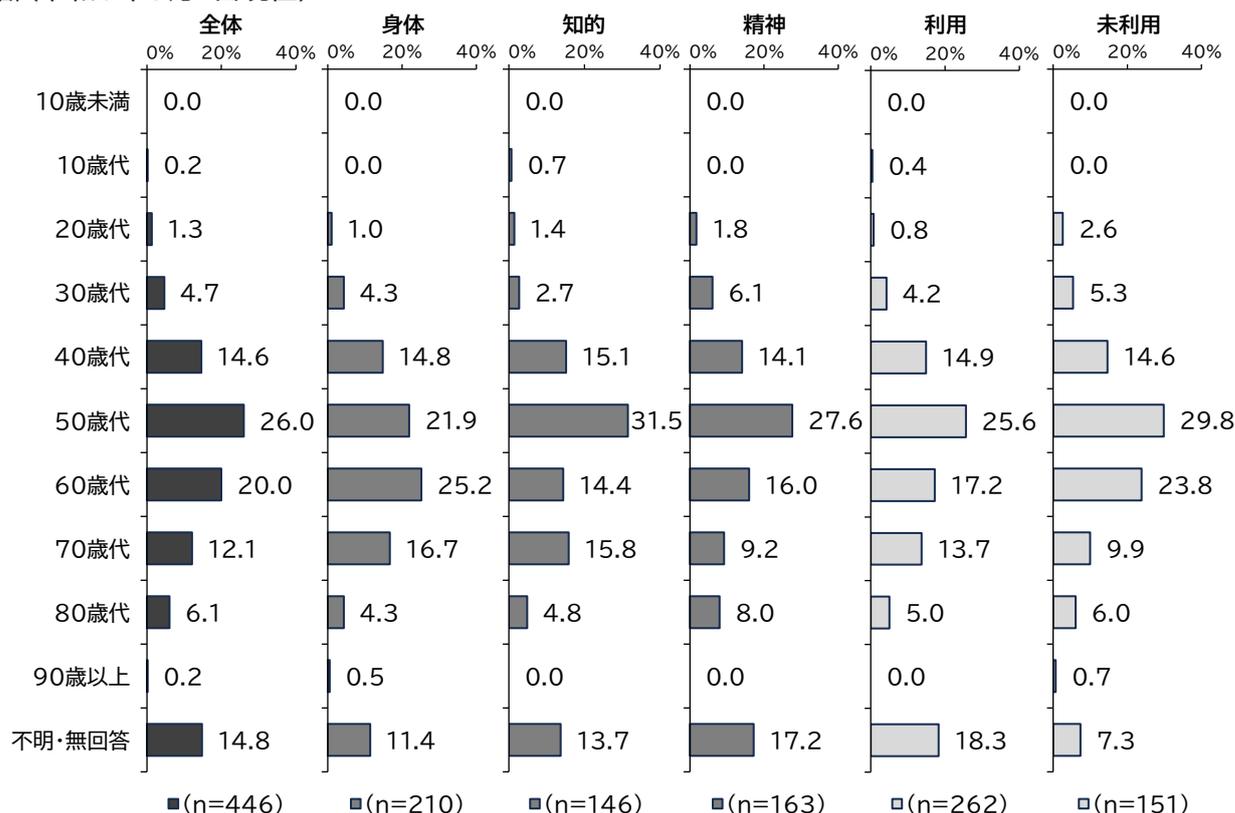


**問 13 問 12 で「1」～「9」と回答した方にお聞きします。ふだん、主にあなたを介助している方の年齢、性別、健康状態をお答えください。**

ふだん、介助している人の年齢についてみると、全体では「50 歳代」が 26.0%と最も多く、次いで「60 歳代」が 20.0%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「60 歳代」が 25.2%、知的、精神では「50 歳代」がそれぞれ 31.5%、27.6%と最も多くなっています。

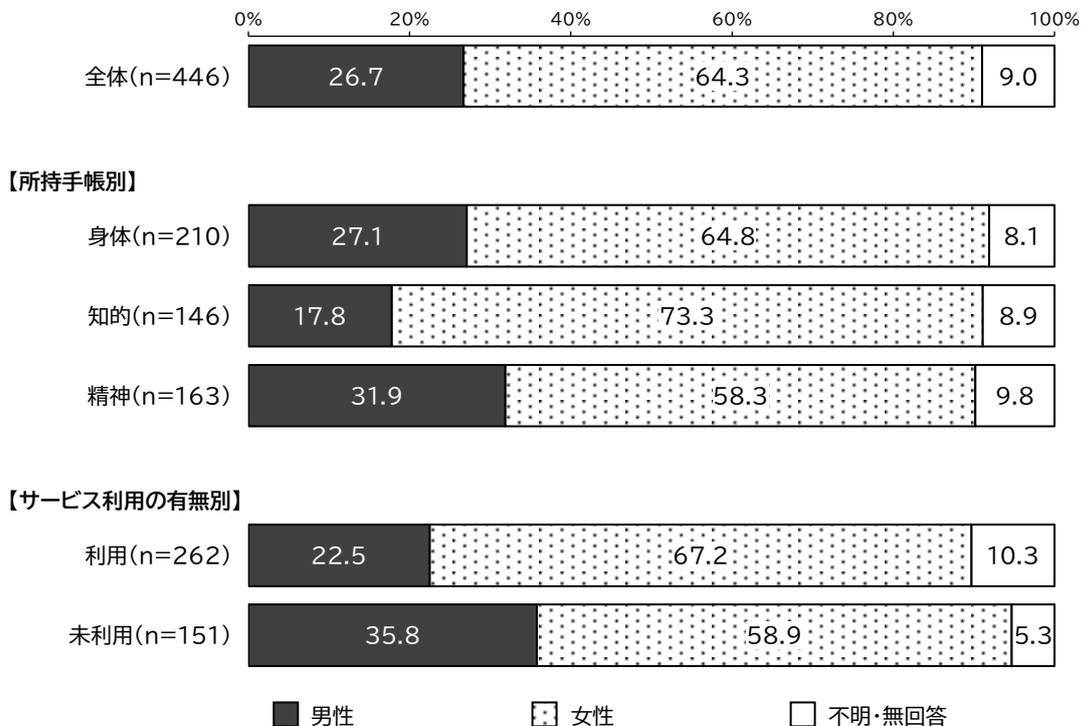
**■年齢(令和5年8月1日現在)**



ふだん、介助している人の性別についてみると、全体では「男性」が26.7%、「女性」が64.3%となっています。

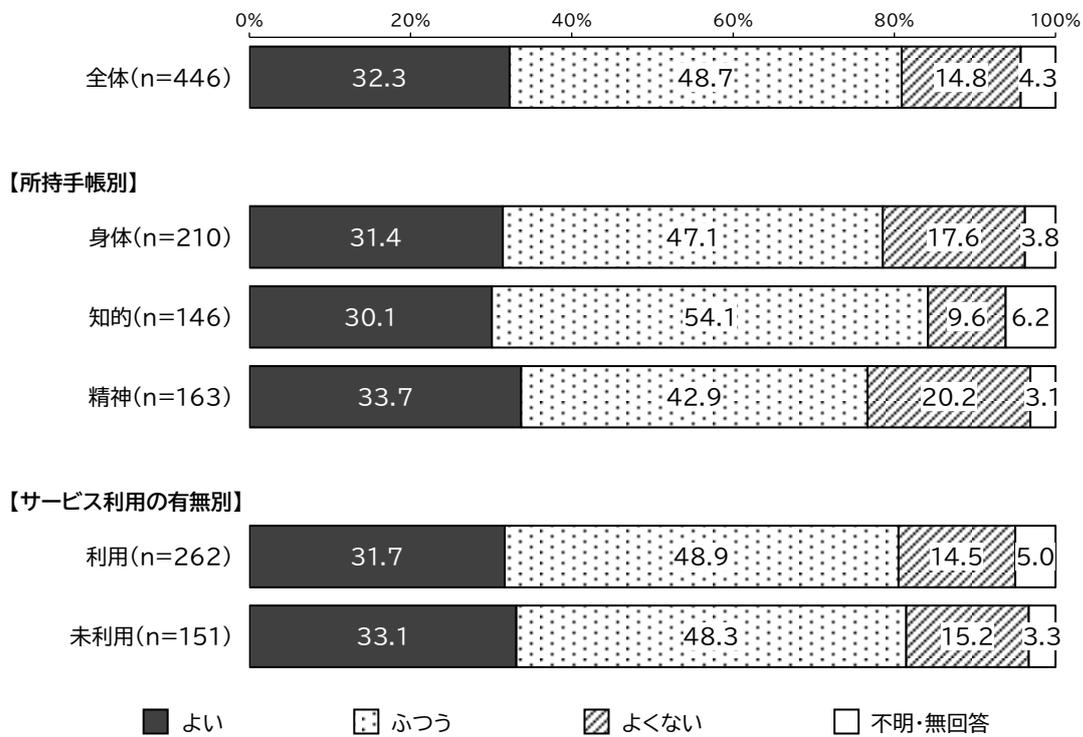
所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「女性」が多く、特に知的で多くなっています。

■性別



ふだん、介助している人の健康状態についてみると、全体では「ふつう」が48.7%と最も多く、次いで「よい」が32.3%となっています。

■健康状態



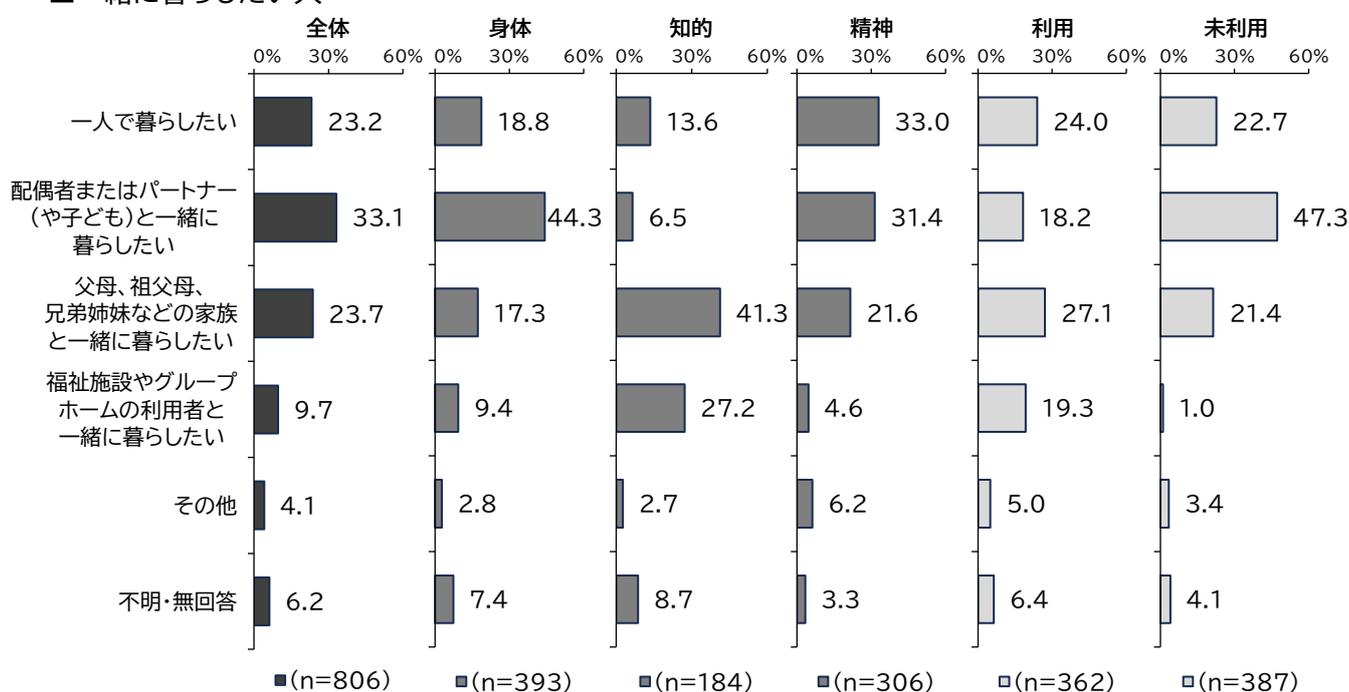
問 14 すべての方にお聞きします。あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。

今後3年以内に一緒に暮らしたい人についてみると、全体では「配偶者またはパートナー(や子ども)と一緒に暮らしたい」が33.1%と最も多く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」(23.7%)と「一人で暮らしたい」(23.2%)がほぼ同じとなっています。

所持手帳別にみると、身体では「配偶者またはパートナー(や子ども)と一緒に暮らしたい」が44.3%、知的では「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」が41.3%、精神では「一人で暮らしたい」が33.0%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」が27.1%、サービス未利用者では「配偶者またはパートナー(や子ども)と一緒に暮らしたい」が47.3%と最も多くなっています。

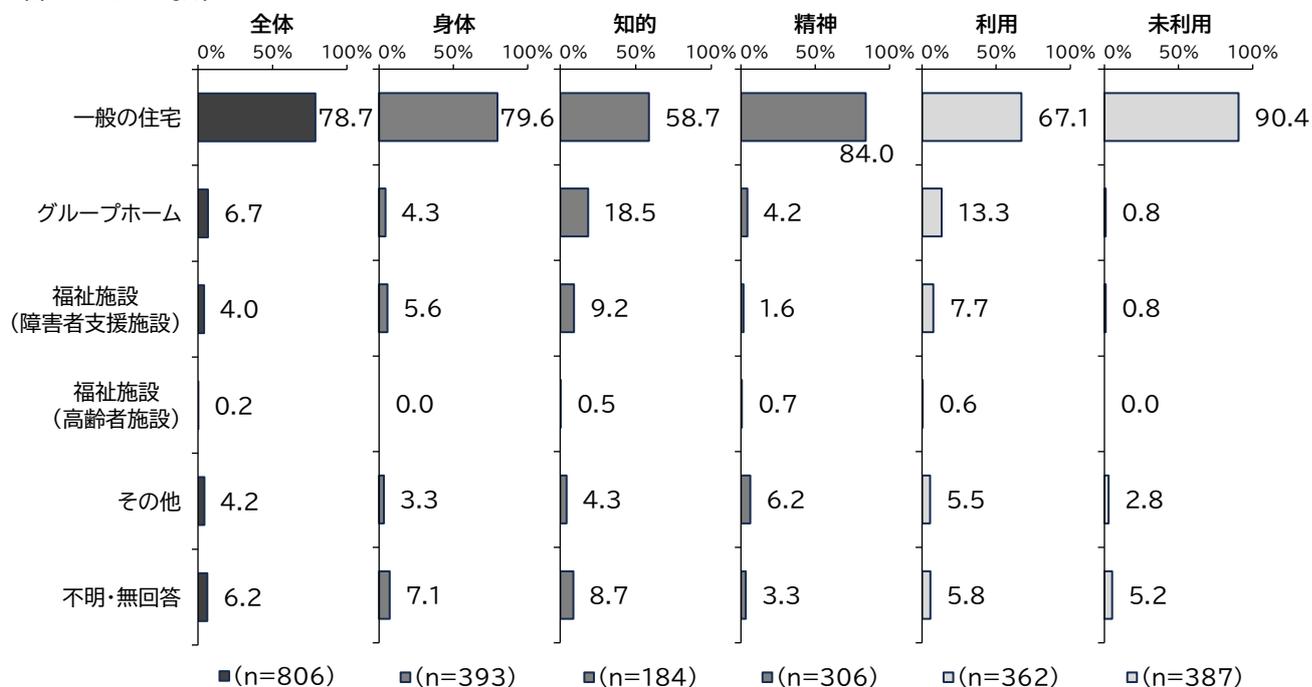
■一緒に暮らしたい人



今後3年以内に暮らしたい場所についてみると、全体では「一般の住宅」が78.7%と最も多く、次いで「グループホーム」が6.7%となっています。

所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「一般の住宅」が最も多くなっています。

### ■暮らしたい場所



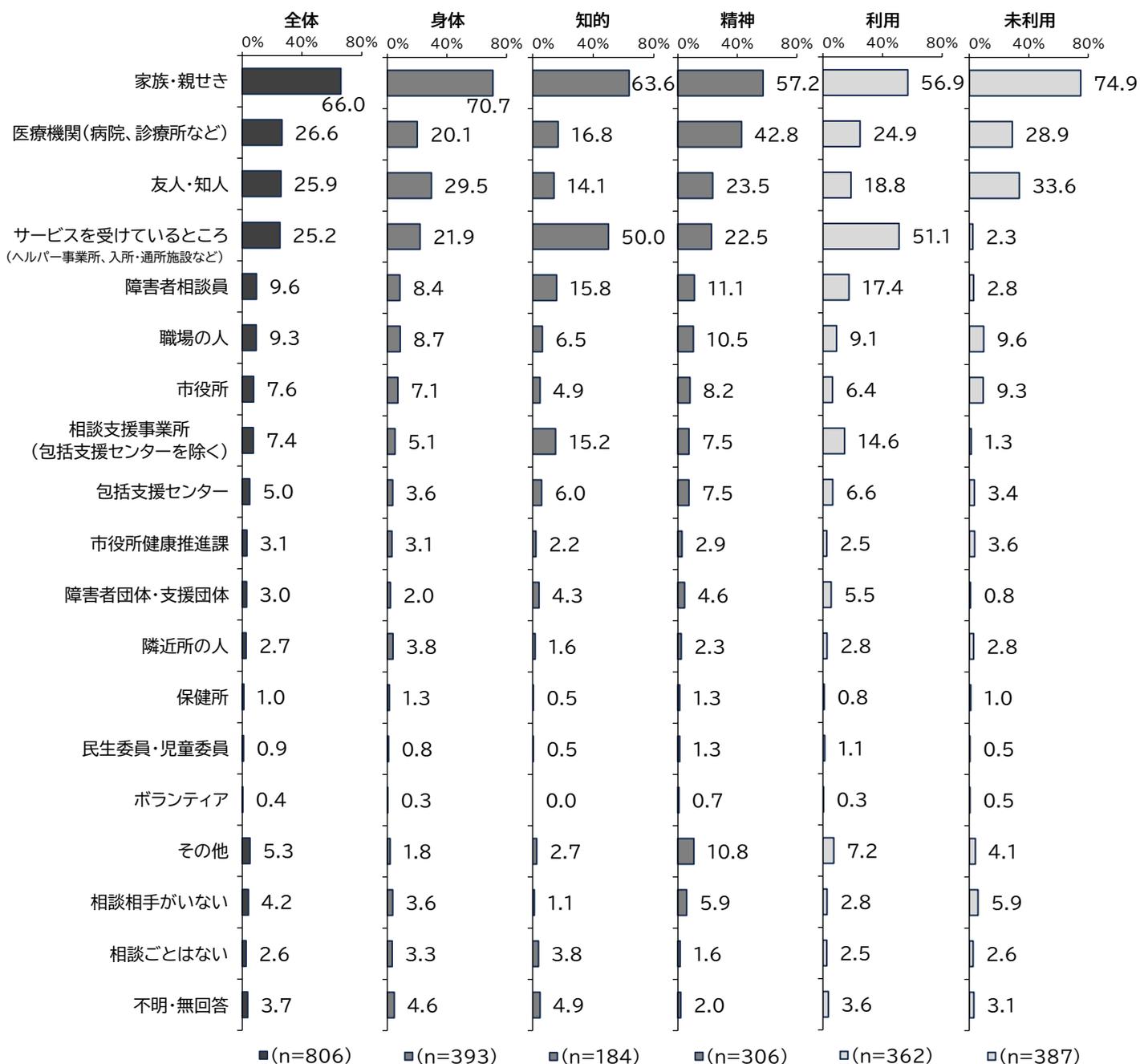
## 2. 生活支援について

問 15 あなたが悩みや困りごとを主に相談する人(場所)は、どなた(どちら)ですか。

(あてはまるものすべてに○)

主に相談する人、機関についてみると、全体では「家族・親せき」が66.0%と最も多く、次いで「医療機関(病院、診療所など)」が26.6%となっています。

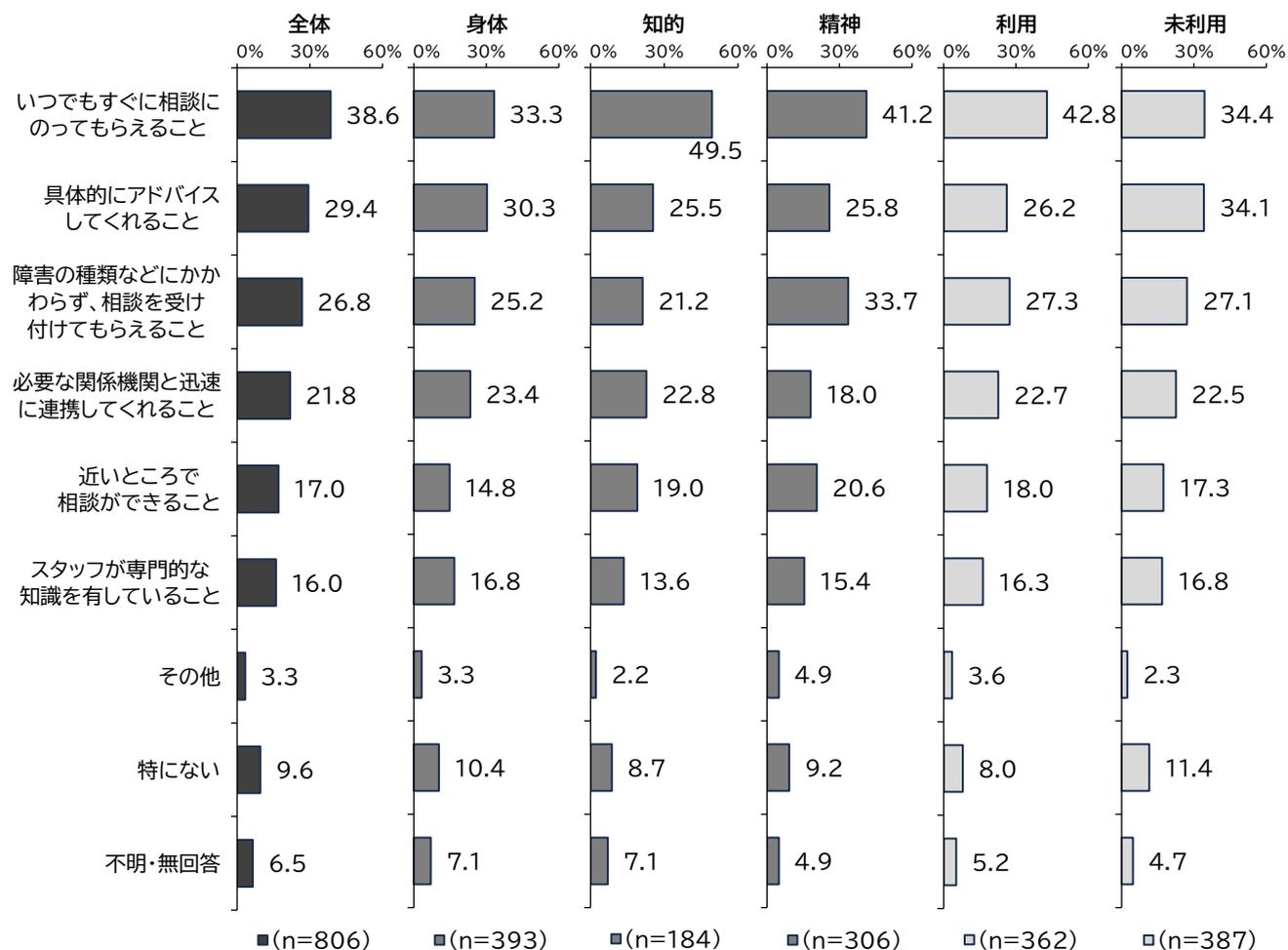
所持手帳別にみると、身体、知的、精神ともに「家族・親せき」が最も多く、次いで身体では「友人・知人」、知的では「サービスを受けているところ(ヘルパー事業所、入所・通所施設など)」、精神では「医療機関(病院・診療機関など)」となっています。



## 問 16 相談する場所に期待することは何ですか。(2つまでに○)

相談する場所に期待することについてみると、全体では「いつでもすぐに相談にのってもらえること」が38.6%と最も多く、次いで「具体的にアドバイスしてくれること」が29.4%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的、精神ともに「いつでもすぐに相談にのってもらえること」が最も多く、次いで身体、知的では「具体的にアドバイスしてくれること」、精神では「障害の種類などにかかわらず、相談を受け付けてもらえること」となっています。

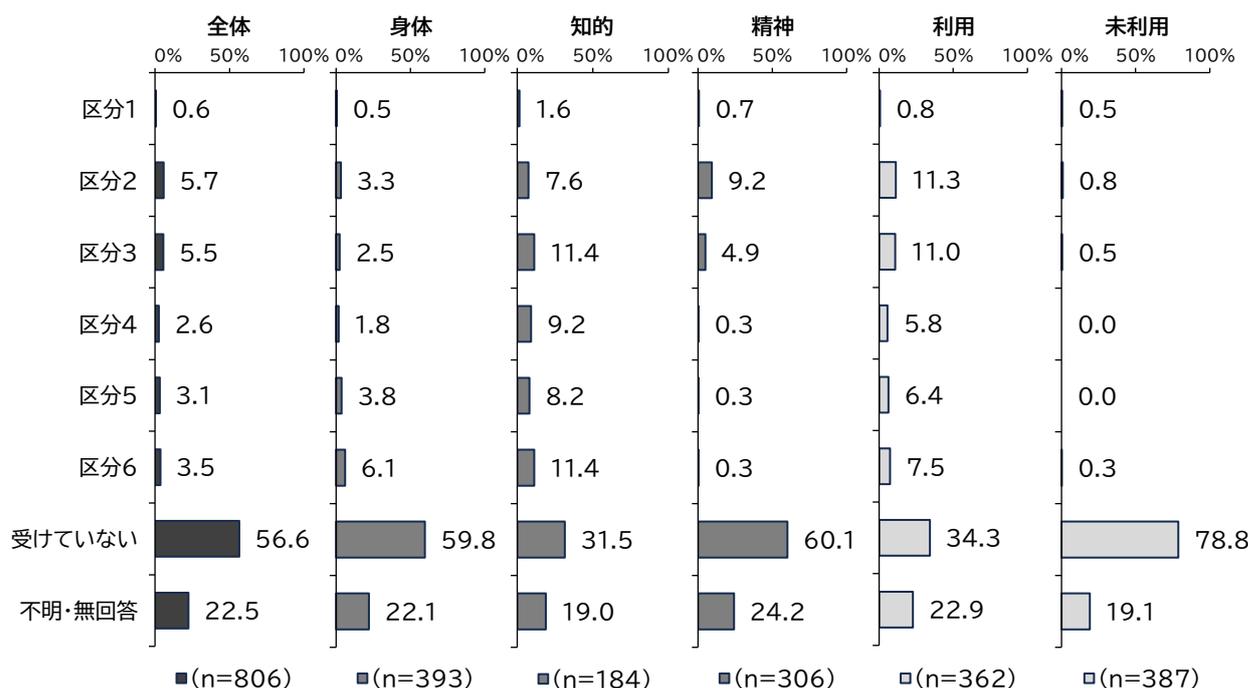


問17 あなたは、障害者総合支援法の障害支援区分認定を受けていますか。受けている場合は、障害支援区分をお答えください。(1つに○)

障害者総合支援法の障害支援区分認定を受けているかについてみると、全体では「受けていない」が56.6%、区分1から区分6のいずれかの認定を受けている人は合計で21.0%となっています。

所持手帳別にみると、いずれかの認定を受けている人は、身体18.0%、知的49.4%、精神15.7%となっています。

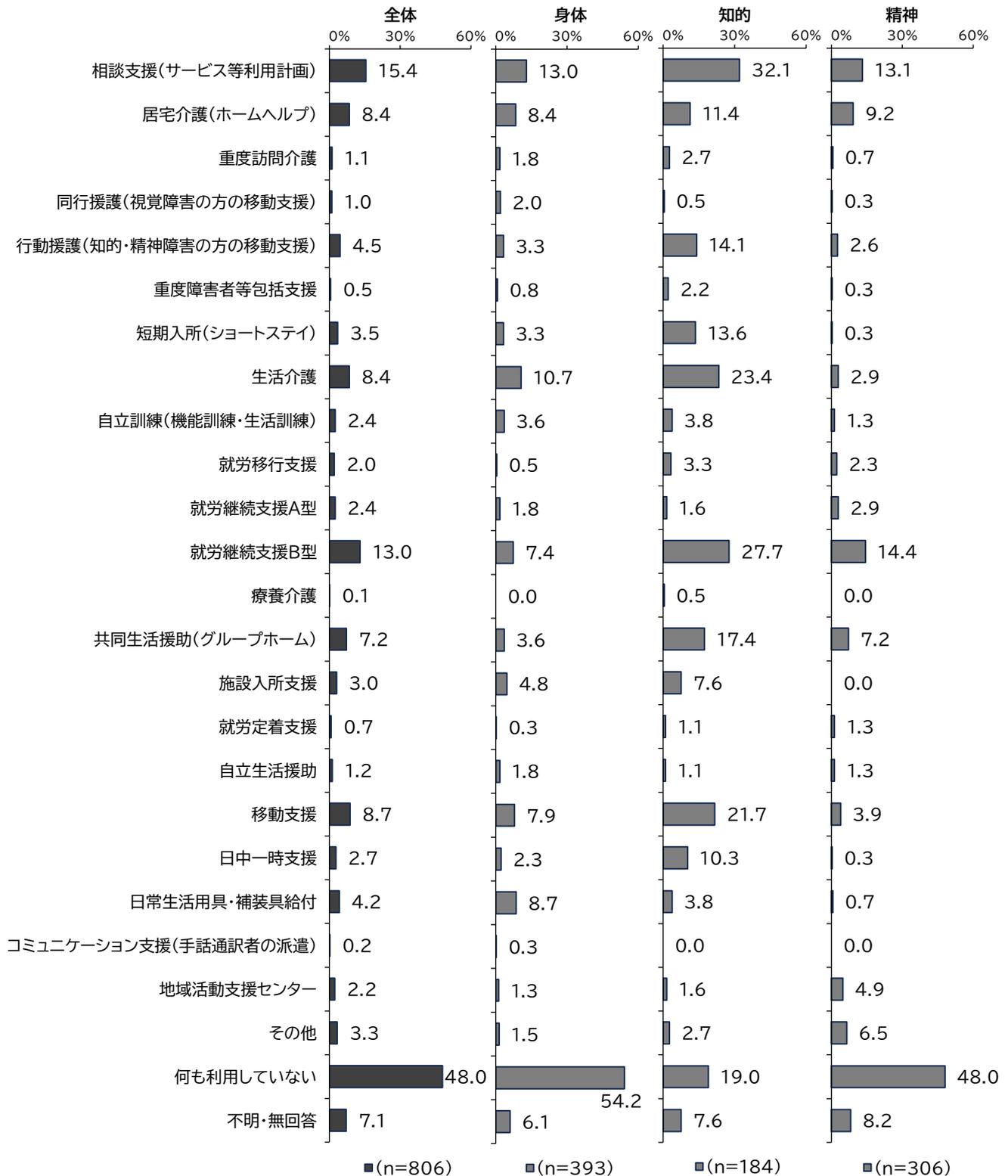
サービス利用の有無でみると、いずれかの認定を受けている人は、サービス利用者42.8%、サービス未利用者2.1%となっています。



問 18 以下のサービスのうち、どのサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

サービス利用についてみると、全体では「何も利用していない」が 48.0%と最も多く、次いで「相談支援（サービス等利用計画）」が 15.4%となっています。

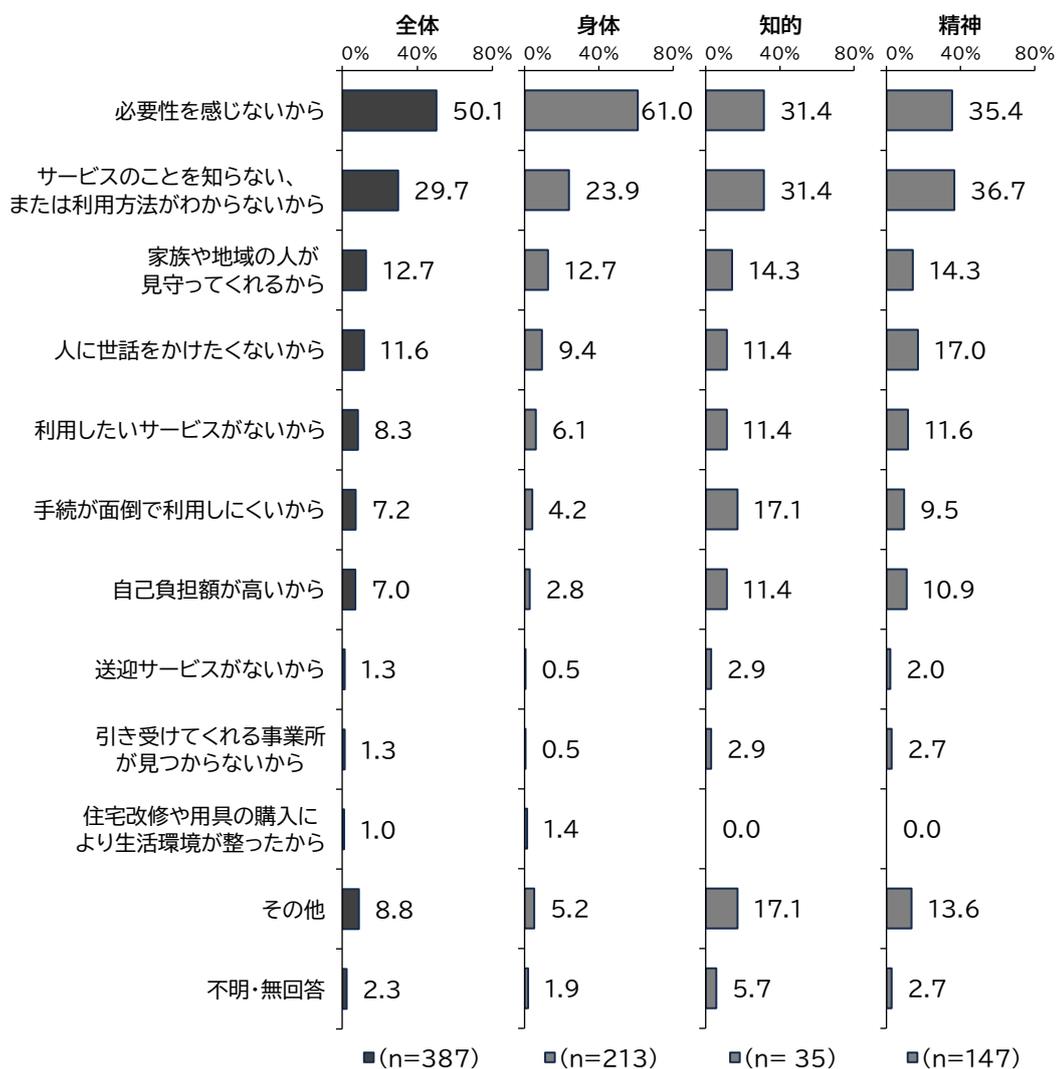
所持手帳別に利用しているサービスを見ると、身体では「相談支援」と「生活介護」、知的、精神では「相談支援」と「就労継続支援 B 型」が多くなっています。



問19 問18で「24. 何も利用していない」と回答した方にお聞きします。サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

サービスを利用していない理由についてみると、全体では「必要性を感じないから」が50.1%で最も高く、次いで「サービスのことを知らない、または利用方法がわからないから」が29.7%となっています。

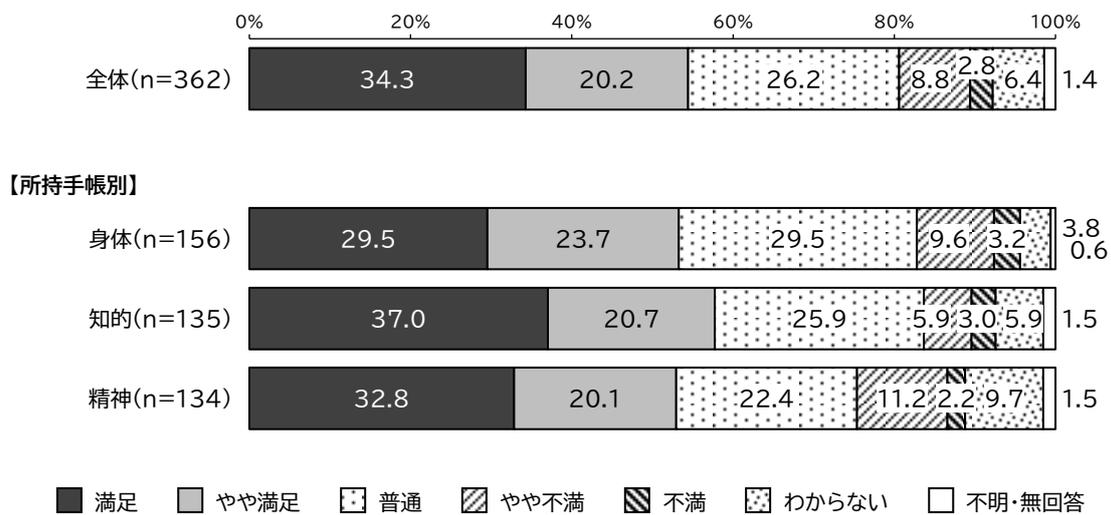
所持手帳別にみると、身体では「必要性を感じないから」が61.0%、知的では「必要性を感じないから」と「サービスのことを知らない、または利用方法がわからないから」がともに31.4%、精神では「サービスのことを知らない、または利用方法がわからないから」が36.7%と最も多くなっています。



問 20 問 18 で「1」～「23」と回答した方にお聞きします。サービスに満足していますか。(1つに○)

サービスに満足しているかについてみると、全体では「満足」が 34.3%と最も多く、次いで「普通」が 26.2%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「満足」と「普通」がともに 29.5%、知的、精神では「満足」がそれぞれ 37.0%、32.8%と最も多くなっています。



問 21 問 20 で「4. やや不満」または「5. 不満」と回答した方にお聞きします。どのような不満がありますか。不満があるサービスについて3つまでお答えください。

(①～③の枠内にあてはまる選択肢の番号を1つずつ記入)

不満のあるサービスについては、「就労継続支援 B 型」が 9 件で最も多く、次いで「相談支援（サービス等利用計画）」が 7 件となっています。

■不満があるサービス(3つまで)

単位:件	全体 (n=42)	身体 (n=20)	知的 (n=12)	精神 (n=18)
相談支援(サービス等利用計画)	7	3	1	4
居宅介護(ホームヘルプ)	4	2	1	4
重度訪問介護	-	-	-	-
同行援護(視覚障害の方の移動支援)	3	1	-	1
行動援護(知的・精神障害の方の移動支援)	3	1	3	1
重度障害者等包括支援	-	-	-	-
短期入所(ショートステイ)	1	-	1	-
生活介護	2	-	1	-
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	1	1	-	-
就労移行支援	3	2	1	1
就労継続支援 A 型	4	4	-	1
就労継続支援 B 型	9	3	2	6
療養介護	-	-	-	-
共同生活援助(グループホーム)	4	2	-	3
施設入所支援	-	-	-	-
就労定着支援	-	-	-	-
自立生活援助	1	1	-	1
移動支援	2	1	2	1
日中一時支援	2	-	2	-
日常生活用具・補装具給付	3	3	-	-
コミュニケーション支援(手話通訳者の派遣)	1	1	-	-
地域活動支援センター	1	1	-	-
その他	-	-	-	-
不明・無回答	7	4	3	3

不満の内容については、「希望する曜日や時間帯に利用できない」「担当者の対応がよくない」「担当者の知識や経験が不足している」がともに14件で最も多く、次いで「希望する利用時間（日数）が利用できない」が8件となっています。

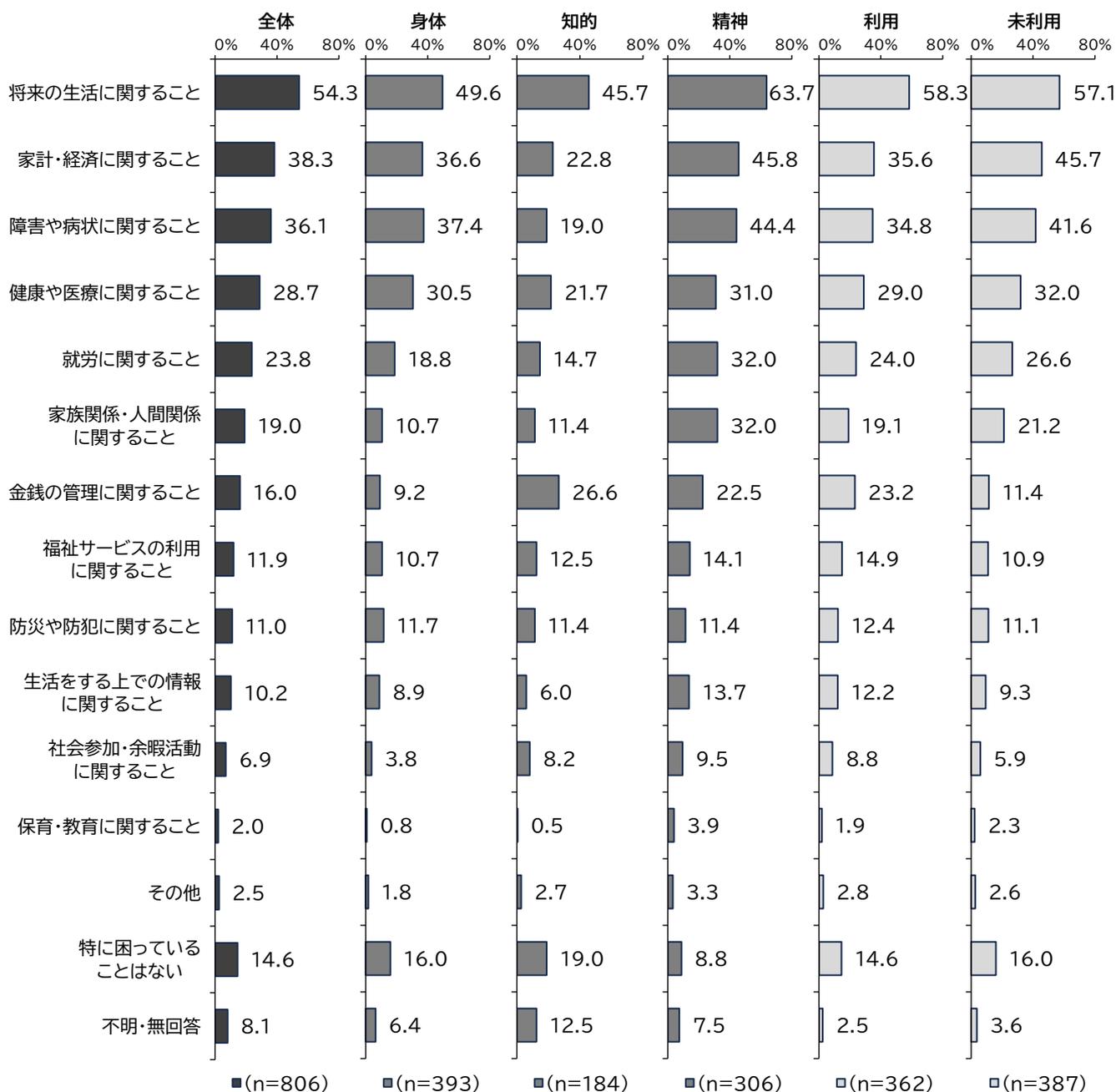
■不満の内容(4つまで)

利用件数	不満がある件数	希望する利用時間(日数)が利用できない	希望する曜日や時間帯に利用できない	サービスの内容が最初の説明と違う	身近なところでサービスを利用できない	送迎サービスがないので利用が限定される	自己負担額が高い	急な変更に対応してもらえない	担当者の対応がよくない	担当者がよく変わる	担当者の知識や経験が不足している	建物や設備が障害に配慮されていない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	プライバシーの配慮に欠けている	ほかの利用者との相性を配慮してもらえない	サービスに関する情報が少ない	手続に時間がかかる	その他	
単位:件																			
合計		51	8	14	4	5	7	7	2	14	3	14	1	6	6	3	7	5	7
相談支援 (サービス等利用計画)	124	7	-	1	1	1	-	1	-	1	1	1	-	2	-	1	1	2	1
居宅介護 (ホームヘルプ)	68	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
重度訪問介護	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
同行援護(視覚障害 の方の移動支援)	8	3	2	2	-	1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
行動援護(知的・精神 障害の方の移動支援)	36	3	2	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重度障害者等包括支援	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
短期入所 (ショートステイ)	28	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活介護	68	2	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	19	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
就労移行支援	16	3	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	1	1	1	1	-	-
就労継続支援 A 型	19	4	-	1	-	2	2	1	-	2	-	3	-	-	-	-	2	-	1
就労継続支援 B 型	105	9	1	3	1	-	-	1	1	3	1	3	-	1	1	-	-	1	3
療養介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
共同生活援助 (グループホーム)	58	4	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	1	2	1	1	-	-	-
施設入所支援	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
就労定着支援	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自立生活援助	10	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-
移動支援	70	2	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日中一時支援	22	2	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日常生活用具・ 補装具給付	34	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	1
コミュニケーション支援 (手話通訳者の派遣)	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1
地域活動支援センター	18	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
その他	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 22 すべての方にお聞きします。あなたが現在の生活で困っていることや不安に思っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在の生活で困っていることや不安に思っていることについてみると、全体では「将来の生活に関すること」が54.3%と最も多く、次いで「家計・経済に関すること」が38.3%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的、精神ともに「将来の生活に関すること」が最も多く、次いで身体では「障害や病状に関すること」、知的では「金銭の管理に関すること」、精神では「家計・経済に関すること」となっています。

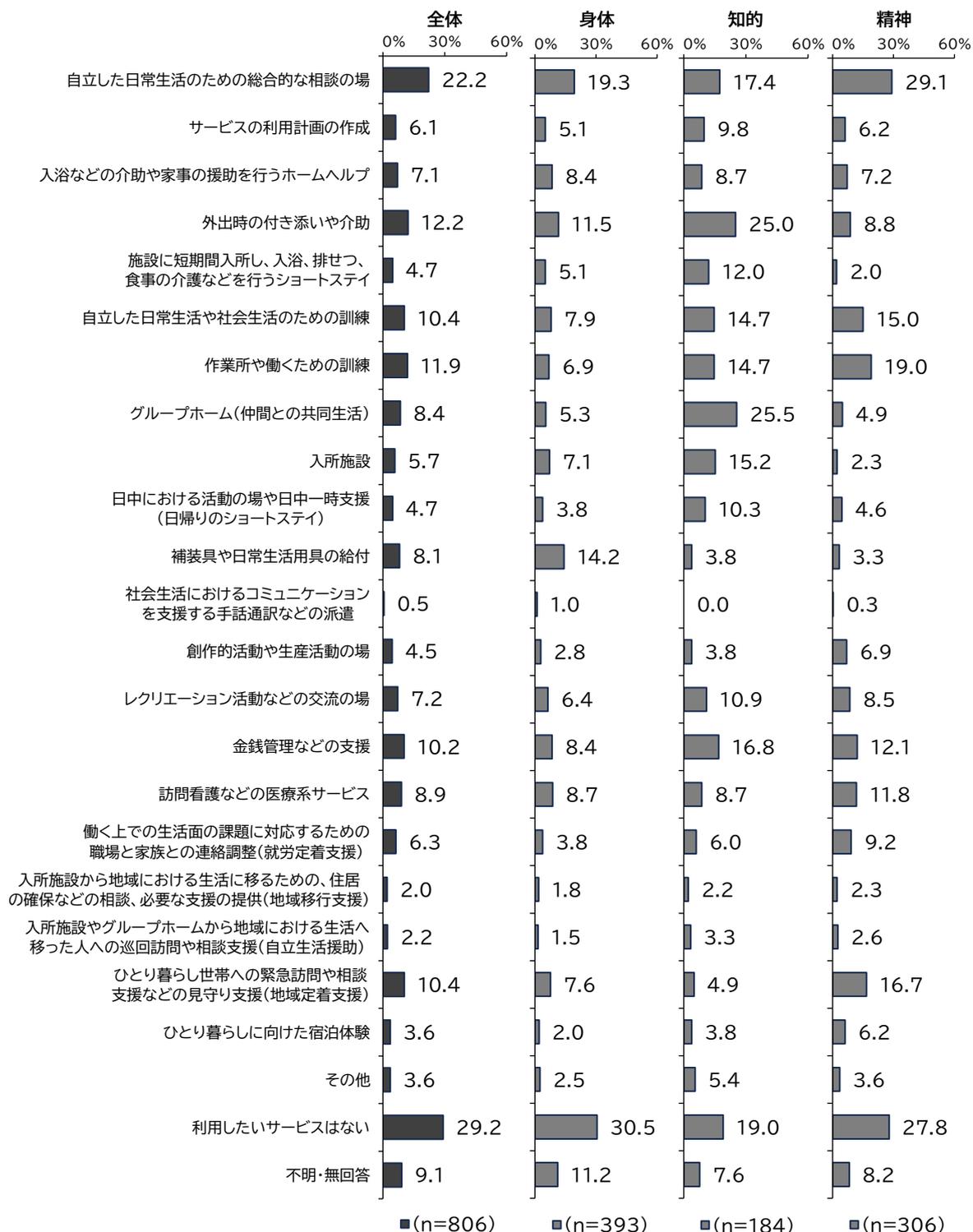


問 23 次のサービスのうち、あなたが今後利用したいと思うものはどれですか。

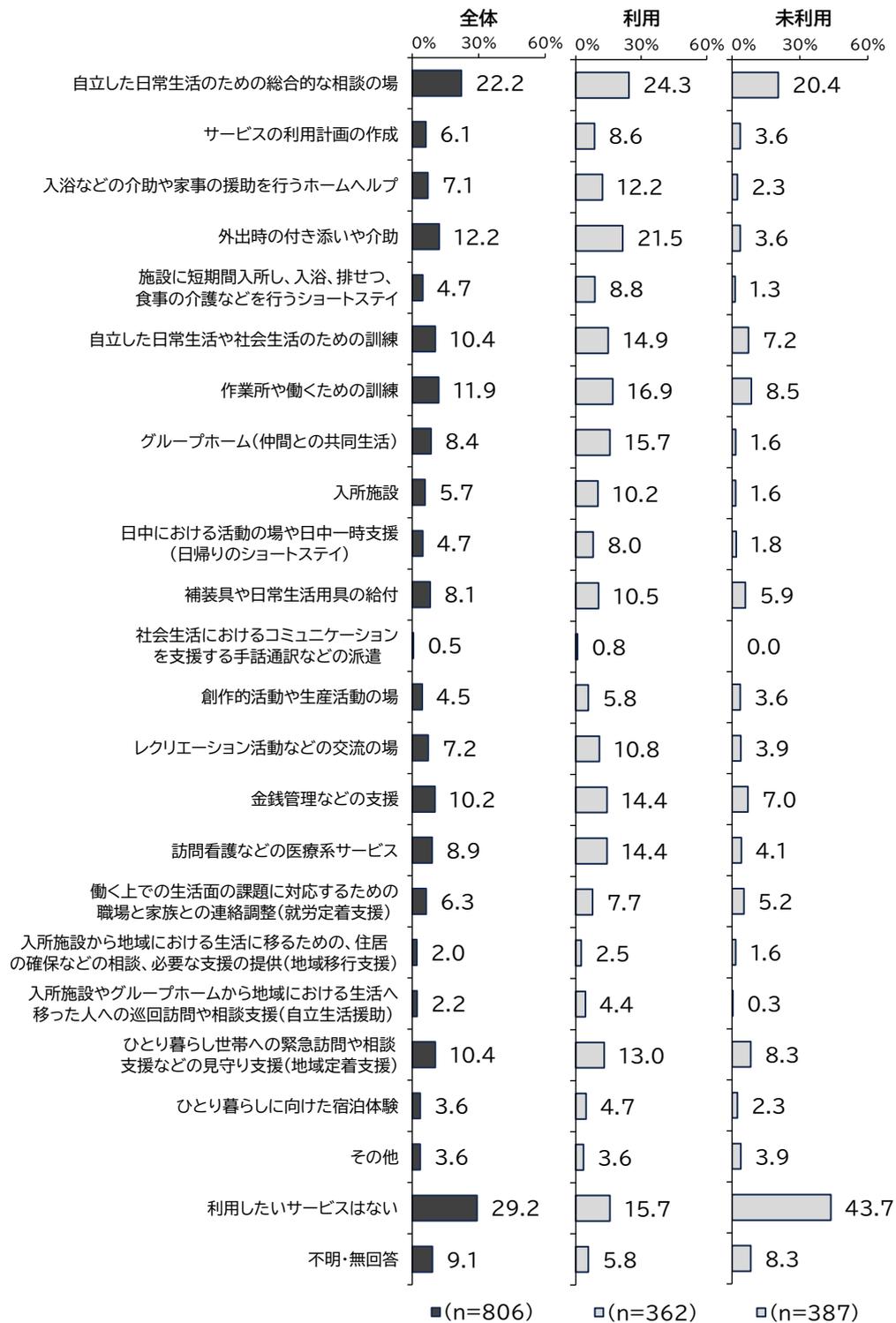
(あてはまるものすべてに○)

今後利用したいサービスについてみると、全体では「利用したいサービスはない」が 29.2%と最も多く、次いで「自立した日常生活のための総合的な相談の場」が 22.2%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「利用したいサービスはない」が 30.5%、知的では「グループホーム(仲間との共同生活)」が 25.5%、精神では「自立した日常生活のための総合的な相談の場」が 29.1%と最も多くなっています。



Ⅲ 調査結果〔18歳以上対象〕



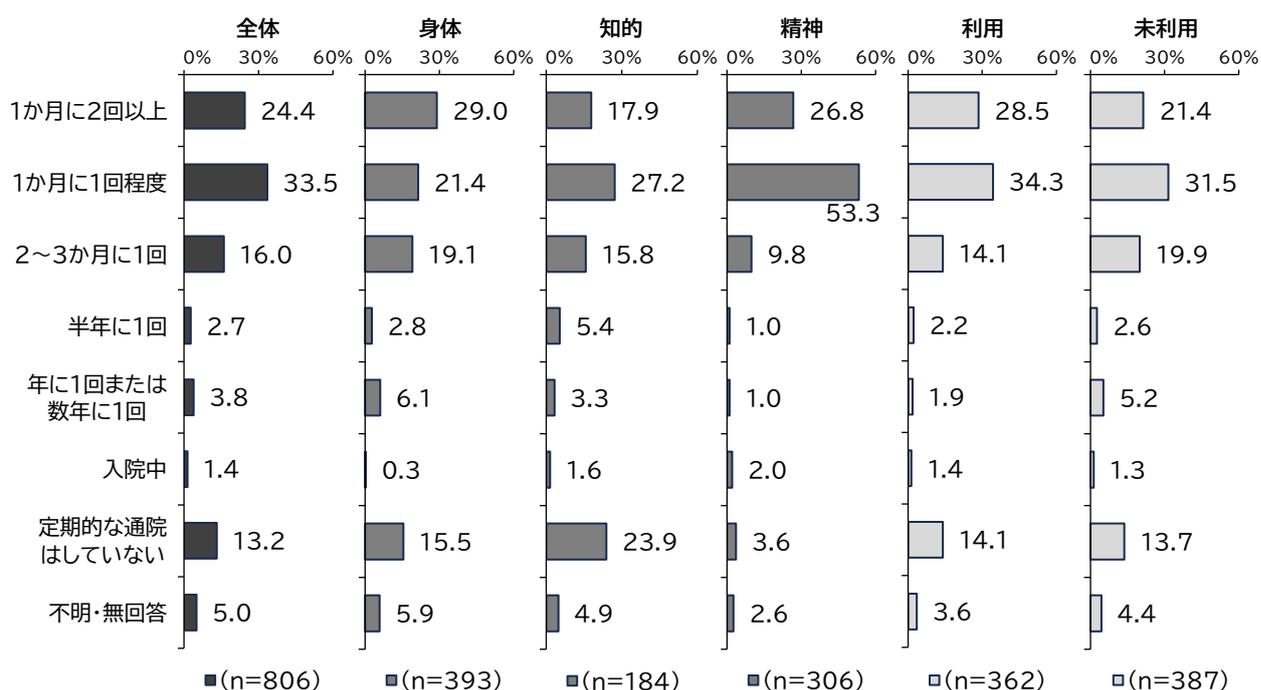
### 3. 保健・医療について

#### 問 24 あなたの現在の通院状況(リハビリを含む)は、次のどれですか。(1つに○)

現在の通院状況(リハビリ含む)についてみると、全体では「1か月に1回程度」が33.5%と最も多く、次いで「1か月に2回以上」が24.4%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「1か月に2回以上」が29.0%、知的、精神では「1か月に1回程度」がそれぞれ27.2%、53.3%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者、サービス未利用者ともに「1か月に1回程度」が最も多くなっています。

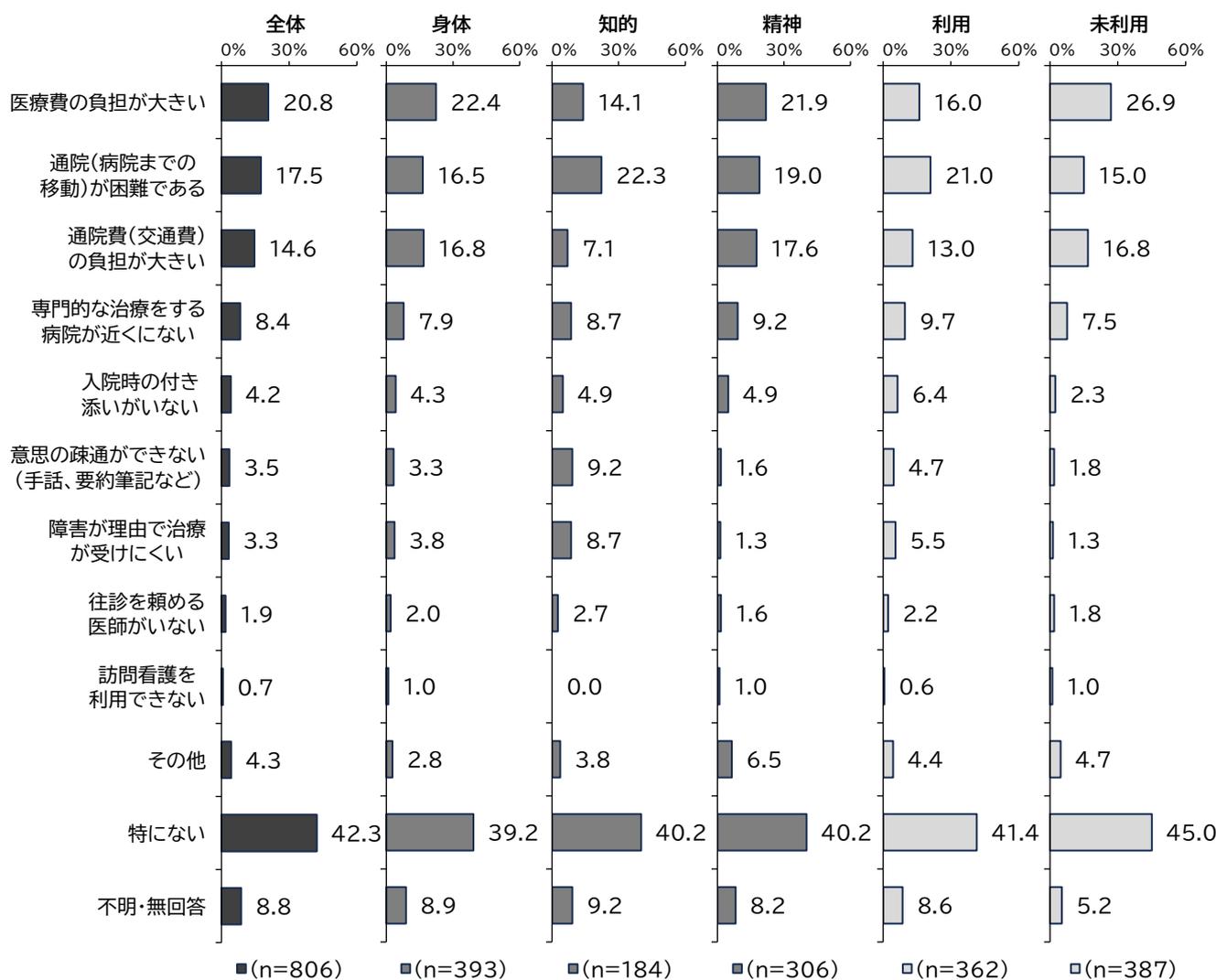


問 25 あなたが、医療を受ける上で困っていることは何ですか。(3つまでに○)

医療を受ける上で困っていることについてみると、「特にない」を除くと、全体では「医療費の負担が大きい」が20.8%と最も多く、次いで「通院（病院までの移動）が困難である」が17.5%となっています。

所持手帳別にみると、身体、精神では「医療費の負担が大きい」がそれぞれ22.4%、21.9%、知的では「通院（病院までの移動）が困難である」が22.3%と最も多くなっています。

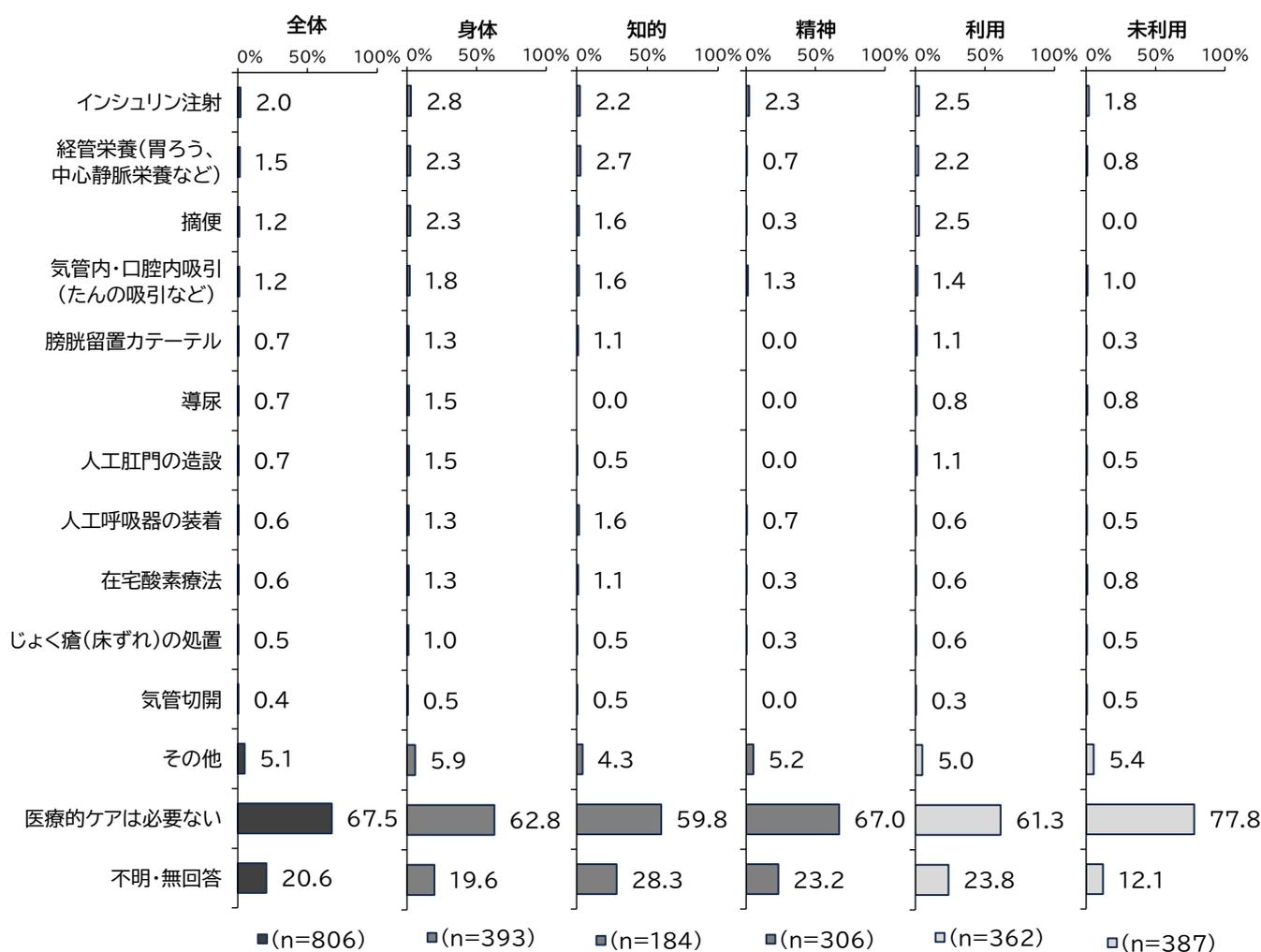
サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「通院(病院までの移動)が困難である」が21.0%、サービス未利用者では「医療費の負担が大きい」が26.9%と最も多くなっています。



問 26 あなたは、どのような医療的ケア(服薬や通院を除く)が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

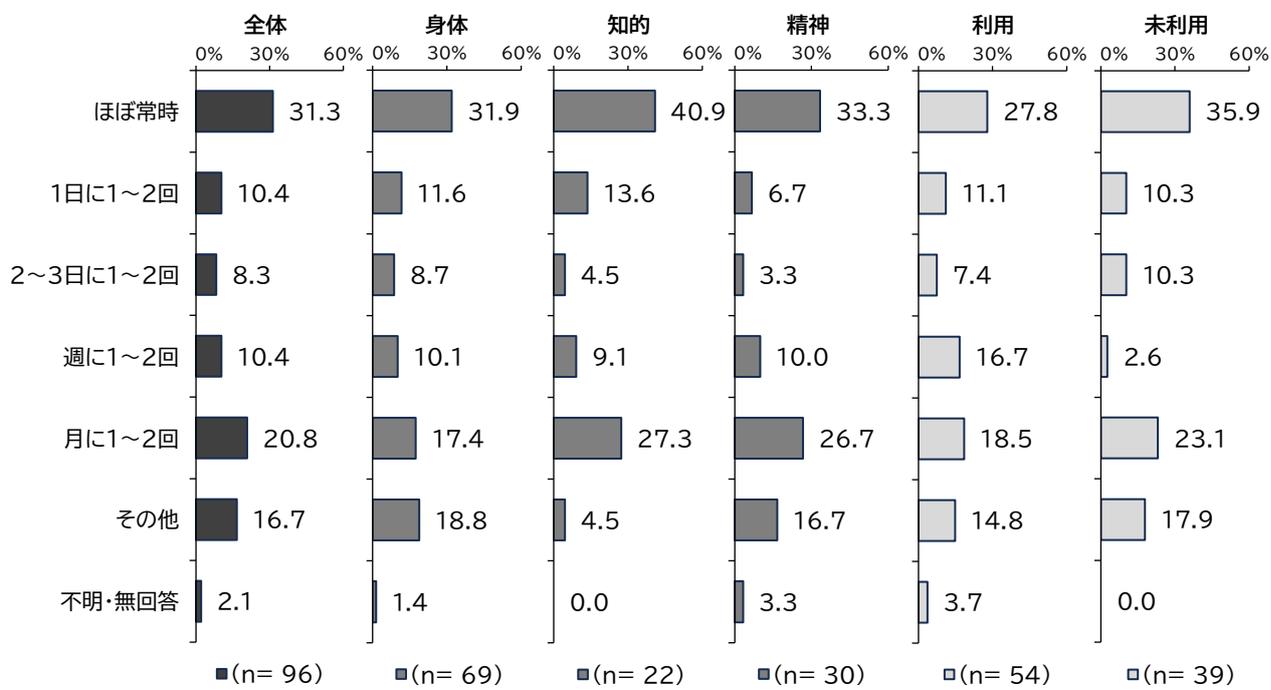
どのような医療的ケア(服薬や通院を除く)が必要かについてみると、全体では「医療的ケアは必要ない」が67.5%と最も多く、次いで「その他」が5.1%となっています。何らかの医療的ケアを必要としている人は11.9%となっています。

所持手帳別、サービス利用の有無でみると、何らかの医療的ケアを必要としている人は、身体17.6%、知的11.9%、精神9.8%、サービス利用者14.9%、サービス未利用者10.1%となっています。



問 27 問 26 で「1」～「12」と回答した方にお聞きします。医療的ケアは、どのくらいの頻度で必要ですか。  
(1つに○)

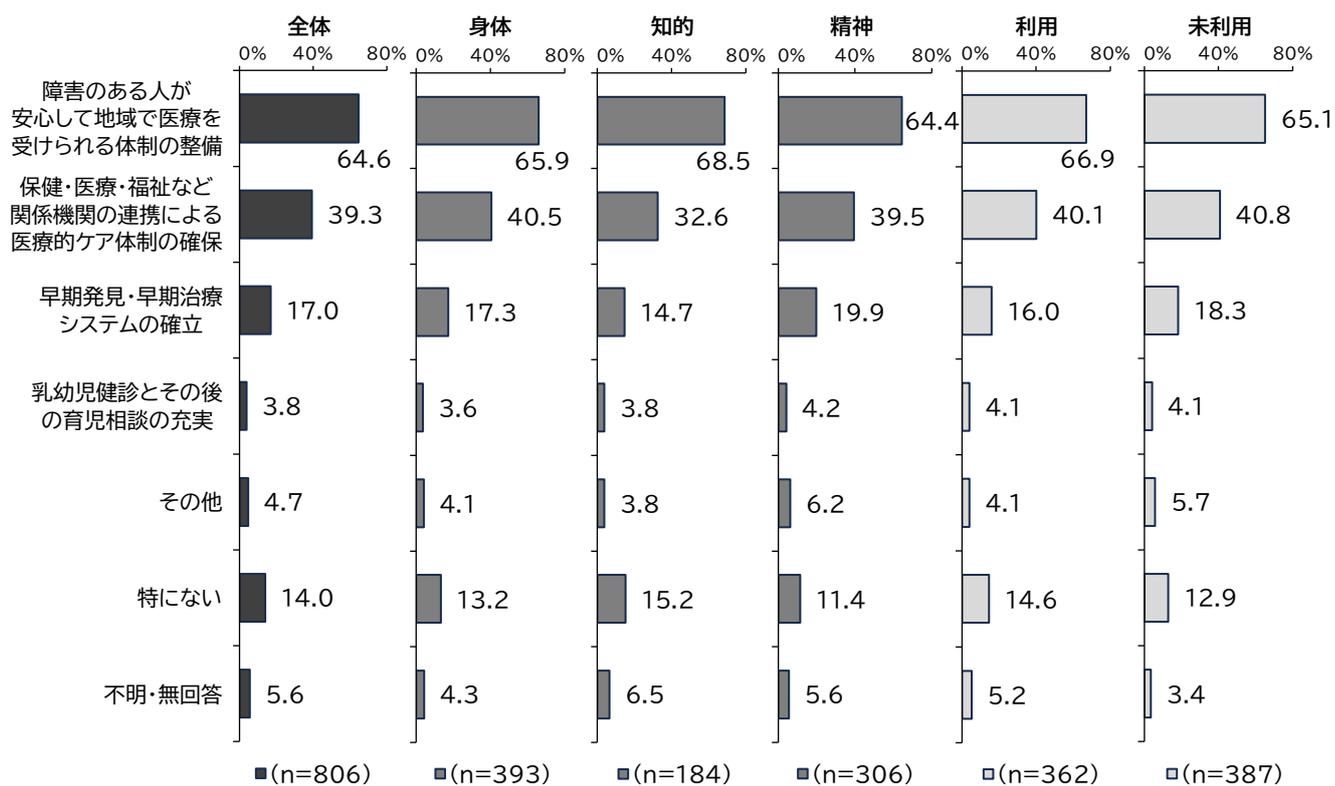
医療的ケアがどのくらいの頻度で必要かについてみると、全体では「ほぼ常時」が 31.3%と最も多く、次いで「月に1～2回」が 20.8%となっています。



問 28 すべての方にお聞きします。あなたは、障害のある人の保健・医療に関し、どのようなことが必要だと思いますか。(2つまでに○)

障害のある人の保健・医療に関し、必要なことについてみると、全体では「障害のある人が安心して地域で医療を受けられる体制の整備」が64.6%と最も多く、次いで「保健・医療・福祉など関係機関の連携による医療的ケア体制の確保」が39.3%となっています。

所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「障害のある人が安心して地域で医療を受けられる体制の整備」が最も多く、次いで「保健・医療・福祉など関係機関の連携による医療的ケア体制の確保」となっています。



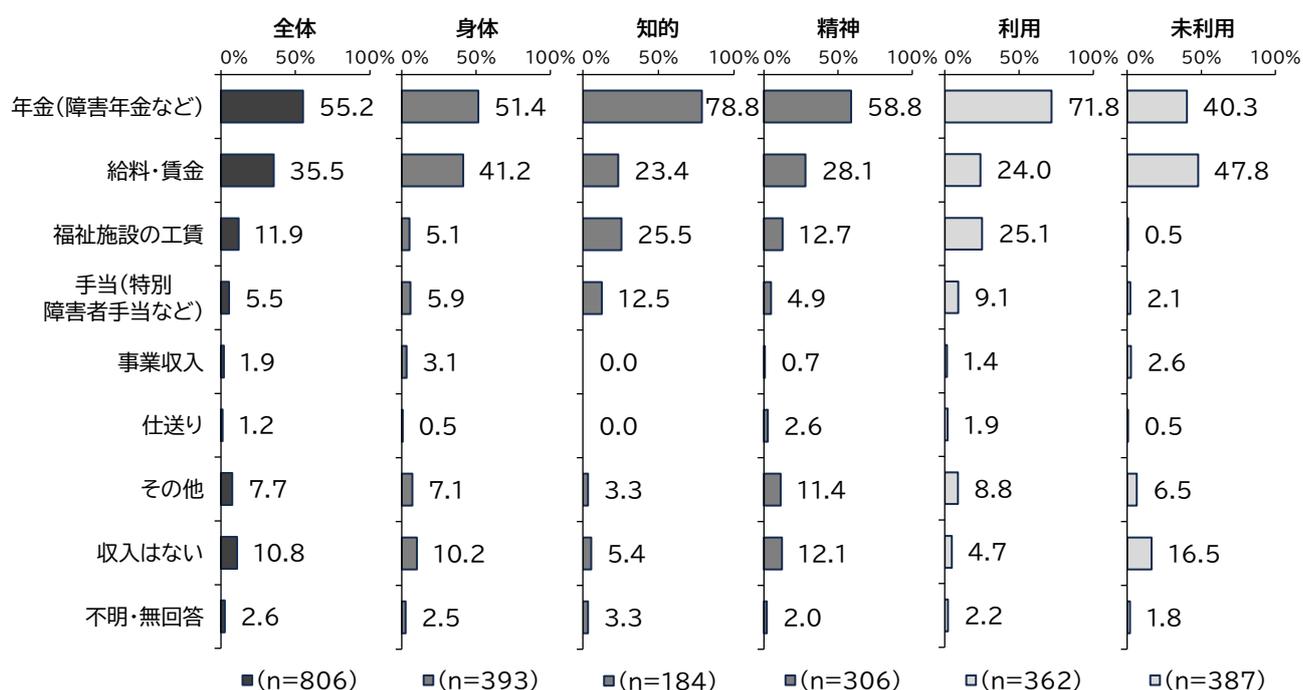
## 4. 就労について

### 問 29 あなたの現在の収入は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

現在の収入についてみると、全体では「年金（障害年金など）」が55.2%と最も多く、次いで「給料・賃金」が35.5%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的、精神ともに「年金（障害年金など）」が最も多く、次いで身体、精神では「給料・賃金」、知的では「福祉施設の工賃」となっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「年金（障害年金など）」、サービス未利用者では「給料・賃金」が最も多くなっています。

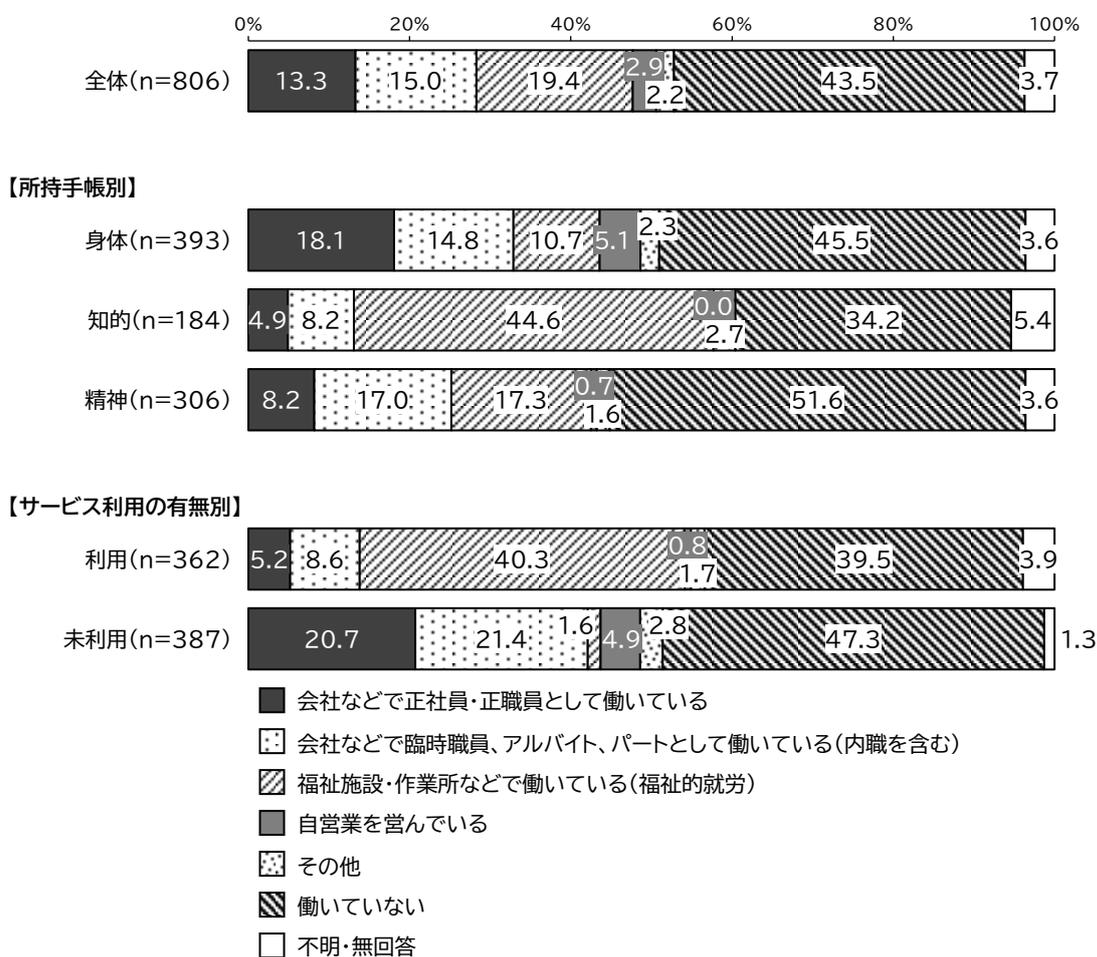


問 30 あなたの働き方は、次のうちどれですか。(1つに○)

働き方についてみると、全体では「働いていない」が 43.5%と最も多く、次いで「福祉施設・作業所などで働いている（福祉的就労）」が 19.4%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的、精神ともに「働いていない」が最も多く、次いで身体では「会社などで正社員・正職員として働いている」、知的、精神では「福祉施設・作業所などで働いている（福祉的就労）」となっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者は、「福祉施設・作業所などで働いている（福祉的就労）」が 40.3%と最も多く、次いで「働いていない」39.5%となっています。サービス未利用者は「働いていない」が 47.3%で最も多く、次いで「会社などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている（内職を含む）」が 21.4%となっています。

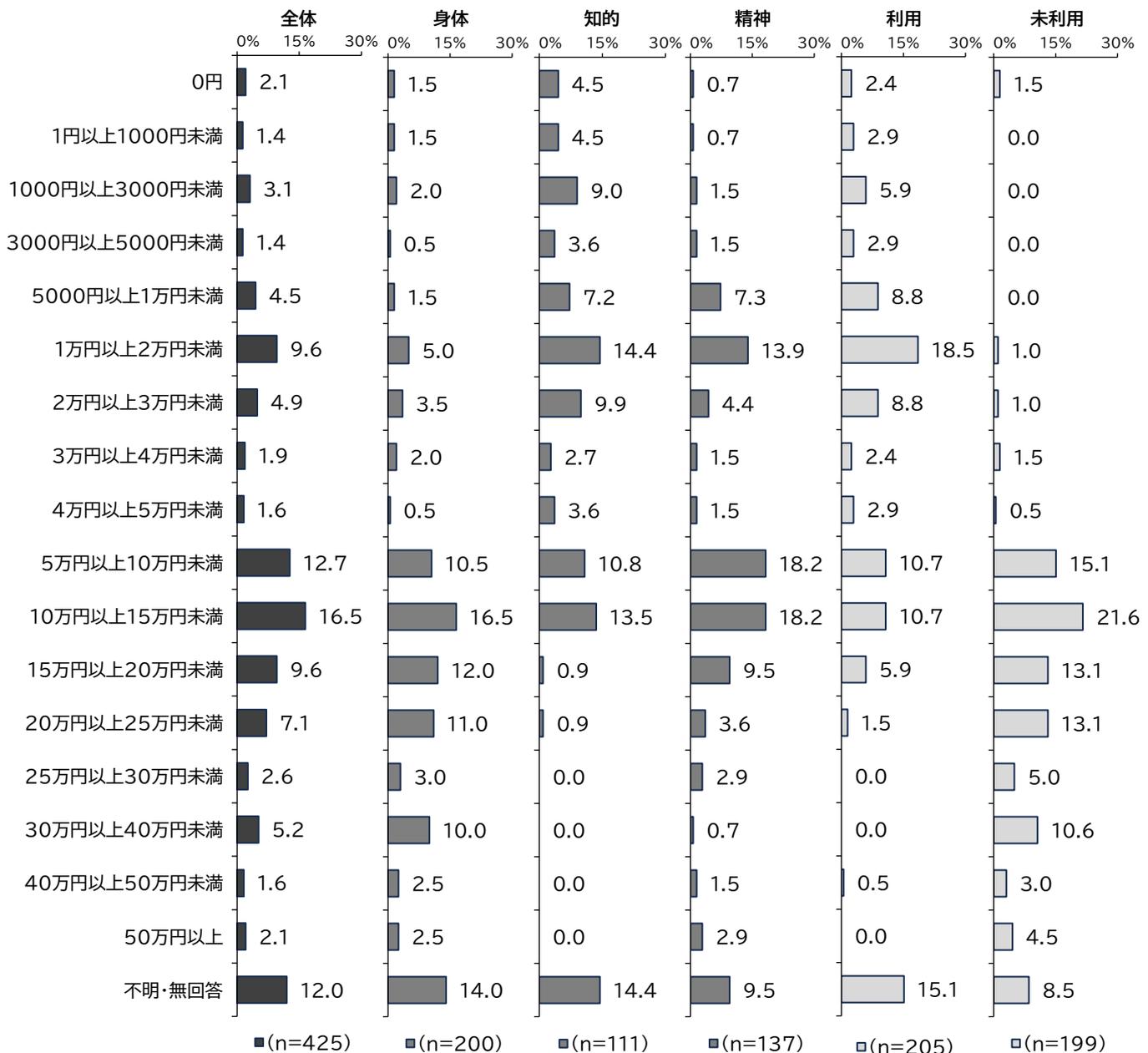


**問 31 問 30 で「1」～「5」と回答した方にお聞きます。あなたの働いて得た収入(工賃を含む)の月額を教えてください。(数字を記入)**

収入の月額についてみると、全体では「10万円以上 15万円未満」が16.5%と最も多く、次いで「5万円以上 10万円未満」が12.7%となっています。10万円未満が43.2%となっています。

所持手帳別にみると、身体では10万円未満が28.5%、20万円以上が29.0%、知的では10万円未満が70.2%、20万円以上が0.9%、精神では10万円未満が51.2%、20万円以上が11.6%となっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では10万円未満が66.2%、20万円以上が2.0%、サービス未利用者では10万円未満が20.6%、20万円以上が36.2%となっています。

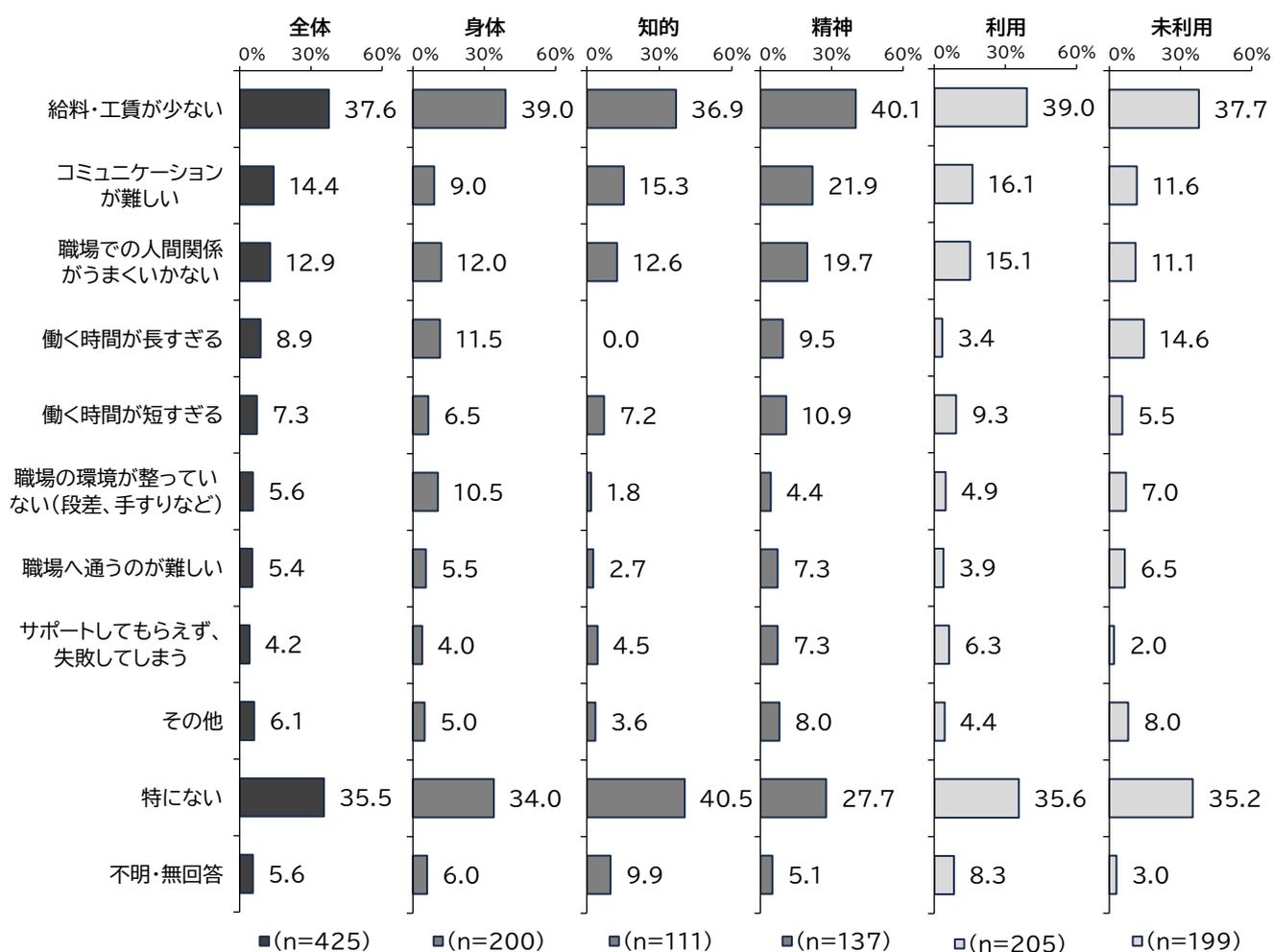


問 32 問 30 で「1」～「5」と回答した方にお聞きします。現在の仕事で困っていることや不満はありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の仕事で困っていることや不満はあるかについてみると、全体では「給料・工賃が少ない」が37.6%と最も多く、次いで「特にない」が35.5%となっています。

所持手帳別にみると、身体、精神では「給料・工賃が少ない」がそれぞれ39.0%、40.1%、知的では「特にない」が40.5%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者、サービス未利用者ともに「給料・工賃が少ない」が最も多くなっています。

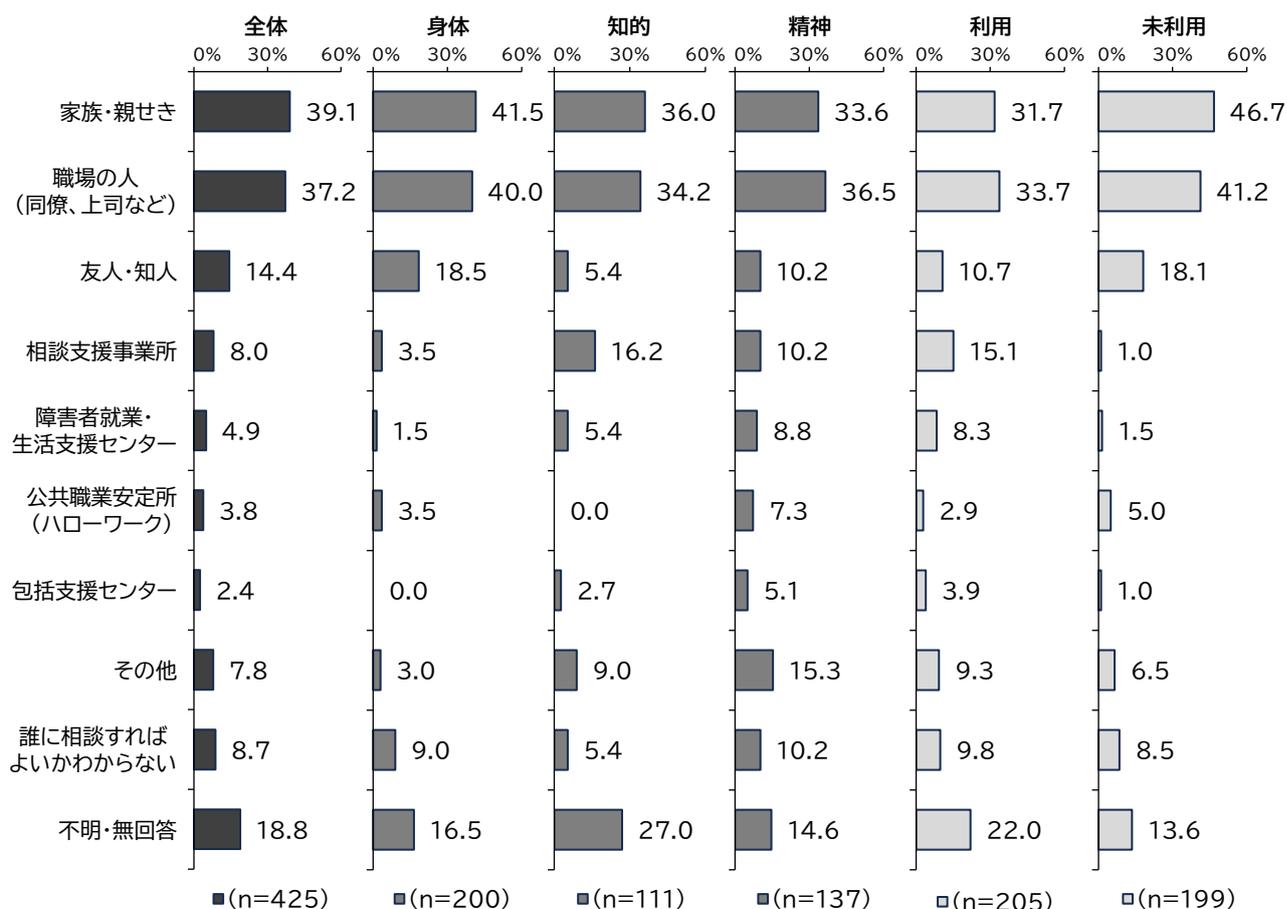


**問 33 問 30 で「1」～「5」と回答した方にお聞きします。現在の仕事で困っていることを、どちら(どなた)に相談しますか。(3 つまでに○)**

現在の仕事で困っていることを、どちら(どなた)に相談するかについてみると、全体では「家族・親せき」が39.1%と最も多く、次いで「職場の人(同僚、上司など)」が37.2%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的では「家族・親せき」がそれぞれ41.5%、36.0%、精神では「職場の人(同僚、上司など)」が36.5%と最も多くなっています。

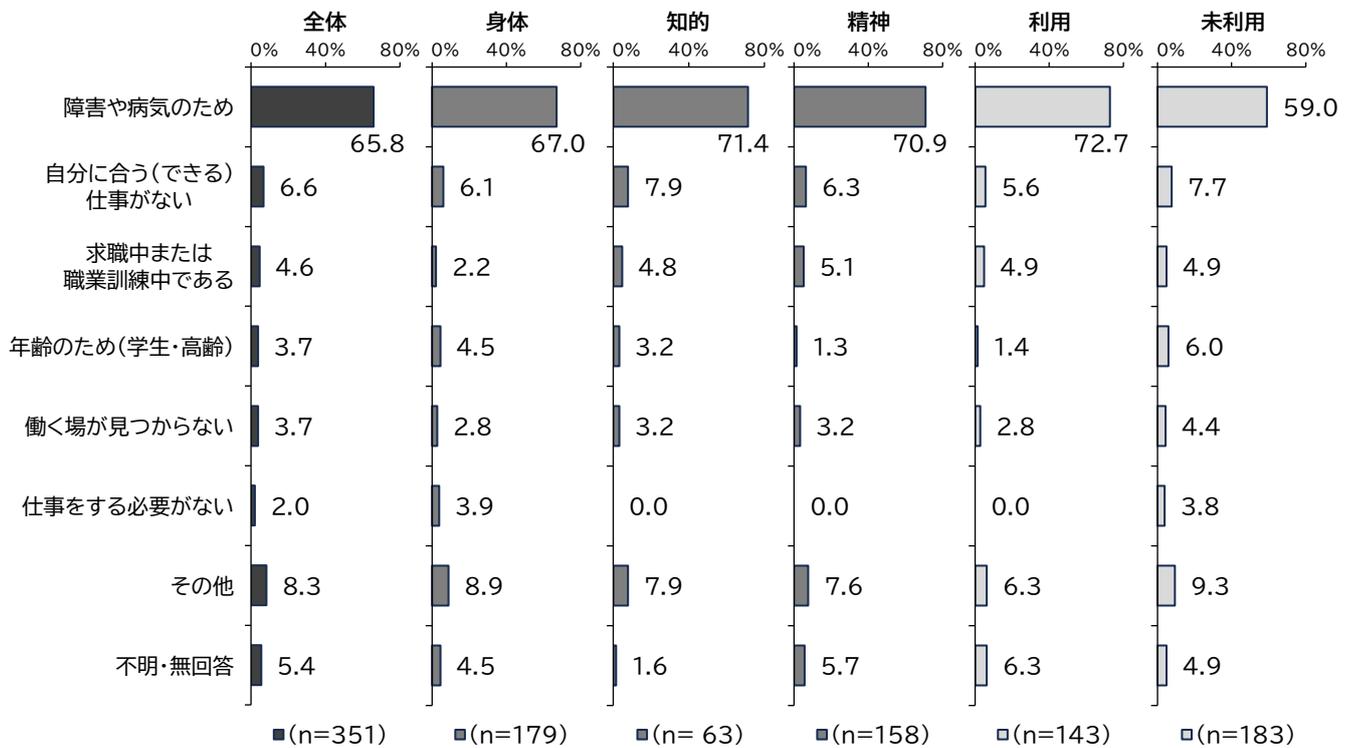
サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「職場の人(同僚、上司など)」が33.7%、サービス未利用者では「家族・親せき」が46.7%と最も多くなっています。



問 34 問 30 で「6. 働いていない」と回答した方にお聞きします。働いていないのは、主にどのような理由によりますか。(1つに〇)

働いていない主な理由についてみると、全体では「障害や病気のため」が 65.8%と最も多く、次いで「その他」が 8.3%となっています。

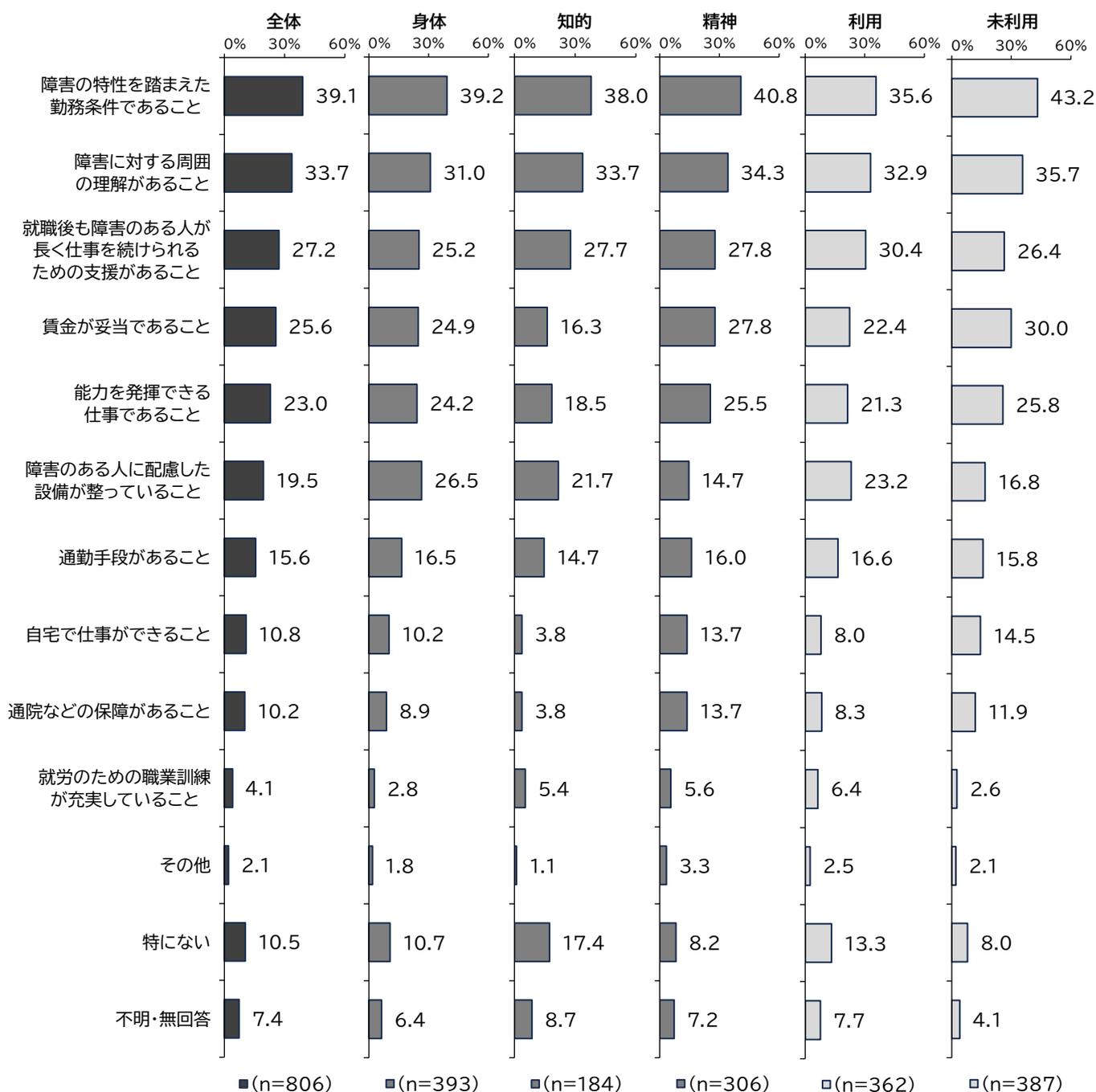
所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「障害や病気のため」が最も多くなっています。



問 35 現在、働いている方も働いていない方もお答えください。あなたは、働く上で、どのような条件が必要だと思いますか。(3つまでに○)

働く上で必要な条件についてみると、全体では「障害の特性を踏まえた勤務条件であること」が39.1%と最も多く、次いで「障害に対する周囲の理解があること」が33.7%となっています。

所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「障害の特性を踏まえた勤務条件であること」が最も多くなっています。



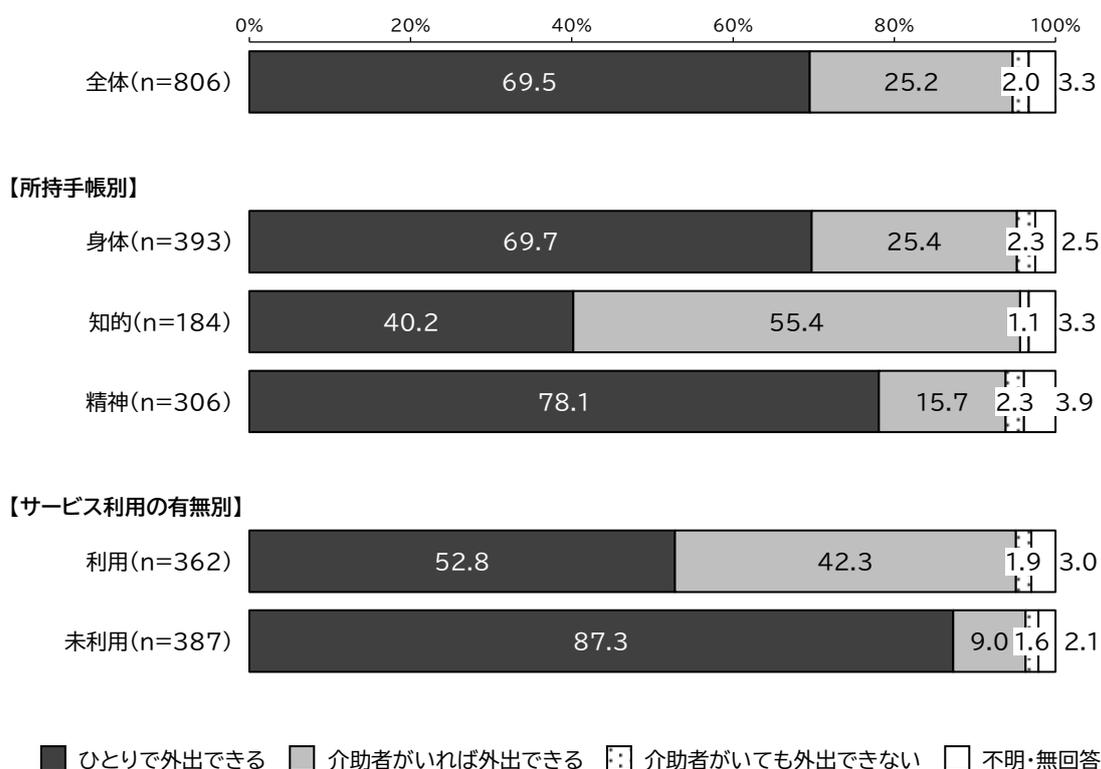
## 5. 社会参加について

### 問 36 あなたはひとりで外出することができますか。(1つに○)

ひとりで外出することができるかについてみると、全体では「ひとりで外出できる」が 69.5%と最も多く、次いで「介助者がいれば外出できる」が 25.2%となっています。

所持手帳別にみると、身体、精神では「ひとりで外出できる」がそれぞれ 69.7%、78.1%、知的では「介助者がいれば外出できる」が 55.4%と最も多くなっています。

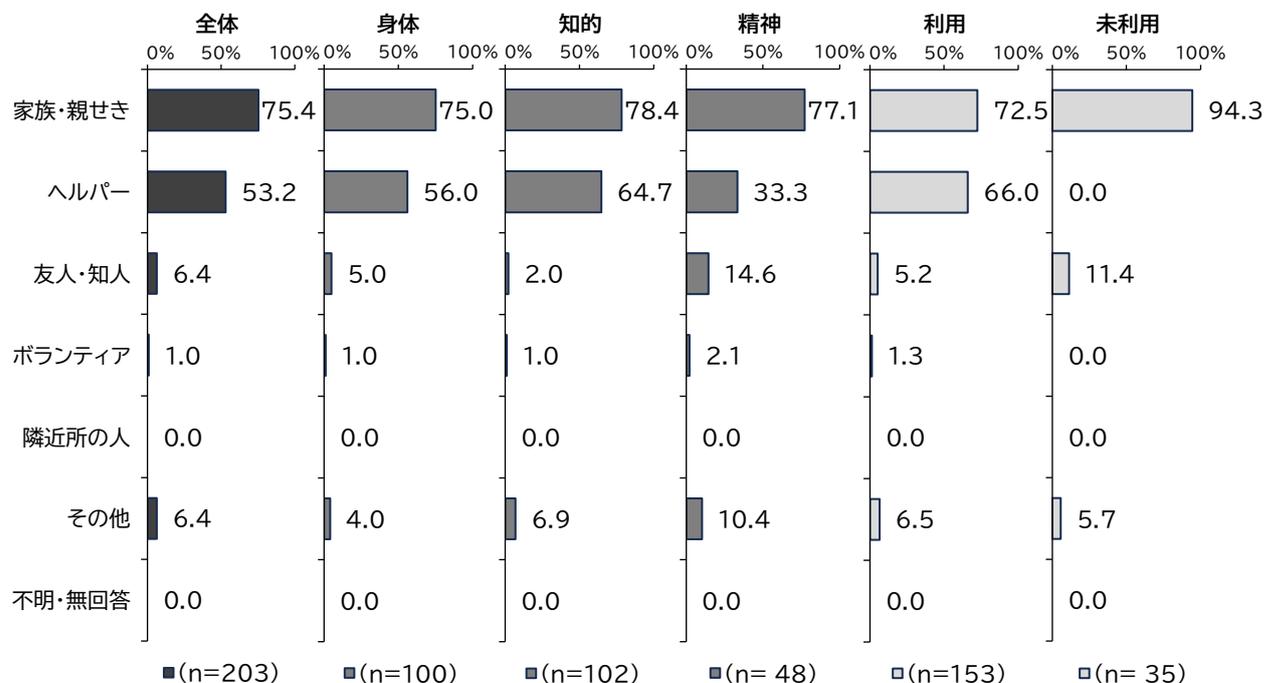
サービス利用の有無でみると、「ひとりで外出できる」はサービス利用者では 52.8%、サービス未利用者では 87.3%と多くなっています。



問 37 問 36 で「2. 介助者がいれば外出できる」と回答した方にお聞きします。あなたはどなたと外出しますか。(あてはまるものすべてに○)

誰と外出するかについてみると、全体では「家族・親せき」が 75.4%と最も多く、次いで「ヘルパー」が 53.2%となっています。

所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「家族・親せき」が最も多くなっています。

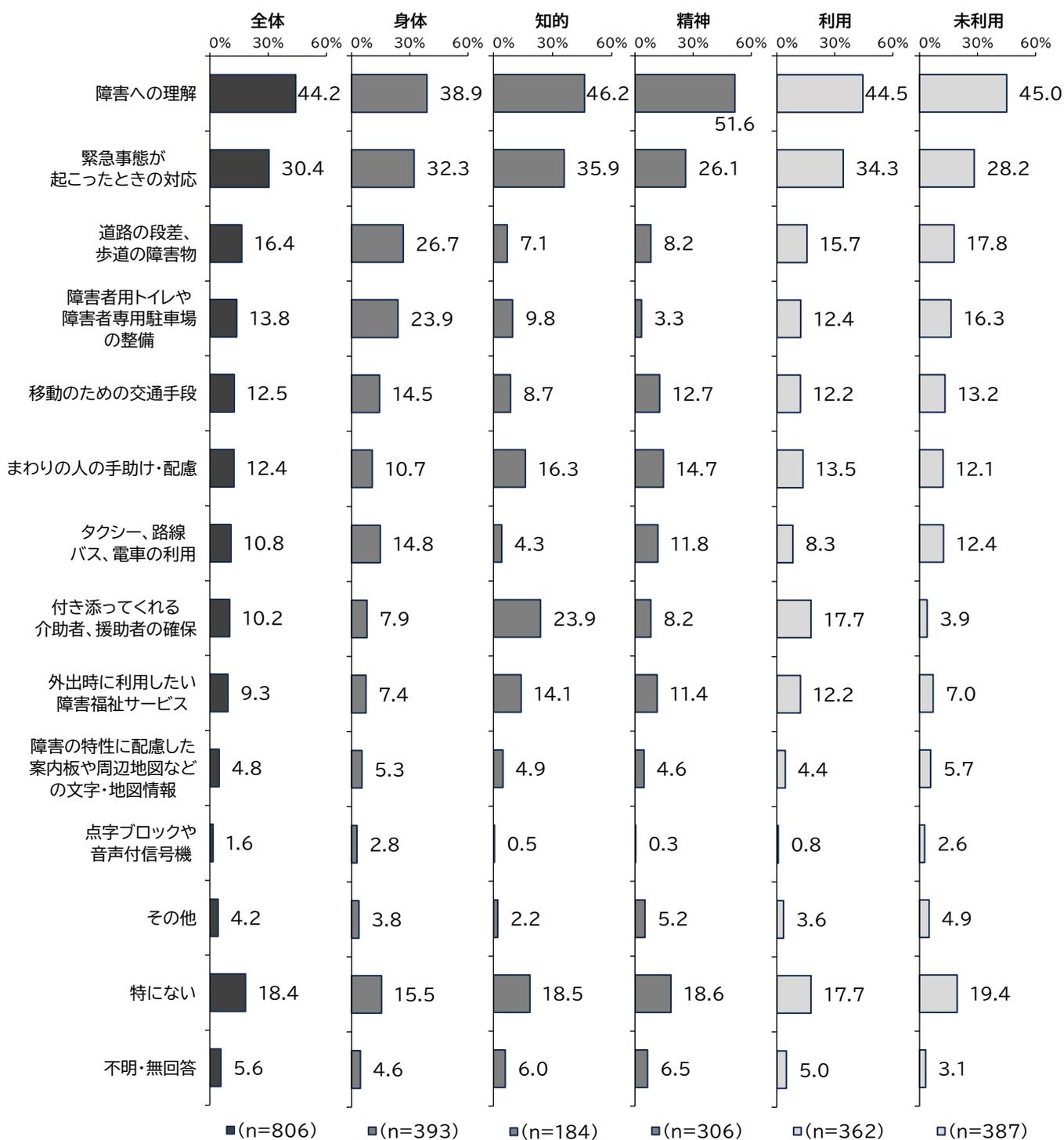


問 38 すべての方にお聞きします。あなたの身のまわりで、改善が必要なものは何ですか。

(3つまでに○)

身のまわりで改善が必要なものについてみると、全体では「障害への理解」が 44.2%と最も多く、次いで「緊急事態が起こったときの対応」が 30.4%となっています。

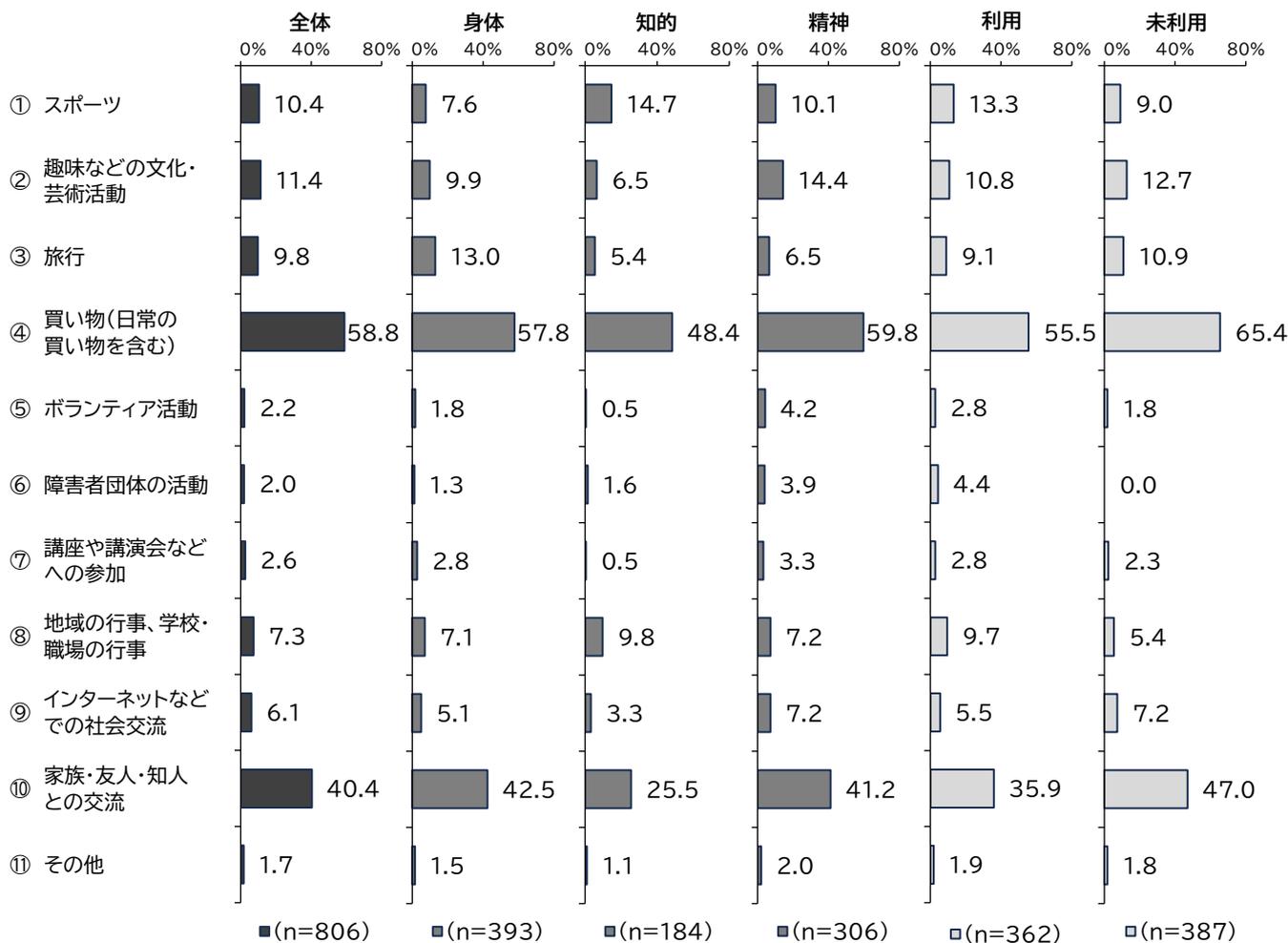
所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「障害への理解」が最も多く、次いで「緊急事態が起こったときの対応」となっています。



問 39 あなたは、最近どのような社会参加をしていますか。また、今後どのような社会参加をしたいと思  
いますか。

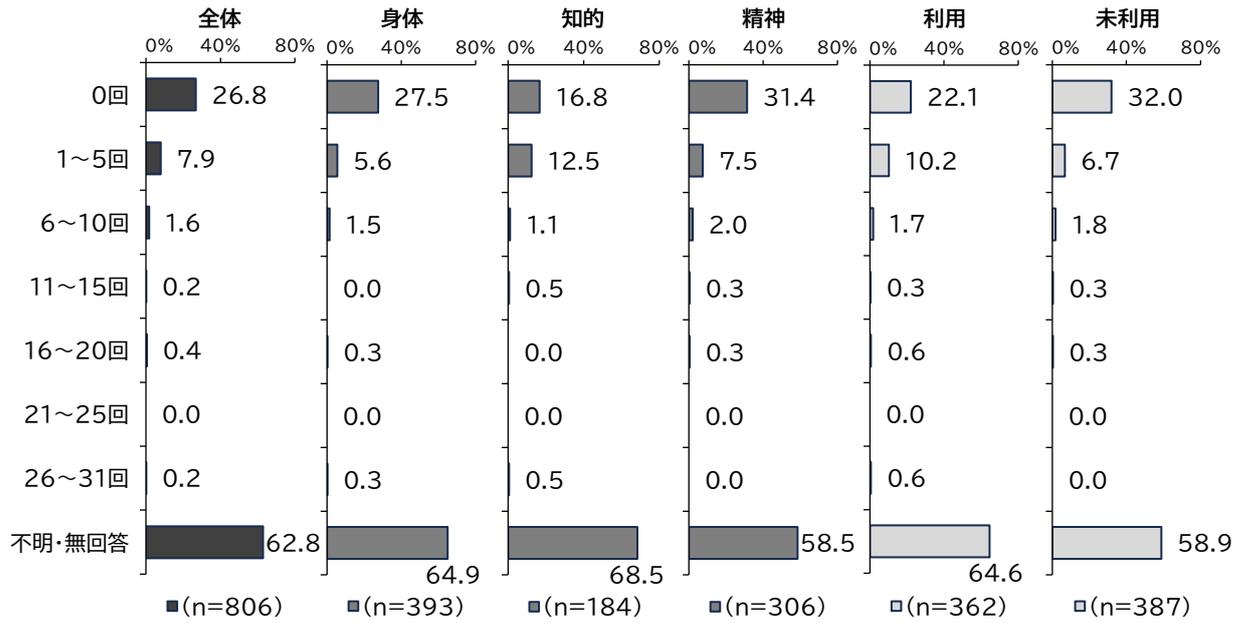
最近の社会参加の状況についてみると、全体で『活動あり（最近1か月間に1回以上の回答があったもの』は、「④買い物（日常の買い物を含む）」が58.8%と最も多く、次いで「⑩家族・友人・知人との交流」が40.4%となっています。

また、それぞれの所持手帳別、サービス利用の有無についてみた回数、今後の参加意向は次ページ以下の通りとなっています。

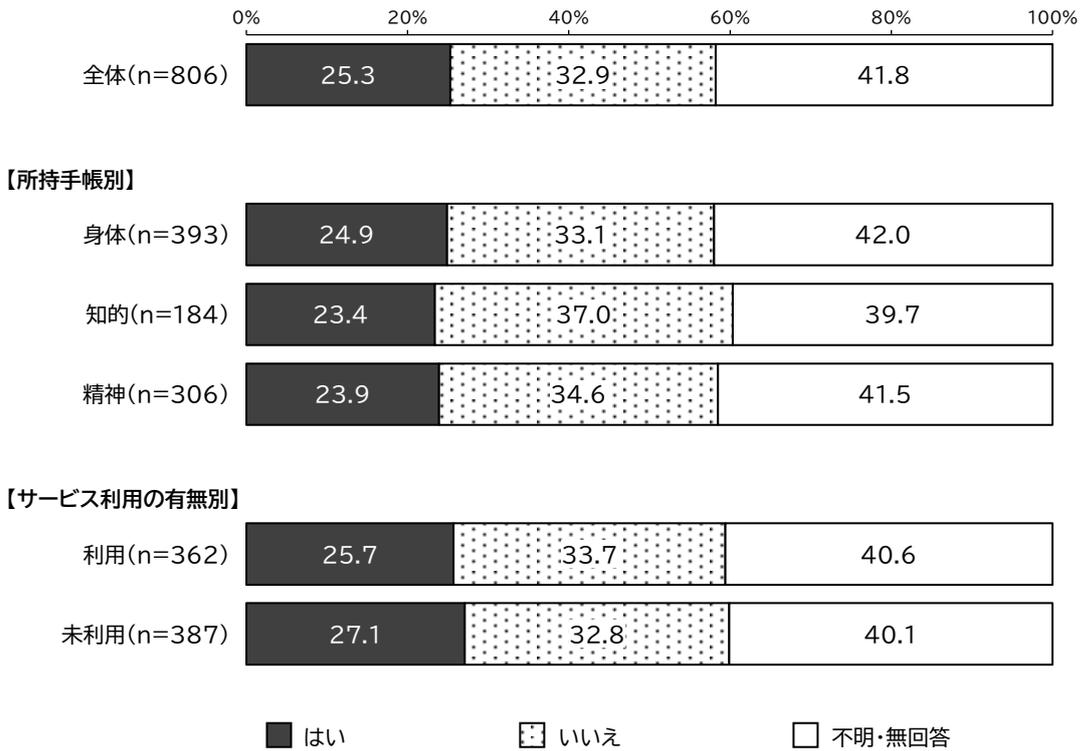


①スポーツ

■最近1か月間の回数

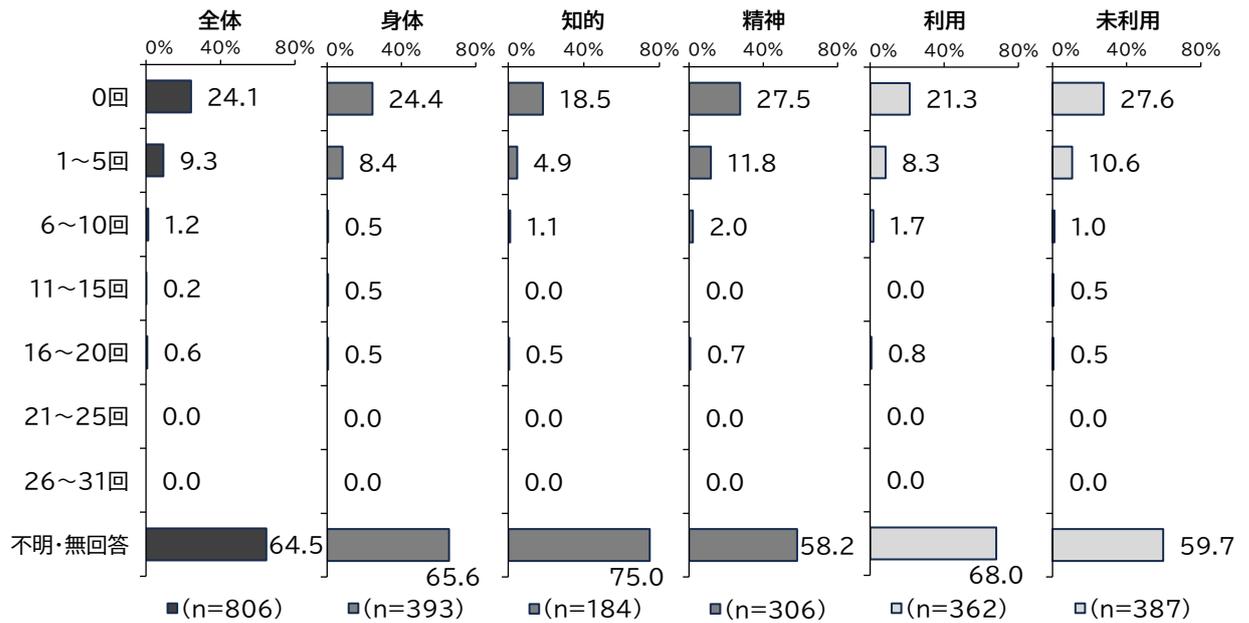


■今後してみたいと思うか

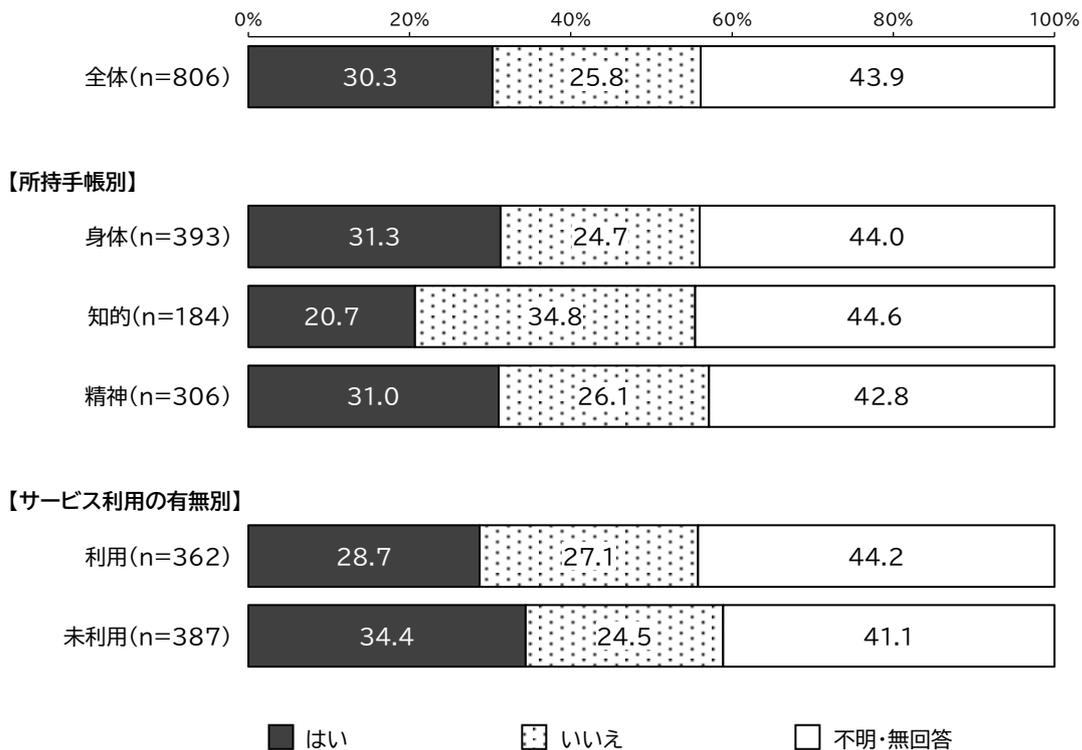


②趣味などの文化・芸術活動

■最近1か月間の回数

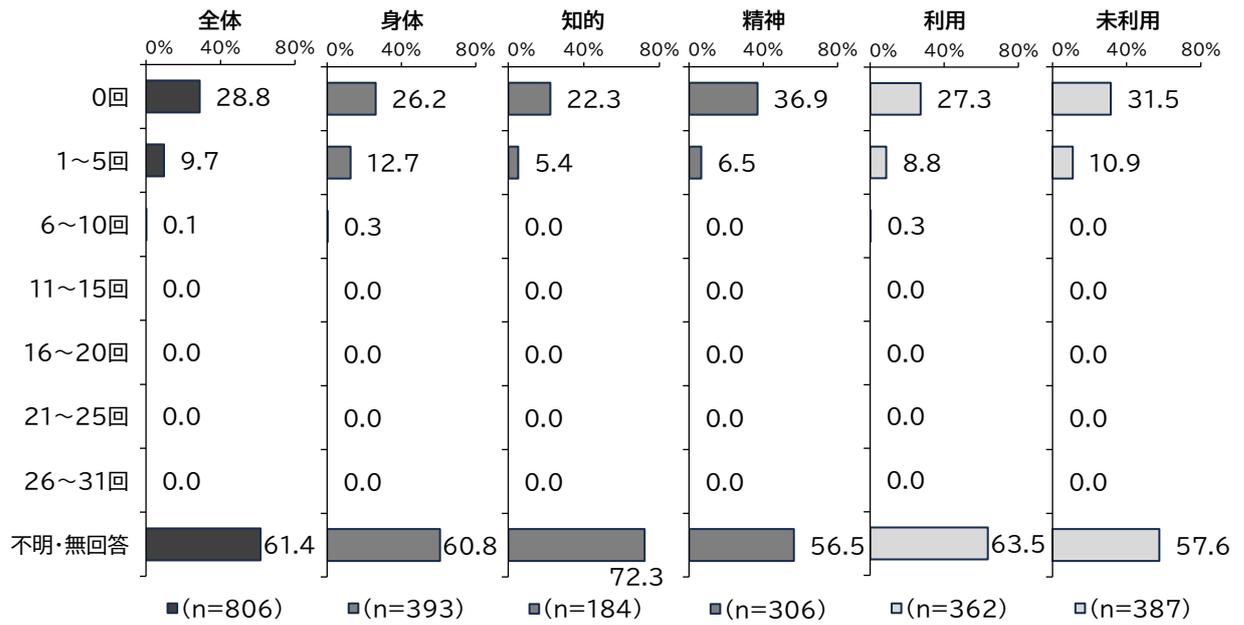


■今後してみたいと思うか

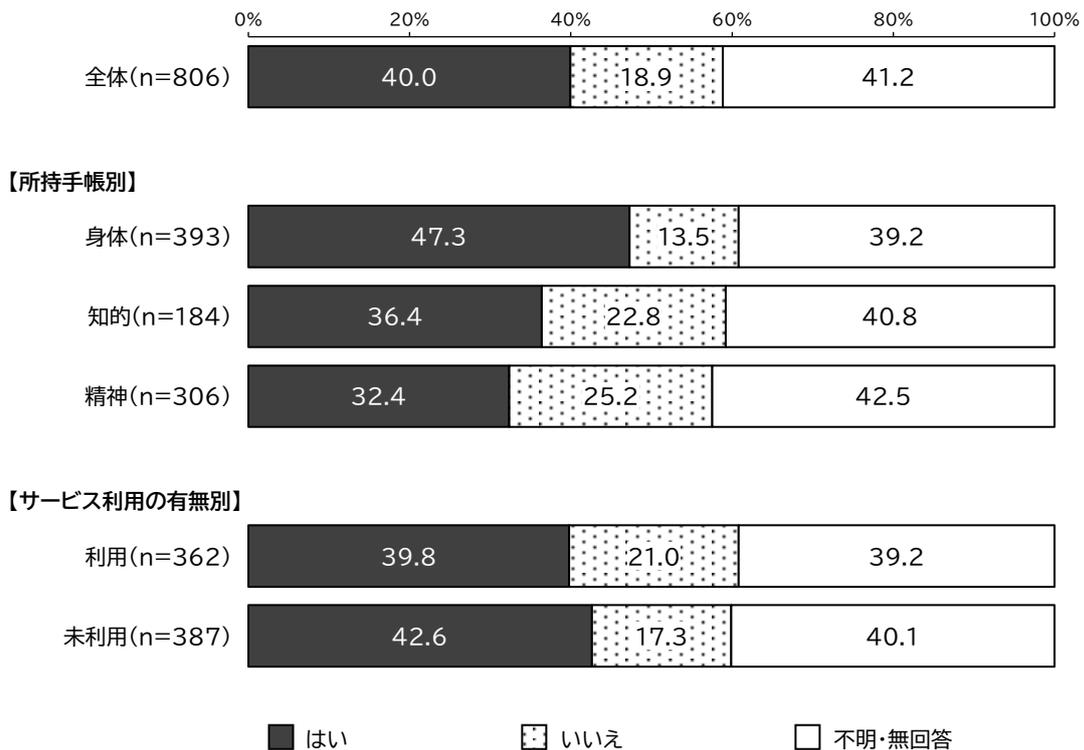


### ③旅行

#### ■最近1か月間の回数

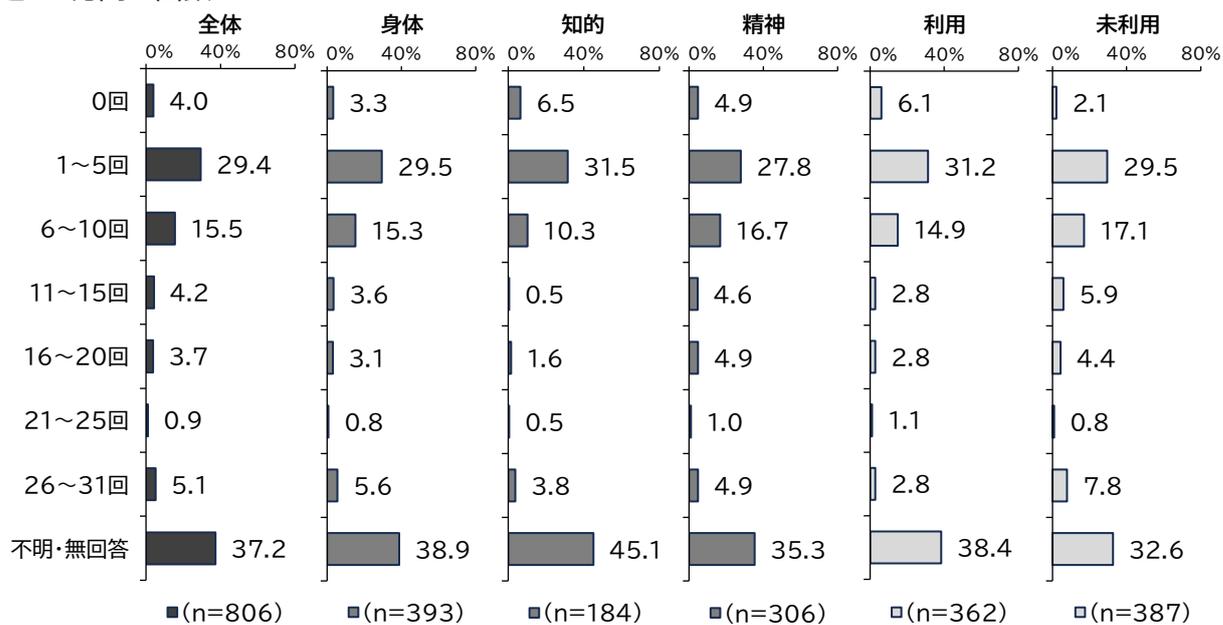


#### ■今後してみたいと思うか

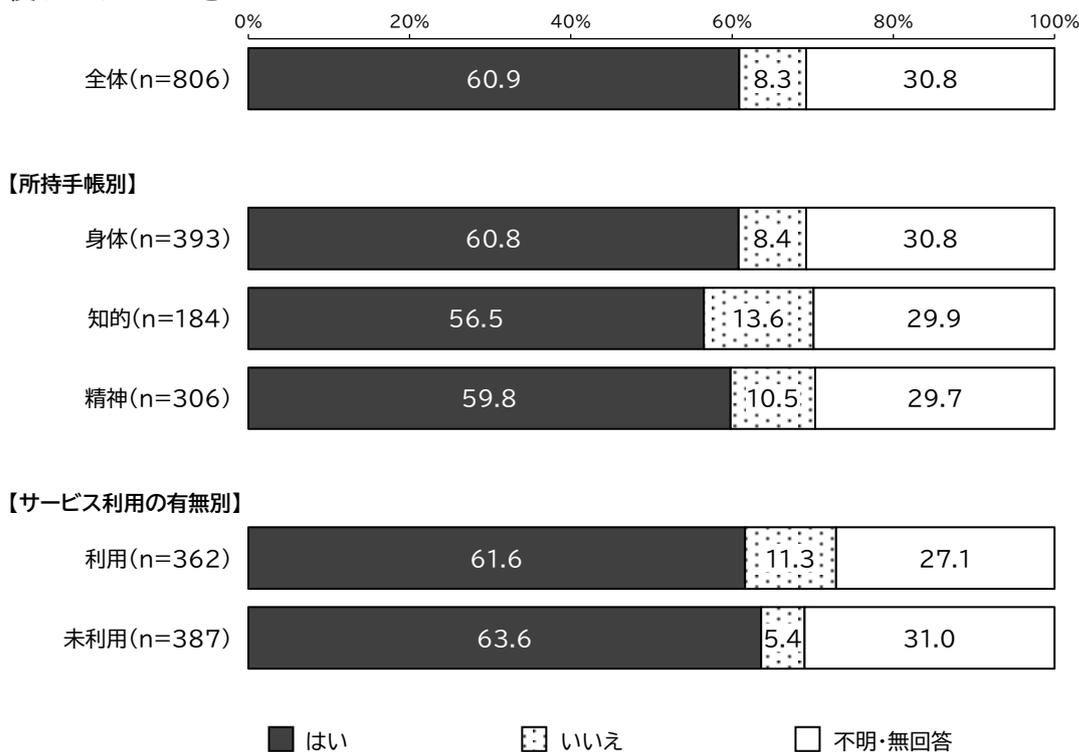


④買い物(日常の買い物を含む)

■最近1か月間の回数

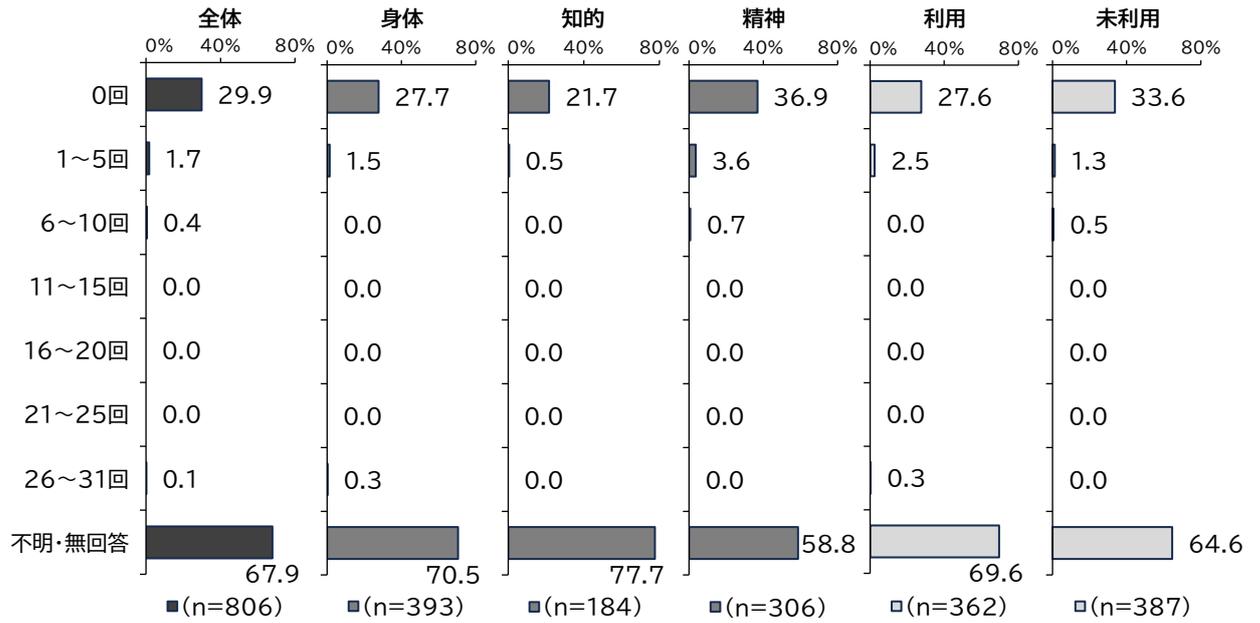


■今後してみたいと思うか

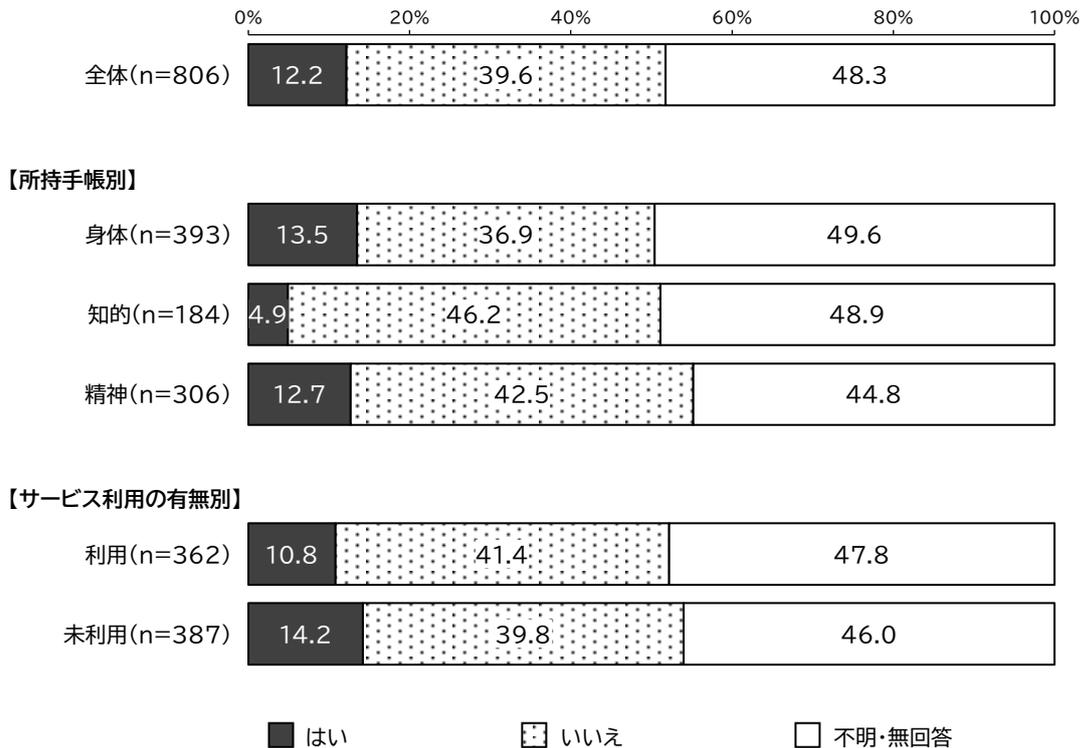


## ⑤ ボランティア活動

### ■ 最近1か月間の回数

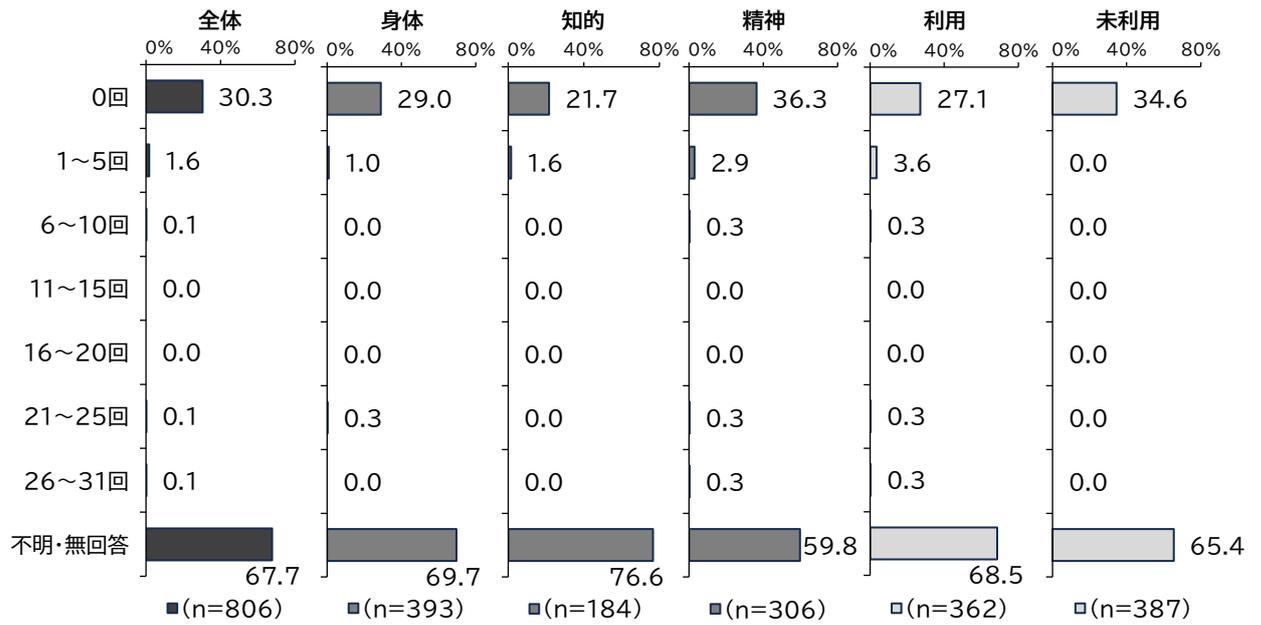


### ■ 今後してみたいと思うか

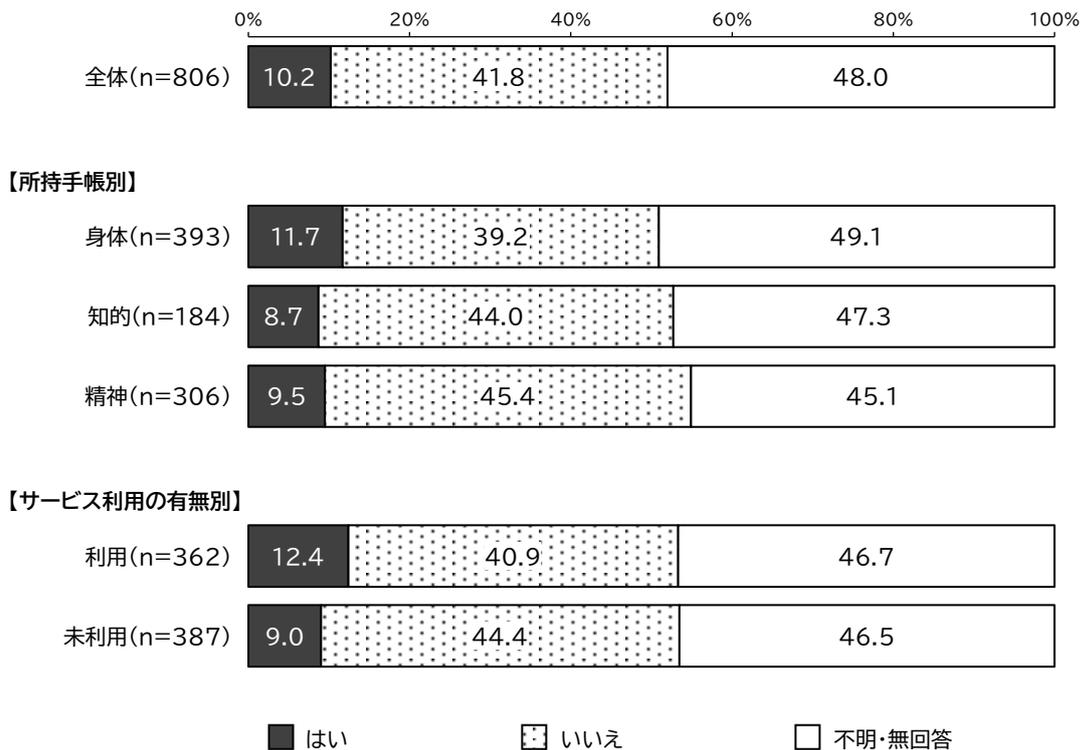


⑥障害者団体の活動

■最近1か月間の回数

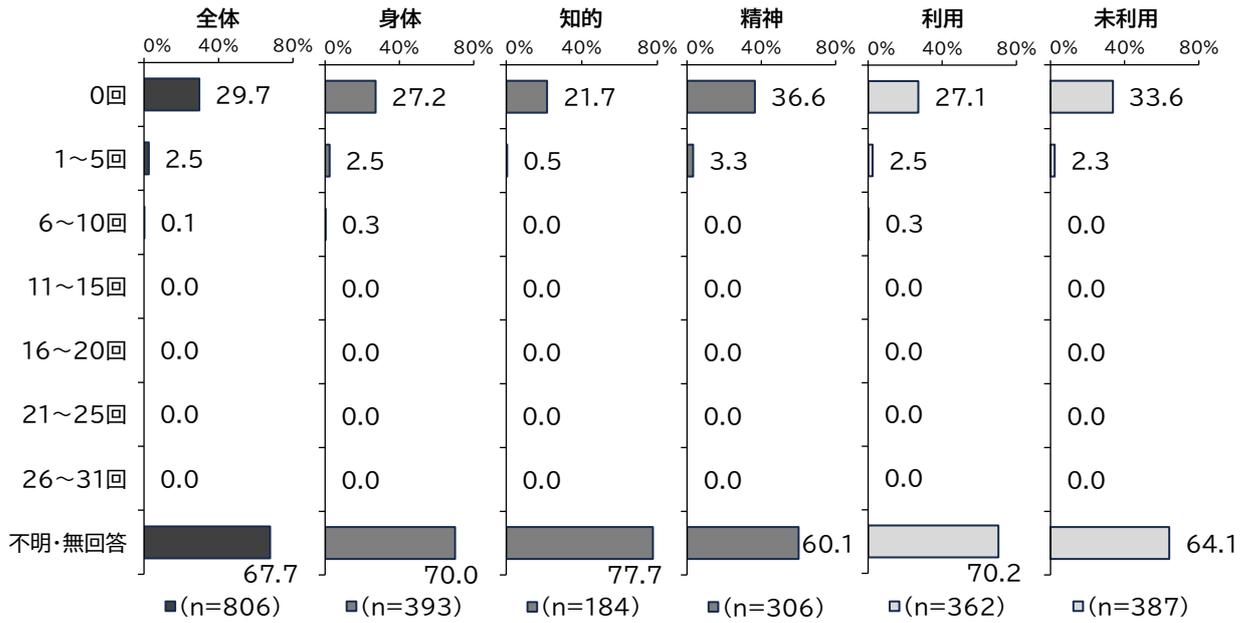


■今後してみたいと思うか

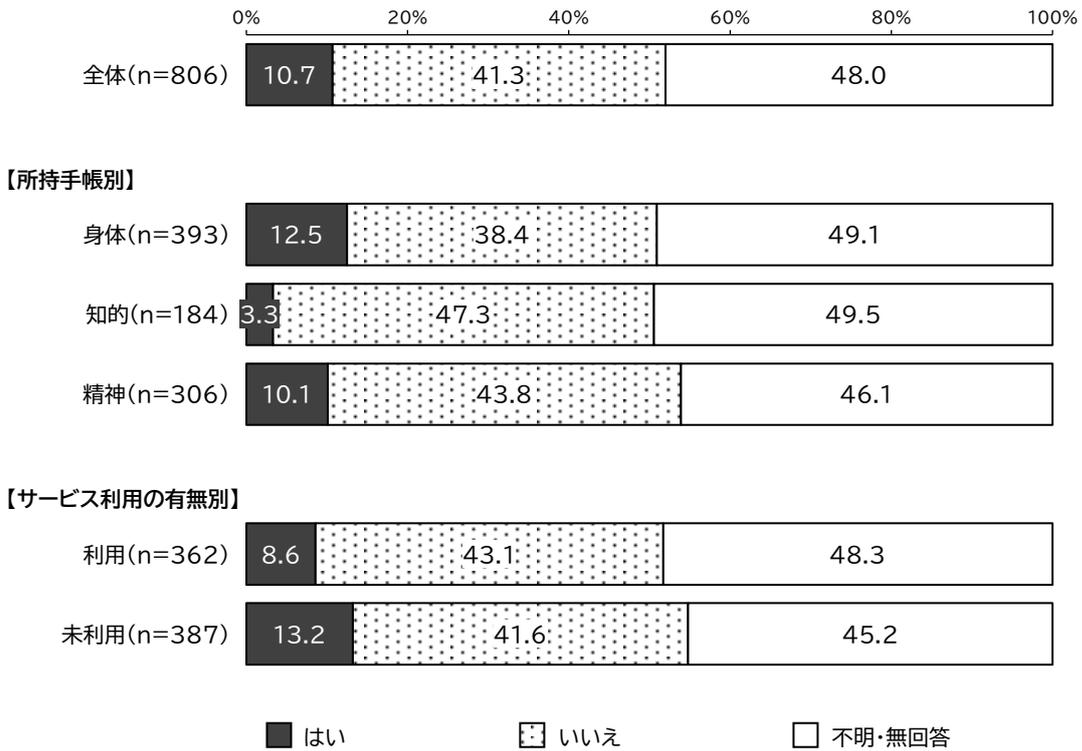


⑦講座や講演会などへの参加

■最近1か月間の回数

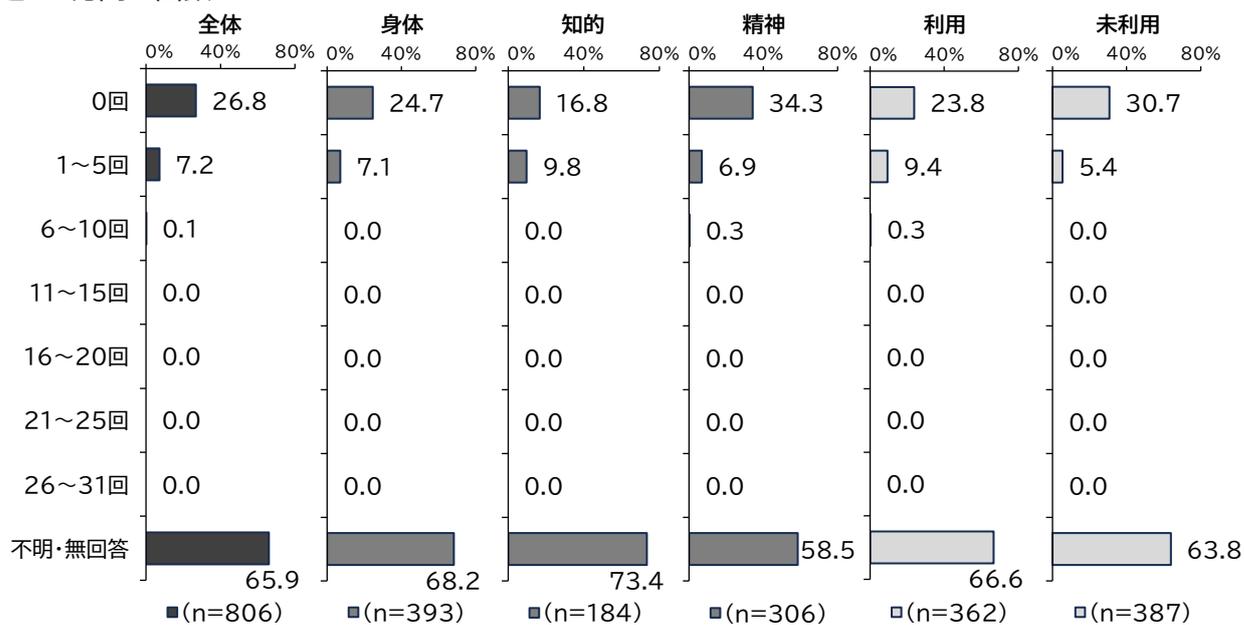


■今後してみたいと思うか

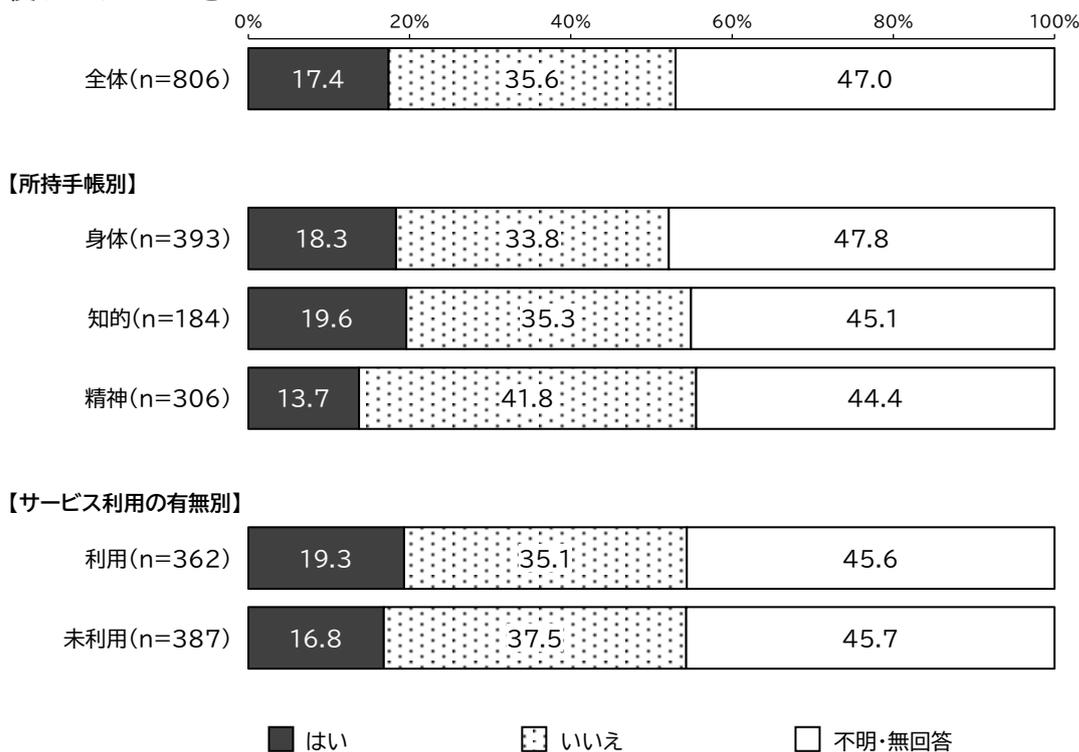


⑧地域の行事、学校・職場の行事

■最近1か月間の回数

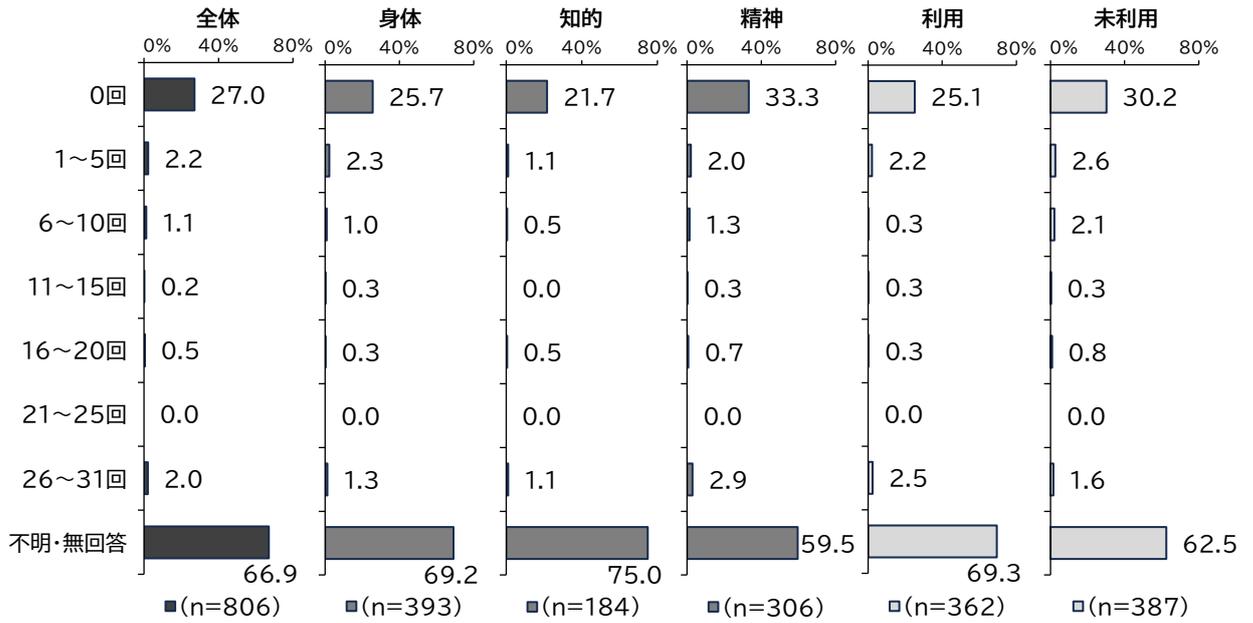


■今後してみたいと思うか

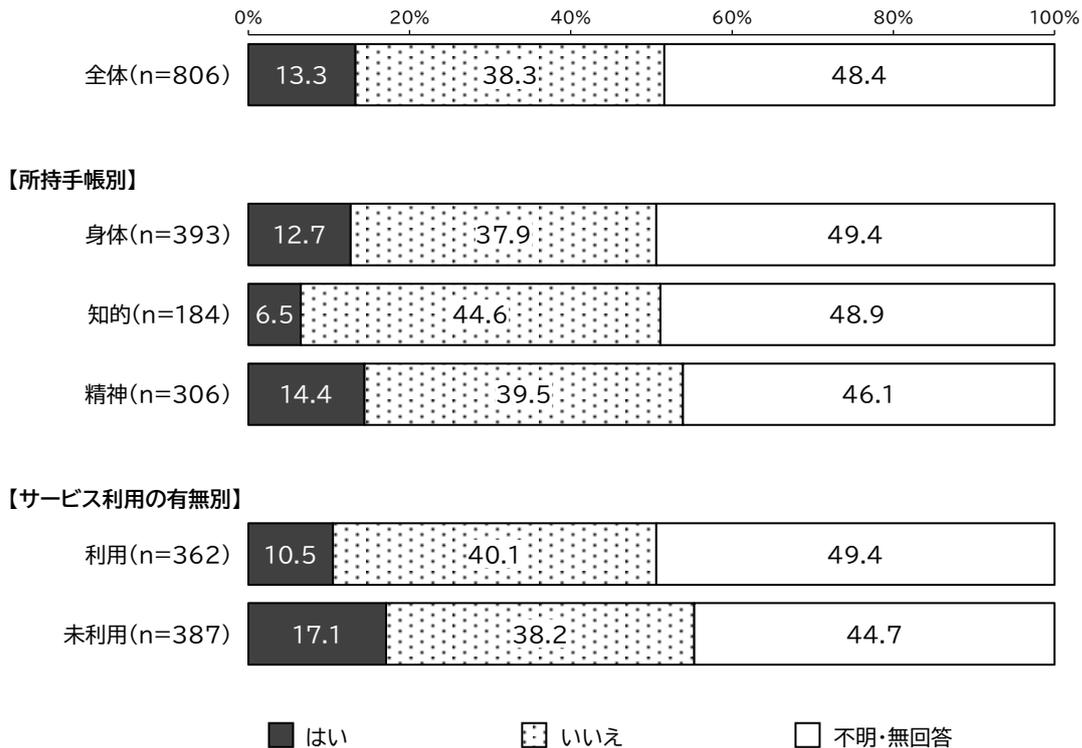


## ⑨インターネットなどでの社会交流

### ■最近1か月間の回数

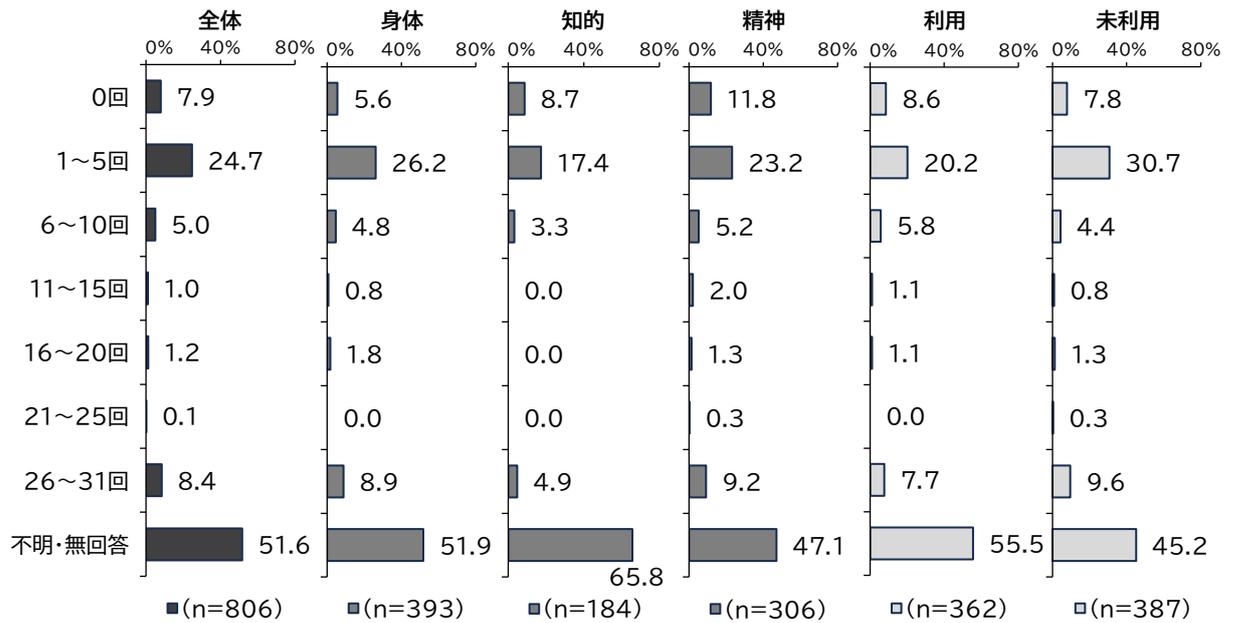


### ■今後してみたいと思うか

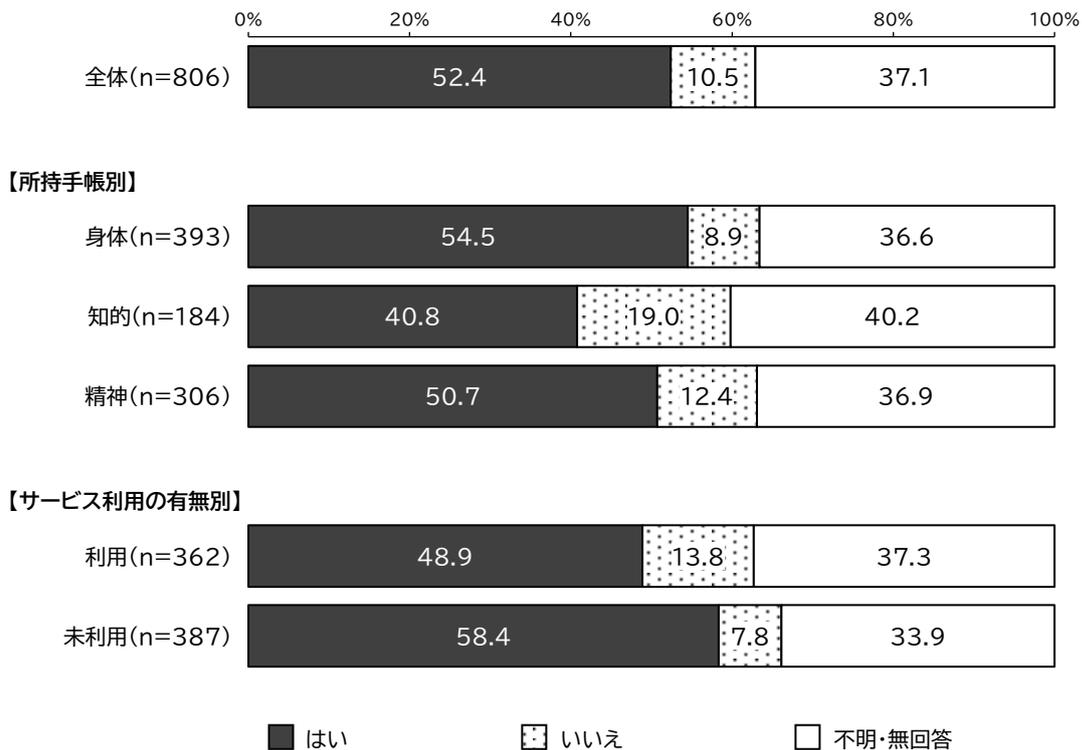


⑩家族・友人・知人との交流

■最近1か月間の回数



■今後してみたいと思うか



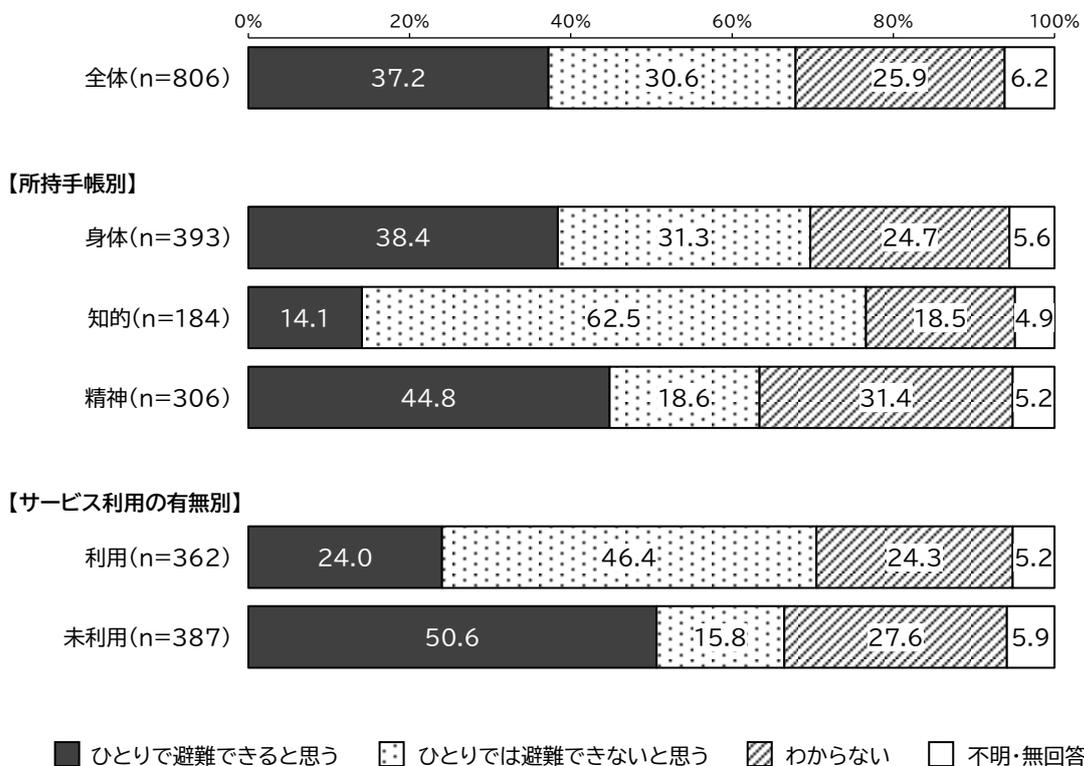
## 6. 災害時のことについて

### 問 40 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたはひとりで避難できると思いますか。(1つに〇)

災害などの緊急事態が発生した場合、ひとりで避難できると思うかどうかについてみると、全体では「ひとりで避難できると思う」が 37.2%と最も多く、次いで「ひとりでは避難できないと思う」が 30.6%となっています。

所持手帳別にみると、身体、精神では「ひとりで避難できると思う」がそれぞれ 38.4%、44.8%、知的では「ひとりでは避難できないと思う」が 62.5%と最も多くなっています。

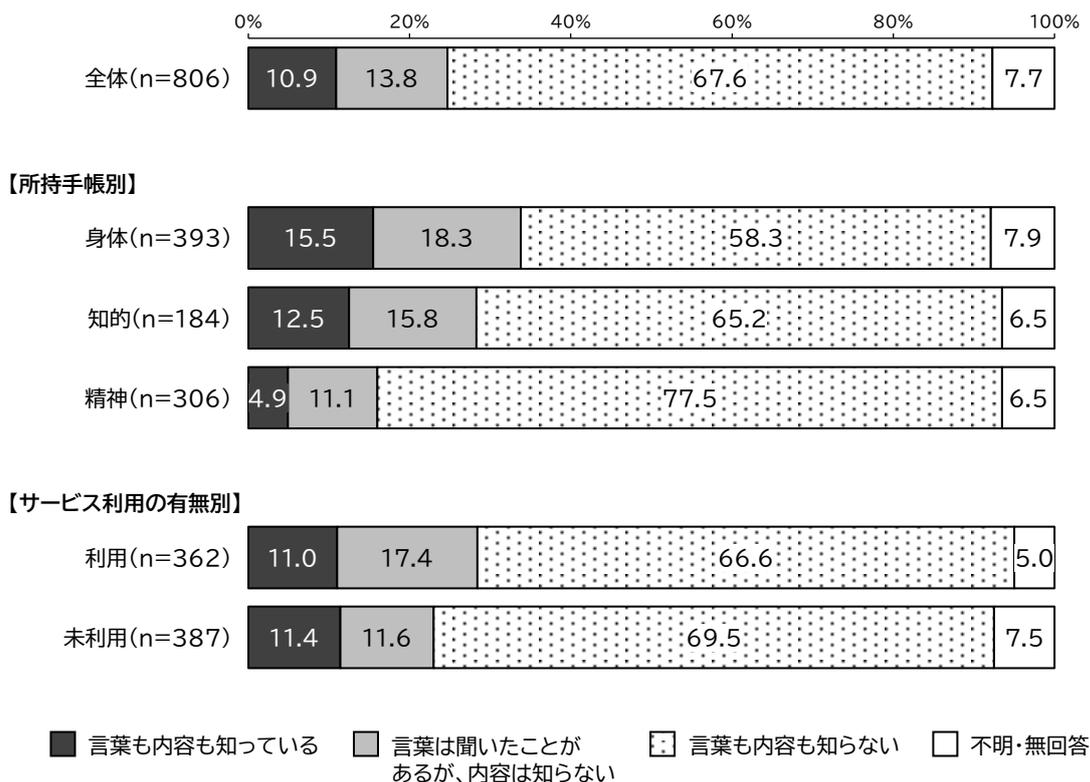
サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「ひとりでは避難できないと思う」が 46.4%、サービス未利用者では「ひとりで避難できると思う」が 50.6%と最も多くなっています。



問 41 あなたは、「地域の絆づくり登録制度(避難行動要支援者登録制度)」を知っていますか。(1つに○)

「地域の絆づくり登録制度(避難行動要支援者登録制度)」を知っているかについてみると、全体では「言葉も内容も知らない」が67.6%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が13.8%となっています。

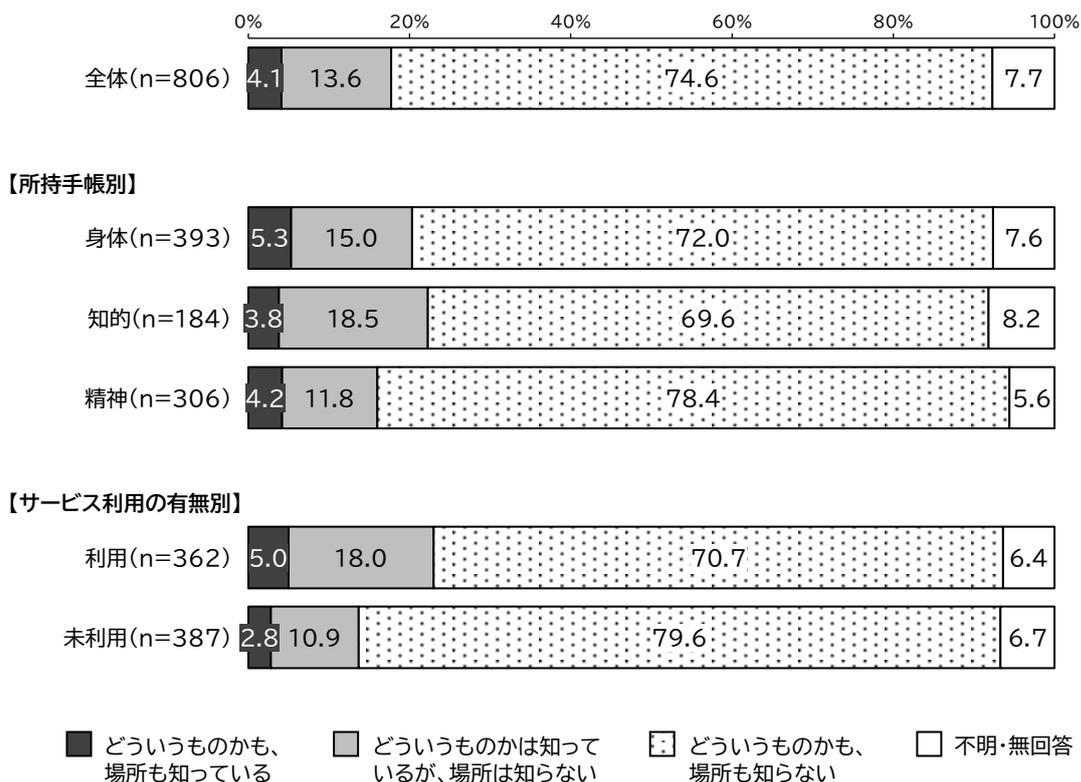
所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「言葉も内容も知らない」が最も多くなっています。



## 問 42 「福祉避難所」を知っていますか。(1つに○)

「福祉避難所」を知っているかについてみると、全体では「どういものかも、場所も知らない」が74.6%と最も多く、次いで「どういものかは知っているが、場所は知らない」が13.6%となっています。

所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「どういものかも、場所も知らない」が最も多くなっています。

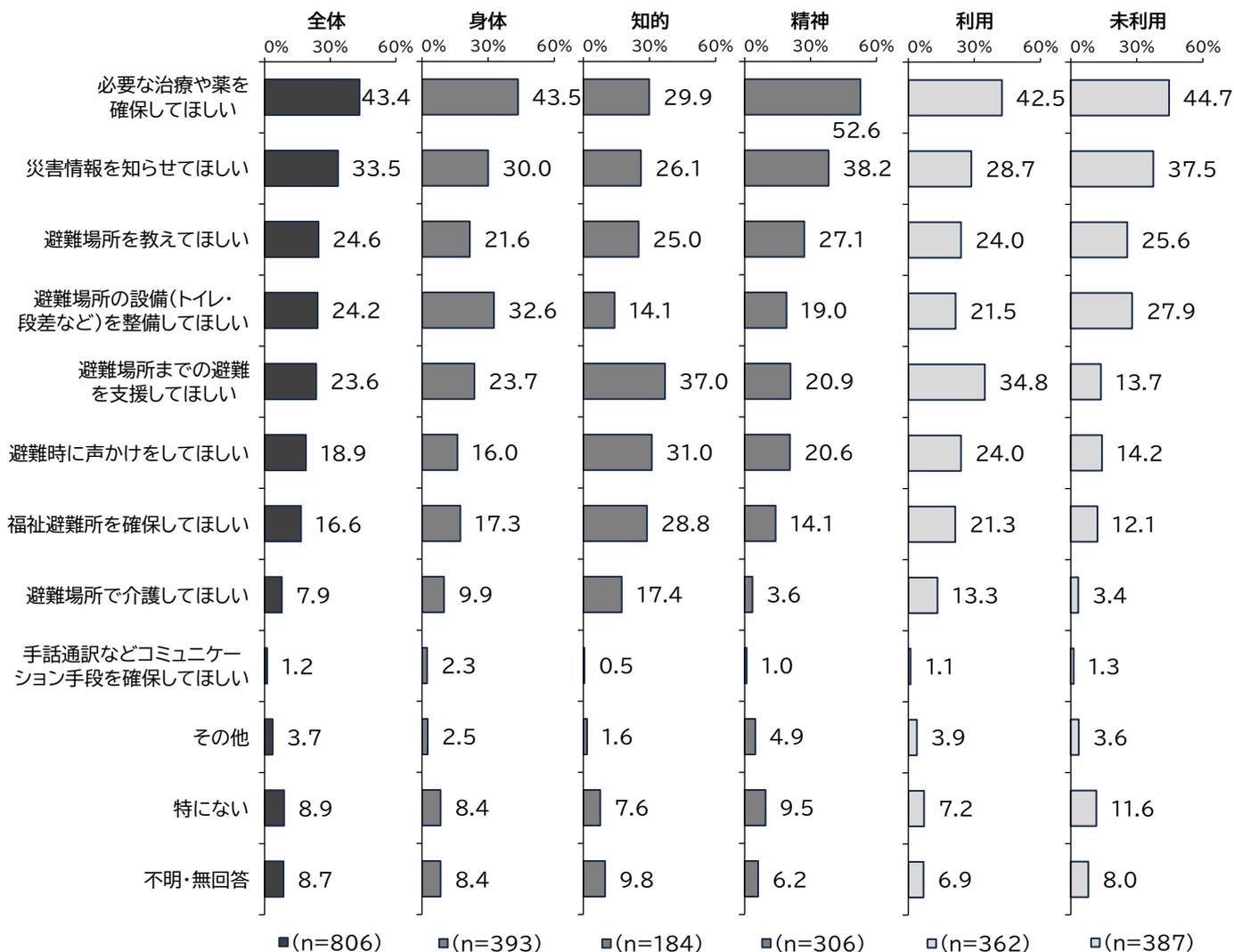


問 43 あなたが、災害などが起きたときに支援してほしいことは何ですか。(3つまでに○)

災害などが起きた時に支援してほしいことについてみると、全体では「必要な治療や薬を確保してほしい」が43.4%と最も多く、次いで「災害情報を知らせてほしい」が33.5%となっています。

所持手帳別にみると、身体、精神では「必要な治療や薬を確保してほしい」が43.5%、52.6%、知的では「避難場所までの避難を支援してほしい」が37.0%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者、サービス未利用者ともに「必要な治療や薬を確保してほしい」が最も多くなっています。

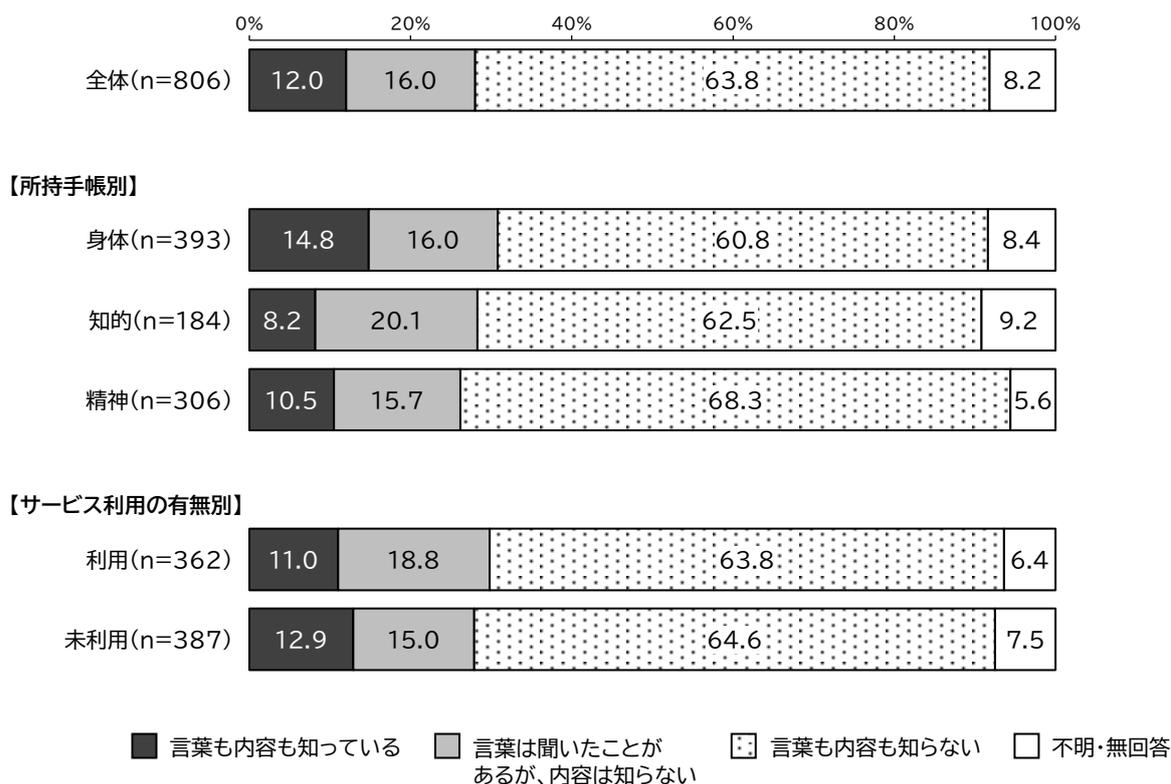


## 7. 差別の解消と権利擁護について

### 問 44 あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。(1つに○)

障害者差別解消法を知っているかについてみると、全体では「言葉も内容も知らない」が 63.8%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 16.0%となっています。

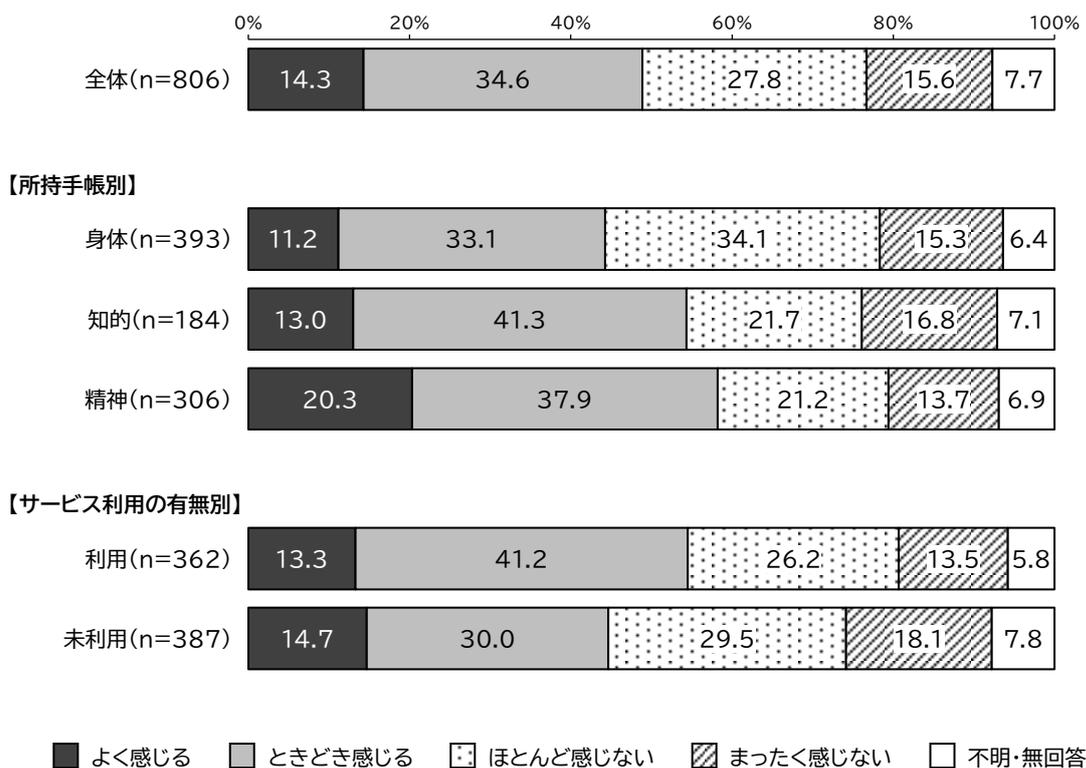
所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「言葉も内容も知らない」が6割台で最も多くなっています。



問 45 日常生活において、障害のために差別や偏見を感じることはありませんか。(1つに○)

日常生活において、障害のために差別や偏見を感じることもあるかについてみると、全体では「ときどき感じる」が34.6%と最も多く、次いで「ほとんど感じない」が27.8%となっています。

所持手帳別にみると、「よく感じる」または「ときどき感じる」の合計は、身体では44.3%、知的では54.3%、精神では58.2%となっています。

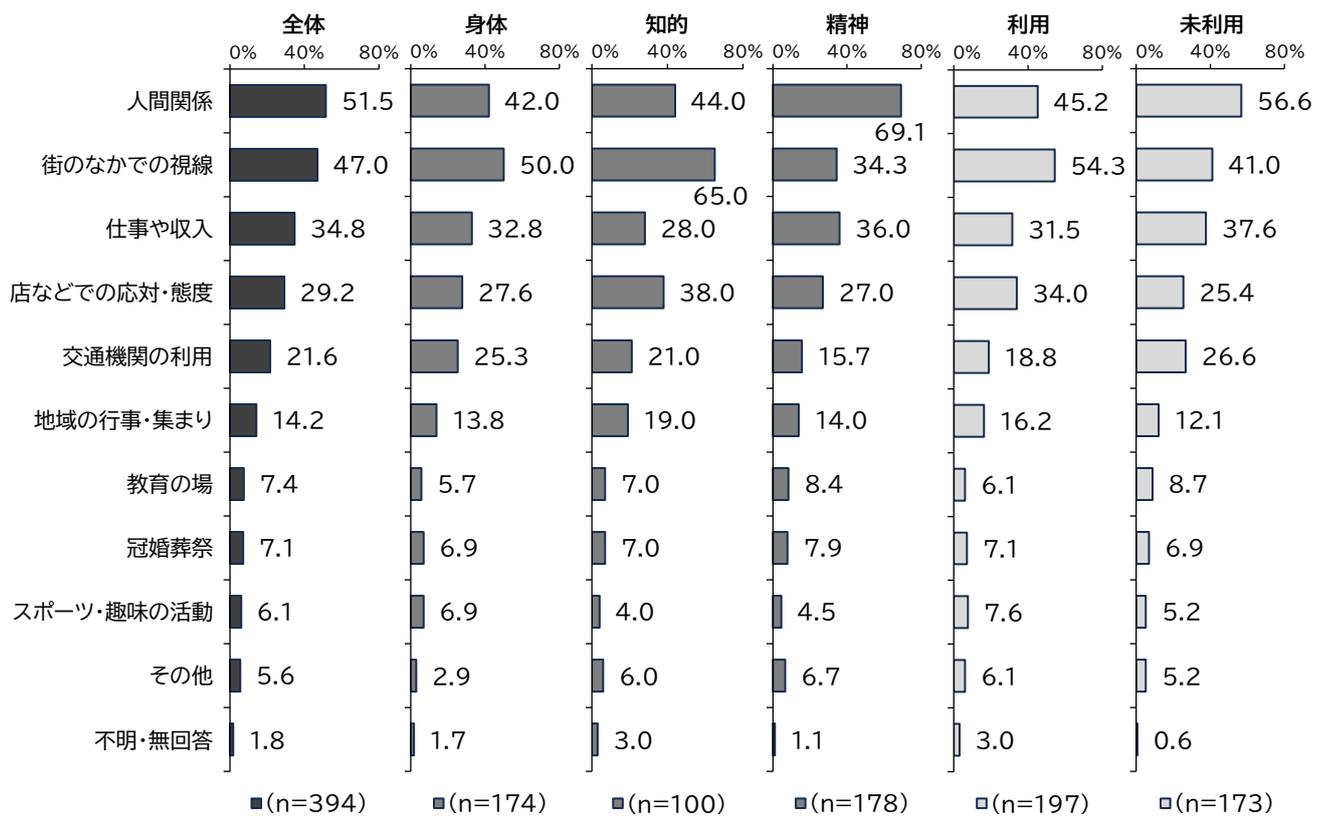


問 46 問 45 で「1」、「2」のいずれかに回答した方にお聞きます。どのようなときにそれを感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなときに障害のための差別や偏見を感じるかについてみると、全体では「人間関係」が51.5%と最も多く、次いで「街のなかでの視線」が47.0%となっています。

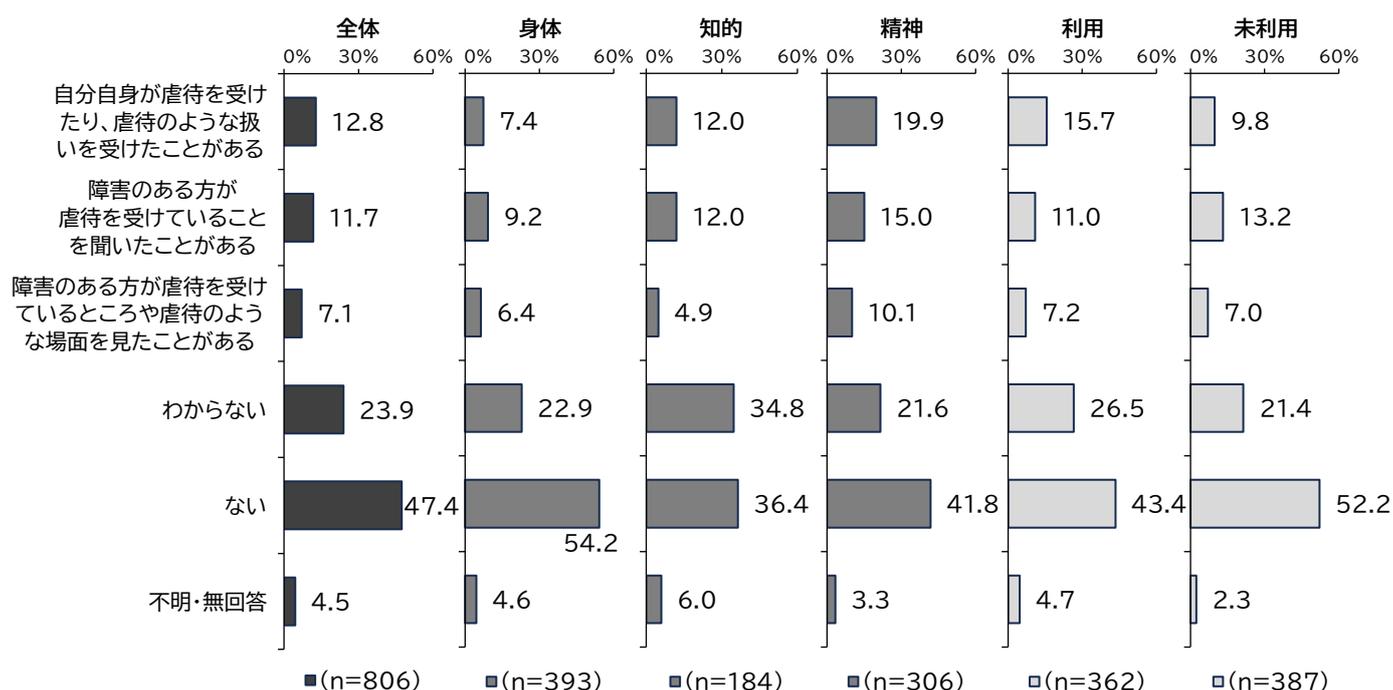
所持手帳別にみると、身体、知的では「街のなかでの視線」がそれぞれ50.0%、65.0%、精神では「人間関係」が69.1%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「街のなかでの視線」が54.3%、サービス未利用者では「人間関係」が56.6%と最も多くなっています。



問 47 **すべての方にお聞きします。あなたは、家族や施設の職員などからあなた自身がこれまでに虐待を受けたことや、障害のある方が虐待されたことを見たり聞いたりしたことがありますか。**  
 (あてはまるものすべてに○)

家族や施設の職員などから回答者自身がこれまでに虐待を受けたことや、障害のある人が虐待されたことを見たり聞いたりしたことがあるかについてみると、全体では「ない」が47.4%と最も多く、次いで「わからない」が23.9%となっています。「自分自身が虐待を受けたり、虐待のような扱いを受けたことがある」は、全体では12.8%、所持手帳別にみると、身体では7.4%、知的では12.0%、精神では19.9%となっています。

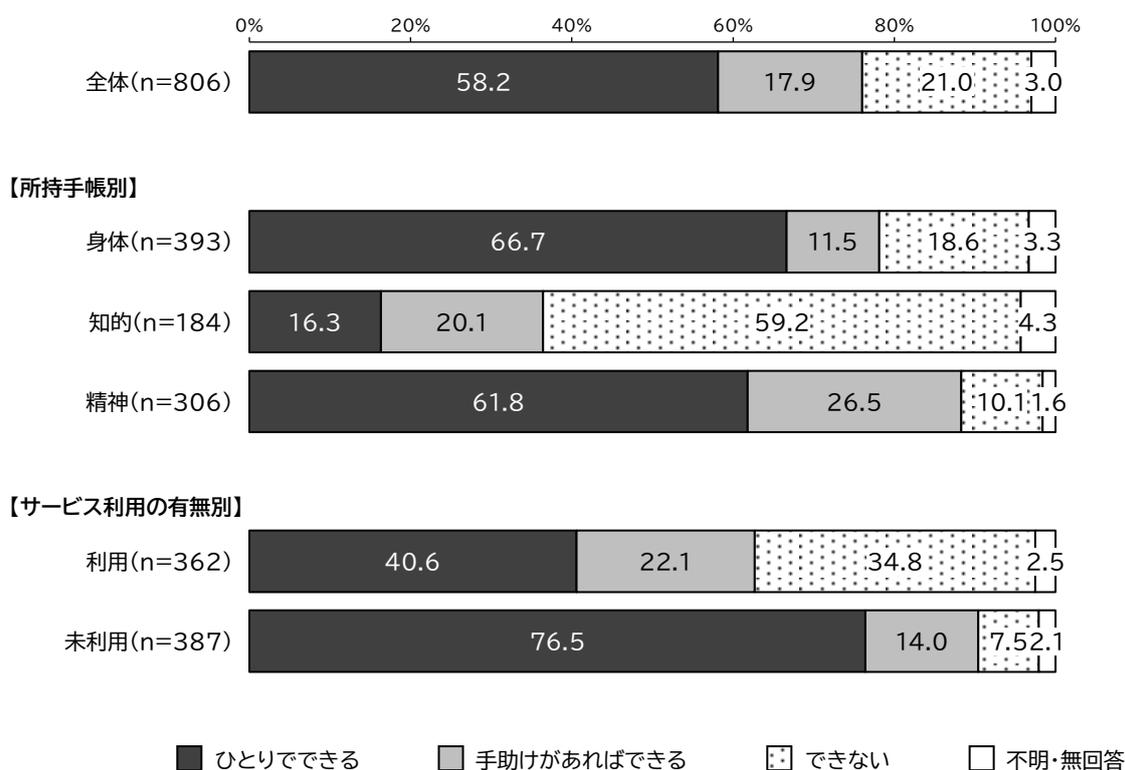


問 48 あなたは、日常生活で支払金の管理や銀行でのお金の出し入れなどの金銭管理ができますか。  
(1つに○)

日常生活で支払金の管理や銀行でのお金の出し入れなどの金銭管理ができるかどうかについてみると、全体では「ひとりでできる」が58.2%と最も多く、次いで「できない」が21.0%となっています。

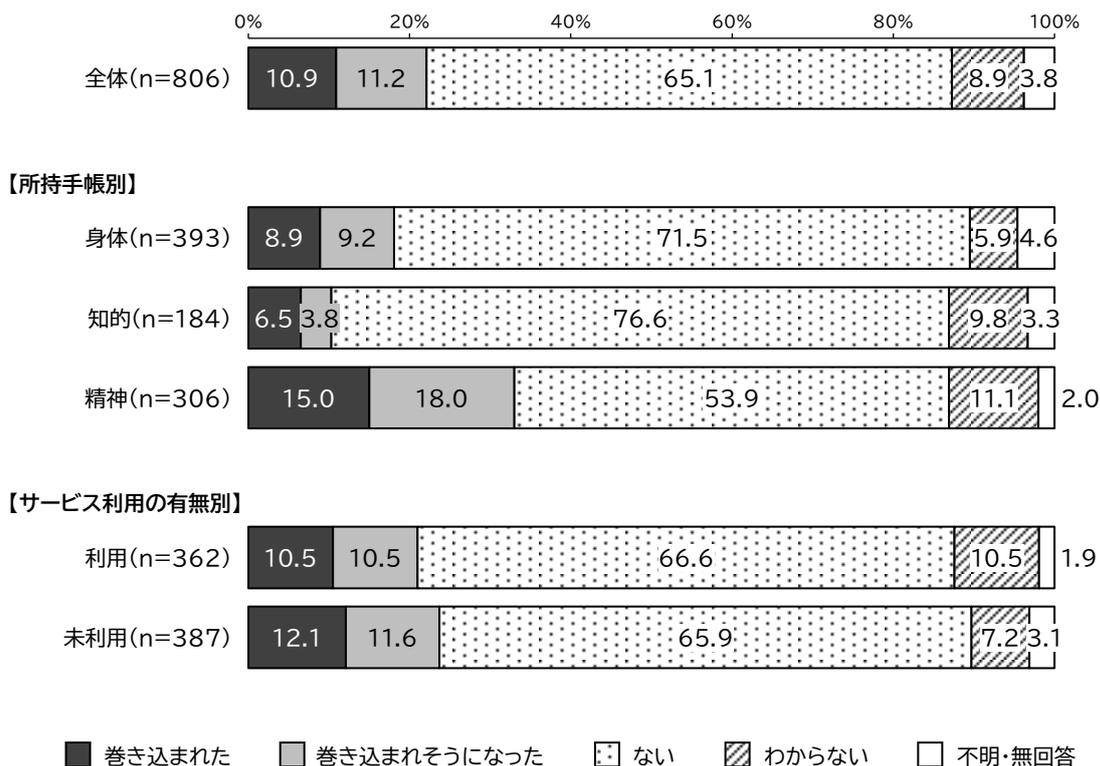
所持手帳別にみると、身体、精神では「ひとりでできる」がそれぞれ66.7%、61.8%、知的では「できない」が59.2%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、「ひとりでできる」は、サービス利用者では40.6%、サービス未利用者では76.5%と多くなっています。



**問 49 あなたは、これまでに悪徳商法などの消費者トラブルに巻き込まれたことがありますか。あるいは、巻き込まれそうになったことがありますか。(1つに○)**

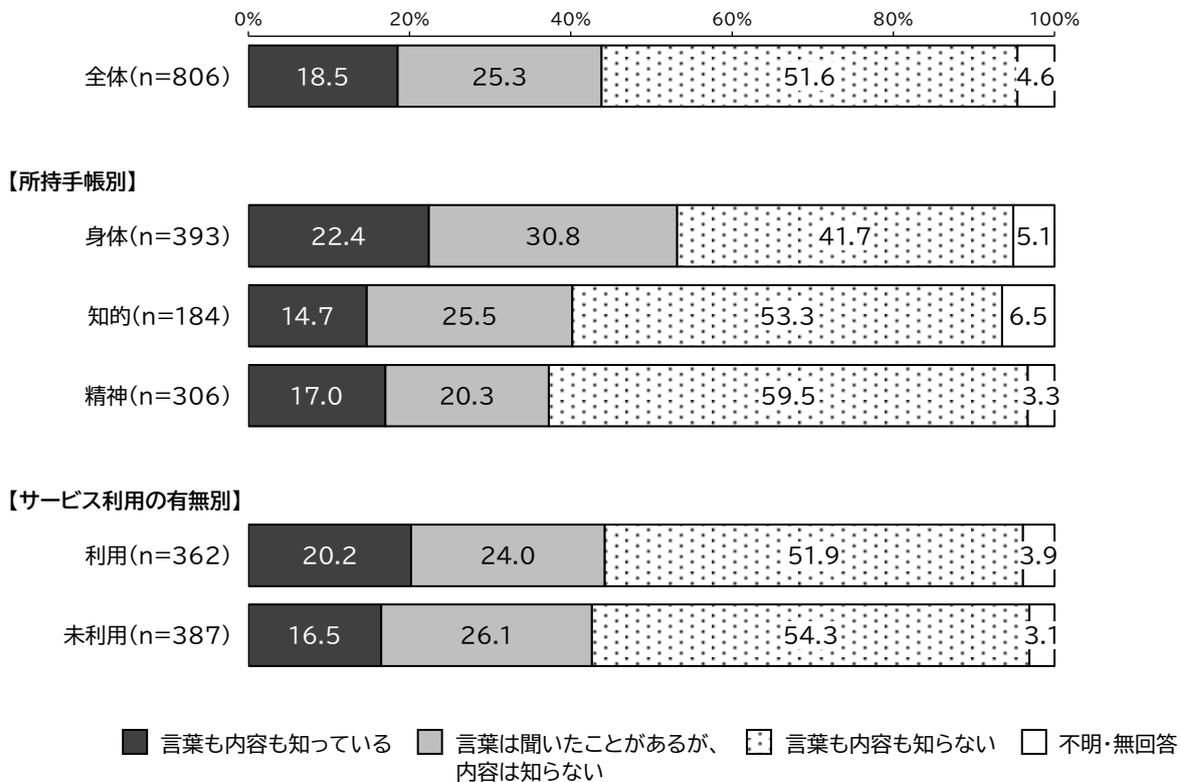
これまでに悪徳商法などの消費者トラブルに巻き込まれたことがあるか、または、巻き込まれそうになったことがあるかについてみると、全体では「ない」が65.1%で最も多くなっています。「巻き込まれた」または「巻き込まれそうになった」の合計は、全体では22.1%となっていますが、精神では33.0%となっています。



問 50 あなたは、日常生活自立支援事業や成年後見制度を知っていますか。(1つに○)

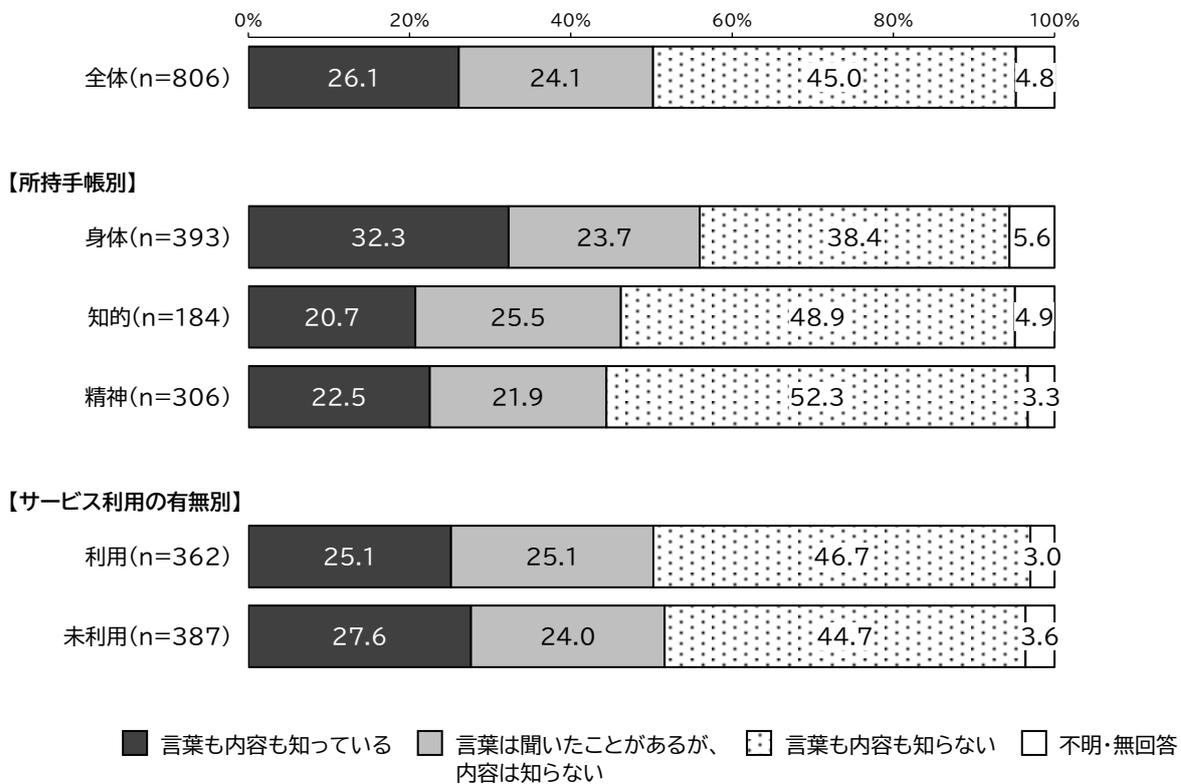
日常生活自立支援事業を知っているかについてみると、全体では「言葉も内容も知らない」が51.6%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が25.3%となっています。

■日常生活自立支援事業



成年後見制度を知っているかについてみると、全体では「言葉も内容も知らない」が45.0%と最も多く、次いで「言葉も内容も知っている」が26.1%となっています。

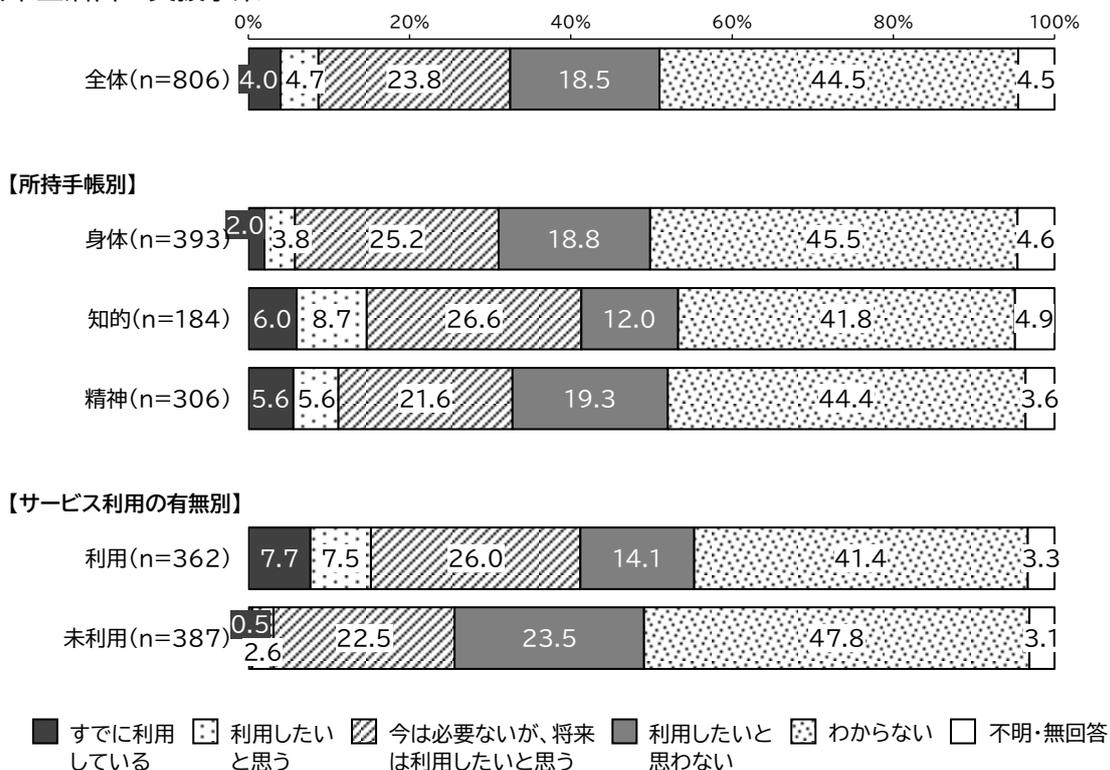
■成年後見制度



問 51 あなたは、日常生活自立支援事業や成年後見制度について、今後利用したいと思いますか。  
(1つに○)

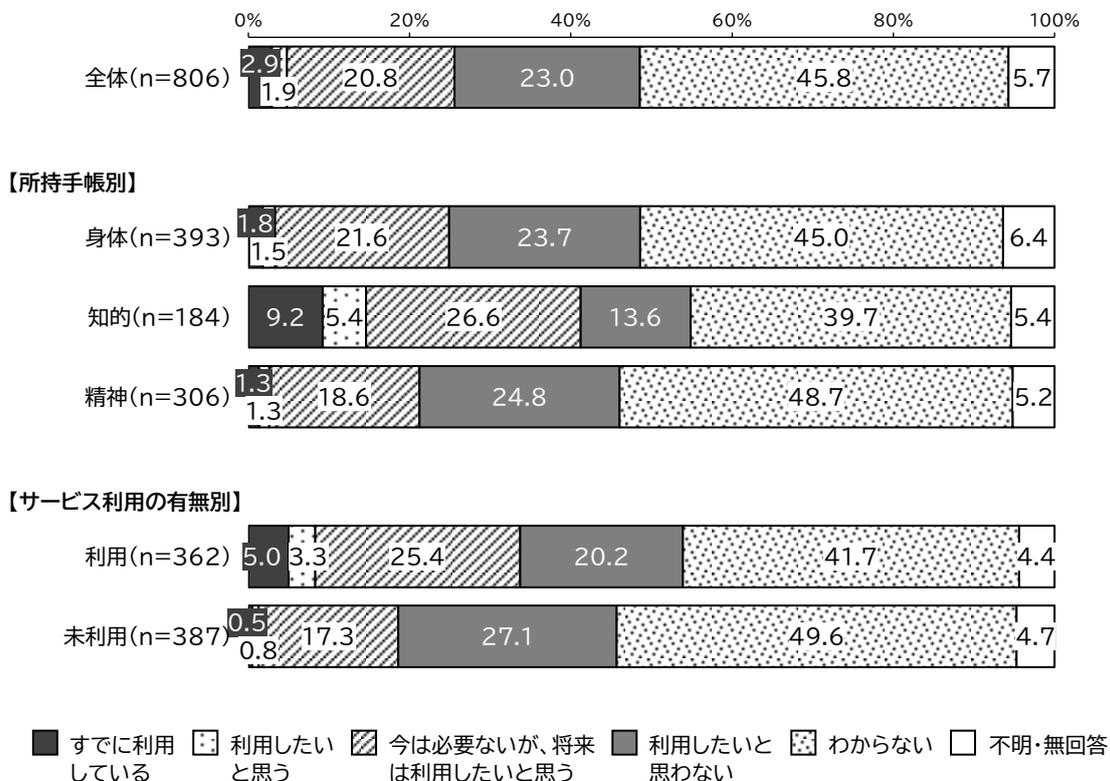
日常生活自立支援事業を今後利用したいと思うかについてみると、全体では「わからない」が44.5%と最も多く、次いで「今は必要ないが、将来は利用したいと思う」が23.8%となっています。

■日常生活自立支援事業



成年後見制度を今後利用したいと思うかについてみると、全体では「わからない」が45.8%と最も多く、次いで「利用したいと思わない」が23.0%となっています。

■成年後見制度



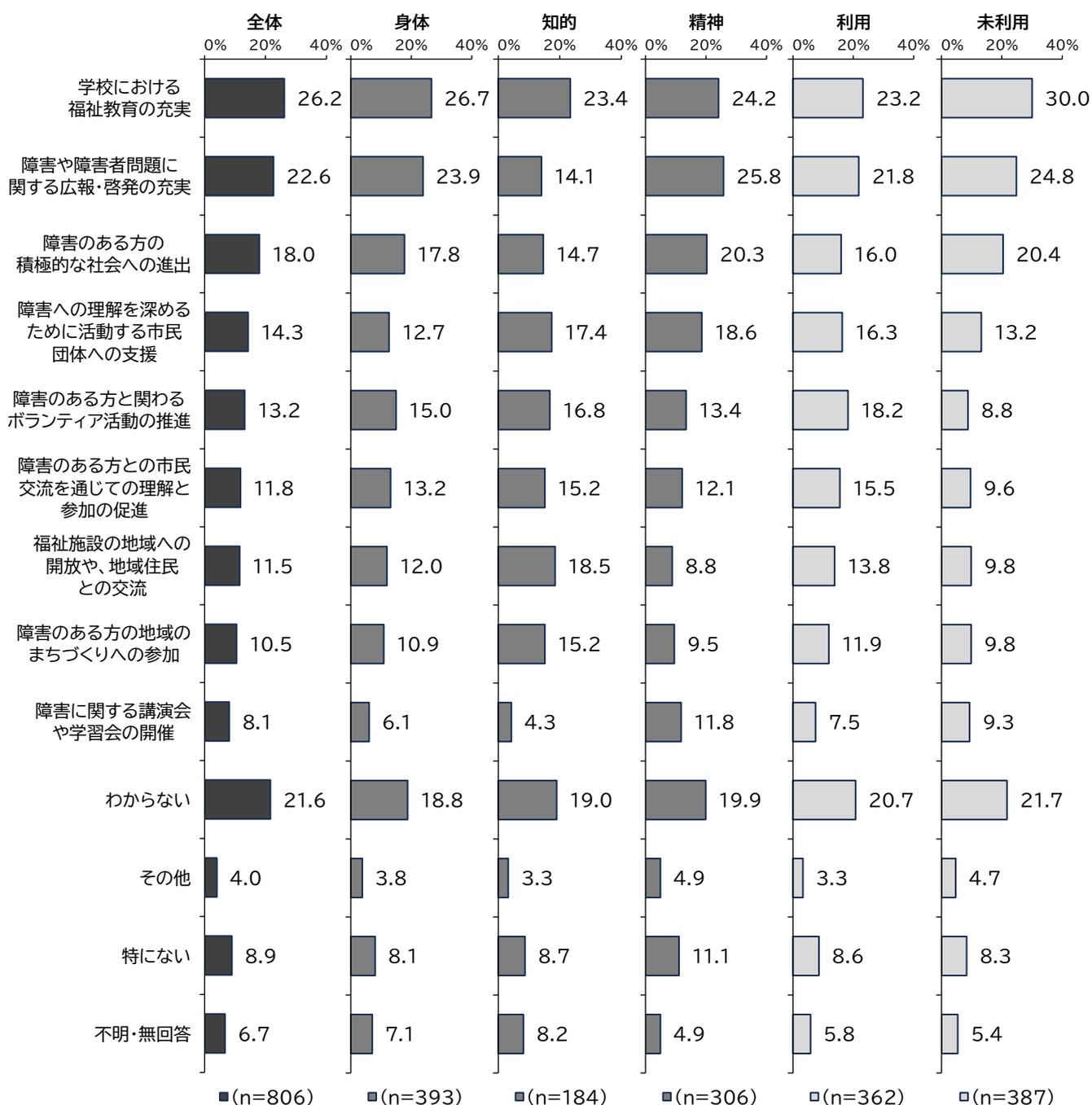
問 52 あなたは、障害のある方への市民の理解を深めるためには、何が必要だと考えますか。

(3つまでに○)

障害のある人への市民の理解を深めるためには、何が必要だと考えるかについてみると、全体では「学校における福祉教育の充実」が 26.2%と最も多く、次いで「障害や障害者問題に関する広報・啓発の充実」が 22.6%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的では「学校における福祉教育の充実」がそれぞれ 26.7%、23.4%、精神では「障害や障害者問題に関する広報・啓発の充実」が 25.8%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者、サービス未利用者ともに「学校における福祉教育の充実」が最も多くなっています。

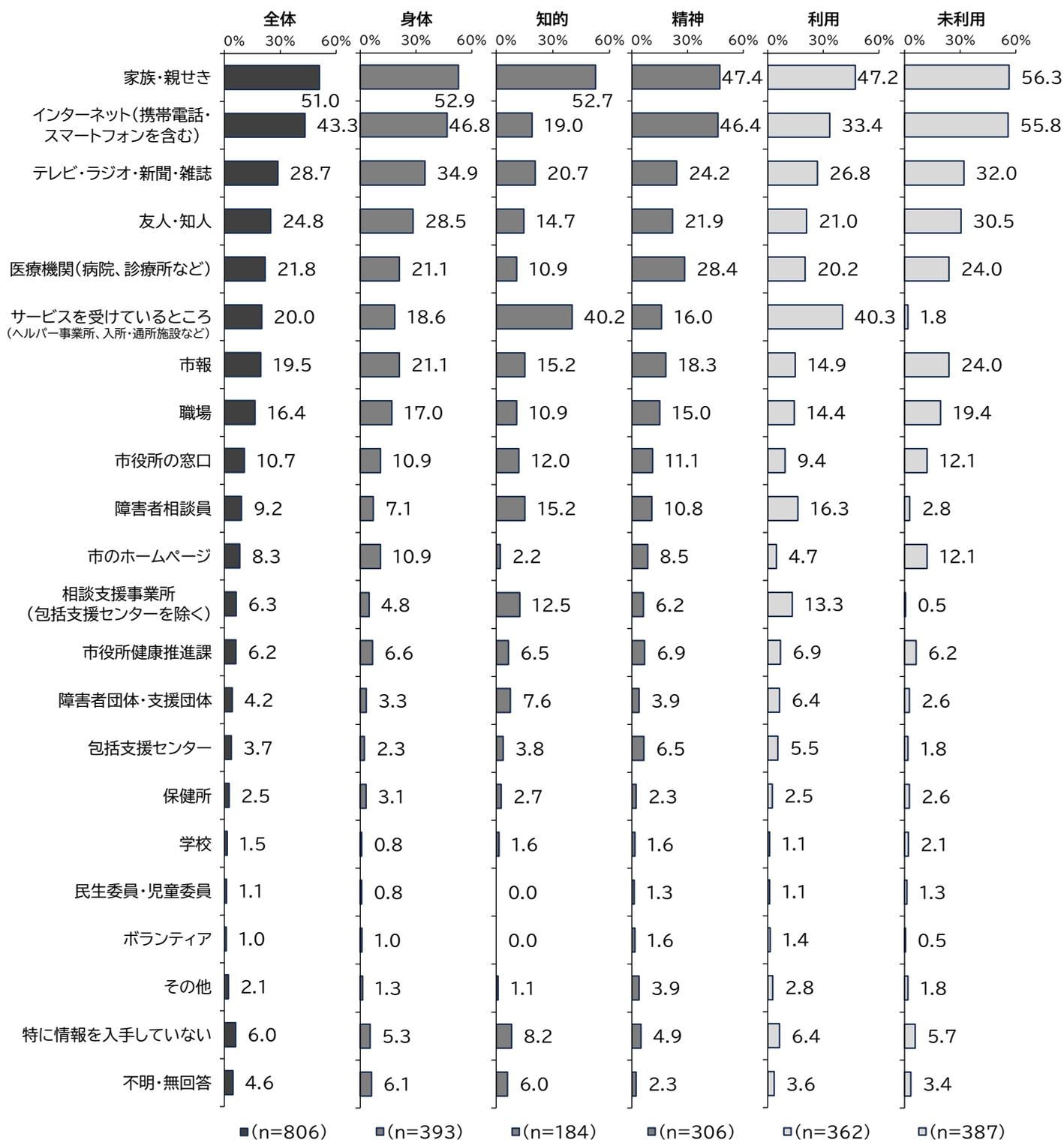


## 8. その他

### 問 53 あなたは必要な情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

必要な情報をどこから入手しているかについてみると、全体では「家族・親せき」が51.0%と最も多く、次いで「インターネット（携帯電話・スマートフォンを含む）」が43.3%となっています。

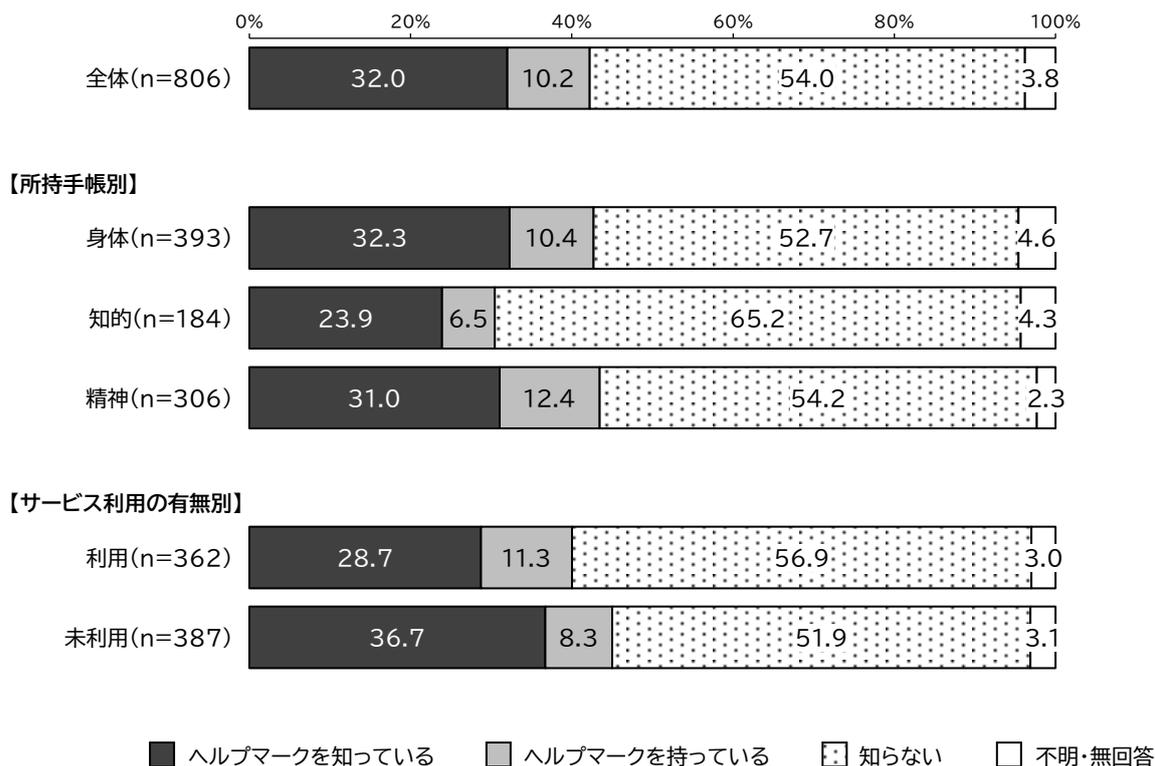
所持手帳別にみると、身体、知的、精神ともに「家族・親せき」が最も多く、次いで身体、精神では「インターネット（携帯電話・スマートフォンを含む）」、知的では「サービスを受けているところ（ヘルパー事業所、入所・通所施設など）」となっています。



問 54 あなたは配慮や支援を必要としていることを周囲に知らせる「ヘルプマーク」を知って(持って)いますか。

ヘルプマークを知って(持って)いるかについてみると、全体では「知らない」が54.0%と最も多く、次いで「ヘルプマークを知っている」が32.0%となっています。

所持手帳別、サービス利用の有無でみると、いずれも「知らない」が最も多くなっています。知的では「ヘルプマークを知っている」と「ヘルプマークを持っている」が他より少なくなっています。

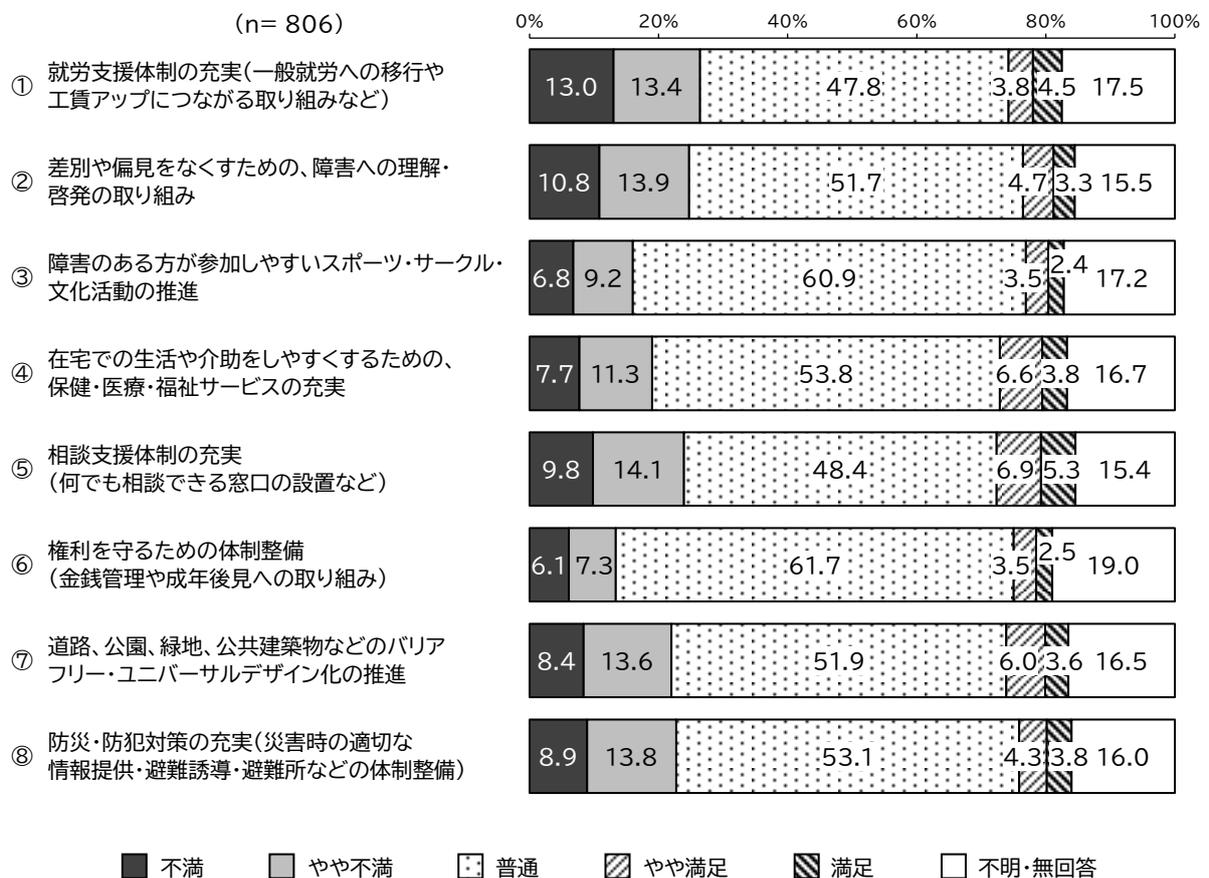


## 9. 泉佐野市の障害者施策について

問 55 次の①～⑧について、「(1)現在の満足度」「(2)今後の重要度」はどの程度になりますか。  
 ((1)(2)それぞれ1つに〇)

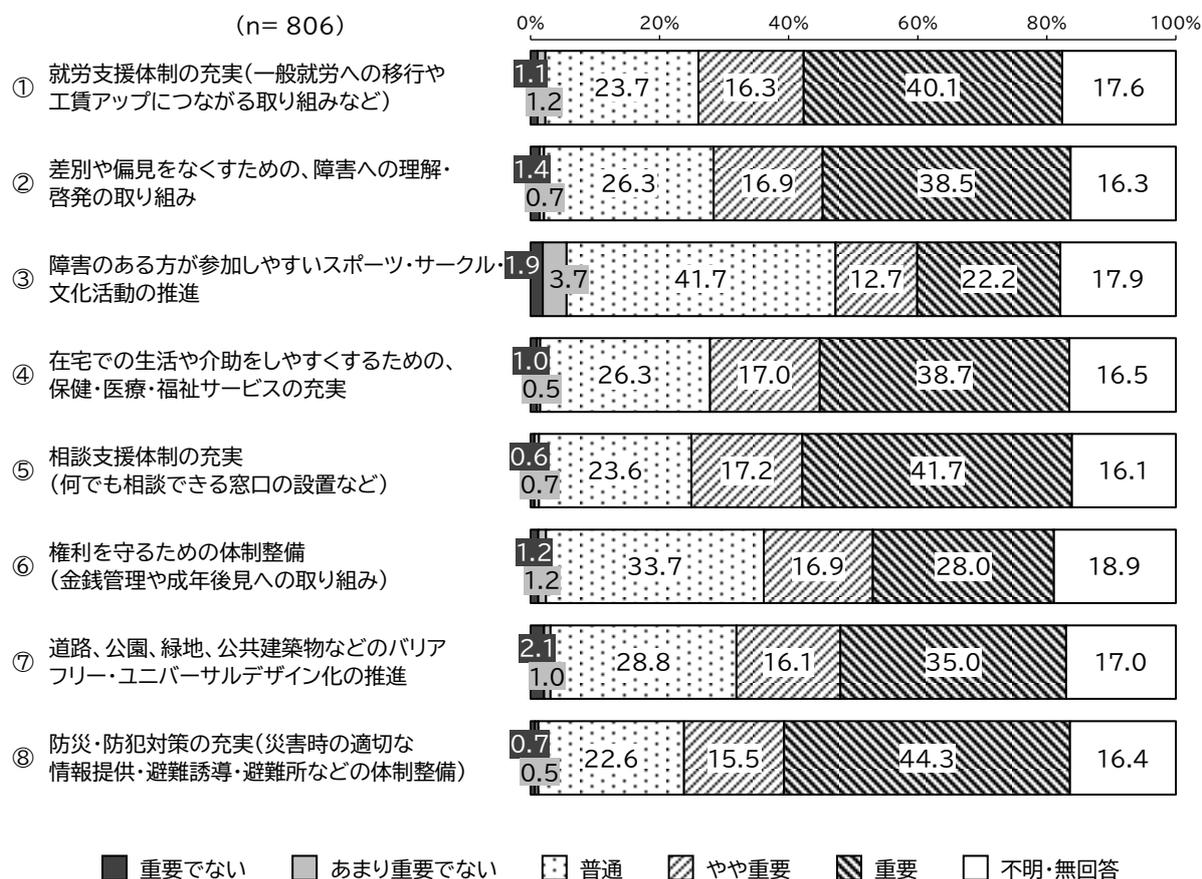
現在の満足度についてみると、すべての項目において「普通」が最も多くなっています。すべての項目で、不満という回答（「不満」と「やや不満」の合計）が満足という回答（「満足」と「やや満足」の合計）を上回っています。「不満」または「やや不満」という回答が最も多いのは「①就労支援体制の充実（一般就労への移行や工賃アップにつながる取り組みなど）」で、「満足」または「やや満足」が最も多いのは「⑤相談支援体制の充実（何でも相談できる窓口の設置など）」となっています。

### ■満足度



重要度についてみると、「⑧防災・防犯対策の充実（災害時の適切な情報提供・避難誘導・避難所などの体制整備）」で「重要」という回答が44.3%と最も多く、次いで「⑤相談支援体制の充実（何でも相談できる窓口の設置など）」が41.7%となっています。

## ■重要度



## 10. ご意見やご要望など

### 問 56 泉佐野市の障害者施策全般について、ご自由にご記入ください。

全体で 196 件の意見・要望が寄せられています。「障害者施策について」に分類されるものが 36 件で最も多く、次いで「経済的な支援について」が 28 件、「窓口対応・手続き等について」が 26 件となっています。分野別の意見数と主な意見の内容は以下の通りです。

#### ○障害者施策について〔36 件〕

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の基準以上でも以下でも良くないと思う。今のままで良いと思う。介護施設、障害者施設の経営が成り立つように助成してほしい。</li> <li>・行政は、申請主義で待っているだけでなく、積極的に状況を把握してアプローチすることも必要だと思う。現に悩んで困っている人は、自分も含めたくさんいると思う。</li> <li>・医療や行政の制度ではフォローアップできない部分のさみしさを感じている人々を多く見かける。人付き合いの要領が分からず、心の中に孤独感を抱いている人が多くいると思う。そのような人々に優しくあいさつを投げかけ、できる限り親しく言葉を交わせるように努めると、今まで誰とも会話をしていなかった人も、親しげに接してくれるようになる。</li> <li>・障害のある人すべてに対して、平等に支援や相談ができる体制を早急にすべき。そのためには、一人一人に対して担当者を付けるなど細やかな配慮がいる。</li> <li>・少しずつでも前に進む泉佐野市に期待したい。親亡き後も安心して暮らせる世になってほしい。</li> <li>・区分基準の緩和をしてほしい。</li> <li>・もう少しボランティア活動を増やしたり、相談機関が充実したりしてほしい。現在、ハローワークしか相談機関がないので、生活全般のことを相談できる場が必要だが、見つけづらい。</li> <li>・気軽に体を動かせる場所があればと願っています。通所も座り仕事で運動不足。マシーン使用なら続けて行けそうで、会場がないのが残念。会場は駅下の空き家などの再利用をお願いしたい。</li> <li>・障害者が表現できるイベントや活動をもっとしてほしい。障害者でも自己主張が強い人もいるし、もっと色々知ってほしい。</li> <li>・子育て世代ばかり優遇されていて、障害者施策は後回しにされている。</li> <li>・その場限りでなく、持続性が必要だと思う。</li> <li>・障害者にもパークセンター、(泉佐野、上ノ郷の)丘陵緑地のウォーキングコースのバリアフリー。</li> <li>・全体的に福祉事業者寄りの考えをしている。障害者に寄り添い、共感した施策を行っているとはいえない。</li> </ul>

#### ○経済的な支援について〔28 件〕

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯主の障害者は水道代を半額にしてほしい。</li> <li>・小さい子や一人親家庭には援助があるのに、障害者には何もない。障害者を持つ家庭は、年齢</li> </ul>

に関係なく大変な思いをしている。

- 医療費補助がなくなり厳しい。
- 障害年金の額や障害年金をもらえる病状について不満。今の額や病状では、金銭面で到底生活できない。
- 物価高による金銭支援。
- 課税額をもっと考えてほしい。課税が多く、日常的に、少し金銭面で辛い部分がある。
- 市から障害者に生活補助金を年に1回でも頂けたら、もう少し生活が楽になる。
- 級に合わせた支給額を上げてほしい。通院費の支給。
- 物価、ガソリン燃料費が高騰しているにもかかわらず、年金は上がらず、出費ばかり増えている。障害者支援も目を向けていただきたい。人が月10万で暮らせるはずがない。
- 障害者が安心して生活できるための、経済的な支援が充実した社会になってほしい。親世代がいなくなっても、生活できる経済的な安心。

### ○窓口対応・手続き等について【26件】

#### 主な意見

- 南部市民交流センター就労支援センターに母が相談させて頂いた際に、精神障害についての知識も乏しく差別的な発言を受けた。
- 事務的に対応されるのが嫌。困って相談に行っても、何も考えてくれたりしないので、障害者を馬鹿にしているように感じる。
- 耳が聞こえないのに、メールではなく電話対応になるのも、マスクを付けて話されるのも辛い。
- まず相談事など、どこの部署の誰に相談すれば良いか分からない。結局、それはあそこ、これはそこ、とたらい回し状態である。
- 相談員と名乗っている人達が、相談している自分よりも辛い人生を送って今があるから大丈夫、など、相談事を度外視した返答や、自分語りが多い。
- 各種障害福祉に関する申請等の簡素化・IT化。
- 障害者に関する窓口を、すべて同じ窓口でできるようになると分かりやすい（障害者年金や福祉サービス）。
- 就労者は土日休みでは市役所の手続きに行きにくい。障害手帳を持っている限り、更新・給付などの手続きを減らしてほしい。
- 障害に関する年金や、その他支援等の申請に数ヶ月時間を要するため、円滑にしてほしい。
- 電話対応（市役所）の人が子供扱いする。
- 筆談対応してくれるところが増えてほしい。
- 医療費限度額など、手帳を持っている時点で、何も一つ一つ申請などこちらからしなくても、自動で何でも適応にしてほしい。マイナンバーでもっと管理し、申請や手続きを省いてほしい。
- 地域共生推進課の窓口の方が、いつ呼んでもなかなか対応してくれず、来所しにくい。窓口で声をかけても気付いてくれなくて困っている。

○アンケート調査について【18件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回のアンケートで知らない制度が多かった。</li> <li>・ 難しくて答えられない。</li> <li>・ 集計作業を行う方が、とてもやりづらい作りになっていると感じる。回答する方においても、文字の改行が見つらかったりするので、文書・書類作成の基本がなっていない。</li> <li>・ アンケートが本人は理解できない。</li> <li>・ 宛名下のバーコードは個人特定になるのか。</li> <li>・ 回答数が多くて後半読む力、聞く力が弱くなってきた。同じ様な答えもあり、もう少し集約できないのか。</li> <li>・ 返信の封筒が小さすぎる。</li> <li>・ 当事者が知的障害者である場合、「あなた」の考え・気持ちと、「回答者（家族）」のそれが一致するとは限らない。設問のあり方をもう少し考えた方が良い。</li> </ul>

○広報・情報提供について【18件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害内容に合わせた情報提供ができる社会が良い。デジタル社会なので、広く情報を個別に発信することが望ましい。</li> <li>・ 日常生活の中では、市の施策がどれだけあって、どれだけ利用できるのか、あまり分からない（広報されていない）と感じる。</li> <li>・ 子育て支援等に関する補助や給付は改革されているが、障害者へのそういった対応は少なく、手続きが必要な場合の申請方法等の案内が不親切だと思う。</li> <li>・ 学校への教育、マスメディアでの啓発、社会的な関心を高めてくれるユーチューバーやインフルエンサーの出現を期待している。</li> <li>・ 精神障害の認知度は低いと思うので、小さいうちから知っておくべきだと思う。セミナー（誰でも参加できる）があれば、認知度は上がると思う。</li> <li>・ 精神障害者はそもそも支援について知らない人も多いと思う。病院では教えてくれないことが多い。うつ状態になると何もできないし、人にも会うのが難しい。</li> </ul>

○障害福祉サービス等について【17件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公営の場の更衣室に障害者用を増やしてほしい。子供が男性なので、女子更衣室に入れたい。</li> <li>・ 移動支援をしてもらえる事業所が少ない。</li> <li>・ デイケアの人の金額は高いと思う。ケアマネジャーが月1回来て1万以上、自分達が上という人も多い。</li> <li>・ 通所サービス施設の親に対する対応（言葉等）に気をつけてほしい。</li> <li>・ いざ必要な時などすぐにサービスが受けられる所がないので、出来るだけサービスが受けられるような介護サービス（窓口）を設けてほしい。</li> <li>・ セラピー犬と一緒に暮らせる住宅などを設けていただきたい。</li> <li>・ 親が先に死亡または長期入院した時に、グループホームや施設に入所できるのか不安。ヘルパ</li> </ul>

ーさんの人員を増やしてほしい。

- 精神障害がある方は、通院の利用が難しいことがあるので、専門の方が自宅などに来訪してほしい。
- 障害者・高齢者の自宅に、緊急通報装置を格安で設置してほしい（スピーカー放送が聞こえない）。
- 入所施設やグループホームの充実（待機なく入れるように）。

#### ○差別解消・障害理解について【13件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>• ヘルプマークについて、自転車に貼り付けるシールや暗がりや光るシールなどを作って安全面に考慮してほしい。</li><li>• 一般の方々へのルール（障害者用駐車スペースの利用方法等）の徹底。</li><li>• 泉佐野市は障害者に冷たい。中学の時にじめを受けて、今でもその人から言葉の暴力を受けている。</li><li>• 障害者への差別、虐待があり、虐待で大阪府庁へ通報した事もある。虐待した人への罰則強化を強く望む。</li><li>• 見て分かりにくい障害は仕方ないが、仕事や人間関係で生きづらい。精神障害の理解もまだまだと思う。</li><li>• 全盲と弱視についての違いの理解。例えば弱視で白杖を持っていると、第三者から、見えているのに何で杖を持っているのと言われ、トラブルになる。</li><li>• ヘルプマークへの理解が乏しいと思う。明らかな態度の変容も時折あり、付ける事を迷うこともある。</li><li>• 電車やバスの優先座席を教育するべき。旅行客の方がヘルプマークを見たり、自分より年が上だと、座っていればすぐに立ち上がって替わろうとしてくれるが、日本人は見て見ぬふりで恥ずかしい。</li></ul>

#### ○就労について【13件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>• 働くところがない。</li><li>• 就労支援の工賃向上を目指してほしい。</li><li>• 作業所に定期的な監査をしてほしい（新規の作業所も含めて）。トラブルが起きて職員に対応ミスがあっても、職員は保身のため、利用者の責任で解決するため、対応の仕方、その後どうなったか、改善したか、適切な対応だったか、書類で残しているか、などを監査してほしい。</li><li>• 精神障害者は見た目では一般人と変わらないので、辛いことがある。就労支援A型で働きたいが、給料が安すぎる（時間も短い）。障害者枠で働いているが、周りから理解されなくて辛いことがある。会社にケースワーカーがいればと思う。</li><li>• 就労支援B型の人は賃金が安すぎる。そういう施設で働いている所は市から援助を受けていると聞いたが、あまりにもひどい。辞めると言ったら、籍だけでも置いてくれないかと言われ、悪質。障害者のためじゃなく、自分達のために働かせている。表向きは障害者のためみたいなことを言って、おかしい。</li></ul>

- 重度障害者が働きやすいように、介助員を付けて就労するようにして欲しいと思う。介助員が付くことによって、障害者の就労状況の監督ができるようになる。

○交通・外出について【11件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 再建のため右足の筋肉を取ったので歩くのがしんどいため、駐車禁止等除外の交付がほしい。</li> <li>• 車椅子用の駐車場に健常者が停めたり、主人の車で買い物に出ても駐車場に困る。</li> <li>• 歩道の整備をしてほしい。足が引っかかり、こけそうになる。</li> <li>• タクシー券を利用できるようにして頂きたい。</li> <li>• JR 東佐野駅、日根野駅（長滝もか？）、エスカレーターがなく、エレベーターも完全ではなく、障害者にとっては使いにくい状況。日根野駅の海側から車椅子で乗ろうとした場合も、かなり困難。</li> <li>• 道路の溝をなくしてほしい。なくせない場合「柵」を作ってほしい。</li> </ul>

○その他【16件】

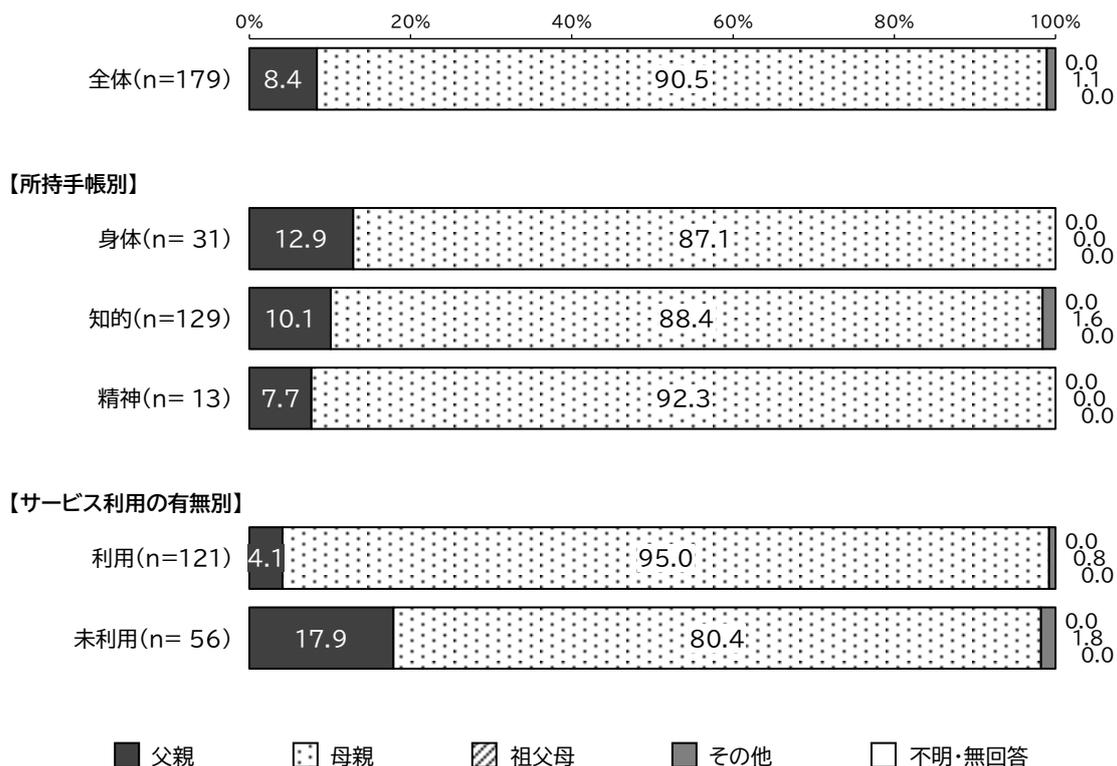
主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 民生委員のなり手がなく、びっくりするような方が民生委員さんになり、相談などできない。おしゃべりな方や、違法なことをしている方がいて、怖い。</li> <li>• 最先端の新薬を使えるように配備してほしい。</li> <li>• 両親の他界もあり、弟にも出て行かれ、一人になってから自殺したくなるが、勇気がない。</li> <li>• どのようなことをしているかよく分からないので、答えられない。</li> <li>• 一人になった時とても不安。</li> <li>• 市民病院も全体的に汚いから改修してほしい。</li> <li>• コロナにより施設外活動ができない。</li> <li>• 医療機関が不足していると思う。</li> </ul>

## IV 調査結果〔18歳未満対象〕

### 1. あなたやお子さんのことについて

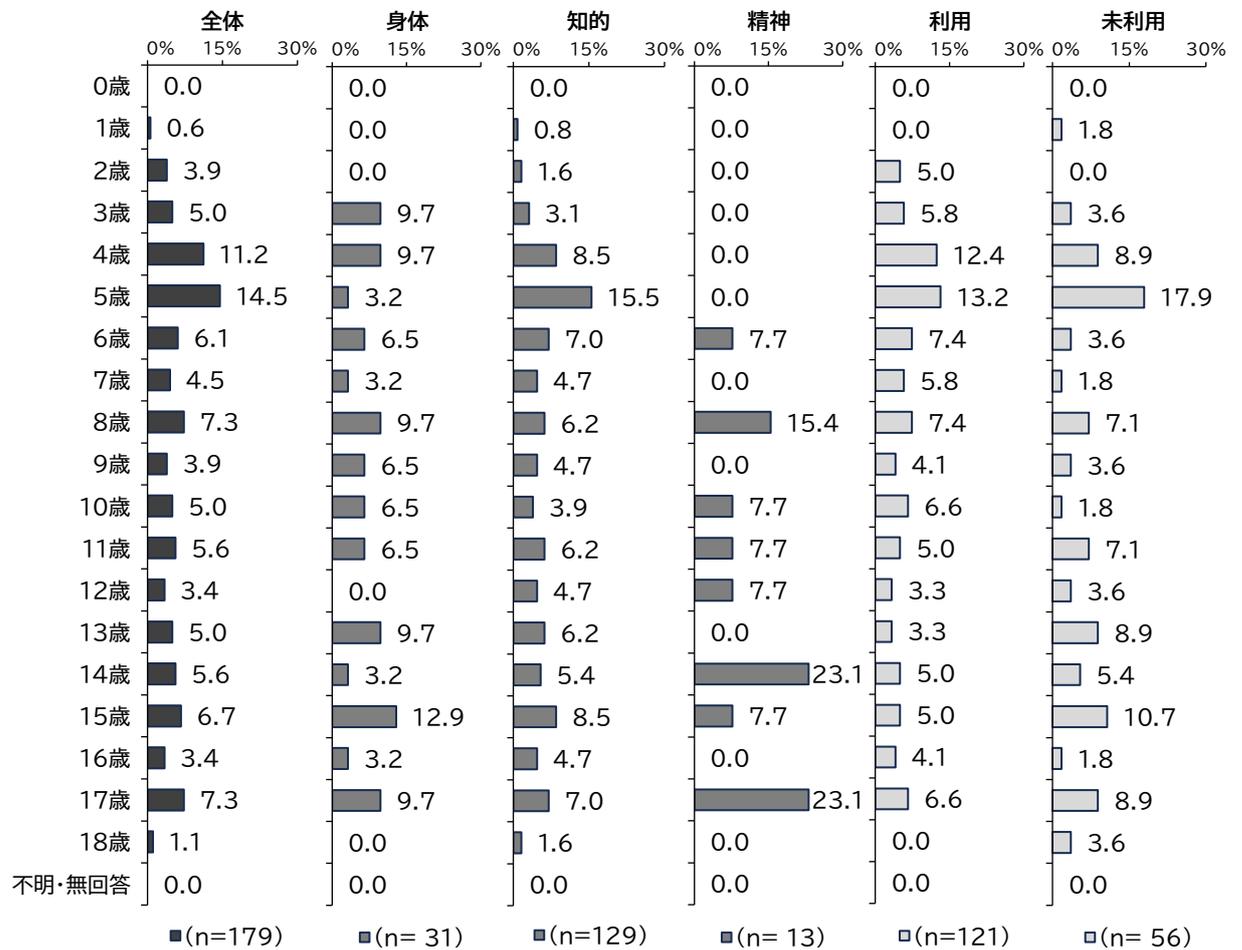
#### 問1 お子さんからみたあなたの続柄(1つに○)

子どもからみた記入者の続柄についてみると、全体では「母親」が90.5%と最も多く、次いで「父親」が8.4%となっています。



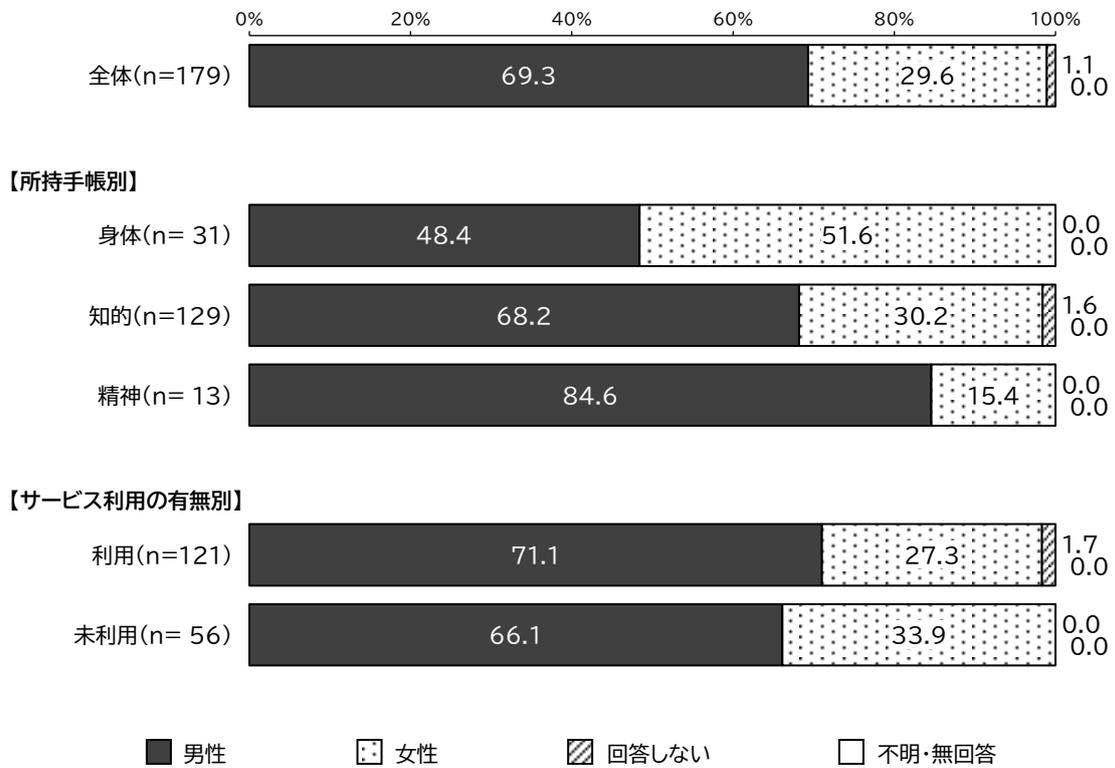
## 問2 お子さんの年齢(数字を記入)

対象となる子どもの年齢は以下の通りです。



### 問3 お子さんの性別(1つに○)

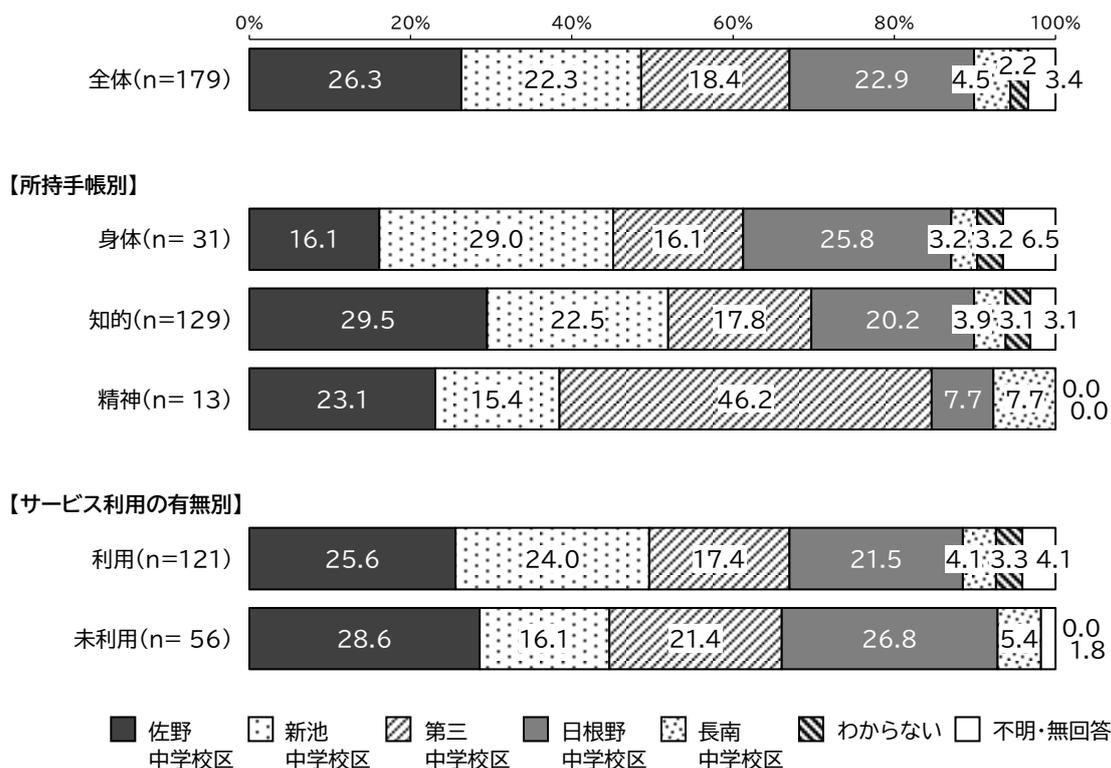
子どもの性別についてみると、全体では「男性」が69.3%、「女性」が29.6%となっています。  
所持手帳別にみると、精神では「男性」が84.6%と多くなっています。



問4 あなたは泉佐野市内のどの中学校区にお住まいですか。(1つに〇)

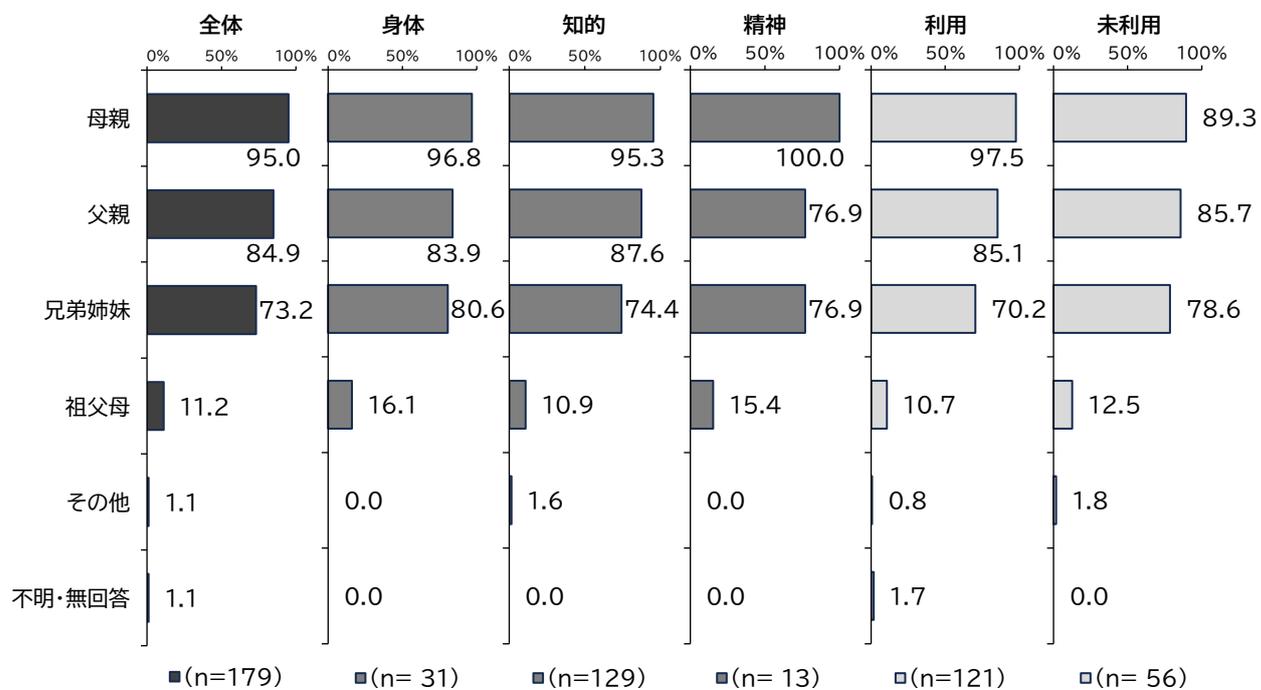
お住まいの中学校区についてみると、全体では「佐野中学校区」が26.3%と最も多く、次いで「日根野中学校区」が22.9%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「新池中学校区」が29.0%、知的では「佐野中学校区」が29.5%、精神では「第三中学校区」が46.2%と最も多くなっています。



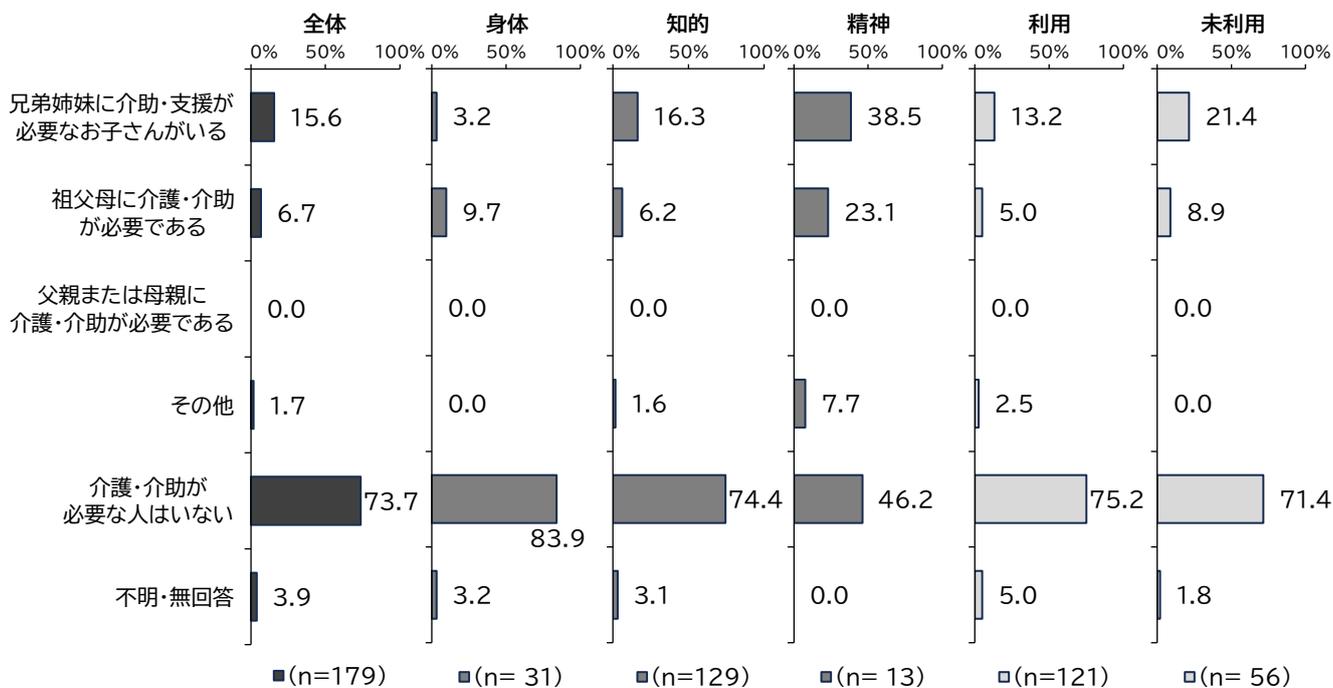
問5 家族構成についてお聞きします。同居されている方を、障害のあるお子さんからみた続柄で教えてください。(あてはまるものすべてに○)

同居している人の、障害のある子どもからみた続柄についてみると、全体では「母親」が95.0%と最も多く、次いで「父親」が84.9%となっています。



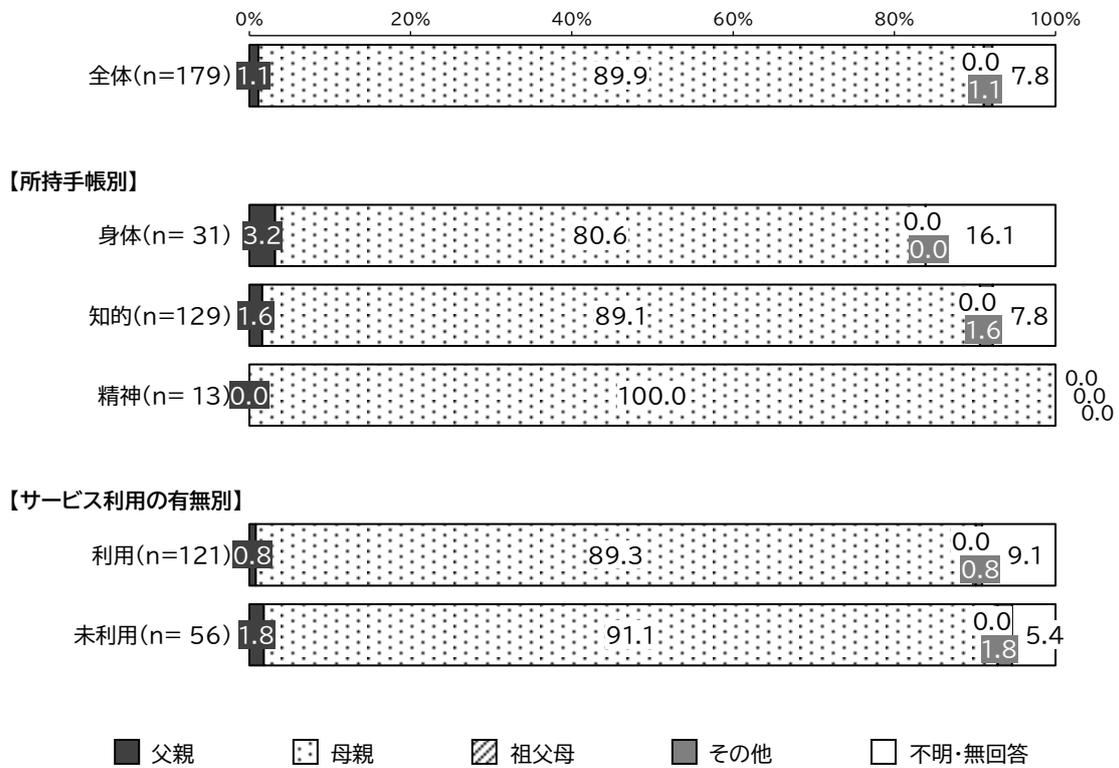
問6 お子さん以外に兄弟姉妹、祖父母などの中で介護・介助が必要な方を、障害のあるお子さんからみた続柄で教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象の子ども以外に兄弟姉妹、祖父母などの中で介護・介助が必要な人についてみると、全体では「介護・介助が必要な人はいない」が73.7%と最も多く、次いで「兄弟姉妹に介助・支援が必要なお子さんがいる」が15.6%となっています。



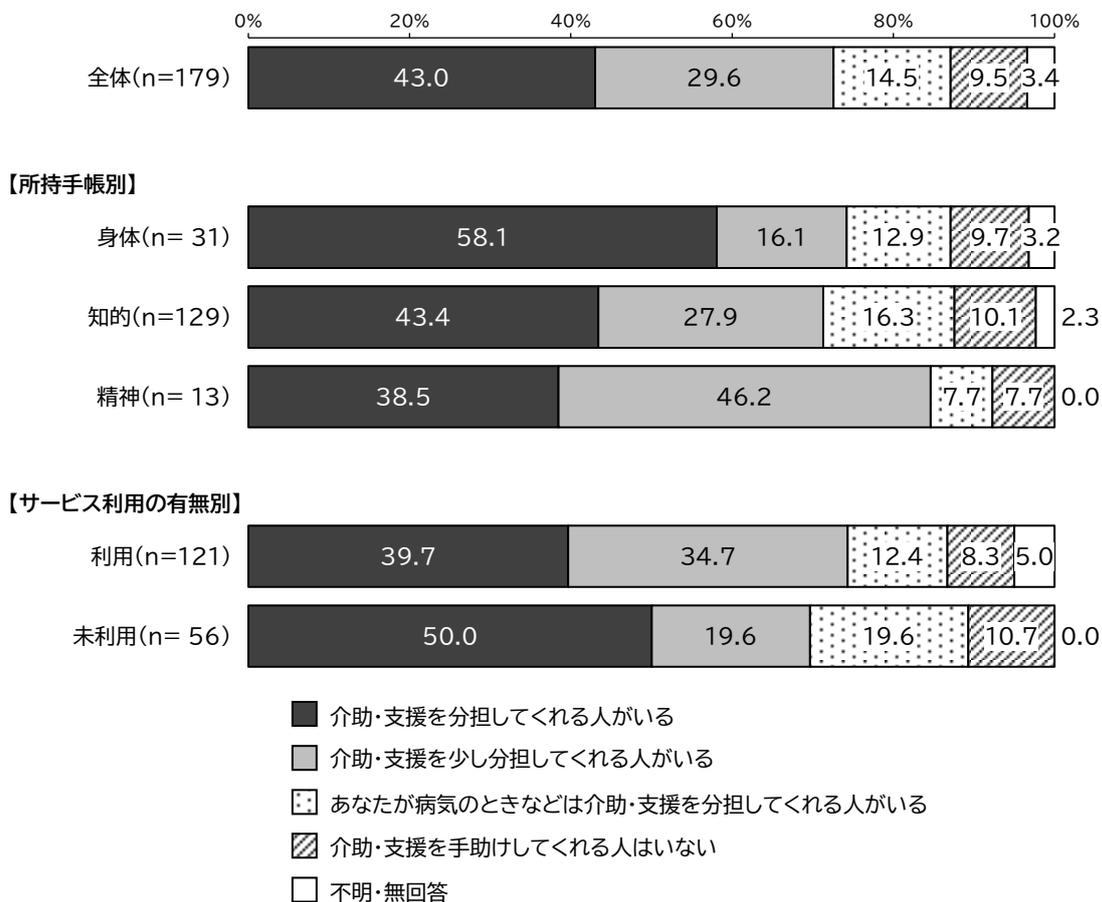
問7 主にお子さんを介助・支援しているのはどなたですか。(1つに○)

主に子どもをみている人についてみると、全体では「母親」が89.9%と最も多く、次いで「父親」と「その他」がともに1.1%となっています。



## 問8 お子さんの介助・支援を手助けしてくれる方はいますか。(1つに○)

子どもの介助・支援について、手助けしてくれる人についてみると、全体では「介助・支援を分担してくれる人がある」が43.0%と最も多く、次いで「介助・支援を少し分担してくれる人がある」が29.6%となっています。一方で、「介助・支援を手助けしてくれる人はいない」が9.5%となっています。



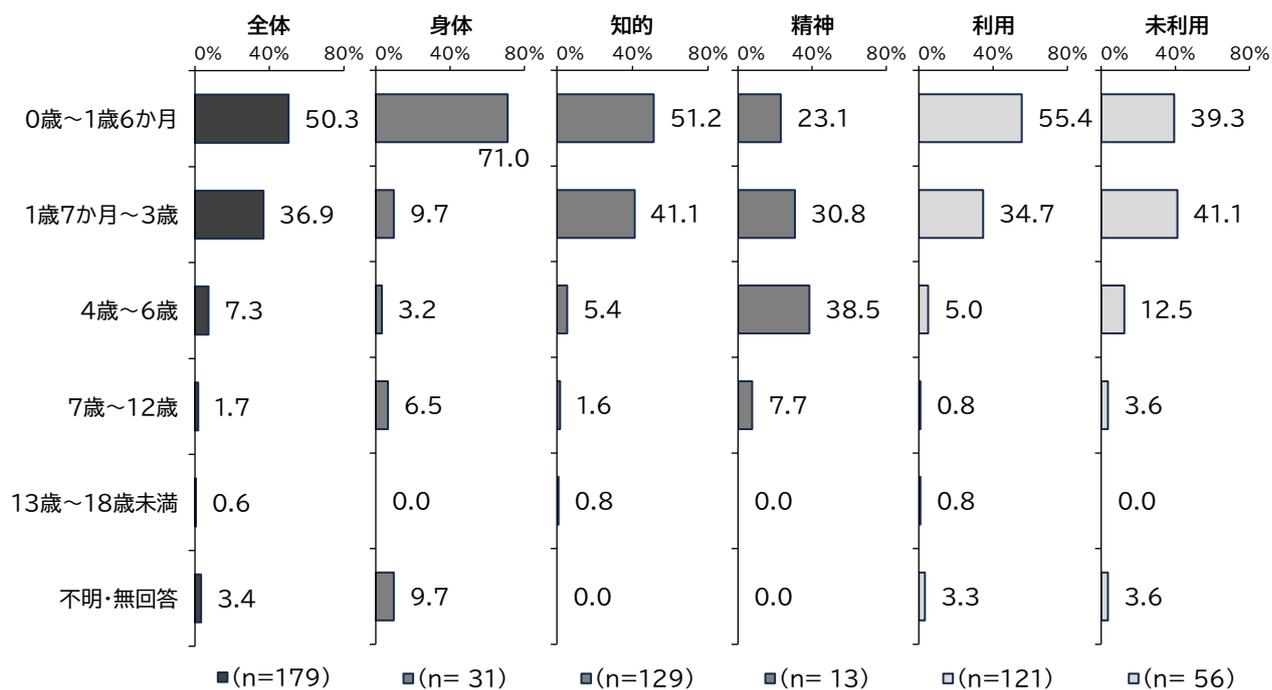
## 2. お子さんの発達上の障害について

### 問9 はじめて、お子さんの発達が気になったときのお子さんの年齢を教えてください。(1つに○)

はじめて、子どもの発達が気になったときの子どもの年齢についてみると、全体では「0歳～1歳6か月」が50.3%と最も多く、次いで「1歳7か月～3歳」が36.9%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的では「0歳～1歳6か月」がそれぞれ71.0%、51.2%、精神では「4歳～6歳」が38.5%と最も多くなっています。

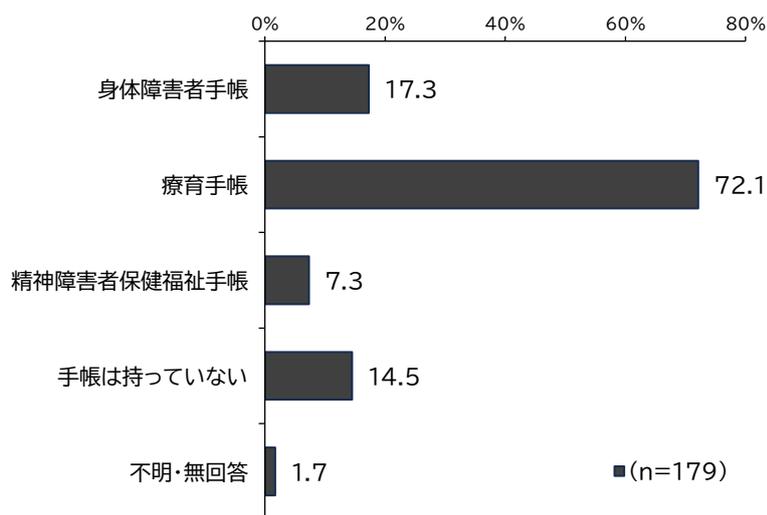
サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「0歳～1歳6か月」が55.4%、サービス未利用者では「1歳7か月～3歳」が41.1%と最も多くなっています。



問 10 お子さんが持っている障害者手帳は、次のどれですか。左欄の該当する手帳に○をつけ、右欄の内容の該当する項目に○をつけてください。

子どもが持っている障害者手帳についてみると、全体では「療育手帳」が72.1%と最も多く、次いで「身体障害者手帳」が17.3%となっています。

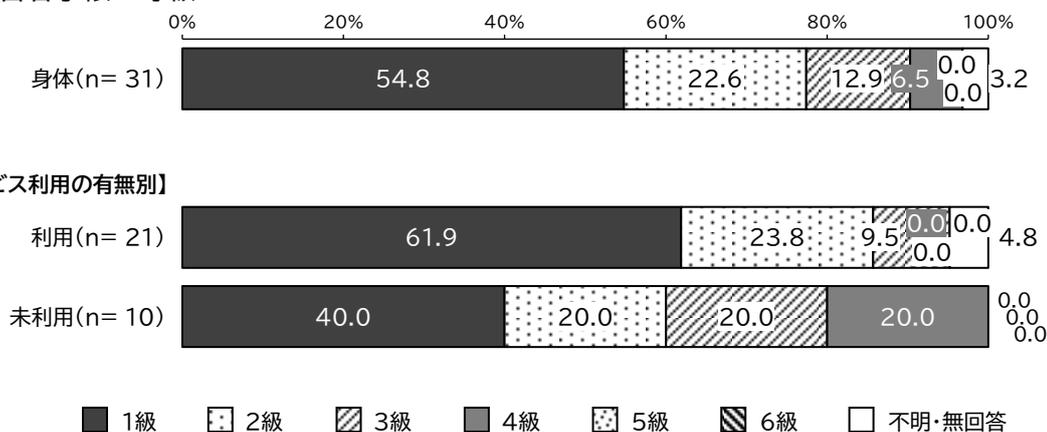
■手帳等の種類



身体障害者手帳の等級についてみると、全体では「1級」が54.8%と最も多く、次いで「2級」が22.6%となっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者、サービス未利用者ともに「1級」が最も多くなっています。

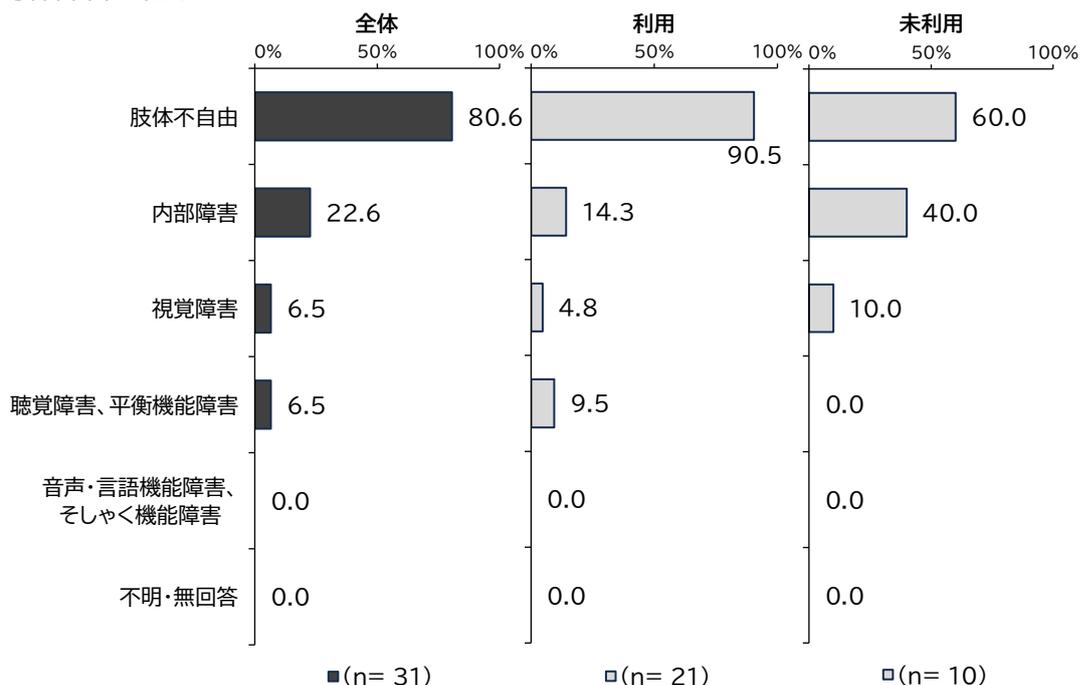
### ■身体障害者手帳の等級



障害の種類についてみると、全体では「肢体不自由」が80.6%と最も多く、次いで「内部障害」が22.6%となっています。

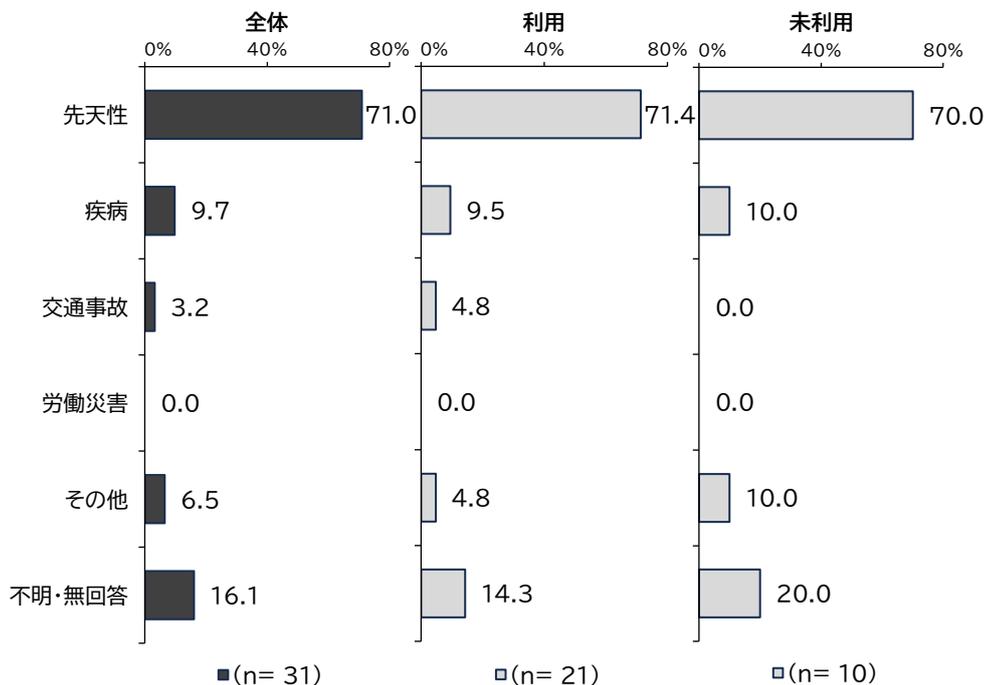
サービス利用の有無でみると、サービス利用者、サービス未利用者ともに「肢体不自由」が最も多くなっています。

### ■身体障害の種類



障害の原因についてみると、全体では「先天性」が71.0%で最も多くなっています。

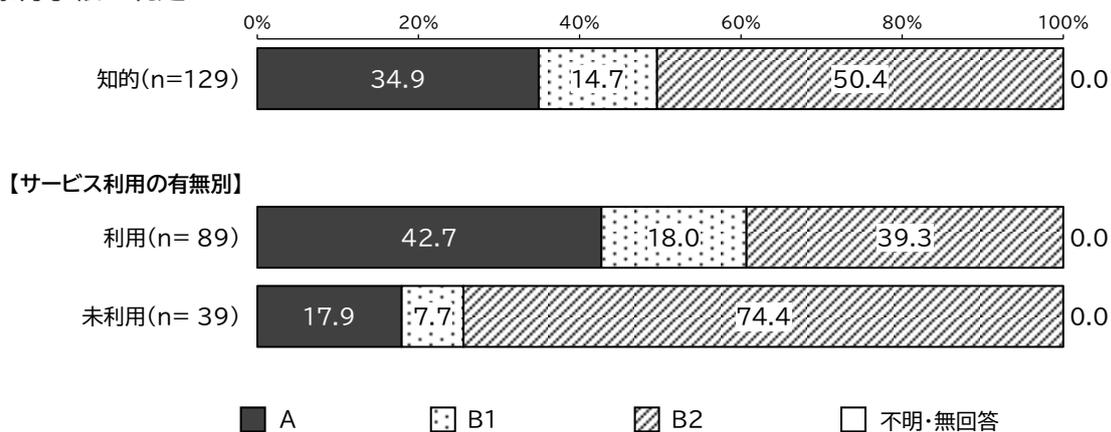
■ 身体障害の原因



療育手帳の判定についてみると、全体では「B2」が50.4%と最も多く、次いで「A」が34.9%となっています。

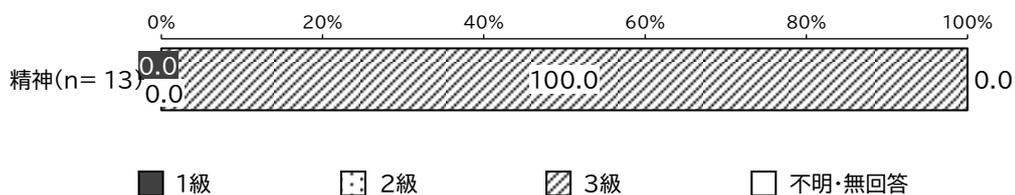
サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「A」が42.7%、サービス未利用者では「B2」が74.4%と最も多くなっています。

■ 療育手帳の判定



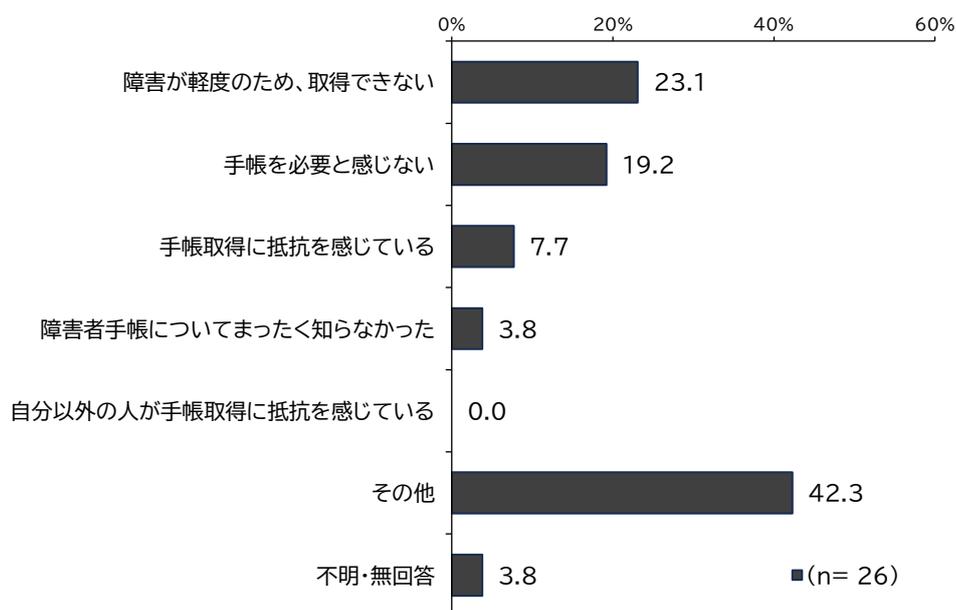
精神障害者保健福祉手帳の等級についてみると、回答者全員が「3級」となっています。

### ■精神障害者保健福祉手帳の等級



手帳を持っていない理由についてみると、「その他」が42.3%と最も多く、次いで「障害が軽度のため、取得できない」が23.1%となっています。

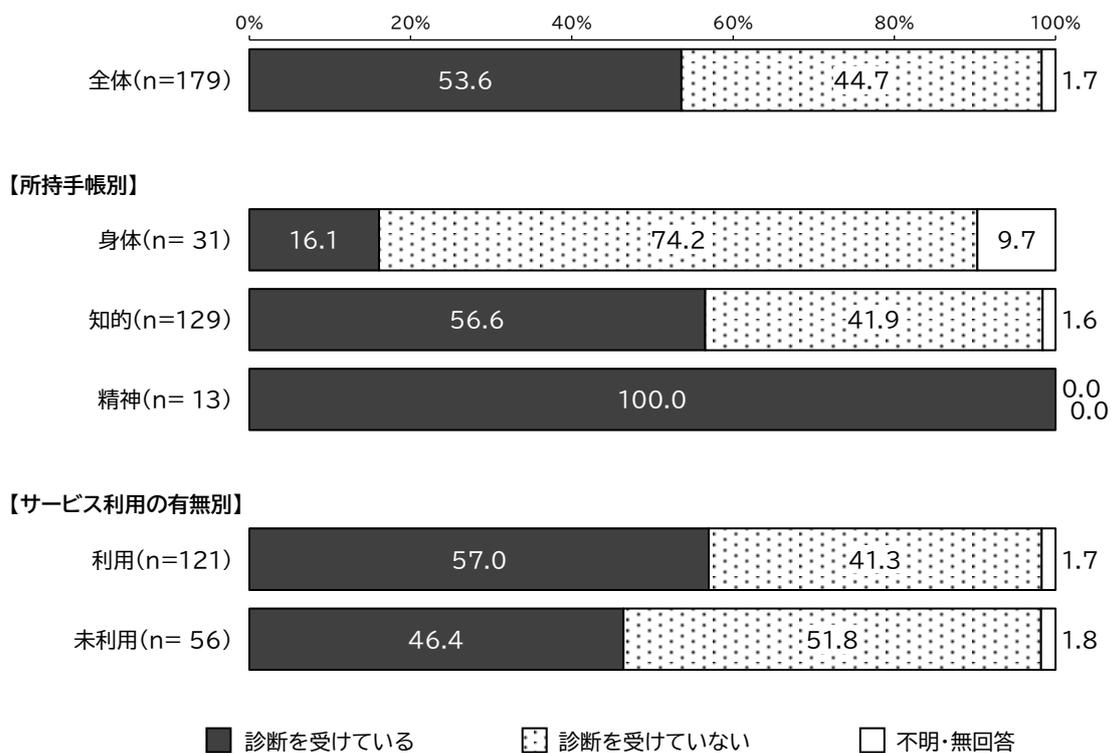
### ■手帳を持っていない理由



問11 お子さんは発達障害の診断を受けていますか。診断を受けている場合は、右欄で診断名もお答えください。

子どもが発達障害の診断を受けているかについてみると、全体では「診断を受けている」が53.6%、「診断を受けていない」が44.7%となっています。

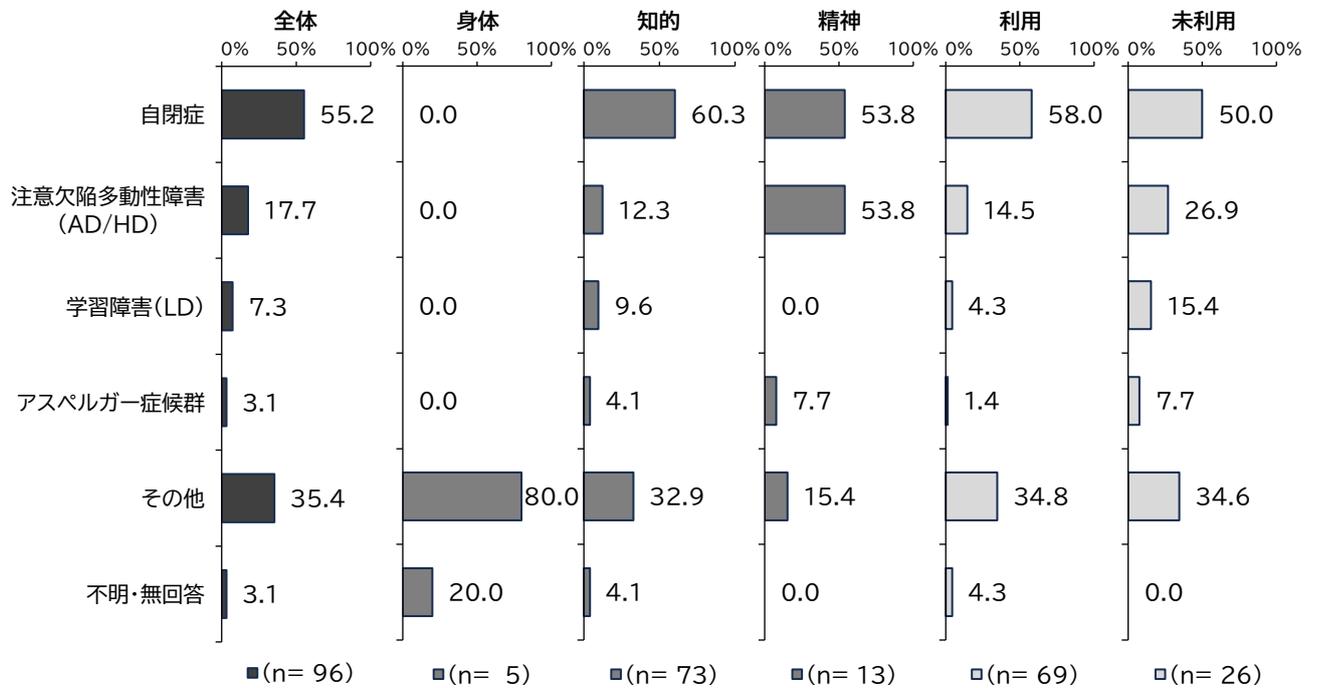
所持手帳別にみると、精神では全員が「診断を受けている」となっていますが、身体では1割台となっています。



子どもが発達障害の診断を受けている場合の診断名についてみると、全体では「自閉症」が 55.2%と最も多く、次いで「その他」が 35.4%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「その他」が 80.0%、知的では「自閉症」が 60.3%、精神では「自閉症」と「注意欠陥多動性障害 (AD/HD)」がともに 53.8%と最も多くなっています。

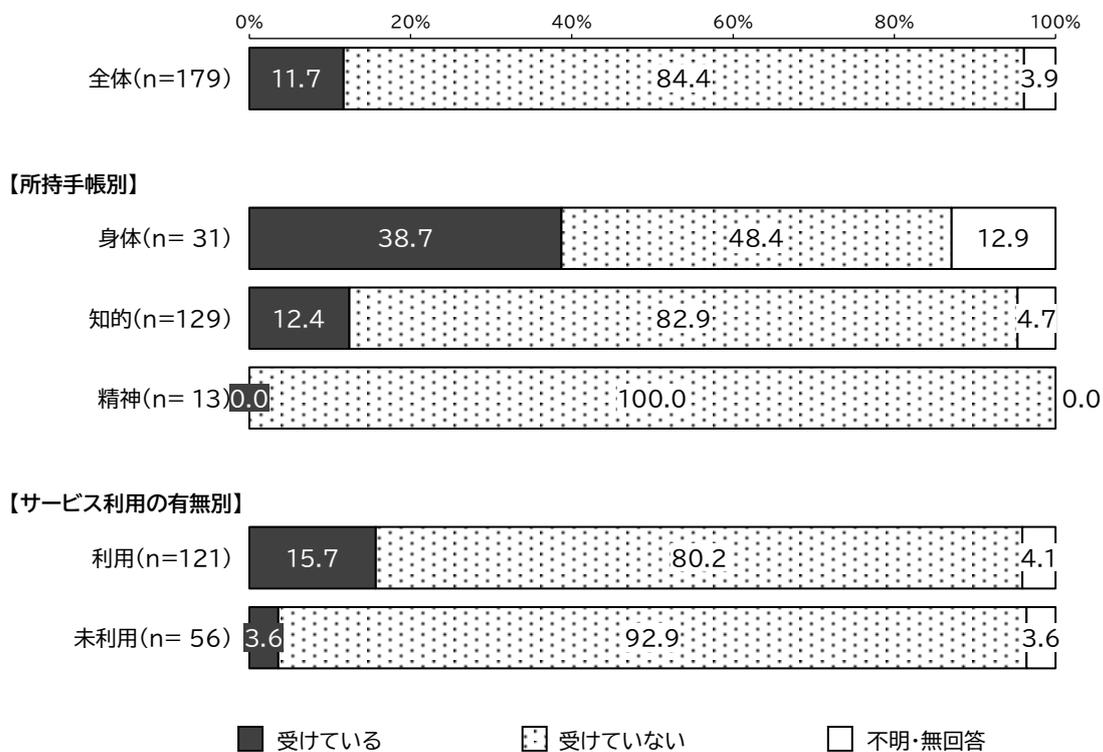
■ 診断名



## 問 12 お子さんは、難病(小児慢性特定疾病)の認定を受けていますか。(1つに○)

子どもが難病（小児慢性特定疾病）の認定を受けているかについてみると、全体では「受けている」が11.7%となっています。

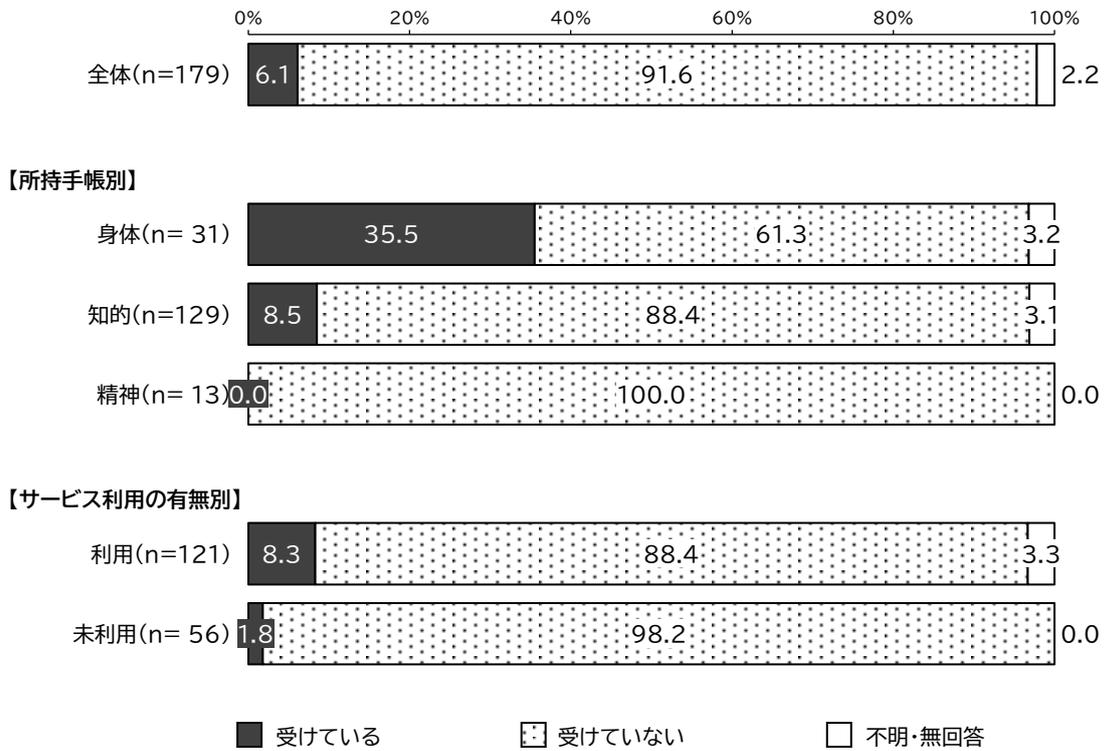
所持手帳別にみると、身体では「受けている」が38.7%と多くなっています。



**問 13 お子さんは、重症心身障害の認定を受けていますか。(1つに〇)**

子どもが重症心身障害の認定を受けているかについてみると、全体では「受けている」が6.1%となっています。

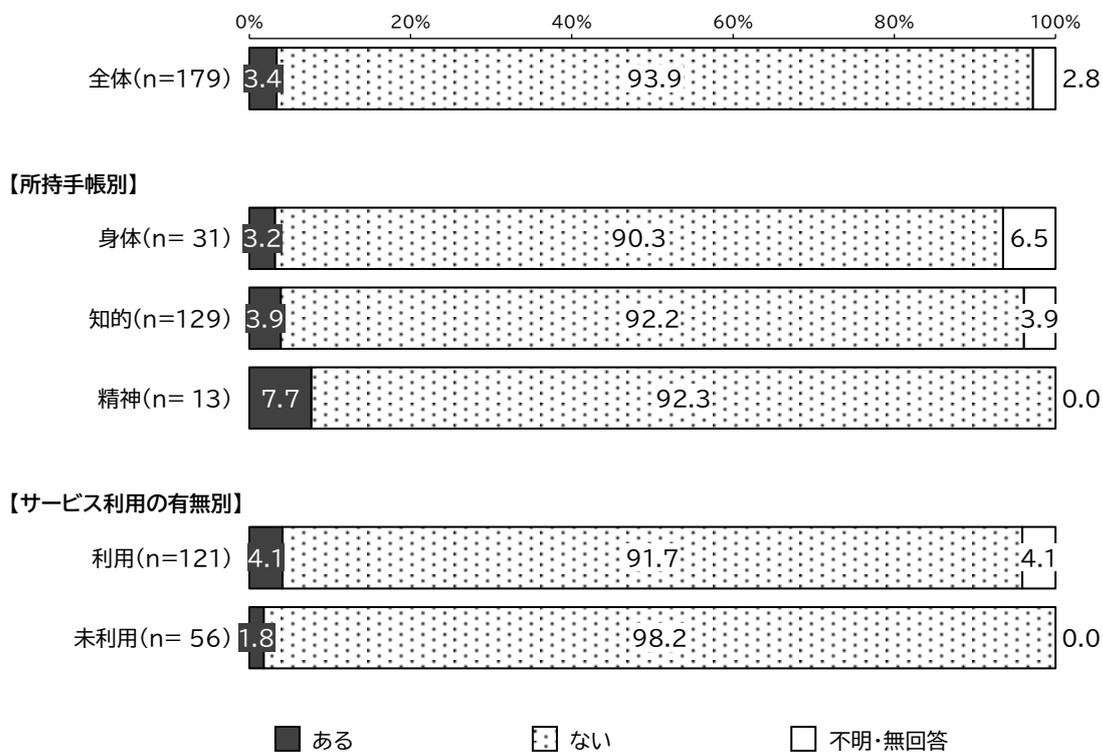
所持手帳別にみると、身体では「受けている」が35.5%と多くなっています。



### 問 14 お子さんは、強度行動障害があると言われたことはありますか。(1つに○)

子どもが、強度行動障害があると言われたことがあるかについてみると、全体では「ある」が3.4%となっています。

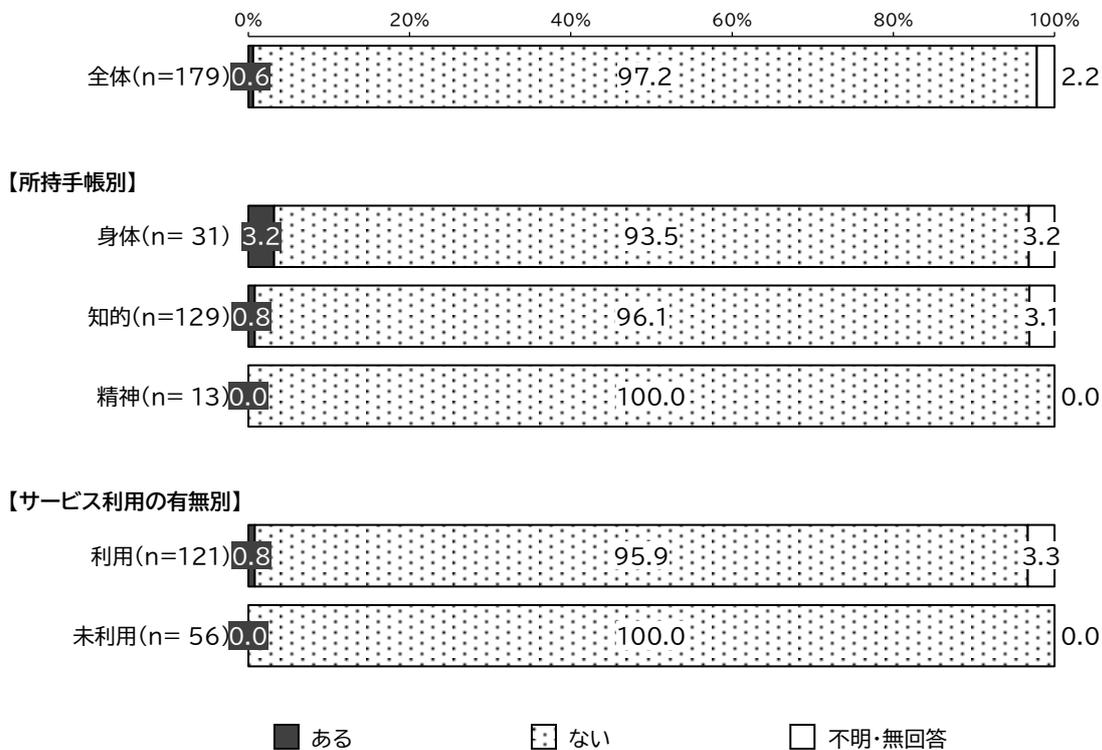
所持手帳別にみると、精神では「ある」が7.7%とやや多くなっています。



問 15 お子さんは、高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(1つに○)

子どもが高次脳機能障害として診断を受けているかについてみると、全体では「ある」が0.6%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「ある」が3.2%とやや多くなっています。

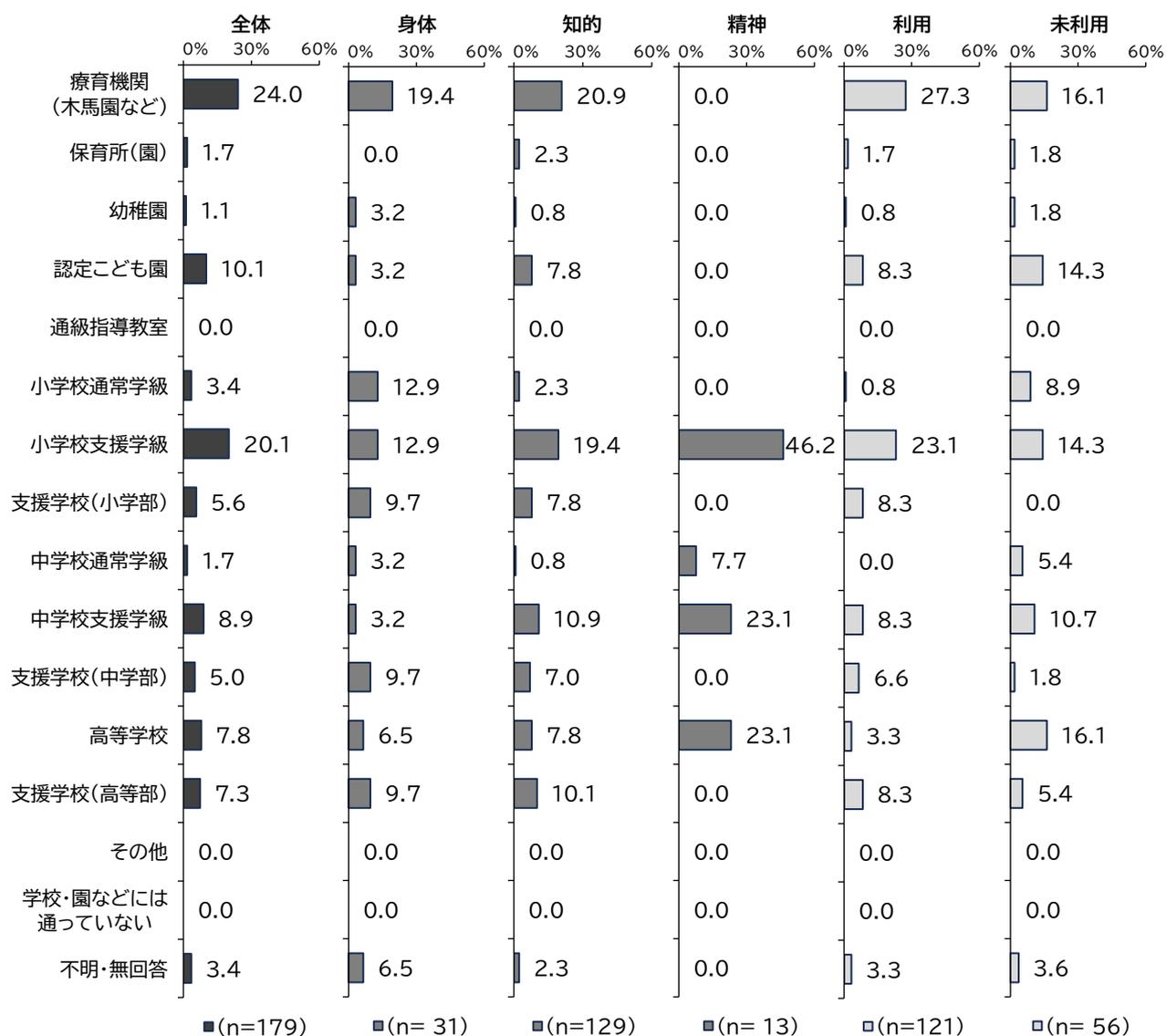


## 3. お子さんの日中の過ごし方について

## 問 16 現在通っている学校・園などの種類はどれですか。(1つに○)

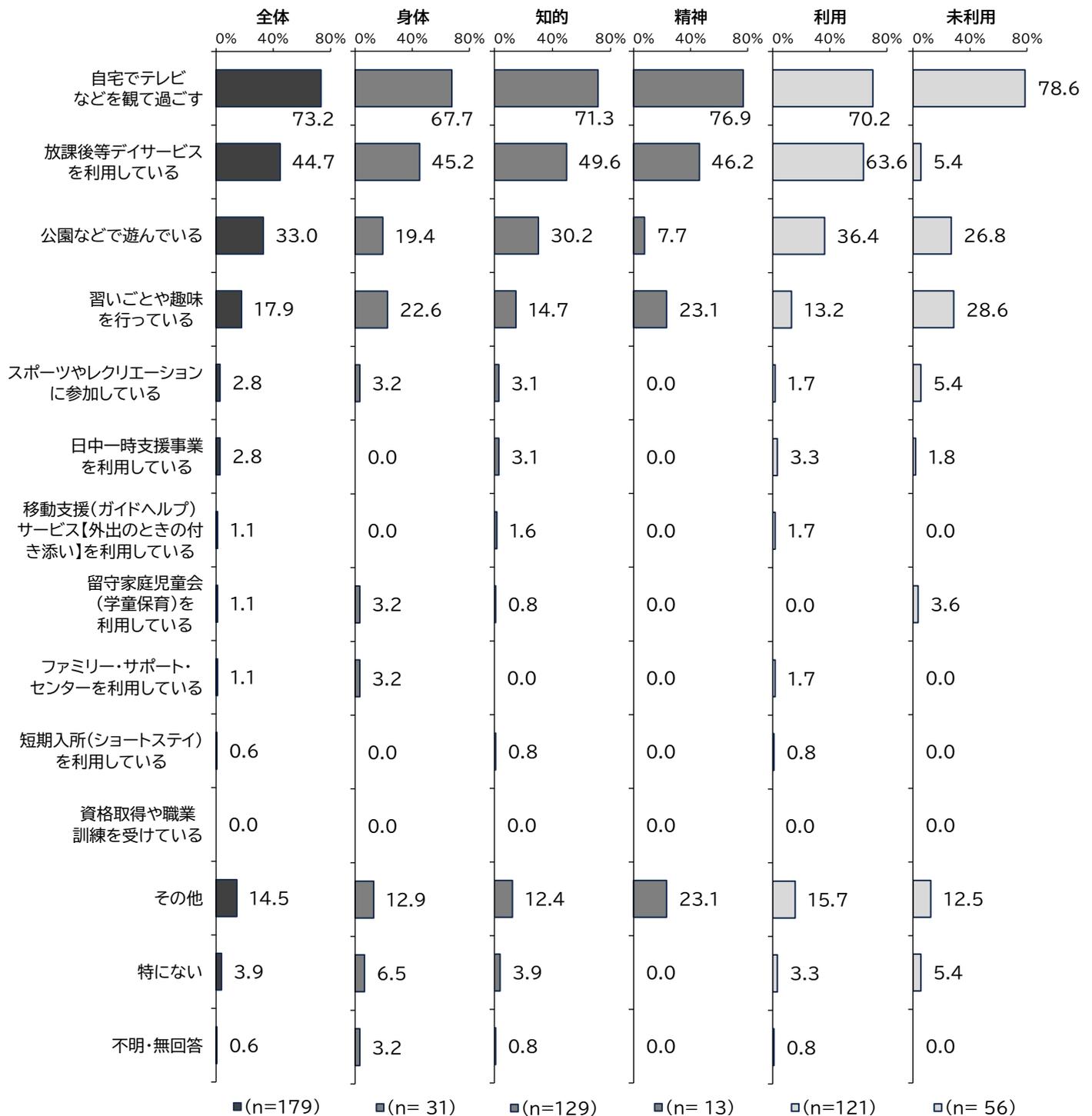
現在通っている学校・園などの種類についてみると、全体では「療育機関（木馬園など）」が24.0%と最も多く、次いで「小学校支援学級」が20.1%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的では「療育機関（木馬園など）」がそれぞれ19.4%、20.9%、精神では「小学校支援学級」が46.2%と最も多くなっています。



問 17 お子さんの休日、放課後等の主な過ごし方は次のうちのどれですか。(主なもの3つまでに○)

子どもの休日、放課後等の主な過ごし方についてみると、全体では「自宅でテレビなどを観て過ごす」が73.2%と最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用している」が44.7%となっています。



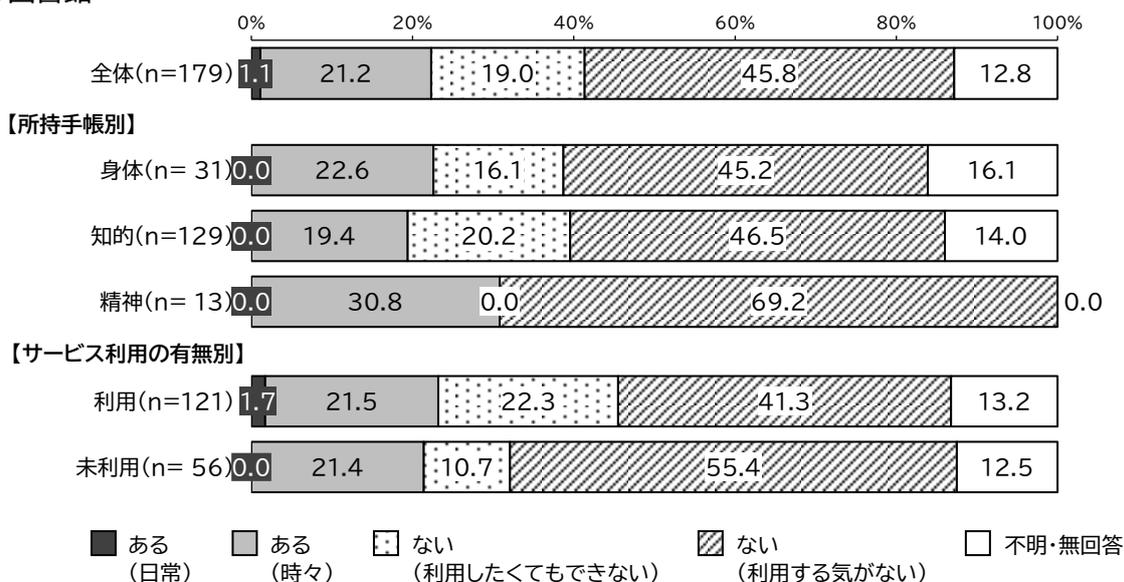
## 問 18 日常の放課後や休日の過ごし方について、施設等の利用状況を教えてください。

(各項目あてはまるものそれぞれ1つに○)

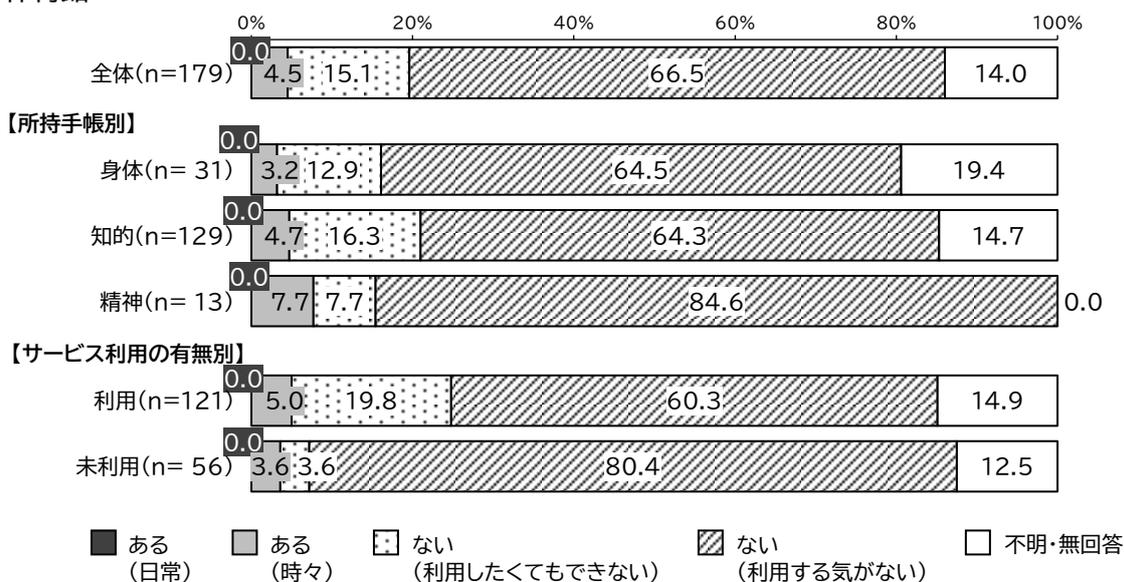
図書館の利用状況についてみると、全体では「ない（利用する気がない）」が45.8%と最も多く、次いで「ある（時々）」が21.2%となっています。

体育館の利用状況についてみると、全体では「ない（利用したくてもできない）」が66.5%と最も多く、次いで「ない（利用したくてもできない）」が15.1%となっています。

## (ア)図書館



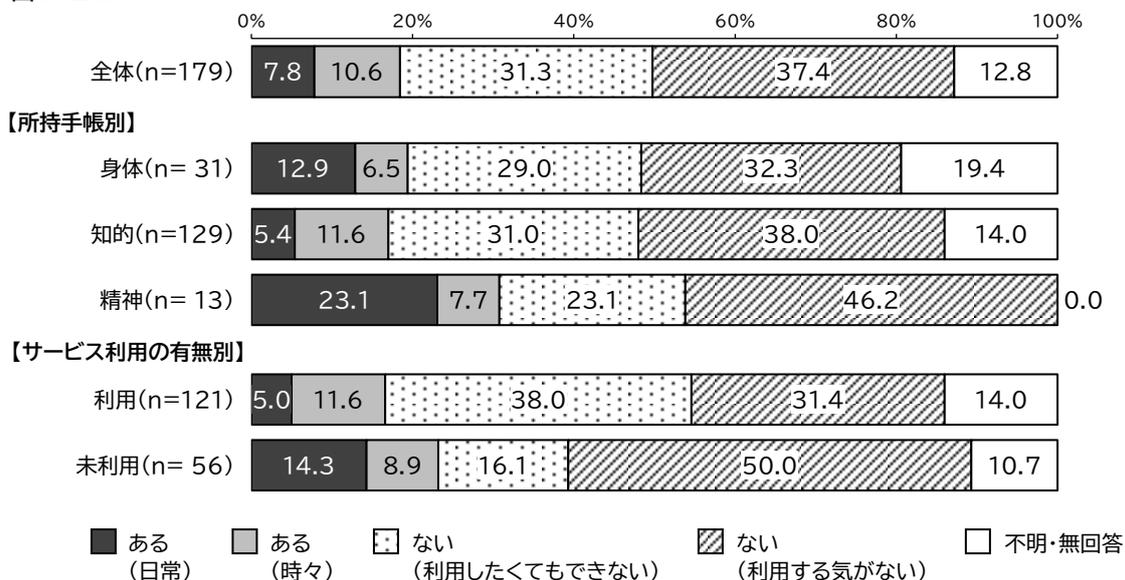
## (イ)体育館



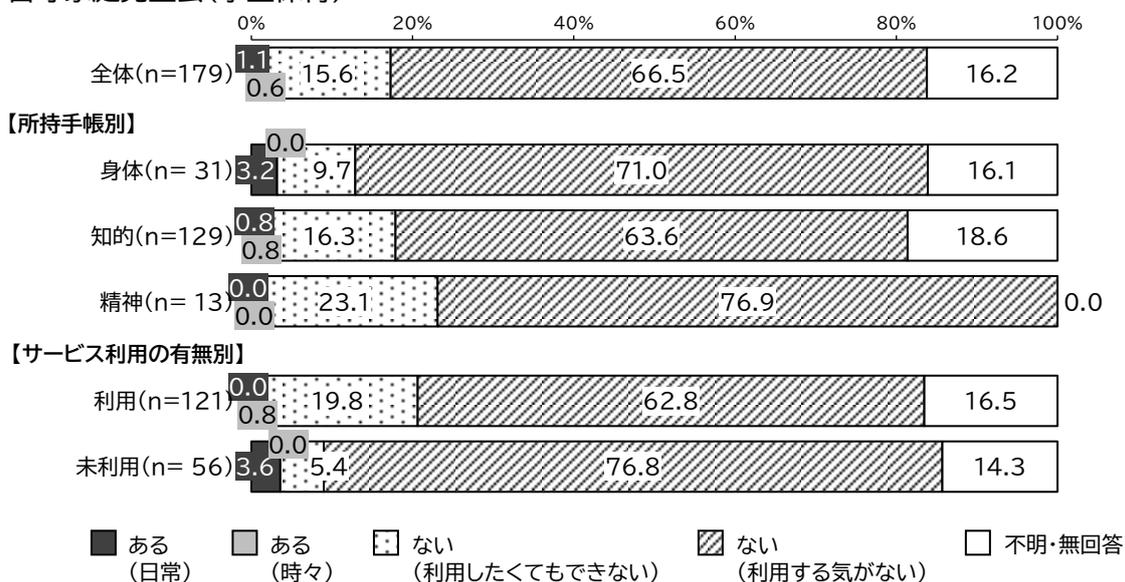
習いごとの利用状況についてみると、「ない（利用する気がない）」が37.4%と最も多く、次いで「ない（利用したくてもできない）」が31.3%となっています。

留守家庭児童会（学童保育）の利用状況についてみると、「ない（利用する気がない）」が66.5%と最も多く、次いで「ない（利用したくてもできない）」が15.6%となっています。

### (ウ) 習いごと



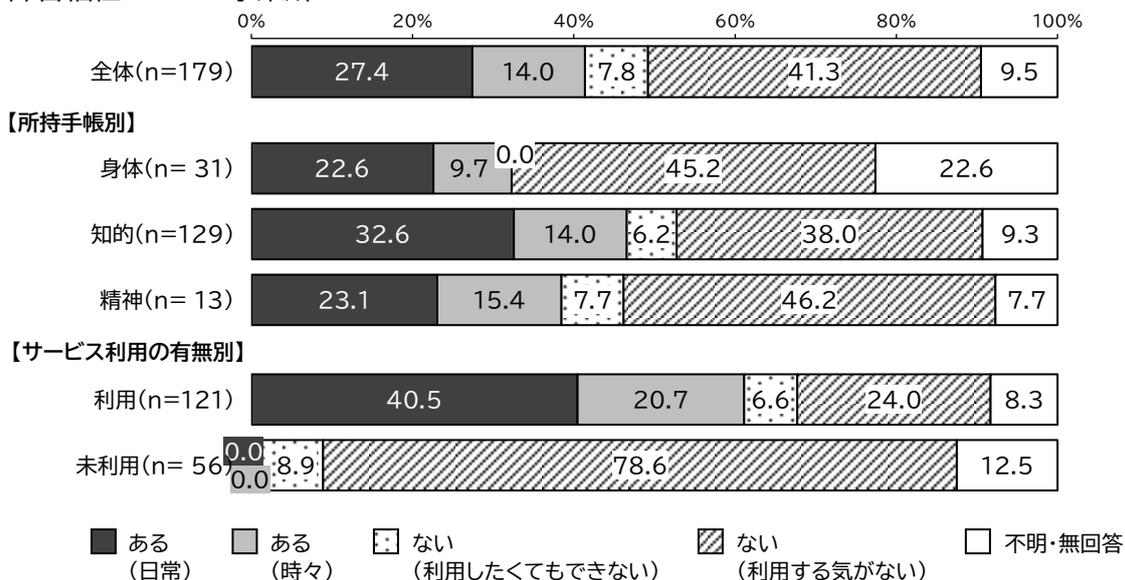
### (工) 留守家庭児童会(学童保育)



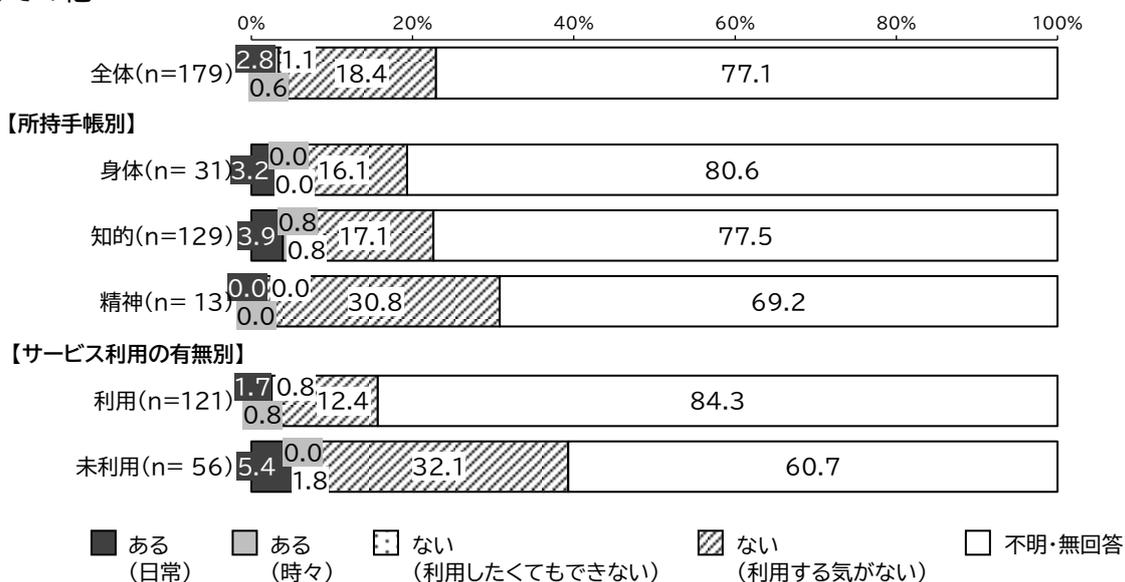
障害福祉サービス事業所の利用状況についてみると、「ない（利用する気がない）」が41.3%と最も多く、次いで「ある（日常）」が27.4%となっています。

その他の施設等の利用状況についてみると、「ない（利用する気がない）」が18.4%と最も多く、次いで「ある（日常）」が2.8%となっています。

(オ)障害福祉サービス事業所



(カ)その他



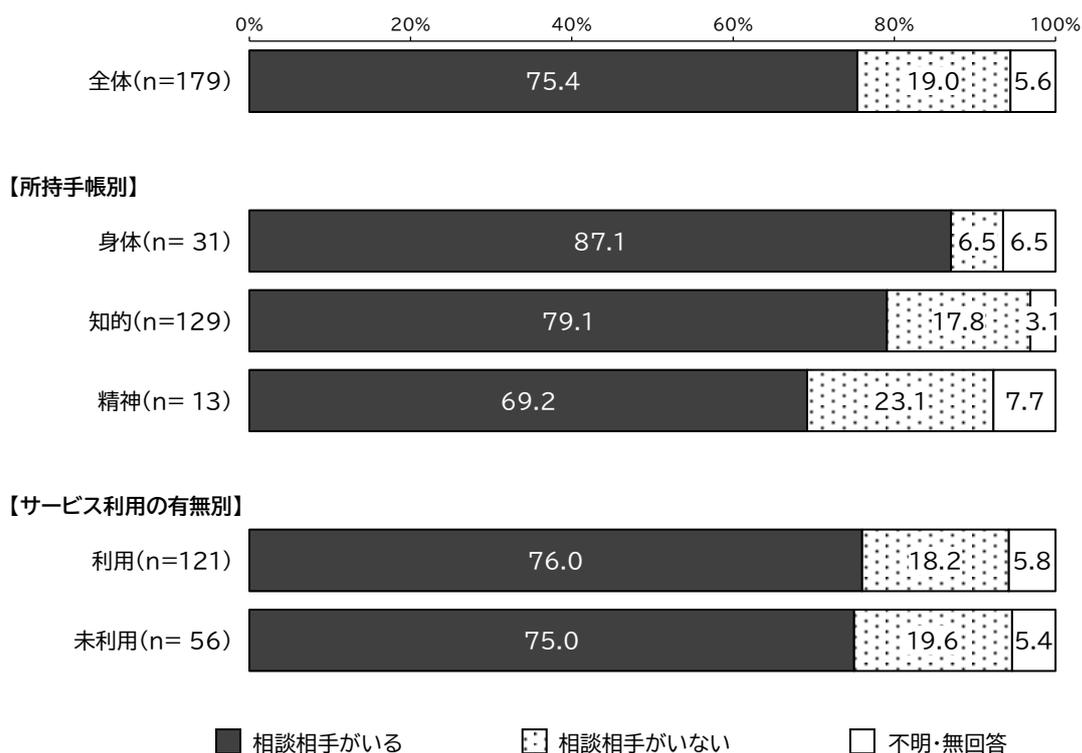
#### 4. 保護者同士のネットワークについて

問 19 子育て等について、お子さんの障害のことを含めて相談できる方はいますか。(1つに○)

※サービス事業所などは対象外です。

お子さんの心身の発達への課題を含めて相談できる人についてみると、全体では「相談相手がいる」が75.4%となっています。

所持手帳別にみると、「相談相手がいる」は身体で87.1%と多く、知的、精神ではそれぞれ79.1%、69.2%となっています。

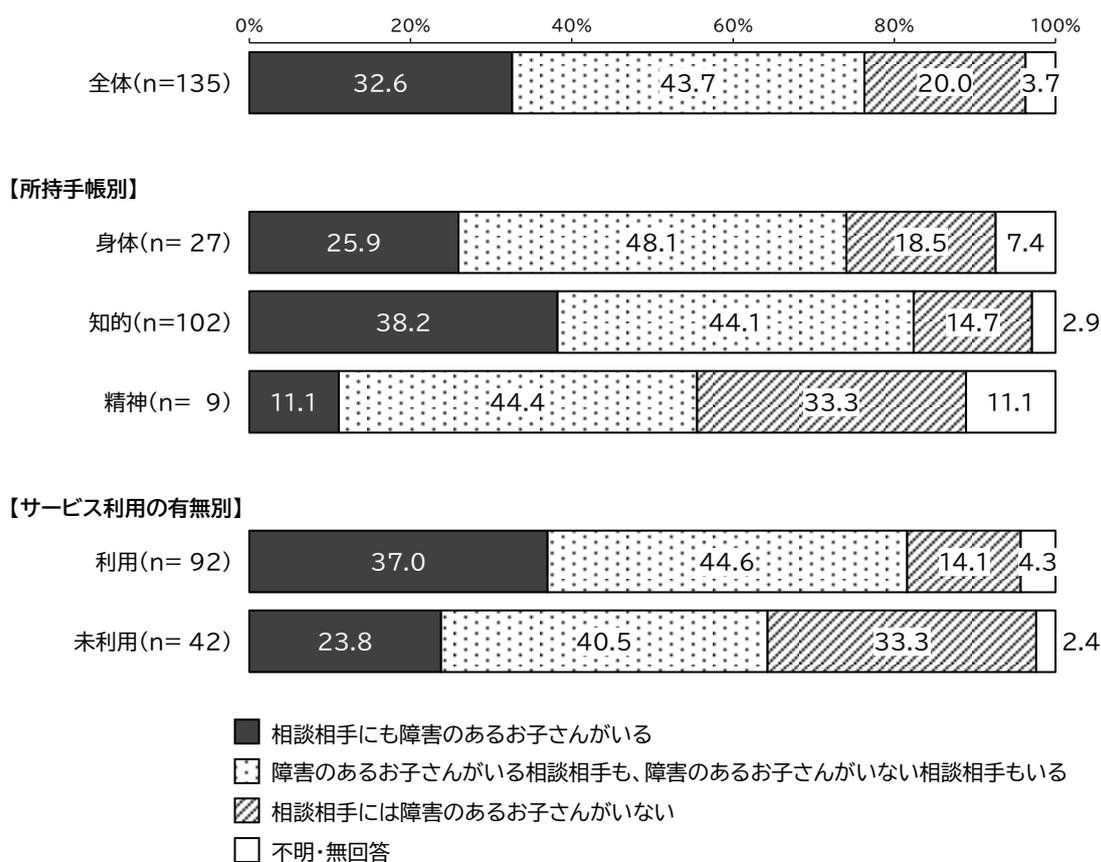


## 【問19で「1. 相談相手がいる」とお答えの方】

## 問19-① その方にも障害のあるお子さんがいますか。(1つに○)

相談相手にも障害のある子どもがいるかについてみると、全体では「障害のあるお子さんがいる相談相手も、障害のあるお子さんがいない相談相手もいる」が43.7%と最も多く、次いで「相談相手にも障害のあるお子さんがいる」が32.6%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的、精神ともに「障害のあるお子さんがいる相談相手も、障害のあるお子さんがいない相談相手もいる」が4割台で最も多くなっています。

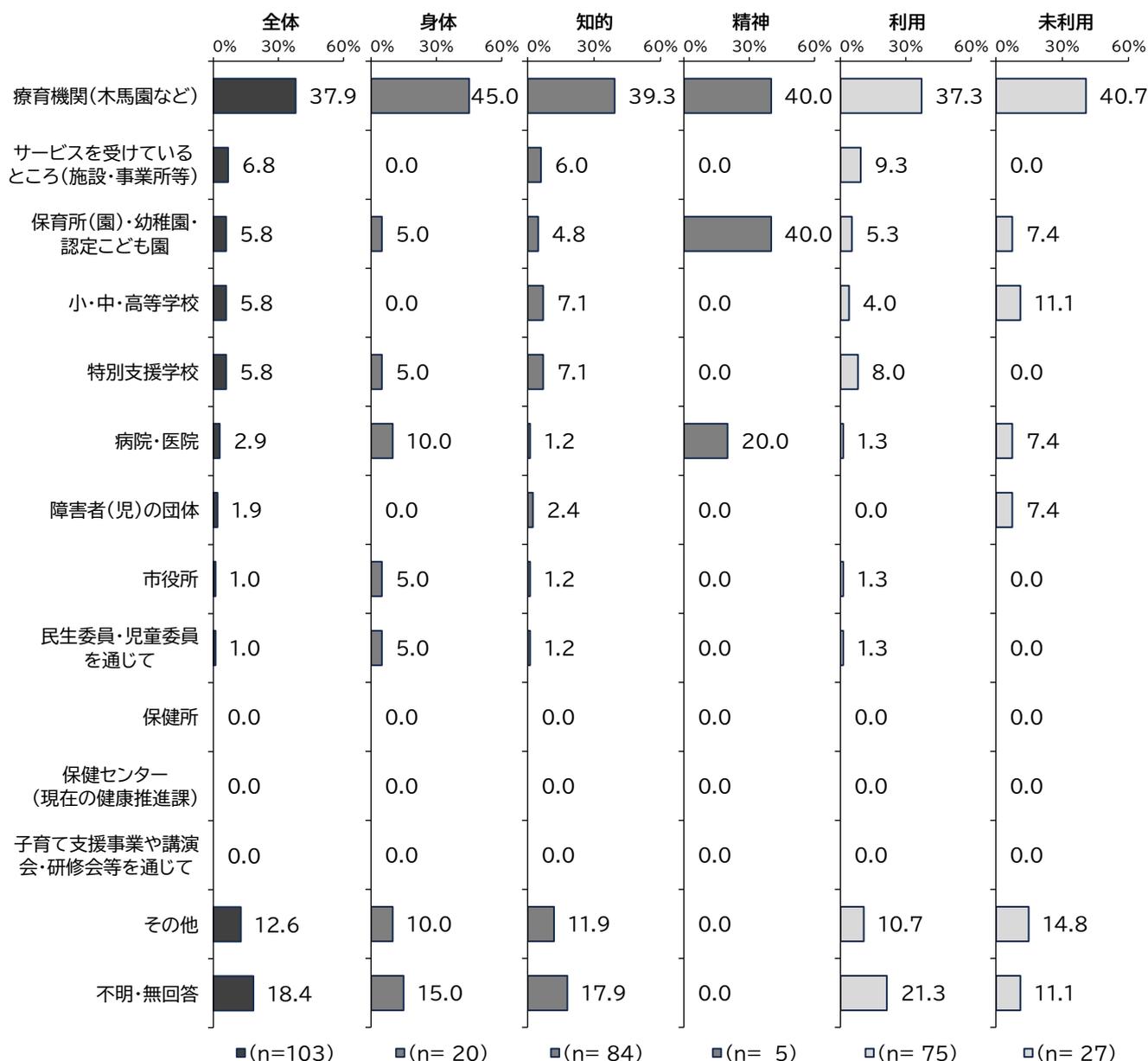


【問 19-①で「1.」または「2.」とお答えの方】

問 19-② その相談相手とはどこで知り合いましたか。(1つに○)

相談相手と知り合った場所についてみると、全体では「療育機関（木馬園など）」が37.9%で最も多くなっています。

所持手帳別にみると、身体、知的では「療育機関（木馬園など）」がそれぞれ45.0%、39.3%、精神では「療育機関（木馬園など）」と「保育所（園）・幼稚園・認定こども園」がともに40.0%と最も多くなっています。



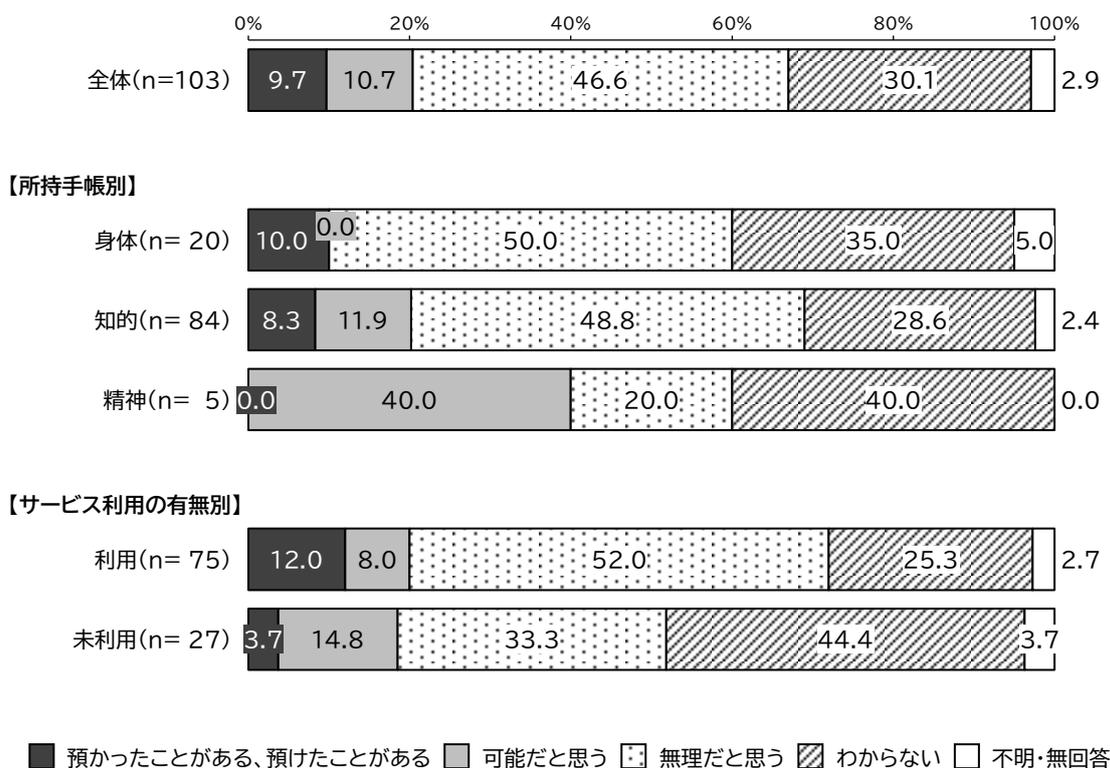
## 【問19-①で「1.」または「2.」とお答えの方】

## 問19-③ その相談相手とはお子さんを預けたり、預かったりができますか。(1つに○)

相談相手と子どもを預けたり、預かったりができるかについてみると、全体では「無理だと思う」が46.6%と最も多く、次いで「わからない」が30.1%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的では「無理だと思う」がそれぞれ50.0%、48.8%、精神では「可能だと思う」と「わからない」がともに40.0%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「無理だと思う」が52.0%、サービス未利用者では「わからない」が44.4%と最も多くなっています。

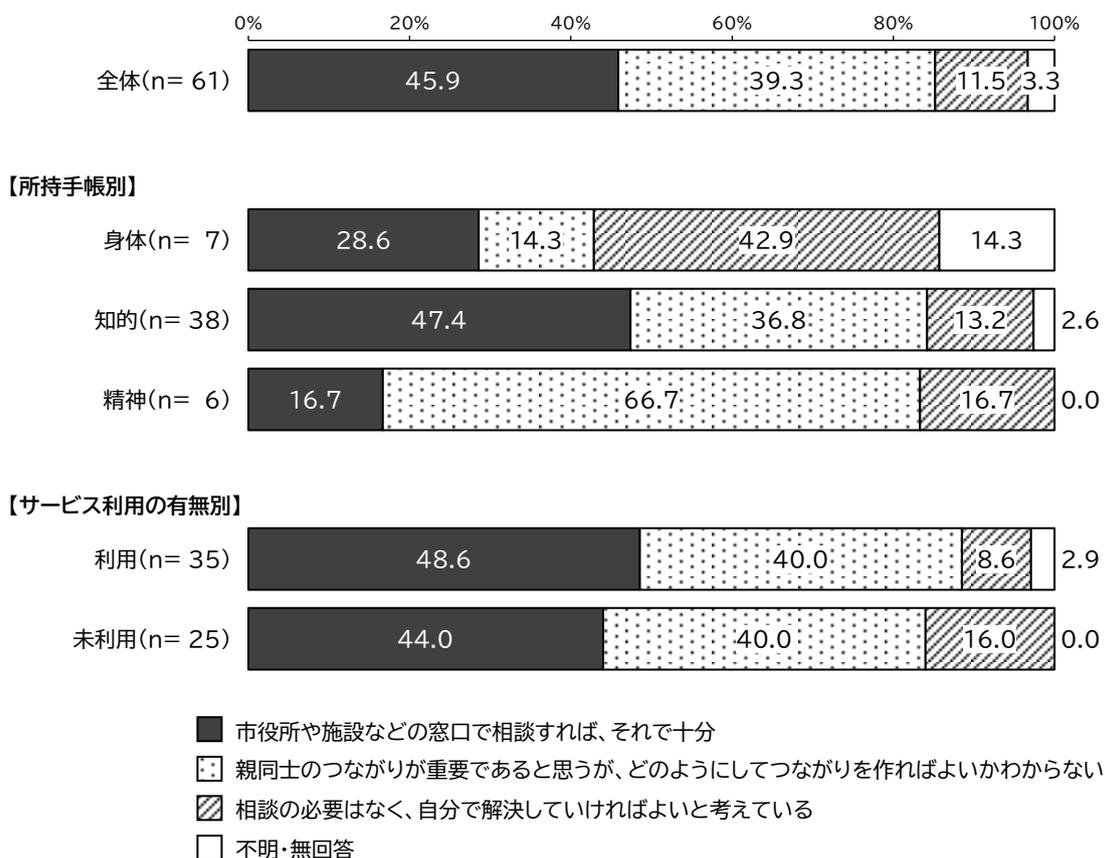


**【問 19 で「2. 相談相手がない」、問 19-①で「3. 相談相手には障害のあるお子さんがいない」とお答えの方】**

**問 19-④ 相談についてどのようにお考えですか。(1つに○)**

「相談相手がない」と回答した人が相談についてどのように考えているかについてみると、全体では「市役所や施設などの窓口で相談すれば、それで十分」が 45.9%と最も多く、次いで「親同士のつながりが重要であると思うが、どのようにしてつながりを作ればよいかわからない」が 39.3%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「相談の必要はなく、自分で解決していけばよいと考えている」が 42.9%、知的では「市役所や施設などの窓口で相談すれば、それで十分」が 47.4%、精神では「親同士のつながりが重要であると思うが、どのようにしてつながりを作ればよいかわからない」が 66.7%と最も多くなっています。



## 5. お子さんの療育・保育等について

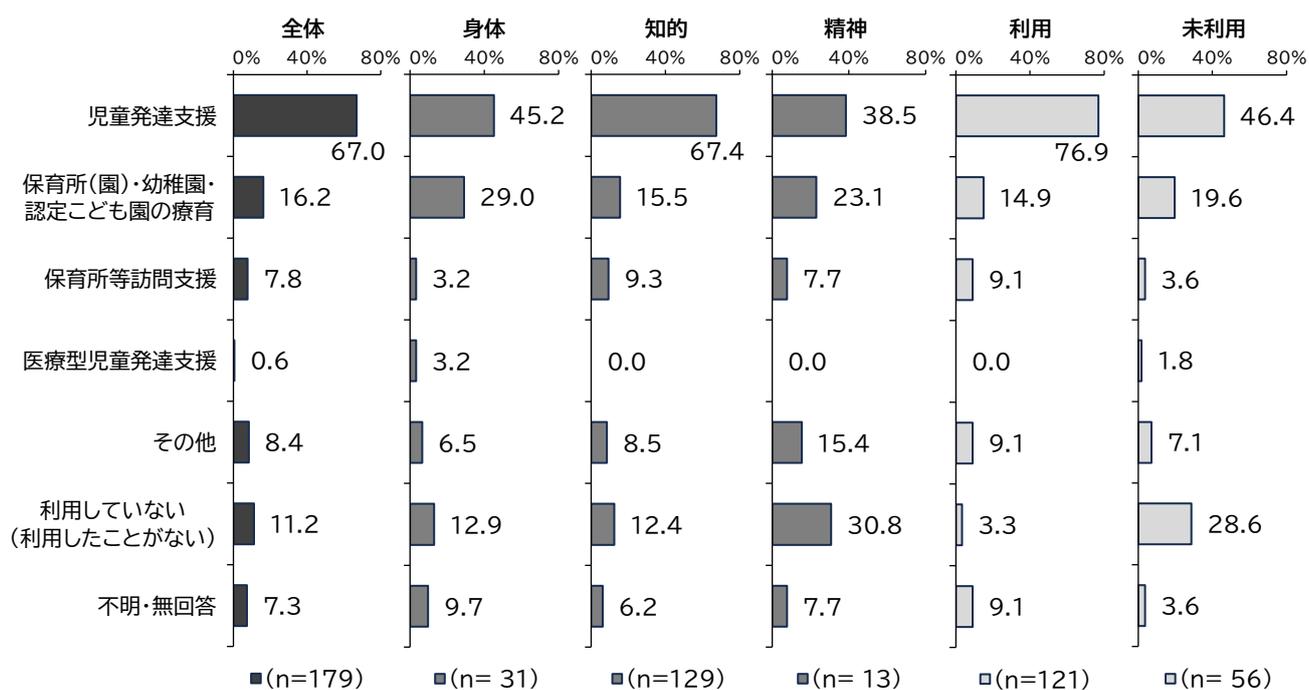
問 20 から問 22 までは、就学前のお子さんの状況についてご回答ください。  
すでに就学されている場合は、就学前の状況についてご回答ください。

問 20 現在、どのような療育を受けていますか、または過去に受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在、どのような療育を受けているか、または過去に受けたことがあるかについてみると、全体では「児童発達支援」が67.0%と最も多く、次いで「保育所(園)・幼稚園・認定こども園の療育」が16.2%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的、精神ともに「児童発達支援」が最も多く、次いで身体、知的では「保育所(園)・幼稚園・認定こども園の療育」、精神では「利用していない(利用したことがない)」となっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者、サービス未利用者ともに「児童発達支援」が最も多くなっています。

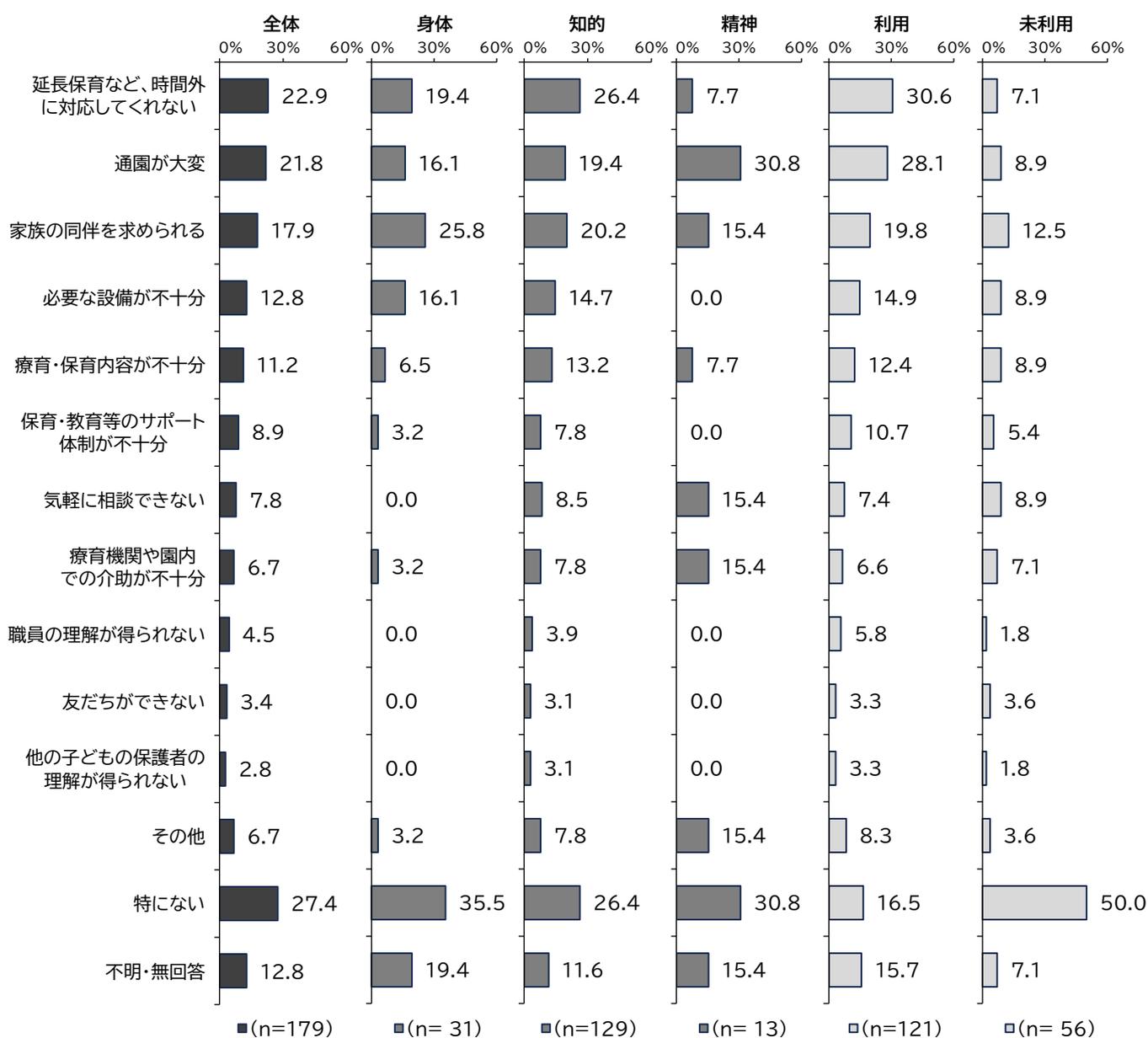


## 問 21 療育機関・園での生活や支援での問題点は、次のどれですか(どれでしたか)。(3つまでに〇)

療育機関・園での生活や支援での問題点についてみると、全体では「特にない」が 27.4%と最も多く、次いで「延長保育など、時間外に対応してくれない」が 22.9%、「通園が大変」が 21.8%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「特にない」が 35.5%、知的では「延長保育など、時間外に対応してくれない」と「特にない」がともに 26.4%、精神では「通園が大変」と「特にない」がともに 30.8%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス未利用者では「特にない」が 50.0%と多くなっています。

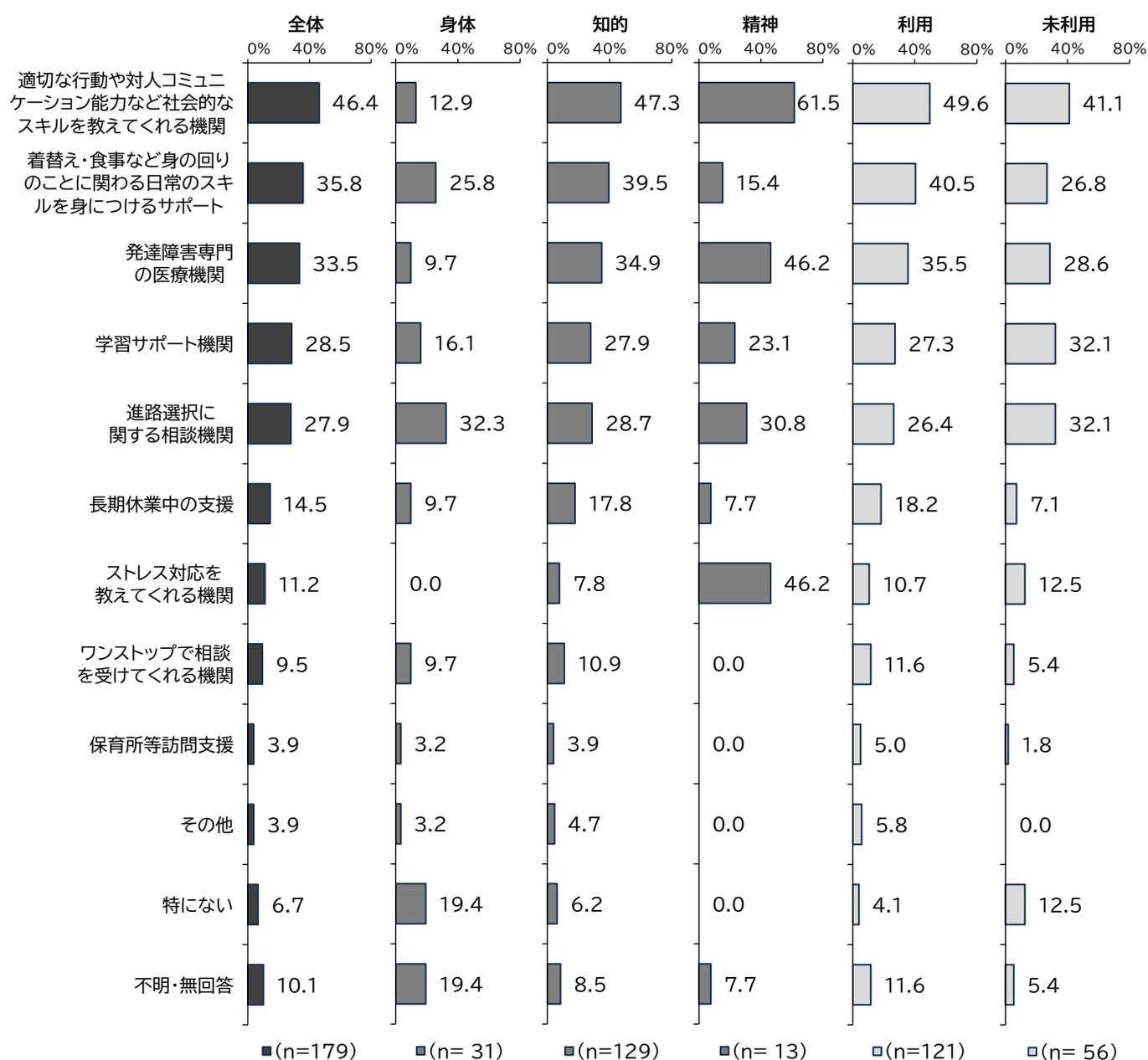


## 問 22 療育に関してあなたや家族が求める支援は何ですか(何でしたか)。(3つまでに○)

療育に関して、求める支援についてみると、全体では「適切な行動や対人コミュニケーション能力など社会的なスキルを教えてくれる機関」が46.4%と最も多く、次いで「着替え・食事など身の回りのことに関わる日常のスキルを身につけるサポート」が35.8%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「進路選択に関する相談機関」が32.3%、知的、精神では「適切な行動や対人コミュニケーション能力など社会的なスキルを教えてくれる機関」がそれぞれ47.3%、61.5%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者、サービス未利用者ともに「適切な行動や対人コミュニケーション能力など社会的なスキルを教えてくれる機関」が最も多く、次いでサービス利用者では「着替え・食事など身の回りのことに関わる日常のスキルを身につけるサポート」、サービス未利用者では「学習サポート機関」と「進路選択に関する相談機関」となっています。



## 6. お子さんの教育・育成について

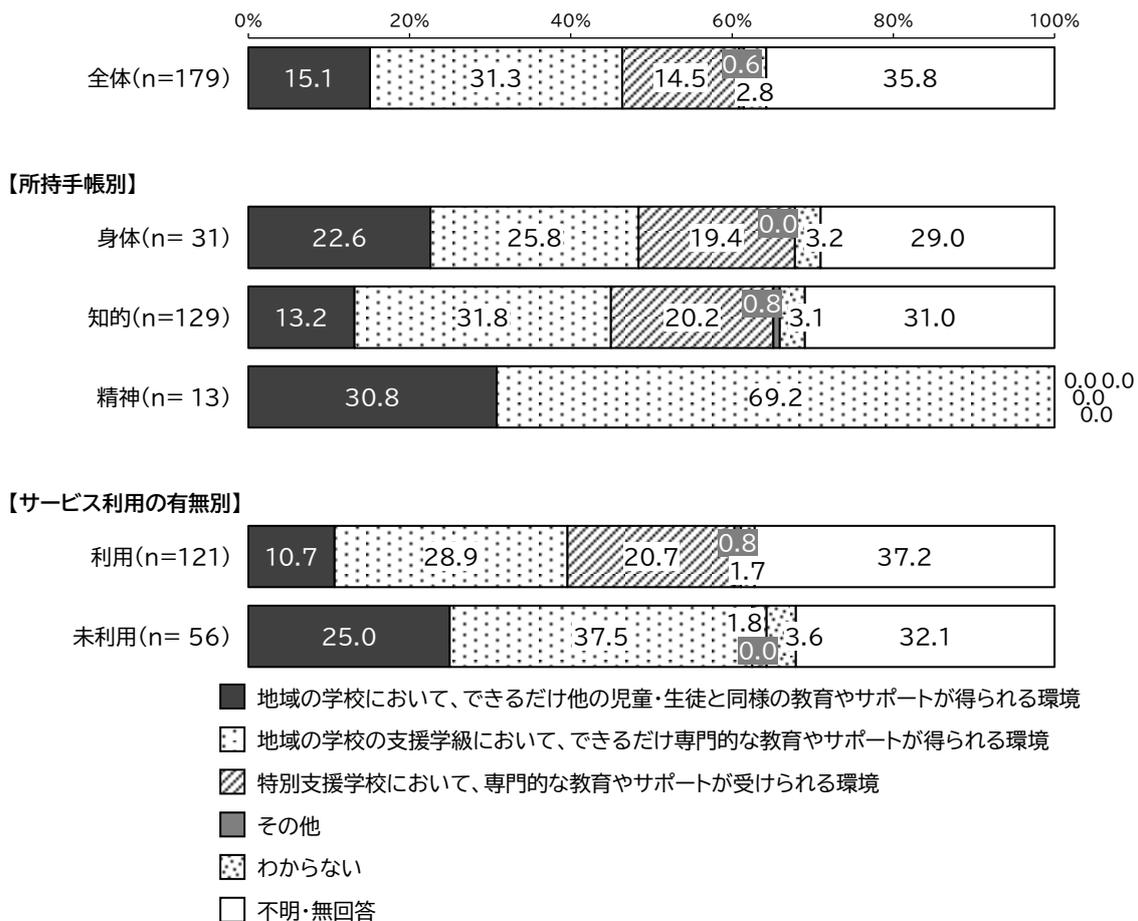
問 23 から問 26 までは、就学後のお子さんの状況についてご回答ください。  
 就学前のお子さんだけの場合は、問 27 からご回答ください。

### 問 23 お子さんにとって、望ましい就学環境とはどのような環境だと思いますか。(1つに○)

お子さんにとって望ましい就学環境についてみると、全体では「地域の学校の支援学級において、できるだけ専門的な教育やサポートが得られる環境」が 31.3%と最も多く、次いで「地域の学校において、できるだけ他の児童・生徒と同様の教育やサポートが得られる環境」が 15.1%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的、精神ともに「地域の学校の支援学級において、できるだけ専門的な教育やサポートが得られる環境」が最も多く、それぞれ 25.8%、31.8%、69.2%となっています。

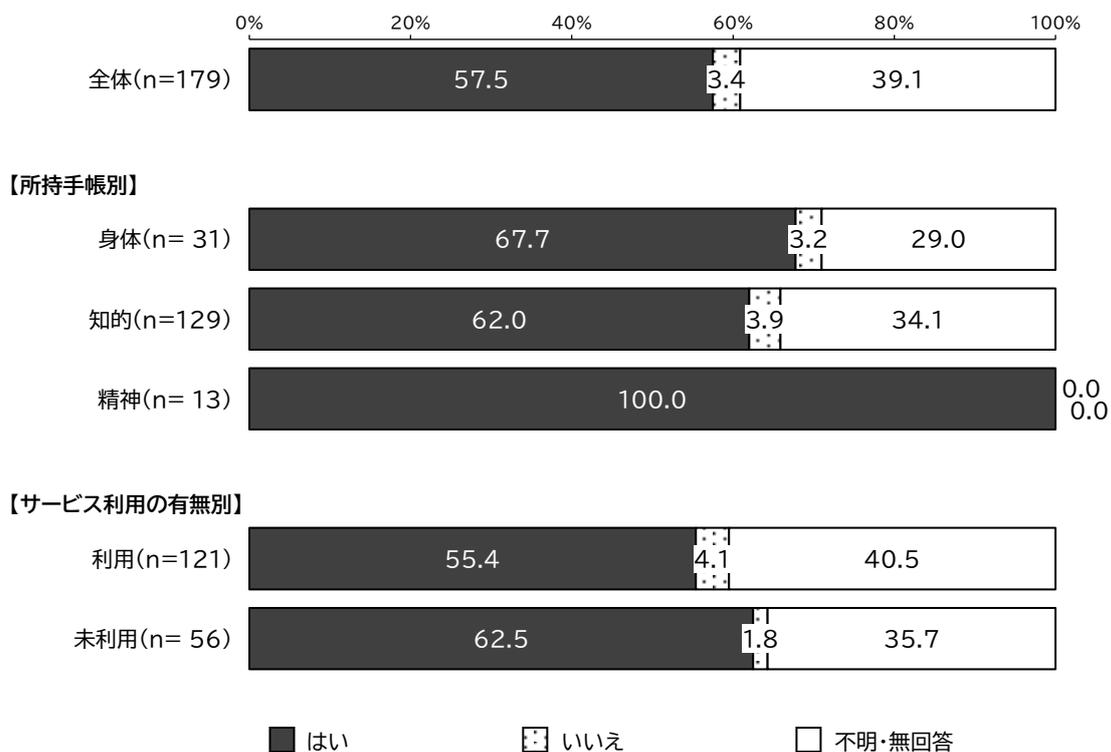
サービス利用の有無でみると、サービス利用者、サービス未利用者ともに「地域の学校の支援学級において、できるだけ専門的な教育やサポートが得られる環境」が最も多く、次いでサービス利用者では「特別支援学校において、専門的な教育やサポートが受けられる環境」、サービス未利用者では「地域の学校において、できるだけ他の児童・生徒と同様の教育やサポートが得られる環境」となっています。



## 問 24 お子さんは進学時に希望された学校に通っていますか。(1つに○)

子どもが進学時に希望した学校に通っているかについてみると、全体では「はい」が57.5%、「いいえ」が3.4%となっています。

所持手帳別にみると、精神の回答者全員が「はい」となっていますが、身体と知的では「いいえ」の回答もみられます。



【問 24 で「2.いいえ」とお答えの方】

問 24-① お子さんが希望された学校以外に通っている場合、その理由は次のどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

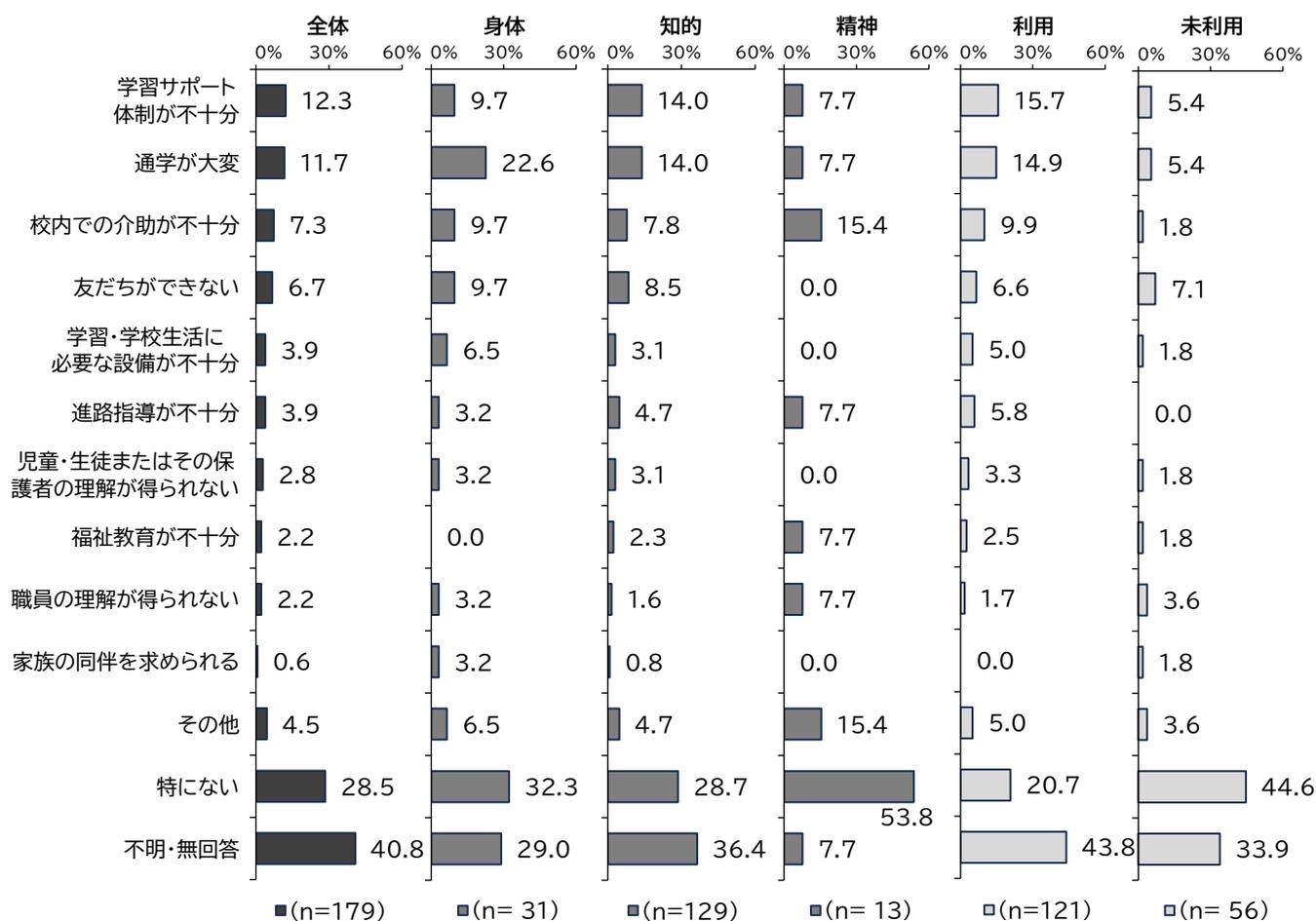
子どもが希望された学校以外に通っている理由についてみると、全体では「その他」が3件で、次いで「受け入れてくれる学校がなかった」と「学習サポート体制など必要な体制がなかった」がともに2件となっています。

上段:件 下段:%		回答者数(n)	受け入れてくれる学校 がなかった	学習サポート体制など 必要な体制がなかった	学校生活を送る上で、 必要な設備などがな かった	通園・通学手段(送迎バ スなど)がなかった	その他	不明・無回答
全体		6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	3 50.0	- -
所持 手帳別	身体	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -
	知的	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	- -
	精神	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
サービス 利用の 有無別	利用	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	- -
	未利用	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -

## 問 25 現在通っている学校生活での問題点は、次のどれですか。(3つまでに○)

現在通っている学校生活での問題点についてみると、全体では「特にない」が 28.5%と最も多く、次いで「学習サポート体制が不十分」が 12.3%となっています。

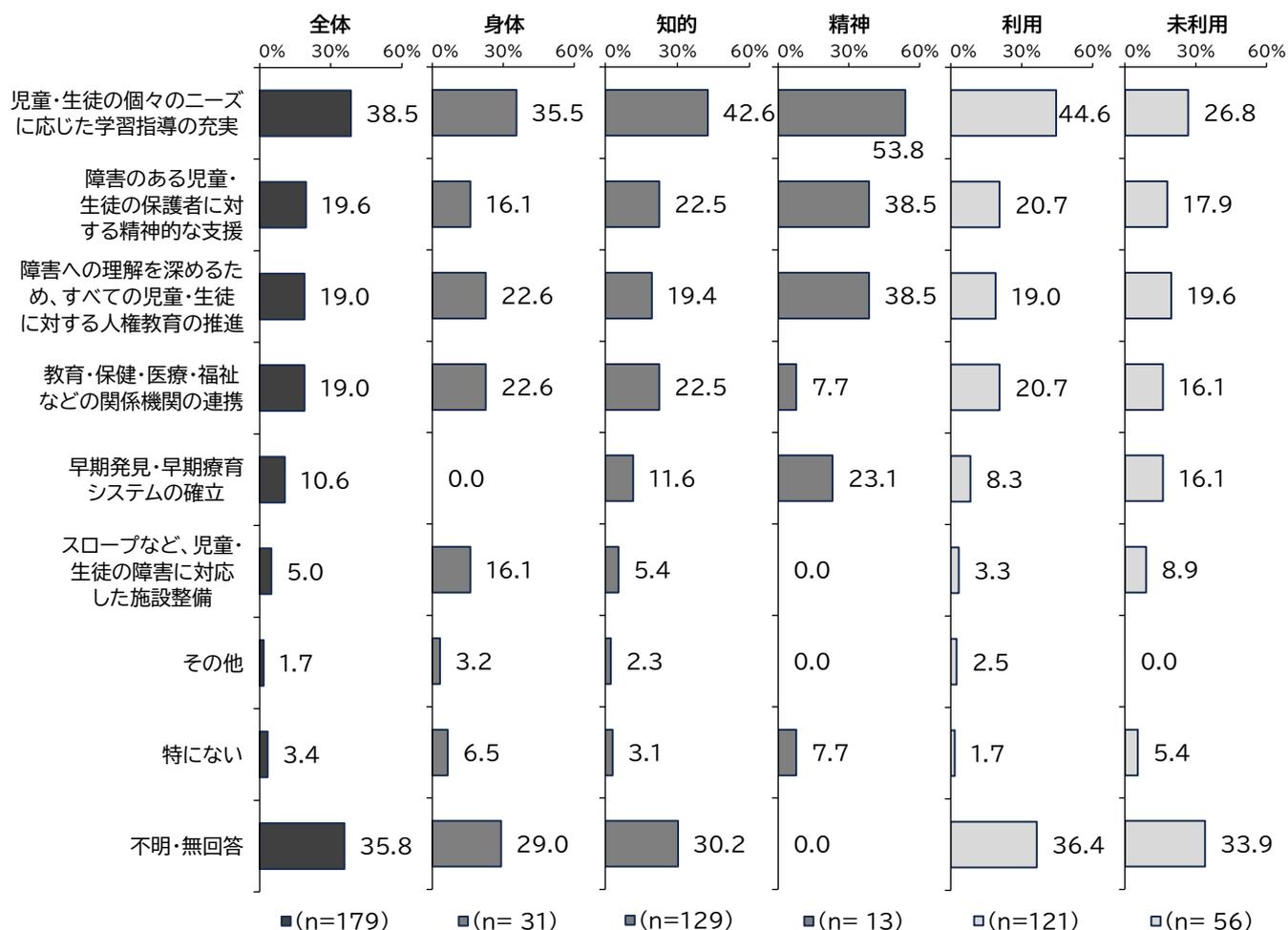
所持手帳別にみると、身体、知的、精神ともに「特にない」が最も多く、次いで身体では「通学が大変」、知的では「学習サポート体制が不十分」と「通学が大変」、精神では「校内での介助が不十分」と「その他」となっています。



問 26 あなたは、障害のある児童・生徒の教育・育成に関して、どのようなことが必要であると思いますか。(2つまでに○)

障害のある児童・生徒の教育・育成に関し必要なことについてみると、全体では「児童・生徒の個々のニーズに応じた学習指導の充実」が38.5%と最も多く、次いで「障害のある児童・生徒の保護者に対する精神的な支援」が19.6%となっています。

所持手帳別にみると、精神では「児童・生徒の個々のニーズに応じた学習指導の充実」が多くなっています。

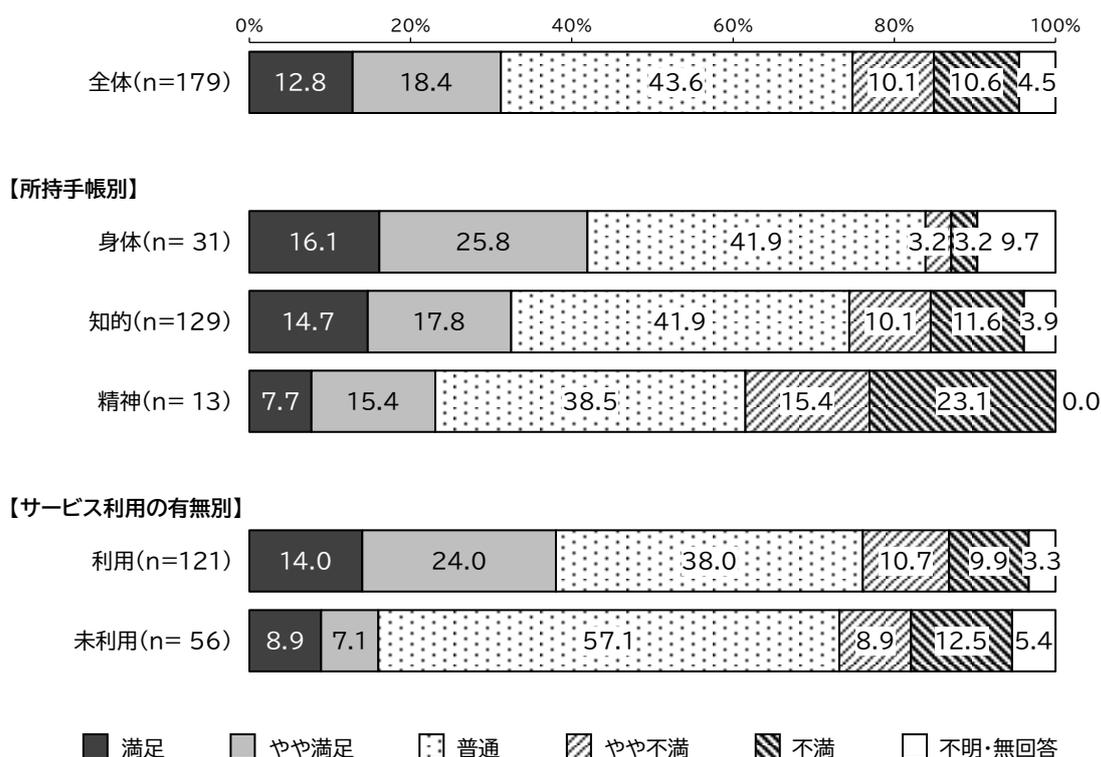


## 7. 相談窓口について

問 27 あなたは、困ったときに相談できる現在の相談体制についてどのように感じていますか。  
(1つに○)

困ったときに相談できる現在の相談体制についてみると、全体では「普通」が43.6%で最も高く、「満足」と「やや満足」の合計が31.2%、「不満」と「やや不満」の合計が20.7%となっています。

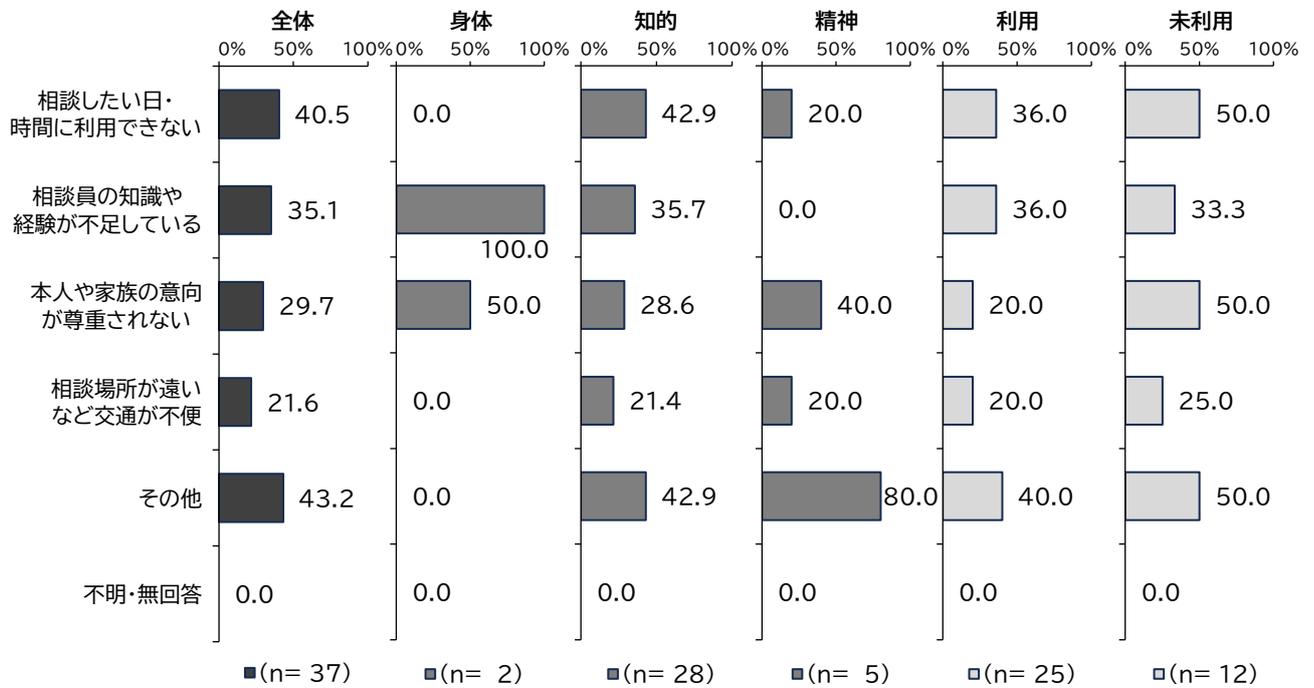
所持手帳別、サービス利用の有無でみると、「満足」と「やや満足」の合計は、身体41.9%、知的32.5%、精神23.1%、サービス利用者38.0%、サービス未利用者16.0%となっています。



【問 27 で「4. やや不満」または「5. 不満」とお答えの方】

問 27-① 不満の理由についてどのように感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

不満の理由についてみると、全体では「その他」が 43.2%と最も多く、次いで「相談したい日・時間に利用できない」が 40.5%となっています。

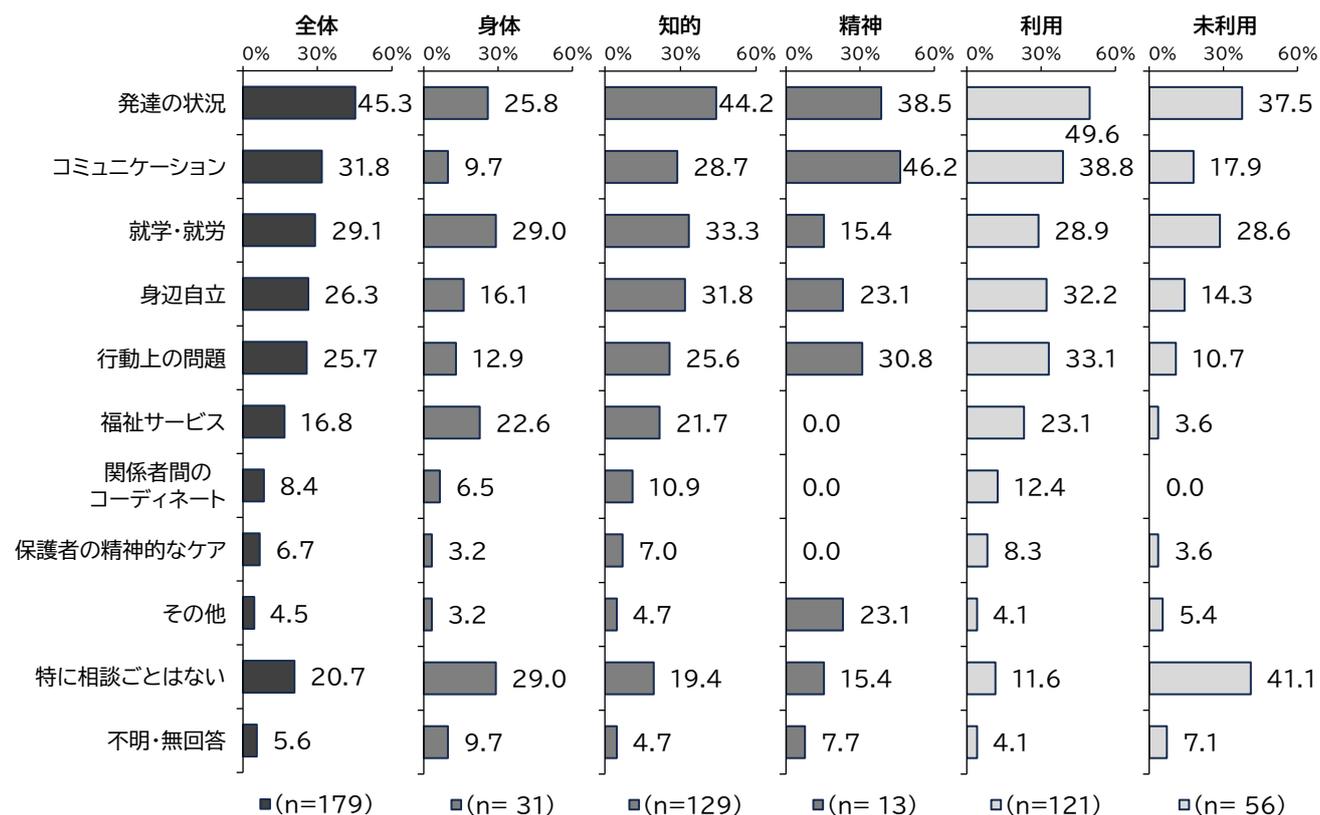


## 問 28 現在どのような相談をされていますか。(あてはまるものすべてに○)

現在相談している内容についてみると、全体では「発達の状況」が45.3%と最も多く、次いで「コミュニケーション」が31.8%、「就学・就労」が29.1%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「就学・就労」と「特に相談ごとはない」がともに29.0%、知的では「発達の状況」が44.2%、精神では「コミュニケーション」が46.2%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「発達の状況」が49.6%、サービス未利用者では「特に相談ごとはない」が41.1%と最も多くなっています。

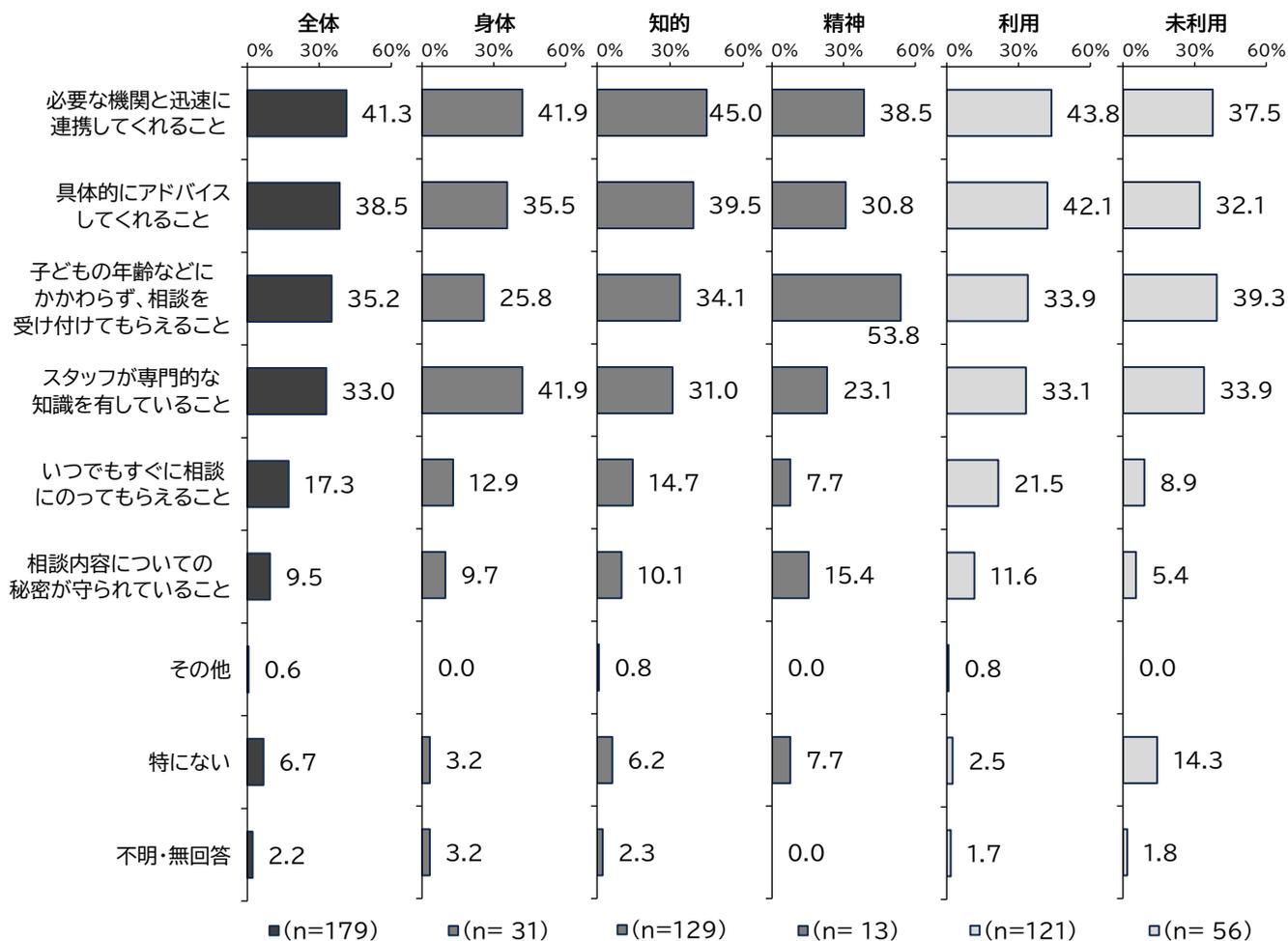


## 問 29 相談機関に期待することは何ですか。(2つまでに○)

相談機関に期待することについてみると、全体では「必要な機関と迅速に連携してくれること」が41.3%と最も多く、次いで「具体的にアドバイスしてくれること」が38.5%、「子どもの年齢などにかかわらず、相談を受け付けてもらえること」が35.2%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「必要な機関と迅速に連携してくれること」と「スタッフが専門的な知識を有していること」がともに41.9%、知的では「必要な機関と迅速に連携してくれること」が45.0%、精神では「子どもの年齢などにかかわらず、相談を受け付けてもらえること」が53.8%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「必要な機関と迅速に連携してくれること」が43.8%、サービス未利用者では「子どもの年齢などにかかわらず、相談を受け付けてもらえること」が39.3%と最も多くなっています。

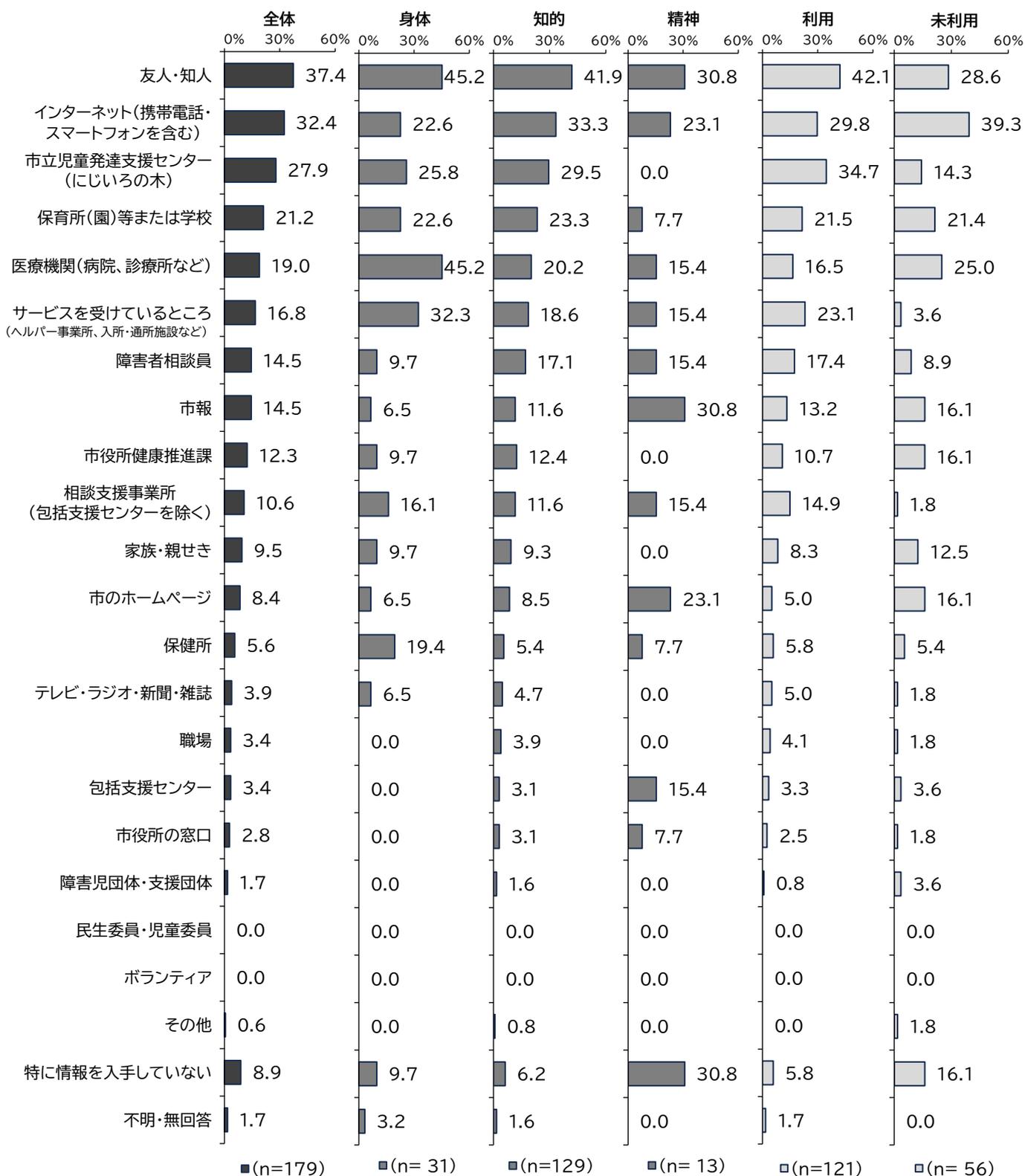


## 8. 情報の入手や提供のあり方について

### 問 30 サービスに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

サービスに関する情報を入手している場所についてみると、全体では「友人・知人」が37.4%と最も多く、次いで「インターネット（携帯電話・スマートフォンを含む）」が32.4%となっています。

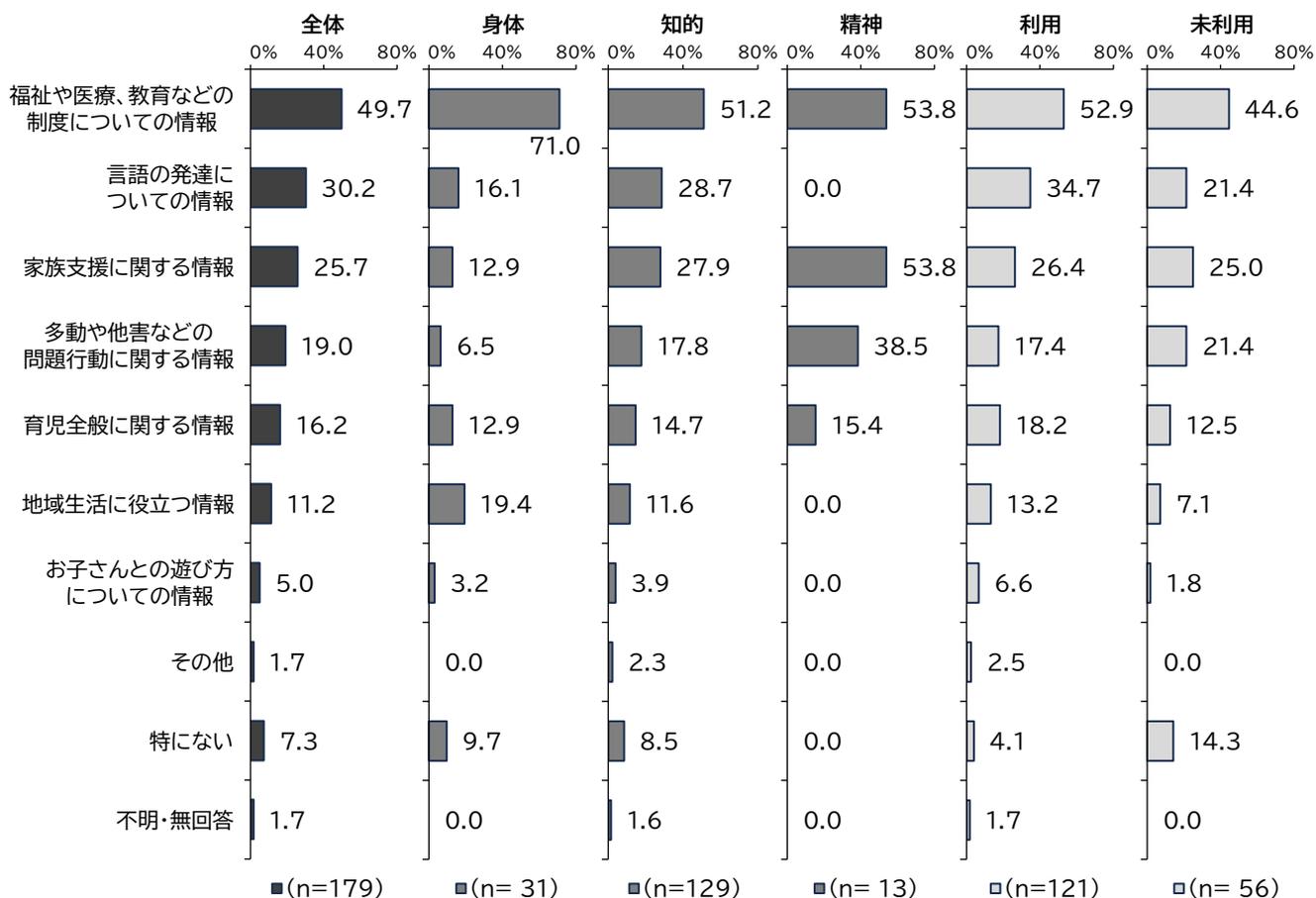
所持手帳別にみると、身体では「友人・知人」と「医療機関（病院、診療所など）」がともに45.2%、知的では「友人・知人」が41.9%、精神では「友人・知人」と「市報」がともに30.8%と最も多くなっています。



### 問 31 子どもの発育に関して、どのような情報の提供を望みますか。(2つまでに○)

子どもの発育に関して、どのような情報の提供を望むかについてみると、全体では「福祉や医療、教育などの制度についての情報」が49.7%と最も多く、次いで「言語の発達についての情報」が30.2%、「家族支援に関する情報」が25.7%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「福祉や医療、教育などの制度についての情報」が71.0%と多くなっています。

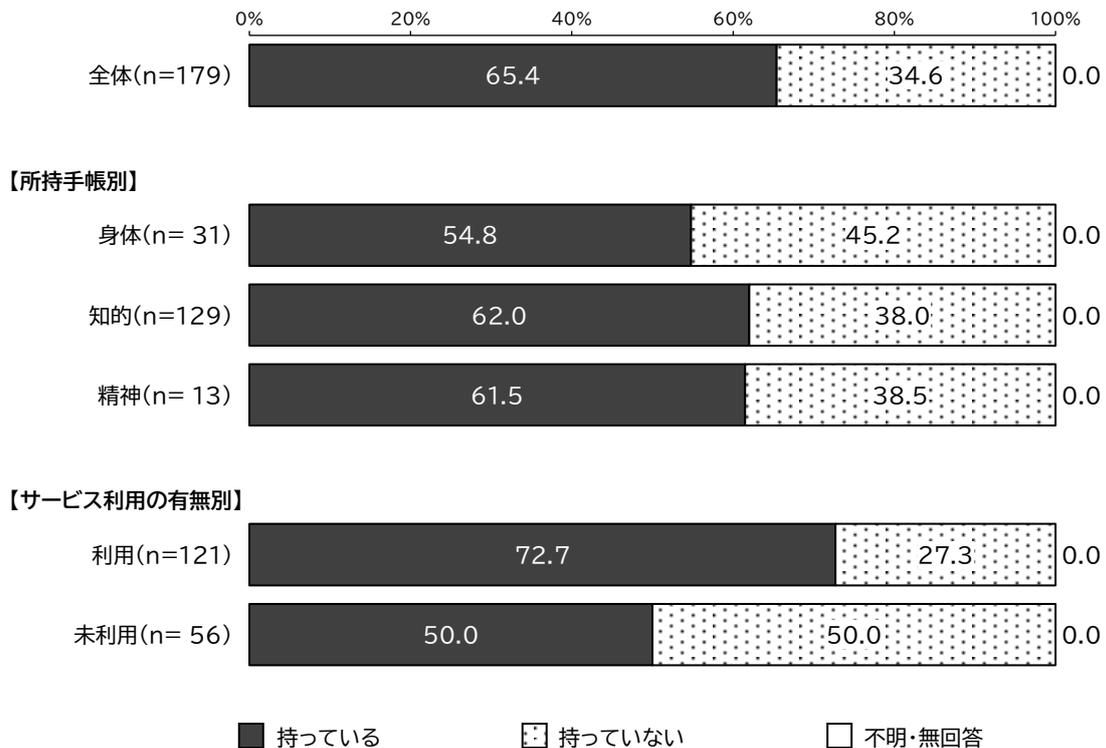


### 問 32 あなたは、サポートブック「はぐノート」を持っていますか。(1つに○)

サポートブック「はぐノート」の所持についてみると、全体では「持っている」が65.4%、「持っていない」が34.6%となっています。

所持手帳別にみると、身体で「持っている」が54.8%と少なくなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「持っている」が72.7%と多くなっています。

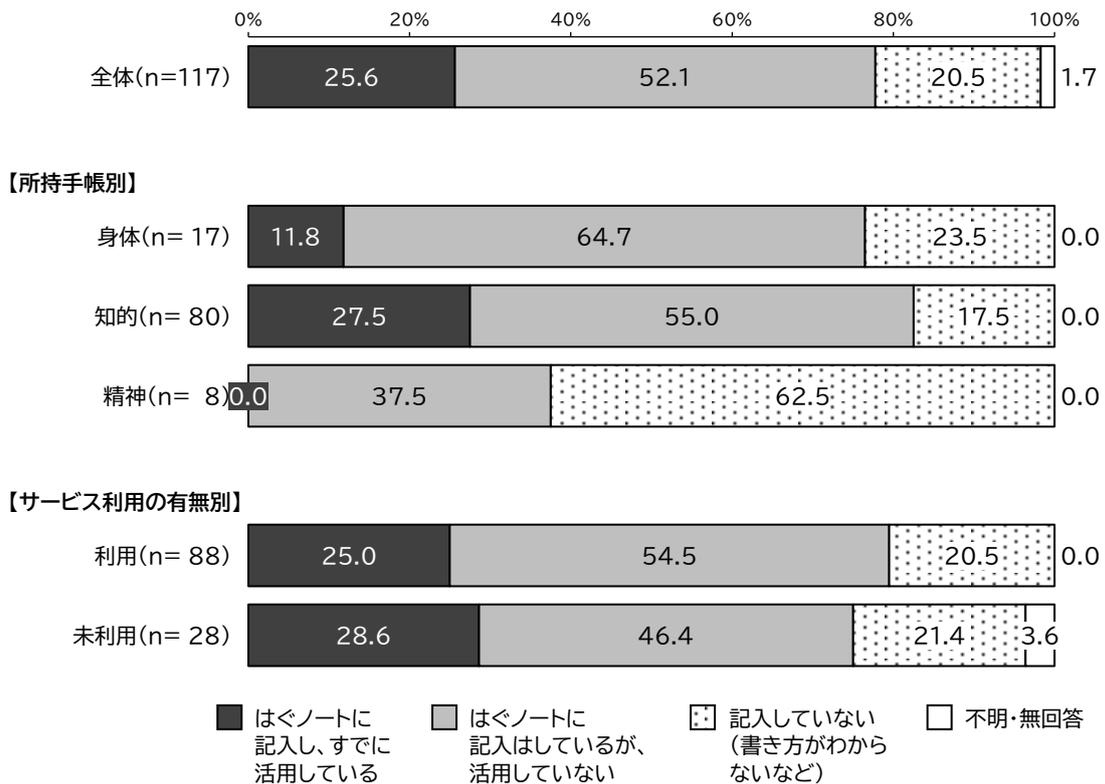


**【問 32 で「1. 持っている」とお答えの方】**

**問 32-① あなたは、サポートブック「はぐノート」を活用されていますか。(1つに○)**

サポートブック「はぐノート」のを所持している人の活用の状況をみると、全体では「はぐノートに記入はしているが、活用していない」が 52.1%と最も多く、次いで「はぐノートに記入し、すでに活用している」が 25.6%、「記入していない（書き方がわからないなど）」が 20.5%となっています。

所持手帳別にみると、知的では「はぐノートに記入し、すでに活用している」と回答した人は 27.5%ですが、精神ではゼロとなっています。

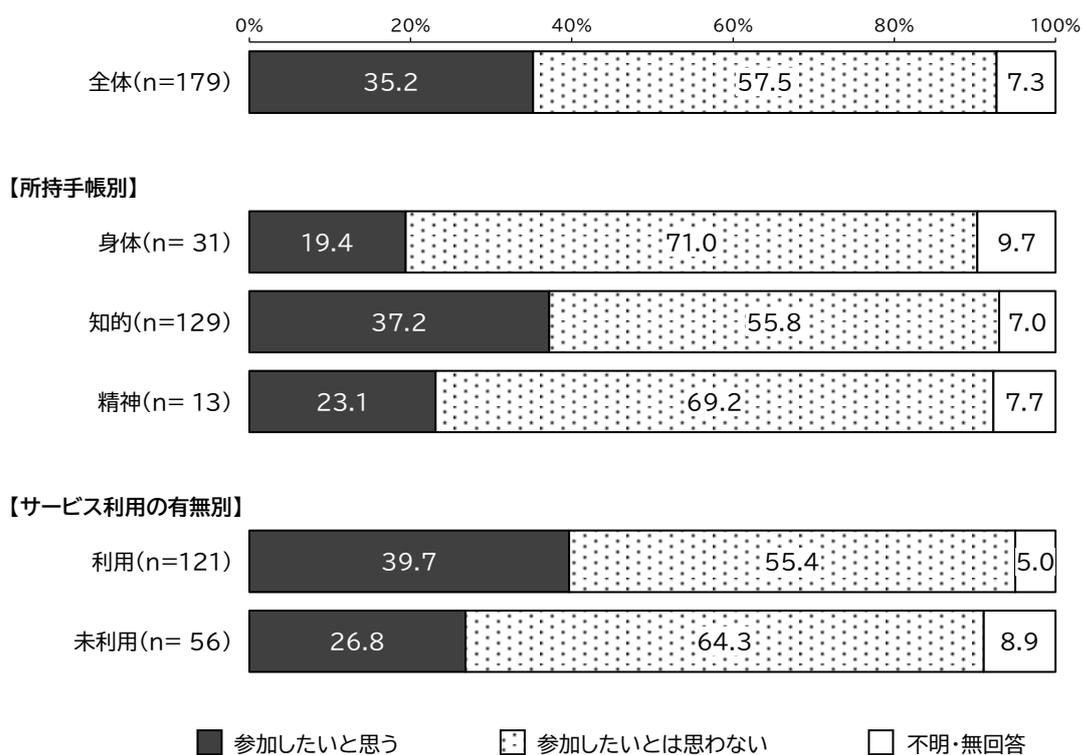


**問33 はぐノートについて、記入の仕方などを気軽に相談できる「はぐノートの会」を定期的で開催していますが、参加したいと思いますか。**

「はぐノートの会」への参加意向についてみると、全体では「参加したいと思う」が35.2%、「参加したいとは思わない」が57.5%となっています。

所持手帳別にみると、知的では「参加したいと思う」は37.2%ですが、身体、精神ではそれぞれ2割前後と少なくなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者は「参加したいと思う」が39.7%ですが、サービス未利用者では26.8%と少なくなっています。



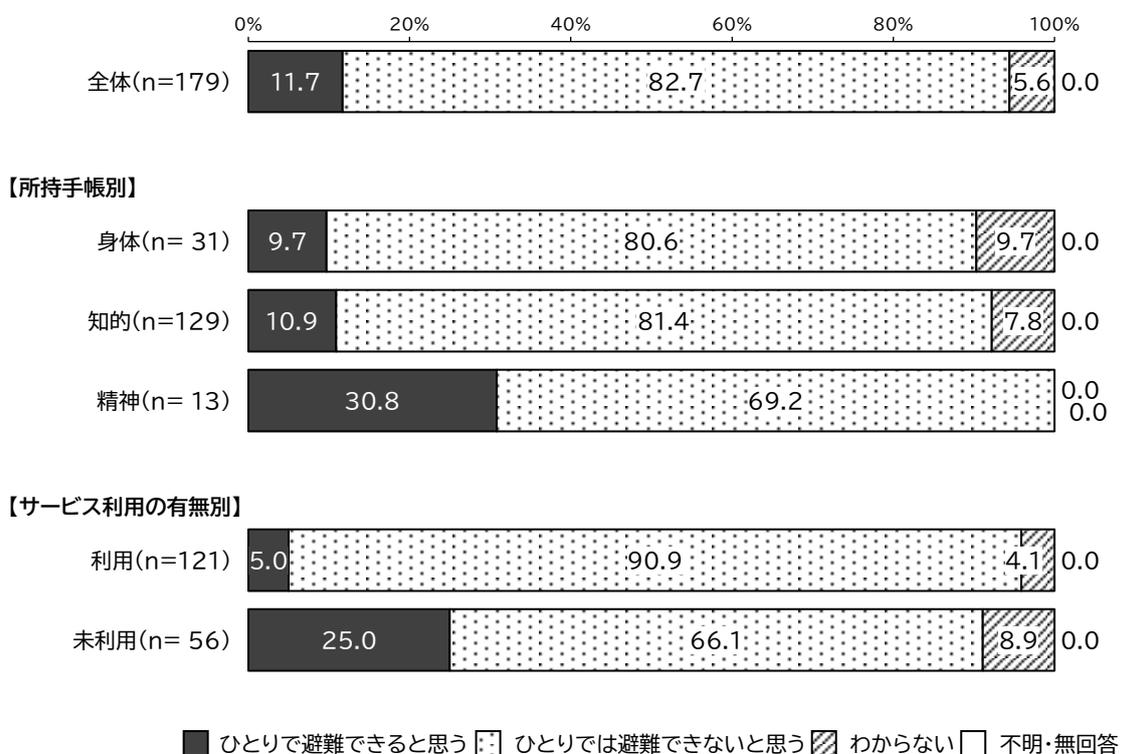
## 9. 災害時のことについて

問 34 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたのお子さんはひとりで避難できると思いますか。  
(1つに〇)

災害などの緊急事態が発生した場合、子どもがひとりで避難できるかについてみると、全体では「ひとりで避難できないと思う」が82.7%と最も多く、次いで「ひとりで避難できると思う」が11.7%、「わからない」が5.6%となっています。

所持手帳別にみると、精神では「ひとりで避難できると思う」が30.8%と多くなっています。

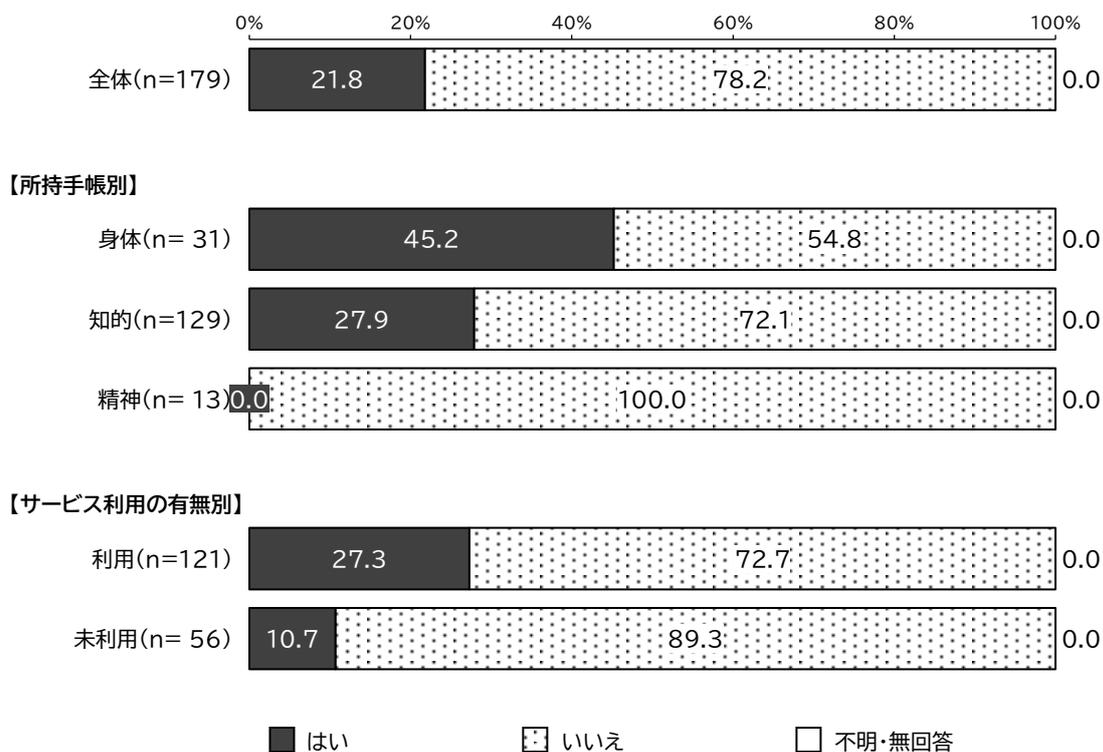
サービス利用の有無でみると、サービス未利用者では「ひとりで避難できると思う」が25.0%と多くなっています。



### 問 35 あなたは、「地域の絆づくり登録制度(行動要支援者登録制度)」を知っていますか。(1つに○)

「地域の絆づくり登録制度(避難行動要支援者登録制度)」を知っているかについてみると、全体では「はい」が21.8%、「いいえ」が78.2%となっています。

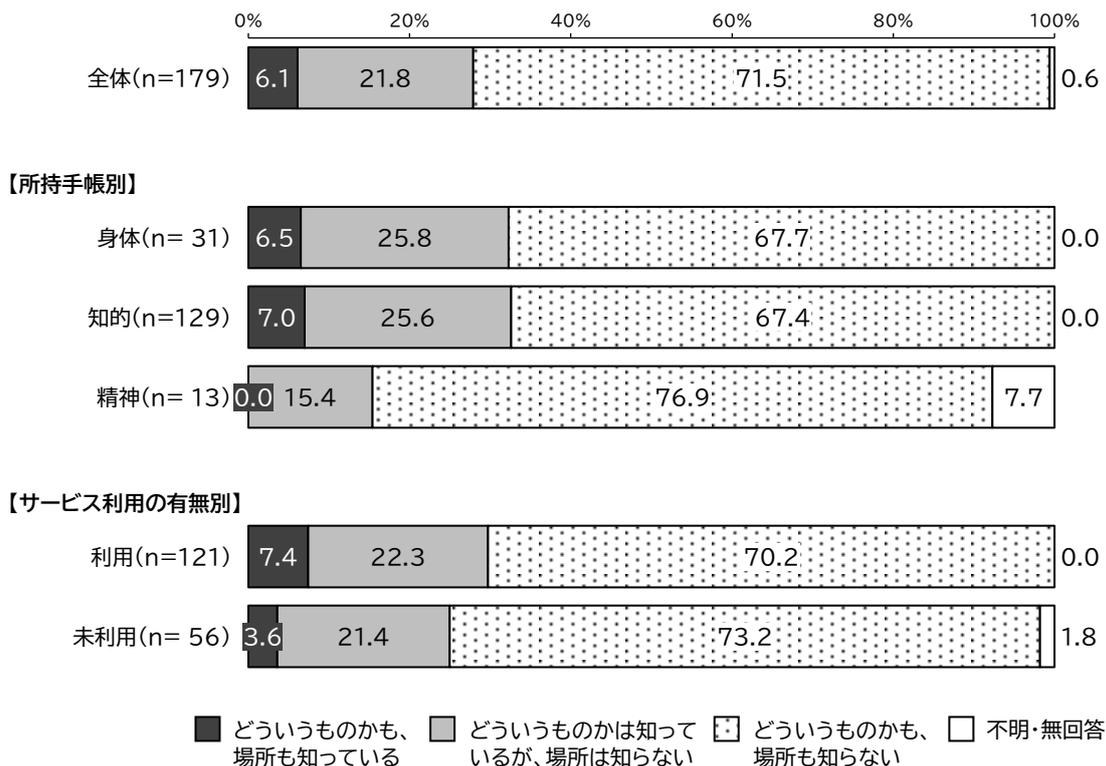
所持手帳別にみると、身体では「はい」が45.2%と多くなっているのに対し、精神では「はい」と回答した人はいません。



問 36 あなたは、「福祉避難所」を知っていますか。(1つに○)

「福祉避難所」を知っているかについてみると、全体では「どういものかも、場所も知らない」が71.5%と最も多く、次いで「どういものかは知っているが、場所は知らない」が21.8%、「どういものかも、場所も知っている」が6.1%となっています。

所持手帳別にみると、精神では「どういものかも、場所も知らない」が76.9%と多くなっています。

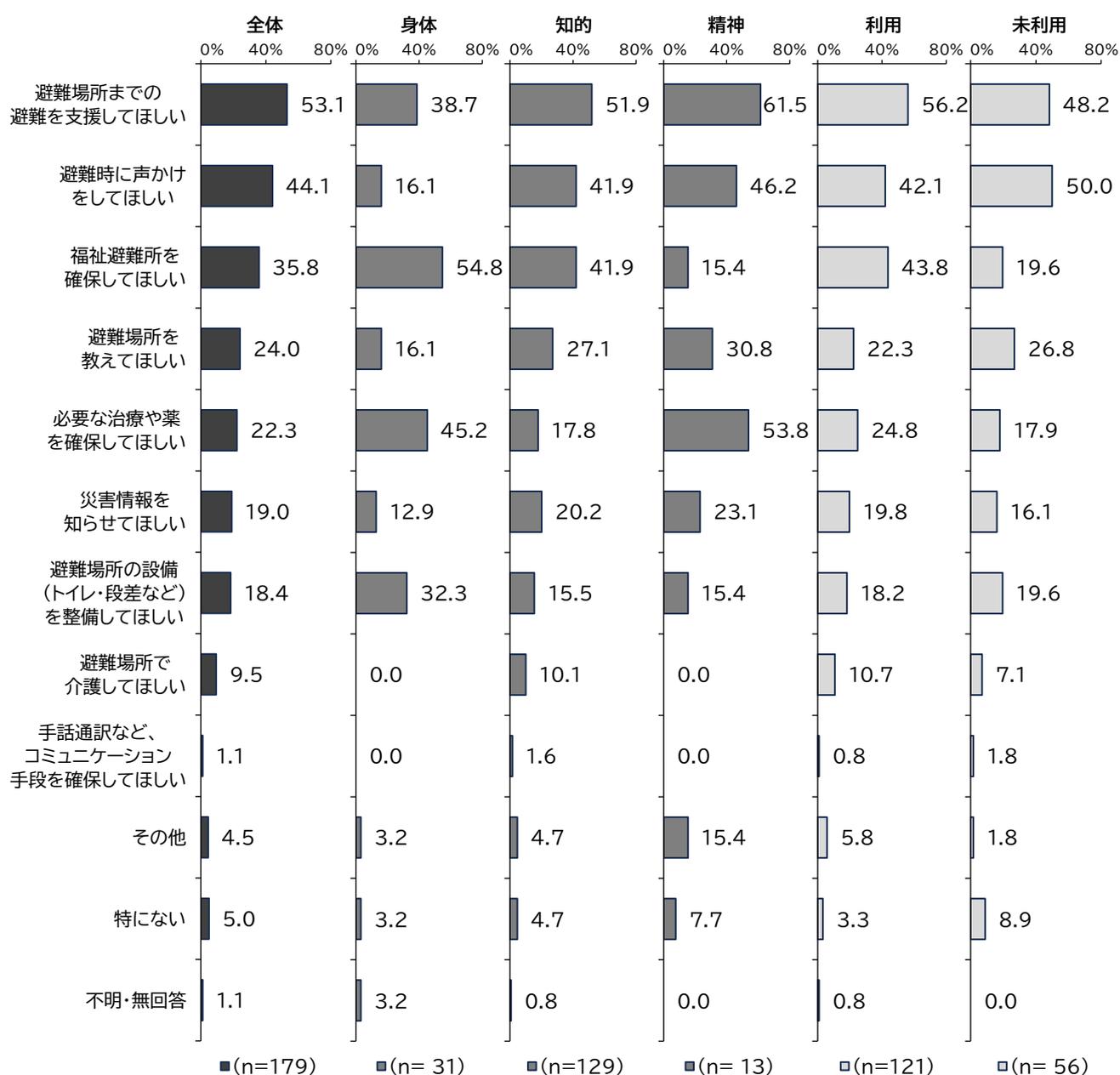


## 問 37 あなたが、災害が起きたときにお子さんに対して支援してほしいことは何ですか。(3つまでに〇)

災害が起きた時に子どもに対して支援してほしいことについてみると、全体では「避難場所までの避難を支援してほしい」が53.1%と最も多く、次いで「避難時に声かけをしてほしい」が44.1%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「福祉避難所を確保してほしい」が54.8%、知的、精神では「避難場所までの避難を支援してほしい」がそれぞれ51.9%、61.5%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「避難場所までの避難を支援してほしい」が56.2%、サービス未利用者では「避難時に声かけをしてほしい」が50.0%と最も多くなっています。

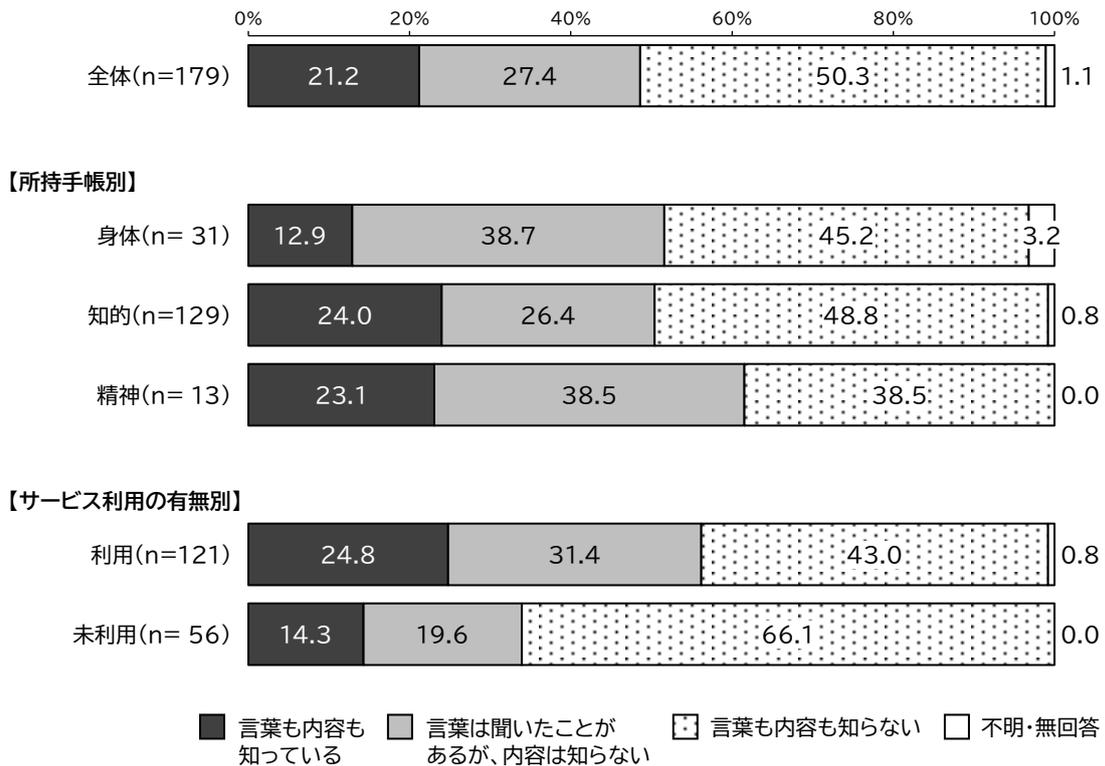


## 10. 差別の解消と権利擁護について

### 問 38 障害者差別解消法を知っていますか。(1つに○)

障害者差別解消法を知っているかについてみると、全体では「言葉も内容も知らない」が 50.3%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 27.4%、「言葉も内容も知っている」が 21.2%となっています。

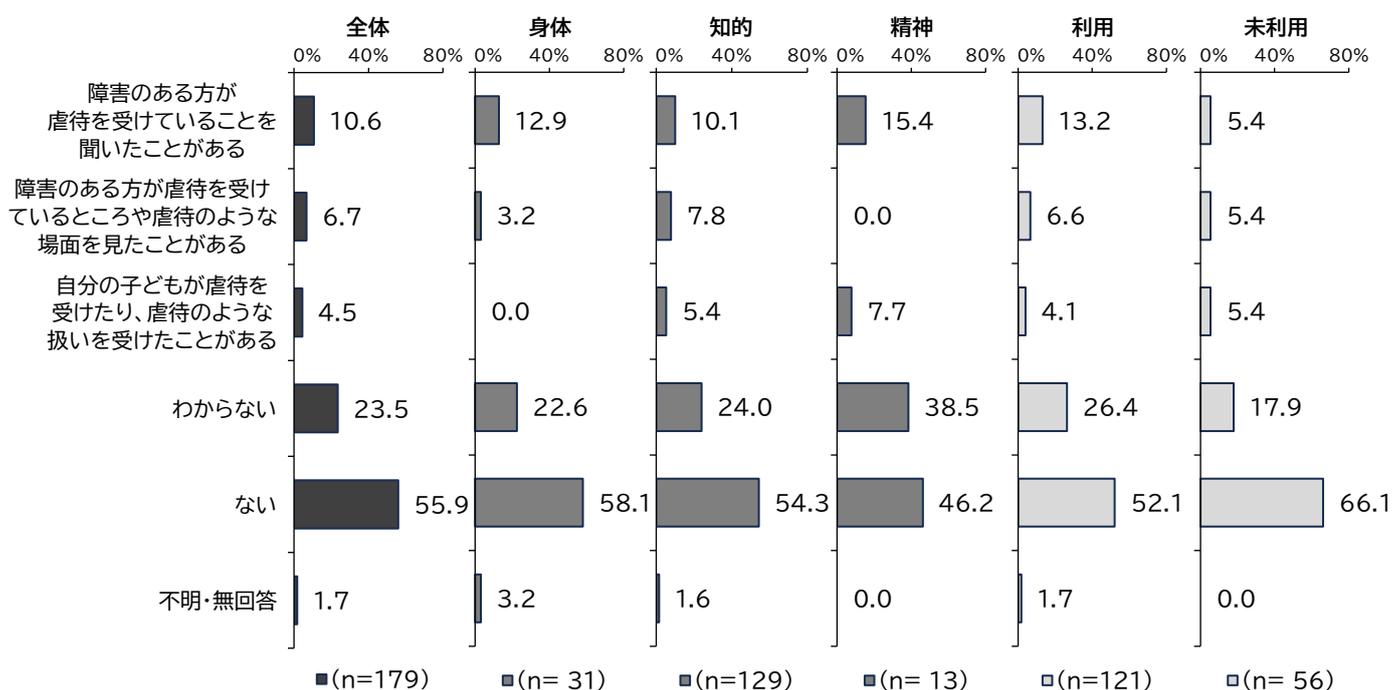
サービス利用の有無でみると、サービス未利用者では「言葉も内容も知らない」が 66.1%と多くなっています。



問 39 あなたは身近で、障害のある方が家族や施設の職員などから虐待を受けたことを見たり聞いたりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

身近で、障害のある人が家族や施設の職員などから虐待を受けたことを見たり聞いたりしたことがあるかについてみると、「ない」と「わからない」を除くと、全体では「障害のある方が虐待を受けていることを聞いたことがある」が10.6%、「障害のある方が虐待を受けているところや虐待のような場面を見たことがある」が6.7%、「自分の子どもが虐待を受けたり、虐待のような扱いを受けたことがある」が4.5%となっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「障害のある方が虐待を受けていることを聞いたことがある」が13.2%でサービス未利用者に比べて多くなっています。

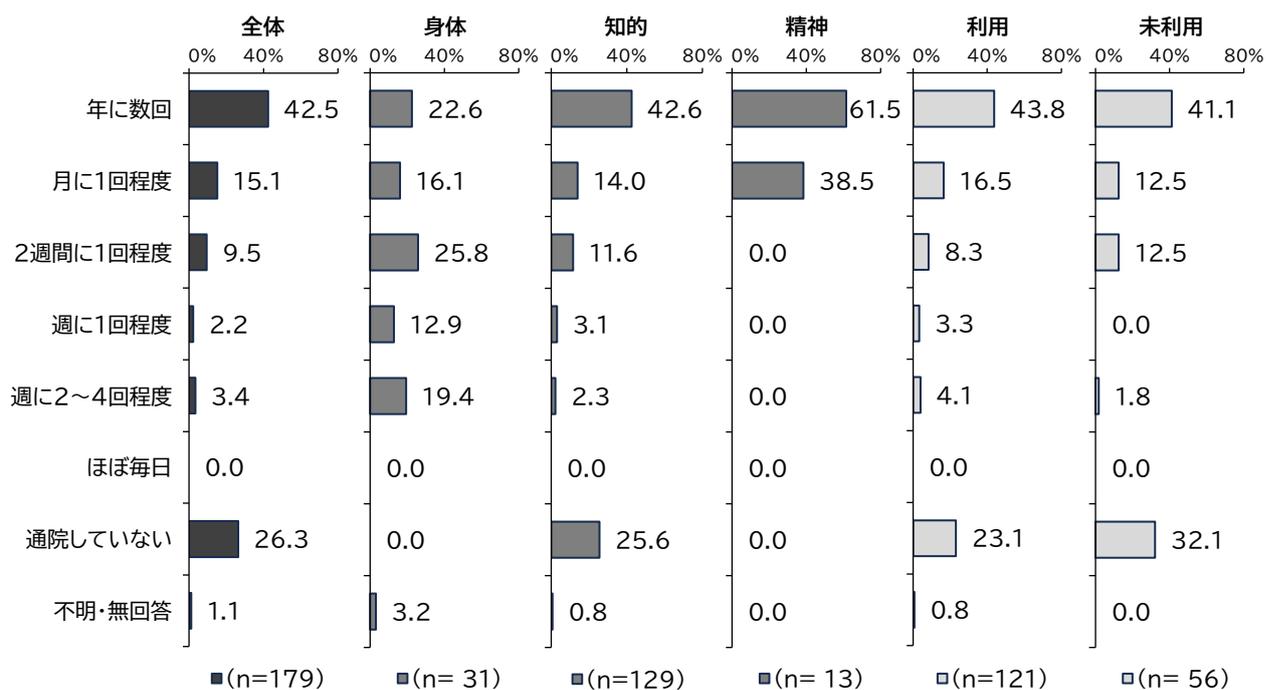


## 11. 保健・医療のことについて

### 問 40 あなたのお子さんの現在の通院状況(リハビリを含む)は、次のどれですか。(1つに○)

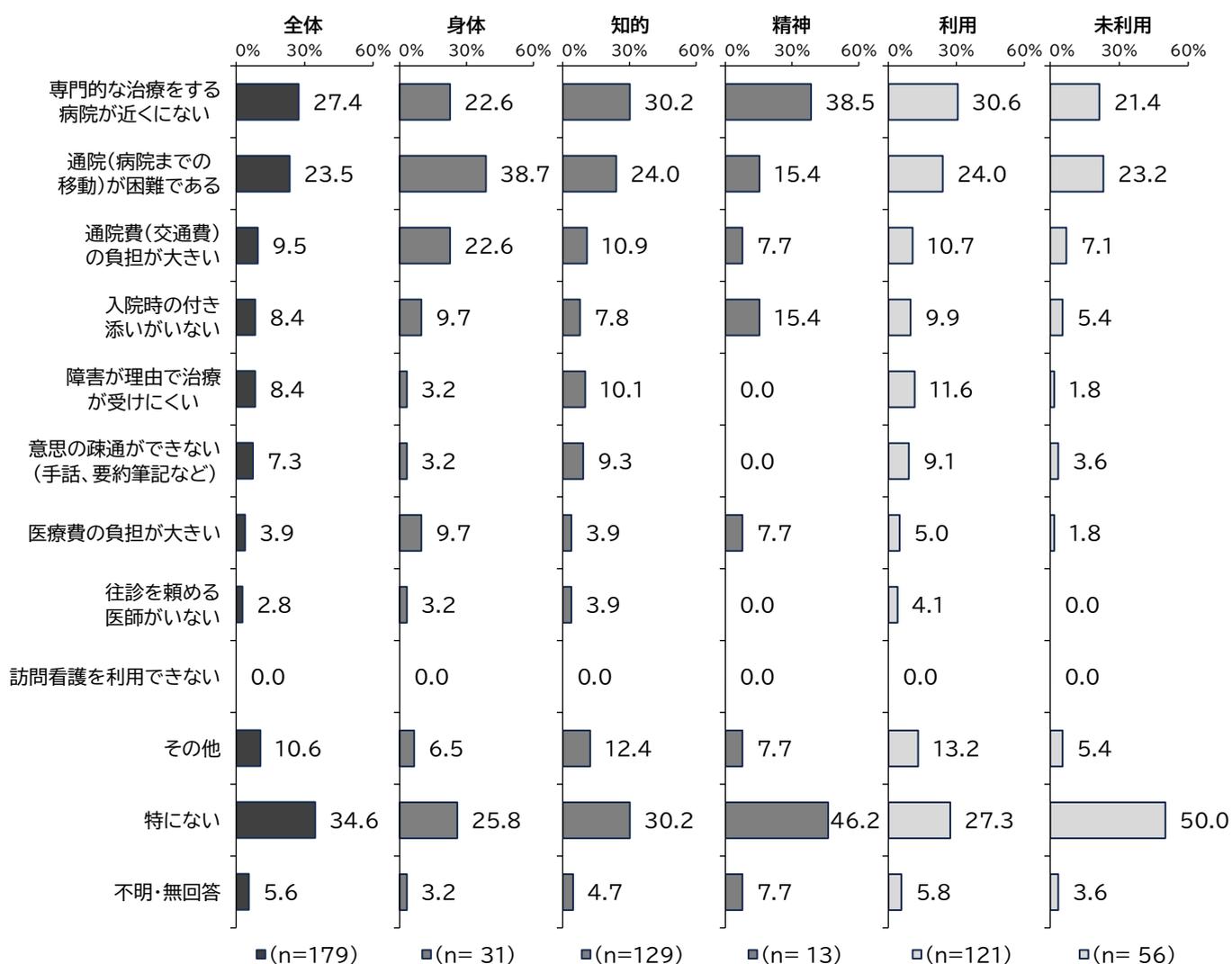
子どもの現在の通院状況（リハビリを含む）についてみると、全体では「年に数回」が 42.5%と最も多く、次いで「通院していない」が 26.3%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「2週間に1回程度」が 25.8%、知的、精神では「年に数回」がそれぞれ 42.6%、61.5%と最も多くなっています。



## 問 41 医療を受ける上で困っていることは何ですか。(3つまでに○)

医療を受ける上で困っていることについてみると、全体では「特にない」が34.6%と最も多く、次いで「専門的な治療をする病院が近くにない」が27.4%、「通院（病院までの移動）が困難である」が23.5%となっています。

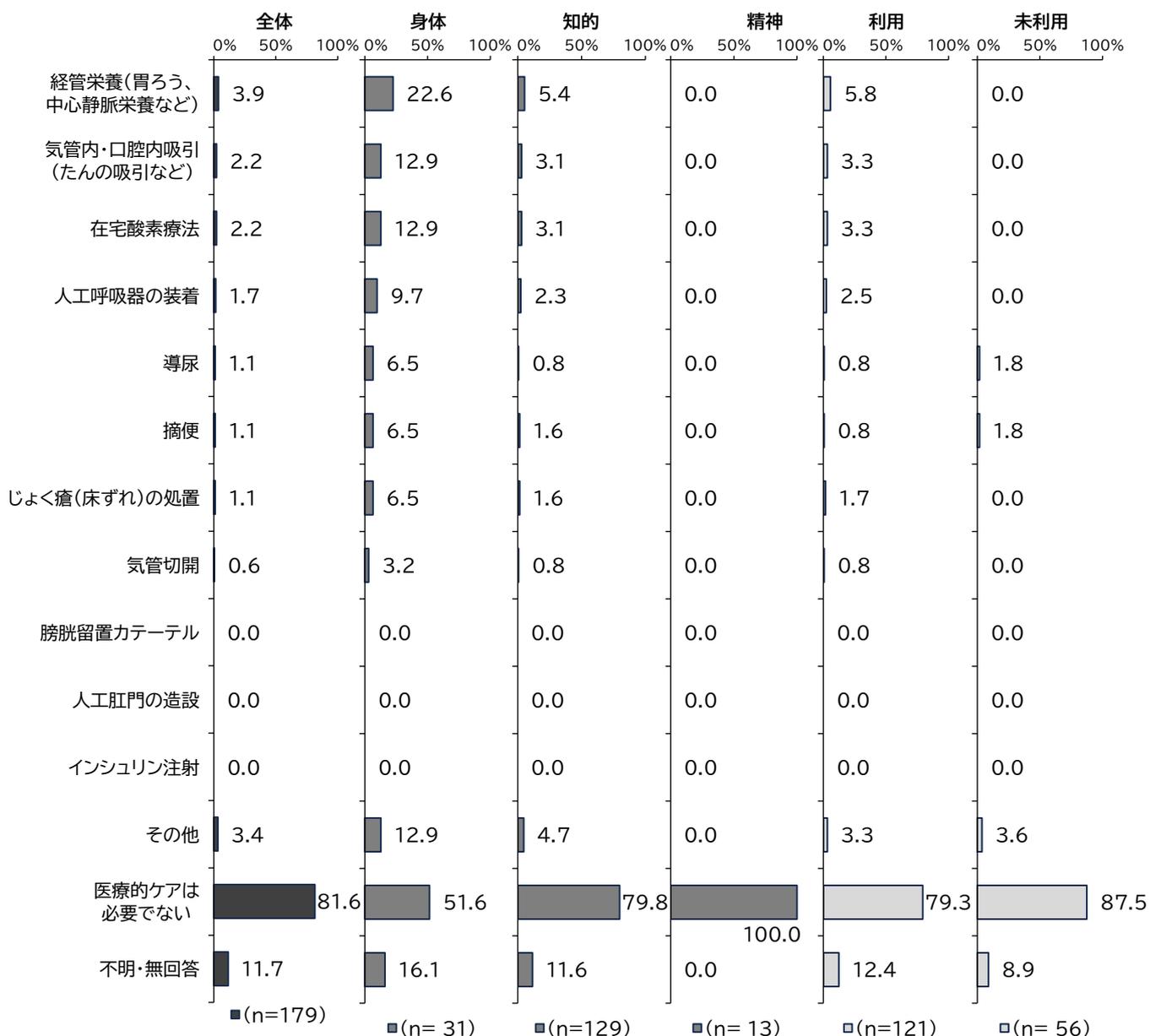


問 42 あなたのお子さんは、どのような医療的ケア(服薬や通院を除く)が必要ですか。

(あてはまるものすべてに○)

どのような医療的ケア(服薬や通院を除く)が必要かについてみると、全体では「医療的ケアは必要でない」と「不明・無回答」を除くと、「経管栄養(胃ろう、中心静脈栄養など)」が3.9%、「その他」が3.4%となっています。

所持手帳別にみると、身体では「経管栄養(胃ろう、中心静脈栄養など)」が22.6%と多くなっています。



## 【問42で「1.」～「12.」のいずれかをお答えの方】

## 問42-① 医療的ケアは、どのくらいの頻度で必要ですか。(1つに○)

医療的ケアが必要な頻度についてみると、全体では「ほぼ常時」が11件でほとんどを占めています。

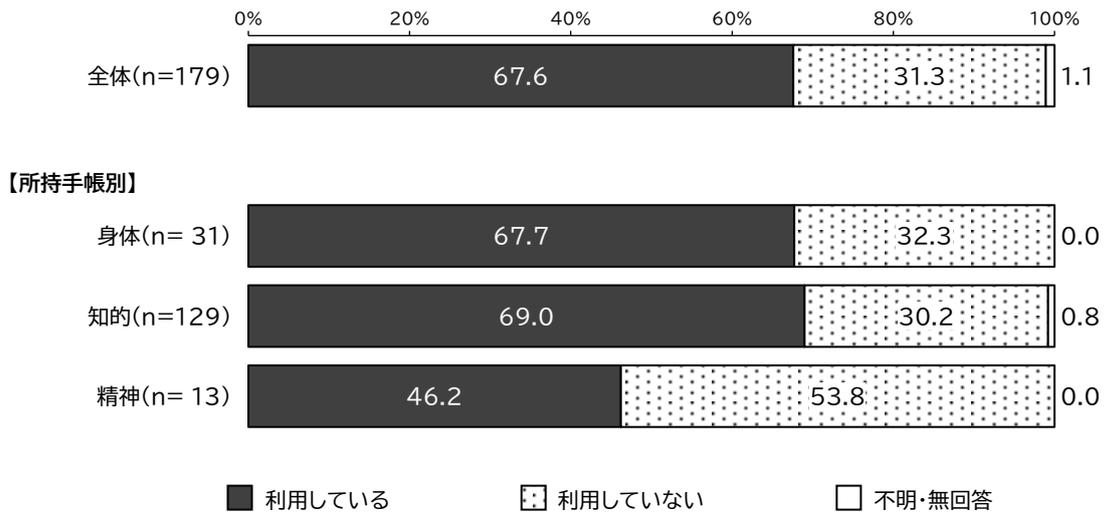
		回答者数(n)	ほぼ常時	1日に1～2回	2～3日に1～2回	週に1～2回	月に1～2回	その他	不明・無回答
上段:件 下段:%									
全体		12 100.0	11 91.7	- -	- -	- -	- -	1 8.3	- -
所持 手帳別	身体	10 100.0	9 90.0	- -	- -	- -	- -	1 10.0	- -
	知的	11 100.0	10 90.9	- -	- -	- -	- -	1 9.1	- -
	精神	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
サービス 利用の 有無別	利用	10 100.0	9 90.0	- -	- -	- -	- -	1 10.0	- -
	未利用	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

## 12. 福祉サービスについて

### 問 43 あなたのお子さんは、現在、福祉サービスを利用していますか。(1つに○)

現在福祉サービスを利用しているかについてみると、全体では「利用している」が67.6%、「利用していない」が31.3%となっています。

所持手帳別にみると、身体と知的では「利用している」が7割近いですが、精神では「利用している」が46.2%と、「利用していない」を下回っています。



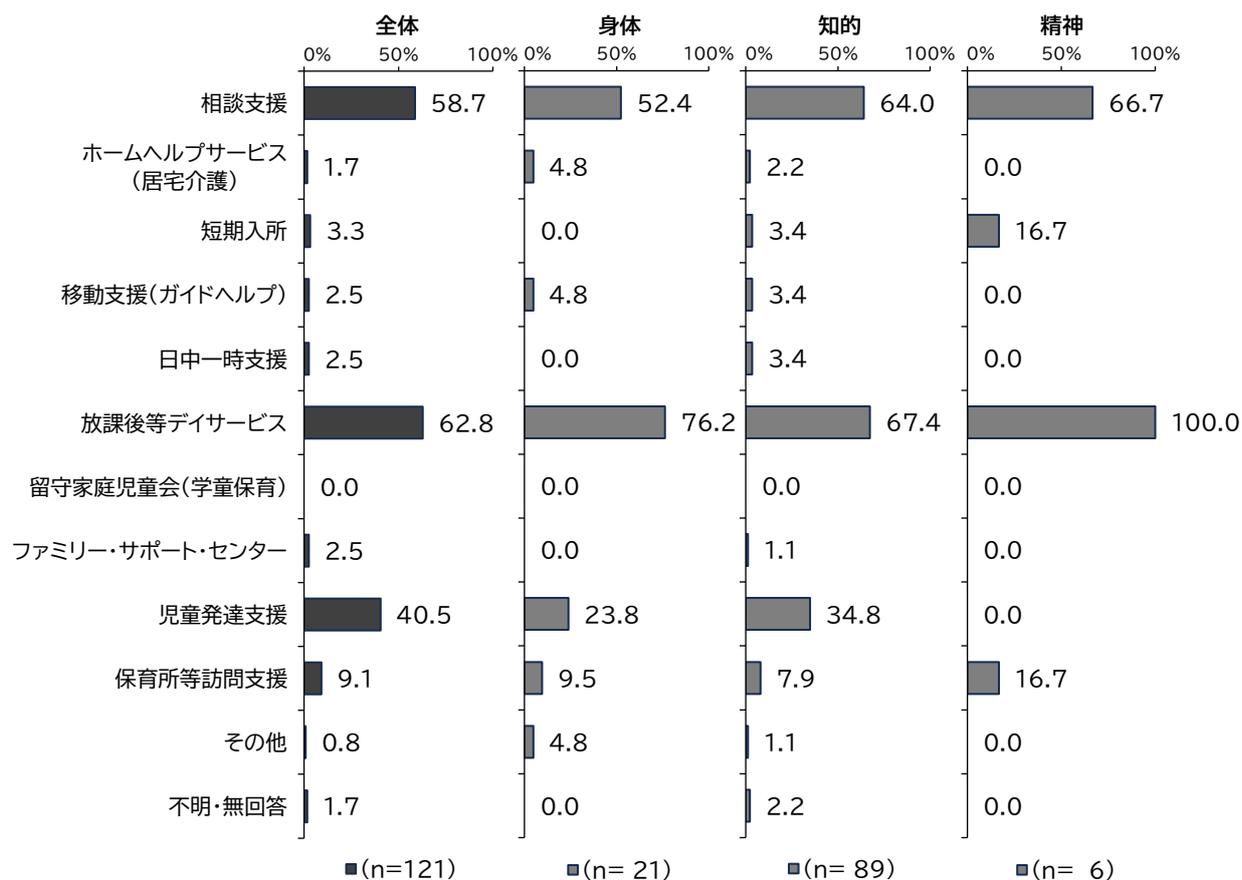
## 【問43で「1. 利用している」とお答えの方】

問43-① あなたのお子さんが、現在利用している福祉サービスは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

現在利用している福祉サービスについてみると、全体では「放課後等デイサービス」が62.8%と最も多く、次いで「相談支援」が58.7%となっています。

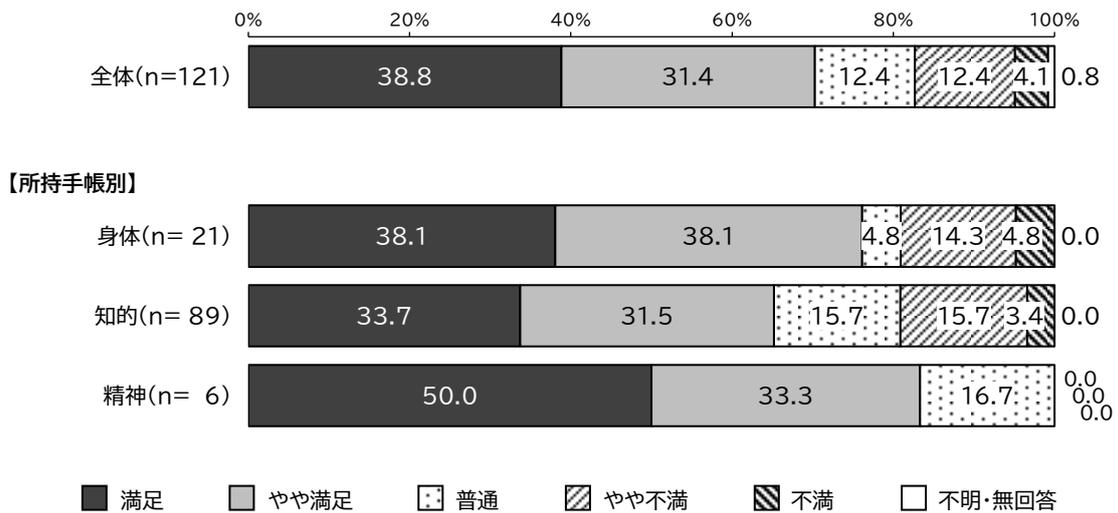
所持手帳別にみると、身体、知的、精神ともに「放課後等デイサービス」が最も多く、精神では全員が回答しています。



**【問 43 で「1. 利用している」とお答えの方】**

**問 43-② 現在利用しているサービスに満足していますか。(1つに○)**

現在利用しているサービスで満足しているかについてみると、全体では「満足」が38.8%、「やや満足」が31.4%となっています。一方で「不満」または「やや不満」という回答は、合わせて16.5%となっています。



## 【問 43-②で「4. やや不満」または「5. 不満」とお答えの方】

問 43-③ どのような不満がありますか。不満があるサービスについて3つまでお答えください。

(ア、イは枠内にあてはまる選択肢の番号を記入、ウは自由記述)

不満があるサービスについてみると、全体では「放課後等デイサービス」が11件と最も多く、次いで「児童発達支援」が8件となっています。

## ■不満があるサービス(3つまで)

単位:件	全体 (n=20)	身体 (n=4)	知的 (n=17)	精神 (n=0)
相談支援	4	-	4	-
ホームヘルプサービス(居宅介護)	-	-	-	-
短期入所	1	-	1	-
移動支援(ガイドヘルプ)	-	-	-	-
日中一時支援	-	-	-	-
放課後等デイサービス	11	1	10	-
留守家庭児童会(学童保育)	1	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	2	1	1	-
児童発達支援	8	2	7	-
保育所等訪問支援	1	-	1	-
その他	-	-	-	-
不明・無回答	-	-	-	-

不満の内容についてみると、「緊急時の利用がしにくい」「利用できる時間（支給量）が少ない」「その他」がともに9件で最も多く、次いで「希望した日時に利用できない」が8件となっています。

■不満の内容(4つまで)

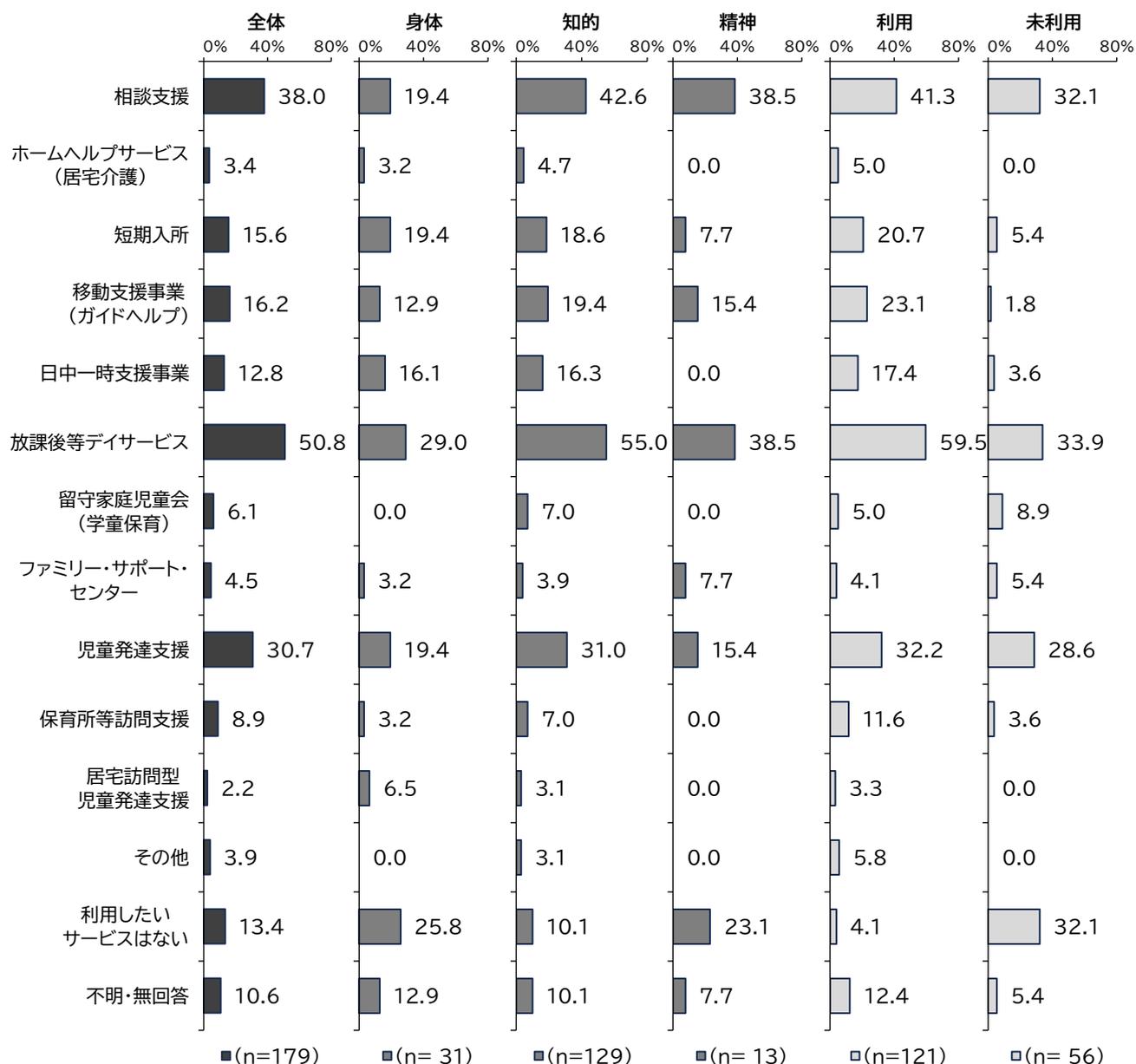
単位:件	利用件数	不満がある件数	緊急時の利用がしにくい	土日など休日の利用がしづらい (利用が集中する)	希望した日時に利用できない	利用者が多数などの理由で希望どおりの 時間までサービスが使えない	対応してもらえない(利用できる)事業所 が少ない	保護者の就労支援の理由では サービスが使えない	利用できる時間(支給量)が少ない	必要な設備が不十分	職員の理解が得られない	通うのが大変	その他
合計		28	9	3	8	4	3	4	9	4	6	5	9
相談支援	71	4	3	1	1	1	-	1	1	-	1	1	-
ホームヘルプサービス (居宅介護)	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
短期入所	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
移動支援 (ガイドヘルプ)	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日中一時支援	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放課後等デイサービス	76	11	5	2	3	2	1	1	4	2	1	2	4
留守家庭児童会 (学童保育)	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
ファミリー・サポート・ センター	3	2	-	-	2	1	-	-	-	-	1	-	-
児童発達支援	49	8	-	-	2	-	1	2	3	1	2	2	5
保育所等訪問支援	11	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 問 44 今後、お子さんが利用したい福祉サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

今後利用したい福祉サービスについてみると、全体では「放課後等デイサービス」が50.8%と最も多く、次いで「相談支援」が38.0%となっています。

所持手帳別にみると、身体、知的では「放課後等デイサービス」がそれぞれ29.0%、55.0%、精神では「相談支援」と「放課後等デイサービス」がともに38.5%と最も多くなっています。

サービス利用の有無でみると、サービス利用者では「放課後等デイサービス」が59.5%と多くなっています。



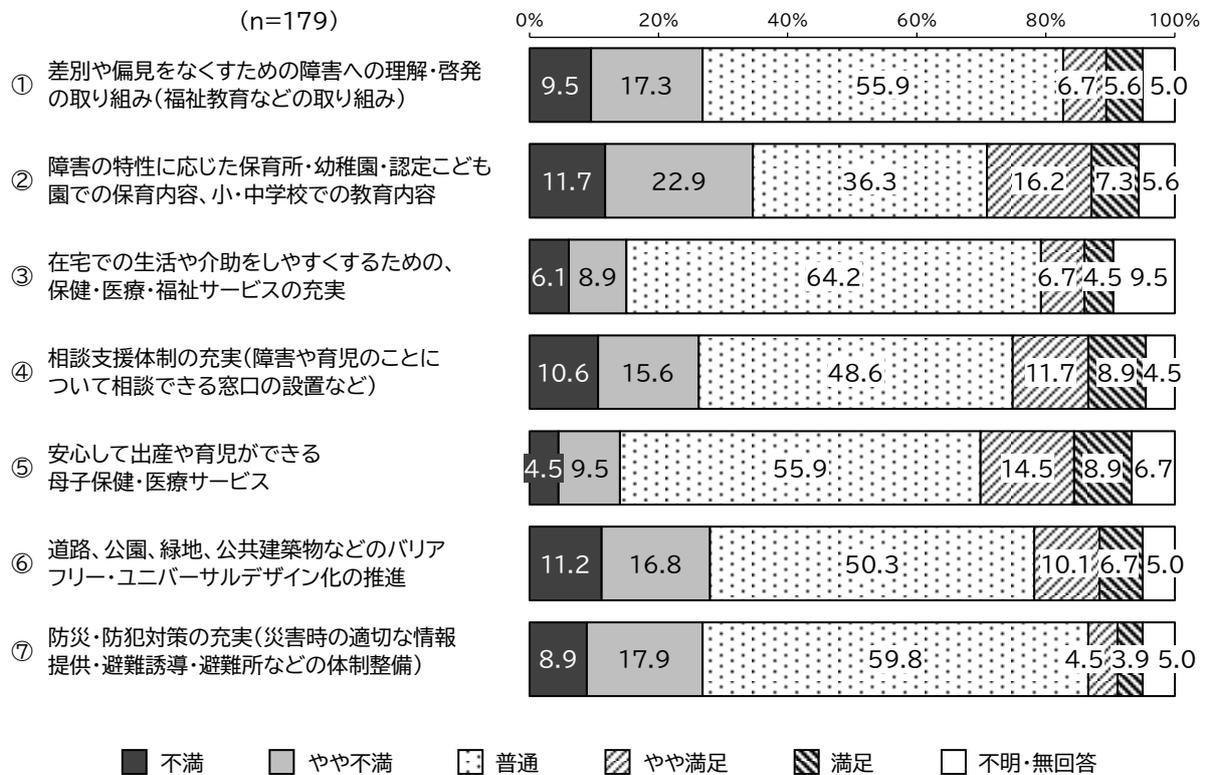
### 13. 泉佐野市の障害児施策について

問 45 次の①から⑦の項目について、「(1)現在の満足度」、「(2)今後の重要度」について、どのように感じていますか。(①)(2)それぞれ1つに○)

障害児施策全般に対する現在の満足度についてみると、すべての項目において「普通」が最も多くなっています。「⑤安心して出産や育児ができる母子保健・医療サービス」を除くすべての項目で、不満という回答（「不満」と「やや不満」の合計）が満足という回答（「満足」と「やや満足」の合計）を上回っています。

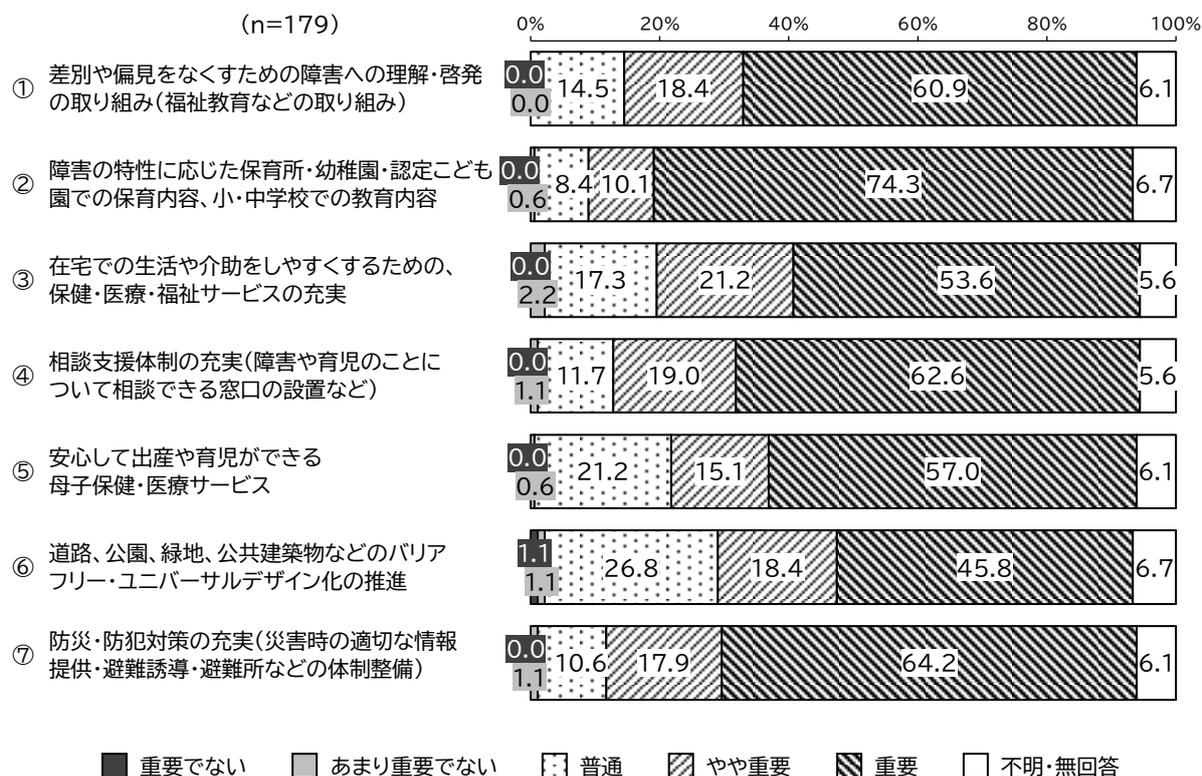
「②障害の特性に応じた保育所・幼稚園・認定こども園での保育内容、小・中学校での教育内容」は不満が最も多い一方で満足も多くなっています。

#### ■満足度



障害児施策全般に対する現在の重要度についてみると、「②障害の特性に応じた保育所・幼稚園・認定こども園での保育内容、小・中学校での教育内容」で「重要」が74.3%と最も多く、次いで「⑦防災・防犯対策の充実（災害時の適切な情報提供・避難誘導・避難所などの体制整備）」が64.2%となっています。

## ■重要度



## 14. ご意見やご要望など

### 問 46 泉佐野市の障害児施策全般について、ご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

全体で 79 件の意見・要望が寄せられています。「学校・教育について」「相談・情報提供について」「障害者施策について」に分類されるものがともに 14 件で最も多く、次いで「就学前の支援について」が 12 件となっています。分野別の意見数と主な意見の内容は以下の通りです。

#### ○学校・教育について【14 件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>・全小学校の支援学級に、机との間にパーテーションで区切れるように、パーテーション設置してほしい。多動で集中力が持続しないため、仕切りがないと学習するのにとても時間がかかる。</li><li>・小学校においては、担当の職員や学校に任せっきりで、教育委員会等の行政機関の関与が弱い。教育委員会に、子供のことで学校側から話を上げてくれることもあるみたいだが、未対応の事も。特に、看護師さんは教員でなく一人違った立場の人なので、その人に対するサポートがなければ、過度の負担を感じてしまったり、今後なり手も増えない。</li><li>・就学において軽度知的には地域の小学校、中度知的以上は支援学校と決めつけるのではなく、それぞれメリット・デメリットを説明し、子供の性格や特性、学習への意欲度なども含めて考えてほしい。</li><li>・小学校での 6 時間目の介助員さんの配置が必要。</li><li>・小学校のうちから、支援学級に在籍する児童含め、いろんな個性や特性を持った級友がいることが当たり前で、助け合ったり、互いを認め合ったり、自然とそれができる雰囲気、どの児童も包まれていたら、皆が幸せで心地よく生きていけると、日々願っている。</li><li>・知的障害の子は、個人差はあるが、ひらがなを覚えるまでに時間がかかる子もいる。そんな子でも分かりやすいイラストや短い文字数の表示があれば、少しでも理解につながる。</li><li>・小学校、中学、高校と木馬園から行けるまとまった学校があれば、親も子供も環境の変化のストレスがないと思う。</li><li>・保育・学校の教職員の障害児（者）への理解や対応が不十分。地域の小学校・中学校に通う児は特に軽度の児童が多いと思うので、学校で過ごしやすい対応、理解を求めたい。</li><li>・今は、本人及び保護者の希望があれば地域の学校へ進むことが出来るはずだが、行ってからはどうなのか、適切な支援は受けられるのか、その子に適した支援とは、個人のニーズに対応する人の力が足りていない。障害に対する理解も大人に足りていない。</li></ul>

#### ○相談・情報提供について【14 件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>・福祉サービス施設と、日中通っている園との連絡をもっと取ってほしい。</li><li>・災害があったとき、特に障害児を持つ家庭の人達はどこに避難すればいいのかなど、とても重要な情報を、学校でも市役所からも、聞いた事がない。</li><li>・障害児施策の情報を LINE などのツールでも提供してほしい。</li><li>・定期的に自宅へ訪問して、困っていることや悩んでいることを聞き取り、必要な機関等を教え</li></ul>

たりしてほしい。事前にアンケート用紙を送付して、それを基に話すなど。

- 発達相談を受ける所がない。相談支援員が少ない。
- 自身で情報を取りに行かないと必要な情報が得られないので、もっと発信してほしい。
- 障害や育児のことについて相談できる窓口が、今後療育園を出てしまうとどこか分かりにくい。
- 障害者の就職の状況、就学の状況、もっと情報をオープンにしてほしい。親亡き後、障害者はどうやって生きているのか等、教えてほしい。

### ○障害者施策について【14件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 療育施設に通う子供がいる場合、預けている間の就業ができないため、手帳の有無などにかかわらず、通う間だけでも補助金などがあるとありがたい。</li> <li>• シングルマザーで週5で働いていると、受給日数23日の最大でも仕事を休まないといけない月が出てくる。せめてもう少し増やしていただけると、働きやすくありがたい。</li> <li>• 受給者証をもっとコンパクトにしてほしい。</li> <li>• 特別児童扶養手当について、所得制限の撤廃をしてほしい。障害児がいて児童発達支援センターを利用しているため、母親（もしくは父親）の正社員としての勤務が、希望していても難しい。それか、親が働けるように療育時間を長くしてほしい。</li> <li>• 市民便りに「インクルーシブ遊具ができました」というので行ってみた。広い公園にポツンとひとつ遊具があるだけだが、今後増やしていく予定なのか。いろいろな市が最近インクルーシブ遊具を取り入れているが、大体3つ、4つある。</li> <li>• 障害児にもオムツ支援があると助かる。</li> <li>• 手帳が発行されないグレーゾーンの子供へのサービス等を充実させてほしい。診断が下りず、定型児との関わりができない子供へのサポートを充実させてほしい。</li> <li>• 地域にもっと障害児（自閉症）の特徴を知っていただき、病院や公共機関の利用をしやすくして頂きたいです。病院での待合室で、子供の声がうるさい、行動が悪く「しつけしろ！」と怒鳴られたこともあり、悲しい思いをした。</li> </ul>

### ○就学前の支援について【12件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現状、木馬園は定員でいっぱい、来年度も入れるかどうか分からない（先着順ではない）と言われた。診察で診ていただいた先生には木馬園に行くように言われますが、入ることはできないし、今の幼稚園では全然ついていけないので、どこに行けばいいのか正直困っている。</li> <li>• 同居の祖母が失業中で保育園に入園できなかった。障害児の子供のためにも働いていたかった。</li> <li>• 木馬園に行っているが、時間、付き添い等働きながらだと難しく感じる。子供をもう少し預かっていただけると助かる。</li> <li>• 他の自治体では、療育園とこども園等の保育施設と並行通園が可能なので、その子に応じた対応（こちら側が選べるような制度）を作してほしい。</li> <li>• 木馬園に通園中だが、保育に集団療育が取り入れられていると全く感じない。先生達にも専門</li> </ul>

的な知識を日々学び、取り入れながら関わってほしい。

- 木馬園の施設ではトイレはボロボロ、バリアフリーなんてない、建物が古く床暖もないから底冷えがひどい。まるで障害者の子供達の存在が忘れられているように感じる。
- 療育園の先生の専門性を高めてほしい。バラツキが大きいと感じる。
- 内部疾患の障害で、通常の園を利用できると医師から伝えられ、市の職員の方にも「障害を理由に入園を断るのはあってはいけないこと」と答えていただき安心したが、実際にはほとんどの園で入園を断られた。
- 今、木馬園に通っているが、木馬園を出てからの支援や相談回数、OT、ST の訓練回数など、いきなり手薄くなりすぎて不安です。

### ○検診・医療について【6件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>• 病院が苦手な嫌がったり暴れたりするため、往診してくれる所や配慮をしてもらえる病院を教えてください。</li><li>• 医師が駆けつけて診察し、その場で薬をもらえるシステムを作ってほしい。救急車を呼ぶか悩むときもあるが、救急車に乗せるのも一苦労だと思う。そんなときに医師が訪問して下さると心強い。</li><li>• 入院時に付き添いサービス等があればありがたいのと、レスパイトの受け入れ先や短期入所できる安心できる施設を市内でも作ってほしい。</li><li>• リハビリが受けられる場所を増やしてほしい。</li><li>• 近隣の市と合同で、医療型の大きな療育センターを設立してほしい。大阪母子医療センターまで通わずとも、泉州地域内で医師の診察を受けられ、必要な訓練を効果の望める回数きちんと受けられ、相談することのできる療育センターを作ってほしい。現状、未就学の障害児親子ですら手が届いていない人がいる。</li><li>• 発達外来が少ない。</li></ul>

### ○福祉サービスについて【5件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>• 急に親が体調不良など、家庭で何かあったときのための、いつでも受け付けてくれる短期入所施設を作ってほしい。</li><li>• 市内の放課後等デイサービスの数を増やしてほしいです。</li><li>• 日常生活用具の紙おむつ等の物品について、サラシ、ガーゼ等の衛生用品の所で、サラシは時代に合っていない。ガーゼ等と記載があるなら、消毒のコットン球も認めていただきたい。おむつを捨てる際（特に社内や外出先で）の、おむつを入れる匂わない袋も入れてほしい。</li><li>• 療育施設が古いので、リフォームして使いやすく改善してほしい。療育の待ちをなくして、療育が必要な子供は通えるようにしてほしい。療育施設から駐車場が遠くて大変。</li><li>• 障害児が利用できる教室（スイミング以外にも）をもっと増やしてほしい。市のペアレントトレーニングの講義、障害児の親にこそ必要と思い、参加したいと思っても、なぜ毎年木馬園の親子保育のある金曜日開催なのか。必要な人に届いていない。</li></ul>

## ○手続き・窓口対応等について【5件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市の窓口の人が分からない事が多く、聞いても直ぐに答えてもらえない。どの人に当たっても直ぐに答えられるようにするべき。書類だけ受け取り、言葉足らずな人が多い。</li> <li>• 精神障害者福祉手帳をもらったときに「3級は通らないと思う」という理由で、特別児童扶養手当を知らされず、子育て支援課の方が教えてくださり、申請した。手帳は3級でも、特別児童扶養手当を受給できた。もう少し案内してくれてもいい。障害者福祉のしおりは手帳申請時にももらったが、特別児童扶養手当のしおりはこちらから言わないともらえなかった。</li> <li>• 関係部署は情報共有してほしい。同じことを何度も話さないといけない。</li> <li>• 子供が小さいときにファミリーサポートをお願いしに行ったら、障害に理解ある人が来るわけではないと言われ、一度も使うことができなかった。</li> <li>• 療育（児発）に通いたいと言ったとき、役所で渋い顔をされた。泉佐野市の児発と放課後デイがやっている民間の事業所の電話番号が書いてある紙切れ1枚を渡され、「1歳10カ月で療育に通える事業所なんてないので、自分で探してください」と初めて相談に行った中で寄り添ってもらえず、とても恐かった。公立や役所だけの枠ではなく、民間の事業所さんの受け入れ内情も市が把握し、その子、その人に合った支援先をもっと提案すべき。</li> </ul>

## ○移動手段について【2件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道路、公園等、段差があり、車椅子（バギー）がはまってしまったり、段差でタイヤが取られてしまったり、意外と段差が多い。</li> <li>• 通園・通学ルート、バス停などの安全確保。確保されていないので、1人で安心して移動させられない。行動制限になる。</li> </ul>

## ○その他【7件】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 合理的配慮がもっと言いやすくなったら良い。</li> <li>• 年々、発達障害児は増えているのに、大人達の理解が追いついていない。</li> <li>• 障害者に優しくと言うが、泉佐野市は全く感じない。未来のある子供達を大事にし、障害者はお荷物扱いのように感じる。</li> <li>• 私達がどのようなニーズを必要としているのか把握していただくためには、家族や保護者、当事者の求める支援や情報、サービスの要望を尋ねるところの回答数を限定するのはやめてほしい。</li> </ul>

